

医療保健学概論

更新日：2024/08/15 08:48:19

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	101010	授業コード	10101
担当教員	神 光一郎, 島田 明子, 樋口 鎮央, 藤井 孝政, 梶 貢三子, 米澤 美保子, 荒井 昌海						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10101	1○ 4◎	1○ 4◎	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、社会福祉士

授業概要

本授業では、学生の皆さんが、歯科衛生士と歯科技工士の役割を認識し、これから始まる4年間の学習の心構えについて理解する。また、歯科医療従事者の一員として学生自身が目指すべき方向性について、最新の情報や知識を習得するとともに、高齢社会における歯科保健医療の役割とは何か、また生涯を通じた口腔ならびに全身の健康を実践するために何が必要であるかについて考える場とする。さらに、医療現場で求められる医科歯科連携について理解する。本授業は、7名の教員によるオムニバス形式により、面接授業で実施する。

到達目標

1	歯科保健医療の変遷を説明できる。
2	超高齢社会における歯科衛生士・歯科技工士の必要性を説明できる。
3	口腔保健学・口腔工学の課題について概説できる。
4	歯科衛生士の活動の場と業務内容を説明できる。
5	歯科衛生士、歯科技工士が置かれている状況を理解し、将来の歯科衛生士、歯科技工士像について概説できる。
6	歯科保健医療に影響を与える社会環境要因について説明できる。
7	口腔状況と全身の健康との関連について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接講義】歯科衛生士、歯科技工士のあるべき姿とは（藤井 孝政） 1) 歯科保健医療の歴史・変遷の概説 2) これからの歯科保健医療の方向性について 3) 口腔保健学・口腔工学の課題
2	【面接講義】歯科保健医療を取り巻く社会環境とその影響（神 光一郎） 1) 歯科保健医療を取り巻く動向 2) 少子高齢社会がもたらす影響 3) 平均寿命と健康寿命 4) 少子高齢社会と社会保障
3	【面接講義】医療現場における医科歯科連携（島田 明子） 1) 超高齢社会の日本 2) 歯科衛生士・歯科技工士のポテンシャル 3) ネットワーキングの重要性
4	【面接講義】歯科技工士の活躍の場（樋口 鎮央） 1) 歯科技工士の業務内容について 2) 歯科技工士資格の現在の枠組み 3) 将来的に歯科技工士に求められる役割とは
5	【面接講義】医療現場における社会福祉専門職の役割（米澤 美保子） 1) 社会福祉とは 2) 社会福祉士の業務内容・役割 3) 医療現場における社会福祉専門職の役割
6	【面接講義】歯科衛生士の役割とは（梶 貢三子） 1) 歯科衛生士の業務内容・活躍の場 2) これから歯科衛生士に求められることとは 3) 歯科衛生士になるためには
7	【面接講義】歯科医療の目的と歯科衛生士、歯科技工士（荒井 昌海） 1) 歯科医療の目的とは（患者さんの立場から） 2) 診療現場における歯科医療とは 3) 診療現場における歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の連携（チーム医療）

8	【面接講義】新たな歯科医療の展開 （荒井 昌海） 1) デジタル・デンティストリーに基づく診療・歯科技工 2) 今後の新たな歯科医療の可能性 3) 歯科専門職に求められる知識・技術
---	--

成績評価の方法

学習の形式的効果を上げるため、授業中に口頭試問あるいはディスカッション等を随時取り入れ、当該内容に関する解説等により学生にフィードバックする。

（授業形式や授業内での態度評価は担当教員によりなる。）

なお、総合評価は授業範囲から出題した課題に対するレポートにより行うこととし、その評価はルーブリックにより行う。

評価基準は、レポート100%とする。

教科書

テキストは特に指定せず、必要に応じて配付資料あるいは板書、動画等により授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

事前学習は特に必要としないが、7名の教員から提示された課題や問題意識、メッセージ等について、授業時間中に自身で理解するように努め、自己の考えや意見にしっかりと反映できるよう、十分に事後学習をしておくこと（目安時間：約10分）。

その他

参考資料	参考資料は特に指定せず、配付資料あるいは板書、動画等により授業を行う。
受講生への要望等	本授業は、これからの4年間の学習の心構えを理解し、歯科保健医療専門職として必要な知識や技能を学ぶための、最初の授業となります。 7名の経験豊富な教員がオムニバス形式で授業しますので、各先生が学生の皆さんに伝えたい内容やメッセージを聞き逃さずしっかりと理解し、歯科衛生士、歯科技工士としての第一歩を踏み出してください。また、質問は大歓迎です。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらうと確実です。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

早期臨床体験学習

更新日：2024/11/22 17:15:36

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	101020	授業コード	10102
担当教員	緒方 智壽子, 島田 明子, 神 光一郎, 糸田 昌隆, 橋本 正則, 梶 貢三子, 中塚 美智子, 藤井 孝政, 山中 武志, 小正 聡, 藤田 暁, 大西 愛, 前嶋 亜優子, 首藤 崇裕, 三宅 晃子, 大森 あかね, 谷 亜希奈, 方 思棋, 宮坂 佳代, 亀井 直子, 黄 育清, 中井 知己						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
10102	2〇 H1◎		2〇 E4◎		歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士	

授業概要

医療保健学部に入学直後の学生が、早期に歯科医療現場を体験することによって、自身が目標とする歯科医療職の職務への理解を深める。また、歯科医療の知識を有しない時期に、歯科医療従事者や医療従事者が患者や家族と接する場を体験することで、将来歯科医療従事者として、より患者の苦悩を理解しやすいと考える。この科目の実施で歯科医療に関する関心を高め、その後の学習への動機付けとする。また患者とのコミュニケーションの能力を獲得するとともに医療人としての倫理観や心構えおよび態度を養う。

到達目標

1	口腔保健に関する知識、科学的探求心と向上心を養うことができる。
2	附属病院診療科の診療内容を説明できる。
3	今後学修する科目の必要性を理解する。
4	医療従事者として身だしなみ、接遇の重要性を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	3	5	7	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【講義】早期臨床体験学習の概要の説明（緒方、梶、三宅、小正、方、黄）牧野学舎 早期臨床体験学習のオリエンテーションを行い、附属病院の概要と病院内での身だしなみと接遇
2	【実習】体験実習1日目：附属病院の役割りと診療科案内（緒方、梶、三宅、小正、方、黄）天満橋学舎百周年記念館3階中講義室 附属病院診療科各科の治療内容の概要
3	【実習】各科診療科説明1（各科医員）天満橋学舎百周年記念館3階中講義室 各診療科医員より診療科と診療内容の説明
4	【実習】各科診療科説明2（各科医員）天満橋学舎百周年記念館3階中講義室 各診療科医員より診療科と診療内容の説明
5	【演習】附属病院巡回見学とレポート作成（医療保健学部教員） 各診療科の診療と講義のまとめ
6	【実習】体験実習2日目：各診療科の臨床対応体験実習1（医療保健学部教員） グループに分かれて各診療科の体験実習
7	【実習】各診療科の臨床対応体験実習2（医療保健学部教員） グループに分かれて各診療科の体験実習
8	【講義】体験講義（歯科衛生士長：上野、技工士長：内藤）天満橋学舎西館5階臨床講義室 附属病院歯科衛生士の役割りと歯科技工士の役割り
9	【演習】レポート作成（医療保健学部教員）天満橋学舎内教室・ゼミ室・歯科衛生士研修センター 各診療科の診療と講義のまとめ
10	【実習】体験実習3日目：各診療科の臨床対応体験実習（医療保健学部教員） グループに分かれて各診療科の体験実習
11	【実習】各診療科の臨床対応体験実習（医療保健学部教員） グループに分かれて各診療科の体験実習
12	【講義】体験講義（医療保健学部教員、各科医員）天満橋学舎西館5階臨床講義室 歯科臨床の基礎知識
13	【演習】レポート作成（医療保健学部教員）天満橋学舎内教室・ゼミ室・歯科衛生士研修センター 各診療科の診療と講義のまとめ
14	【演習】グループ討論（医療保健学部教員）牧野学舎 各診療科の診療内容と体験実習のまとめとトピックについてプレゼン資料の作成
15	【演習】グループ発表（医療保健学部教員）牧野学舎 早期臨床体験実習のプレゼンテーション

成績評価の方法

1. 学習態度
2. 早期臨床体験学習で学んだ内容や感想をレポートとして提出
3. グループ討論および発表への参加態度

上記1～3についてそれぞれA～Eの5段階で評価する。評価割合はすべての項目で100%とし、その総合評価を行う。

教科書

なし。但し、早期臨床体験学習の手引きをオリエンテーションまでにデータ配信する。

授業外学修（予習・復習）

早期臨床体験学習を行うにあたってオリエンテーションを実施する。オリエンテーションの内容をよく予習・復習し学習に臨むこと。(約30分)

その他

参考資料	「人は見た目が9割」 佐藤綾子 新潮社 「心のふれあう患者接遇」 石井良子、石井美奈子 医学書院 「外来でのコミュニケーション技法」 飯島克己 日本醫事新報社
受講生への要望等	・時間を厳守すること。 その他、守るべき留意点については、オリエンテーション時に伝達します。
授業の質問対応、連絡先	学習中の質問等については、担当教員に直接質問すること。 その他の連絡先については、早期臨床体験学習で使用する手引きに記載。

医療倫理学

更新日：2024/10/18 16:36:06

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	101030	授業コード	10103
担当教員	榎 則章						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10103	2◎	2◎	

授業概要

現代医療を担う医療従事者の一員として身につけるべき倫理規範の正しい理解及び修得を授業目的とする。20世紀半ば以降、伝統的な医の倫理に代わる新しい医の倫理が求められるようになった背景について概説した後、歯科医療従事者としての職業倫理、患者の権利の尊重と感情面への配慮による患者本位の医療実践、生と死に関わる倫理的問題、先端医療に関わる倫理的問題について講義し、医療の倫理的問題について自ら考えることができるようにする。

到達目標

1	伝統的な医の倫理から現代の医療倫理学への転換について概説できる。
2	歯科医療従事者としての職業倫理について説明できる。
3	患者本位の歯科医療を実践するために患者の権利の尊重と感情面への配慮が重要であることを説明できる。
4	生と死に関わる倫理的問題について概説できる。
5	先端医療の倫理的問題について概説できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【面接講義】現代社会と医療（榎 則章） 20世紀半ば以降、伝統的な医の倫理に代わる新しい医の倫理が求められるようになった背景、今日求められている医療のあり方について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
2	【面接講義】患者の権利（榎 則章） 患者の権利について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
3	【面接講義】インフォームドコンセント（榎 則章） インフォームドコンセントの歴史、定義、実際について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
4	【面接講義】医学研究の倫理（榎 則章） 医学研究の倫理について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
5	【面接講義】生命維持治療の拒否と差控え（榎 則章） 患者本人による生命維持治療の拒否と、患者以外の者による生命維持治療の差控えの決定について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
6	【面接講義】安楽死（榎 則章） 安楽死の現状について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
7	【面接講義】生命の「選別」（榎 則章） 新生児、胎児及び胚の選別の現状と倫理について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
8	【面接講義】脳死と臓器移植 脳死は人の死か、脳死は臓器移植とどのように関連しているかについて講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。

成績評価の方法

科目試験100%で評価する。本試験の成績評価で不可とされた学生には必要に応じて指導する。

教科書

教科書は特に指定せず、各回プリントを配布し、パワーポイントを使用して授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

各回ごとに詳細な到達目標と4択問題を提示しているので、授業後、必ずそれらについて毎回20分～30分かけて復習すること。

その他

参考資料	「生命倫理と医療倫理」第4版第2刷 伏木信次・榎 則章・霜田 求編著 金芳堂 2022
------	---

	ISBN978-4-7653-1816-7 C3047 歯科衛生学シリーズ「歯科医療倫理学」第1版 第1刷 榎 則章ほか 医歯薬出版 2023 ISBN978-4-263-42613-5 C3347
受講生への要望等	日ごろから新聞やネットで医療に関わる様々な問題についてチェックしておくこと。
授業の質問対応、連絡先	オフィスアワー：各回の授業後。

医療人キャリア形成論

更新日：2025/03/24 14:54:59

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	101040	授業コード	10104
担当教員	中塚 美智子, 神 光一郎, 山中 武志, 米澤 美保子, 高井 裕二, 藤田 暁, 首藤 崇裕, 谷 亜希奈, 大森 あかね, 寺島 雅子						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10104	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、社会福祉士

授業概要

大学生活は高校までとは大きく異なり、自分で考え、判断して動いていくようになります。また、本学では臨床実習があり、学生のうちから医療現場や福祉現場に出ることから、早い段階から礼儀やマナーを身につけ、社会に出る準備をせねばならない。

本科目を受講して、1年生のうちから自分自身を見つめ、将来自分がどのような社会人、また医療人を目指すのかを考えていくとともに、今後の生活で取り組むべき自分の課題を見つける。

大学、また社会で必要になる「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を身につけ、そのうえで医療人、社会人としてのキャリアデザインが構築できるようになる。

到達目標

1	現在の日本の医療や社会について意見を述べたり、文章などで表現したりすることができる。
2	大学、また社会で必要になる「知識・技能」を身につけることができる。
3	大学、また社会で必要になる「思考力・判断力・表現力」を身につけることができる。
4	大学、また社会で必要になる「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を身につけることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	8		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【演習】大学で身につけることは何だろう（中塚、神、山中、藤田、高井、米澤、首藤、大森） 大学とはどういうところが知ったうえで、大学生活は高校までとは何が異なるかを考え、グループでシェアリングする。医療系、医療系大学とはどのようなところかを知り、医療人になるために大学や学生生活の中で何を学び、何を身につけていかなければならないかを考え、文章で表現する。
2	【演習】コミュニケーション上手な医療人になろう①（外部講師、中塚、神、山中、高井、米澤、寺島、大森） 将来社会人および医療人として必要な挨拶、正しい敬語の使用および礼儀、傾聴について、グループでロールプレイを通して学ぶ。
3	【演習】コミュニケーション上手な医療人になろう②（外部講師、中塚、神、山中、高井、米澤） 自分の思考の傾向を知った上で、相手の気持ちをしっかり考えながら自分の気持ちや考え、信念をその場にふさわしい方法で表現するアサーションについて学ぶ。
4	【演習】自分を相手に分かりやすく伝えよう①（中塚、神、山中、藤田、高井、米澤、大森） 文の構造、文章を書く上での基本文法と注意点について学ぶ。自分の価値観、やりたいこと、好きなこと、得意なことなどについて、グループで話し合いながら探索し、自己PR文を作成する。
5	【演習】自分を相手に分かりやすく伝えよう②（中塚、神、山中、藤田、高井、米澤、首藤、寺島、大森、谷） 人生設計について各自考え、グループでシェアリングし、そのような自分になるために今後どういったことを身につけていく必要があるかを、根拠を示しつつ文章で表現する。
6	【演習】世の中の気になることについて話し合おう（中塚、神、山中、藤田、高井、米澤、首藤、寺島、大森、谷） 与えられた社会問題について、グループ内で役割を決めて制限時間内でディスカッションし、根拠を示しつつ発表する。
7	【演習】社会人はどのような仕事をしているだろう（中塚、神、山中、藤田、高井、米澤、首藤、寺島、大森、谷） さまざまな業界で働いている、家族や親戚以外の社会人にインタビューした内容をグループでシェアし、発表する。
8	【演習】医療業界、歯科医療業界とはどのようなところ？（外部講師、中塚、神、山中、藤田、高井、米澤、首藤、寺島） 現役歯科衛生士または歯科技工士の話を聴き（卒業生など、臨床、企業）、医療および歯科医療とはどういうものか、医療人にとって必要なものは何かをグループでディスカッションする。また歯科衛生士や歯科技工士にどのような素質や適性がよいか、根拠を挙げてグループ内で説明する。

成績評価の方法

レポート（作文）60%、発表内容30%、受講態度（積極性など）10%で総合的に評価します。

レポートは毎回教員が添削を行い、コメントをつけて返します。

教科書

なし

必要に応じ、適宜資料を配付します。

授業外学修（予習・復習）

毎回講義後にテーマに基づいた文章を書き、提出します（30分）。

その他

参考資料	まんがでわかる LIFE SHIFT 星井博文他著 東洋経済新報社 新入試に強い！日本語論理トレーニング 15ステップですらすら書ける 出口汪の作文講座 出口 汪著 小学館 その他必要に応じて指示、また資料などを適宜配布します。
受講生への要望等	自分の人生を他人に決めてもらうことがないよう、大学生活を過ごす中で常に自分で考えることを意識しましょう。また、自分の意見を、根拠を挙げて言葉や文章で的確に表現できるようになりましょう。 第7回で、各自社会人に職業インタビューした内容を発表します。準備を進めておきましょう。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は下記の通り行います。 ・授業用SNS（Melly）で予約し、対面を実施 平日8:45-18:30に予約したい旨連絡、日時を決め担当教員の研究室に来室、対面を実施

文章表現

更新日：2024/10/10 09:33:20

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	102010	授業コード	12101
担当教員	大澤 茂男						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年,2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10201	1○ 5◎ H3○	1○ 5◎ E4○	大阪青山大学、米子高専

授業概要

日本語の文章を扱う力（表現力・理解力）を高めるためのトレーニングを中心に進めていく科目です。

文章の表現力を高めるためには、まずは「書くこと」の実践とその振り返りが重要です。授業のなかで、実際に文章を書き、受講者が相互に・あるいは自分自身で推敲し加筆修正するといった実践（一部にペアワーク・グループワークを取り入れる形式）を何回か重ねていきます。

文章の理解力については、受講者の専攻分野などに関連する文章を用いて、読解スキルの向上をはかるための簡単な演習を行います。

また、日本語の文法や文の構造について、教員自作のドリル教材を用いて理解を深めていきます。

なお、授業にはノートパソコンを持参してください。課題の提出にはAポータル「Melly」を活用します。

到達目標

1	文章を読んで、内容を的確に理解できる。
2	自身の考えや思いを適切に文章に表すことができる。
3	文章の読み書きに日ごろから親しむ態度を養う。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】科目概要を理解し、文章を試作する 本科目の到達目標を確認し、全8回の授業の流れを把握します。その後、自分の名前を題材とした文章を試作し、提出します。
2	【講義】文の構成要素（パーツ）を理解する(1) 文章とは「文」の連結体であり、「文」は「語」「語句」の集積体であることを理解します。特に分かりやすい一文一文を仕立てるためのポイントについて、演習問題に取り組みながら理解を深めます。
3	【講義】文の構成要素（パーツ）を理解する(2) 前時に続き、文章とは「文」の連結体であり、「文」は「語」「語句」の集積体であることを理解していくため、演習問題に取り組みます。一部の品詞について掘り下げた演習も行います。
4	【講義】文章の読解力を高める 書かれている事柄や書き手の思いを的確につかむスキルを向上させるため、受講者の興味関心が向きやすい文章を読み、「書き手の意図」を想定しながら設問に取り組んでいきます。
5	【講義】文章の構成パターンを理解し、実作する 文章の構成パターンをいくつか紹介した後、シンプルな「三段構成」の文章を仕立てる実践を行います。「三段構成」とは「序論—本論—結論」という形ですが、よりシンプルに「はじめ—なか—おわり」ととらえ、簡単な構成表を作成してから文章作成を行います。
6	【講義】文章を要約する 比較的短い解説文や論説文を素材として、文章の要約を実践します。「分析読み」という簡単な手法を用いて要約文を作成します。
7	【講義】意見文を書く 医療分野に関連するエッセイを何編か読み、そのうちの一つを題材とした意見文（読んだ文章の主題に関わる自身の意見を明確に表明する文章）を、三段構成で作成します。
8	【講義】構成を整えた文章を書く 前回までの各回の学びをふりかえり、文章の構成（三段構成およびその応用形としての四段構成）を整えながら、与えられたテーマに従って文章を作成します。

成績評価の方法

1) 授業内に作成する文章課題およびワークシート（50%）

2) 本試験（設問回答および文章作成）（50%）

上記の1)については点検後にポイントを付して返却します（紙媒体の場合は直接返却、電子媒体の場合はAポータルから添付返却）。

教科書

なし。教員から講義内で扱う文章のプリントや自作のワークシートが配付されます。

授業外学修（予習・復習）

授業に臨む前に、Aポータルから配信されるメッセージを必ず読んでください。扱う資料の一部が添付配信され、あらかじめ行っておくべき学修が指示される場合があります。また、授業終了時にも次の回に向けた準備を指示する場合がありますので、それらに対応するための時間（各回概ね1～2時間程度）を授業外で確保しておいてください。

詳細については初回授業の中で伝えます。

その他

参考資料	<p>○本田勝一『〈新版〉日本語の作文技術』朝日文庫 2015 ISBN978-4-02-261845-0 ○藤吉 豊, 小川 真理子『「文章術のベストセラー100冊」のポイントを一冊にまとめてみた。』日経B P 2021 ISBN-13・978-4822289065 ○中村 明『センスをみがく 文章上達事典』東京堂出版 2016 ISBN978-4-490-10885-9 ○石黒 圭『論文・レポートの基本』日本実業出版社 2012 ISBN-13・978-4534049278 ○瀬戸 賢一『日本語のレトリック: 文章表現の技法 (岩波ジュニア新書)』岩波書店 2002 ISBN-13・978-4005004188 など。 (これ以外の資料については授業時に各回のテーマに合わせて追加紹介します。)</p>
受講生への要望等	<p>この授業では、ほぼ毎回なにかを「書く」ことを課していきます。「書く」スキルを高めるためには、「書く」しかない、と心得てください。また、ペアワークに取り組むことがありますので、こちらの指示を踏まえながら、積極的に参加するよう心がけてください。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>直接の質問や要望は、下記宛のメールを活用してください。 s-oosawa@osaka-aoyama.ac.jp (本務校のメールアドレスです)</p>

統計学

更新日：2024/11/26 16:06:09

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	102020	授業コード	12102
担当教員	森 淳秀						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年, 2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10202	1◎ 5○	1◎ 5○	

授業概要

データを集め、要約したり、分析したりする統計学の手法を学ぶ。講義を通して概念について知るだけでなく、ICTを活用してみずから課題に取り組むことにより、実際に使える知識を身につける。

到達目標

1	みずからデータを集めて要約することにより、図表を用いたプレゼンテーションを行うことができる。
2	疫学研究で用いられる様々な統計学的手法を歯科医療の問題に適用することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】情報と根拠 高校までに学んだことを駆使して、様々なデータを加工して情報にすることができる。様々な情報について、誰が誰に何のために発信したのかを調べることができる。根拠と意見の区別ができる。人間の集団を対象とする臨床的根拠と動物実験などの非臨床的根拠の区別ができる。EBMを説明することができる。
2	【講義】因果関係 要因（曝露）と症例（罹患）の区別および時間的な順序づけができる。RRとORを用いてそれらの関連の強さを調べることができる。関連の特異性や整合性を確認することができる。記述疫学・分析疫学・介入研究の違いについて説明することができる。コホート研究と患者対照研究の違いを説明することができる。各種研究の根拠の水準を序列化できる。
3	【講義】データ収集と記述統計 DMFT指数の計算ができる。地域フッ素症指数（CFI）の計算ができる。リッカード尺度の計算ができる。系統抽出法と多段階抽出法の違いを説明できる。層化抽出法について説明できる。様々なデータを尺度水準によって分類できる。データを要約する代表値を求め、図表を用いたプレゼンテーションを行うことができる。
4	【講義】平均の推定 平均の区間推定ができる。エラーバーのある平均の棒グラフと、標準偏差が付記された平均の棒グラフとを区別し、適切な棒グラフによってプレゼンテーションを行うことができる。前後比較における対応のある差の平均に関するペア検定ができる。「降圧剤の効果」などの具体的な問題を解くことができる。
5	【講義】差の検定 表計算ソフトを利用して（対応のない）2群の平均の差に関するウエルチのt検定ができる。2群の中央値の差に関するマン・ホイットニーのU検定、対応のある差に関するウィルコクソンの符号順位検定、等分散3群の平均の非一様性に関するF検定、3群の中央値の差に関するクラスカル・ウォリス検定について、それぞれ説明することができる。
6	【講義】比率の推定と独立性検定 比率の区間推定ができる。比率のZ検定と比率の差のZ検定について説明することができる。自由度1の独立性カイ二乗検定ができる。「予防接種と罹患患者数」などの具体的な問題を解くことができる。サンプルサイズが小さい場合のフィッシャーの正確確率検定、自由度の高い場合の独立性検定、モデルがある場合の適合度検定について、それぞれ説明することができる。
7	【講義】回帰と相関 散布図を用いたプレゼンテーションを行うことができる。散布図に引かれた回帰直線について説明することができる。散布図からピアソンの相関係数のおよその値を読み取ることができる。スピアマンの順序相関係数について説明することができる。
8	【講義】重回帰とロジスティック関数 交絡バイアスと交絡因子について説明することができる。層化による交絡因子の特定ができる。重回帰分析による交絡バイアスの評価ができる。ロジスティック重回帰分析について説明することができる。スクリーニングにおけるROC曲線について説明することができる。

成績評価の方法

- ・ICTを活用した課題：各回5%を8回：計40%
- ・科目試験60%

毎回の授業で出された課題を1週間以内（曜日前日23:59まで）に提出する。正解するには授業を受けたうえで40分程度の試行錯誤が必要となる。自動で採点とフィードバックが行われ、何度でも回答を修正することができるので、期限までに全問正解しなかった回は評価されない（0点）。期限を過ぎてから提出しても

評価されないが、科目試験には類似問題が出題される。科目試験の結果については、対応する各回の課題の範囲ごとに正答率と注意すべきポイントをまとめてMellyで通知する。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学／医歯薬出版株式会社／ISBN 978-4-263-42624-1

授業外学修（予習・復習）

毎回ICTを活用した課題に取り組むことによって予習と復習を行うことができる（目安時間：40分程度）。数量的リテラシーを強化したい人が自主的に参考資料を活用することも想定する（任意、質問は受け付ける）。

その他

参考資料	医療系を志す人のための基礎数学—微積分から統計学へ—／森淳秀／2020年／共立出版／ISBN 978-4-320-06194-1
受講生への要望等	教科書は授業を受けるときに必要である。課題にも教科書を用いた予習が含まれる。参考資料は任意であり、関連する数学の学修に用いることができる（歯学部教科書）。
授業の質問対応、連絡先	mellyを利用して質問すること。普段は楠葉学舎1号館4階の数学研究室にいるので、直接質問することもできる。

心理学 I

更新日：2024/09/22 18:53:32

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	102030	授業コード	12103
担当教員	梶原 佳子						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年,2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10203	1○ 2◎	1○ 2◎	なし

授業概要

心理学の扱う分野は多岐にわたり、教育・発達から組織・産業など各年代・職場ごとに特有の心理的問題点が存在する。これら多様な分野において、共通して人々の関心を集め問題となる事項に、人間関係の心理がある。心理学 I では、人間関係をテーマとした心理学の理論と知見について、友人関係や家族関係、性格や自己概念と人間関係との関連、自己開示、人間関係の文化的特徴、リーダーシップや説得的コミュニケーション、集団心理などを学ぶことで、人間理解と自己理解を深める。

Google Classroom と Melly を利用した双方向型授業。

到達目標

1	心理学における人間関係に関わる分野の研究と理論について理解し説明できる
2	友人や家族などの身近な人間関係の心理とコミュニケーションの特徴について理解し説明できる
3	集団、リーダーシップや態度変容などの社会心理学の理論について理解し説明できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	<p>【オンデマンド講義】人間関係はどのようにつくられるか 人間関係がつくられる際に起こりやすい初期の対人認知である印象形成と、きっかけとなりやすい要因としての対人魅力について理解する。学習目標は以下のとおりである。</p> <p>1. 印象形成について理解し説明できる。 2. 対人認知について理解し説明できる。 3. 対人魅力について理解し説明できる。</p> <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（第1章、第2章） （目安時間：約40分） 【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。 （目安時間：約30分）</p>
2	<p>【オンデマンド講義】人間関係とコミュニケーション 人間関係に欠かすことのできないコミュニケーションについて理解する。言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの違いと特徴、言語的コミュニケーションのうちでも自己開示と自己呈示について、非言語的コミュニケーションの文化的差異についての理解を深める。学習目標は以下のとおりである</p> <p>1. 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの違いと特徴について理解し説明できる。 2. 自己開示について理解し説明できる。 3. 自己呈示について理解し説明できる。</p> <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（第3章） （目安時間：約40分） 【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。 （目安時間：約30分）</p>

3	<p>【オンデマンド講義】性格と人間関係 性格とコミュニケーションのあり方が人間関係に与える影響について学び、自己モニタリングの特徴と問題点、対人不安や自己愛パーソナリティと日本のコミュニケーションの特異性との関連、コミュニケーションに必要な能力について学ぶ。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対人場面での自己モニタリングの特徴と問題点について理解し説明できる。 2. 日本のコミュニケーションが対人不安と自己愛パーソナリティのあり方に与える影響について理解し説明できる。 3. コミュニケーションに必要な能力について理解し説明できる。 <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（第5章、第7章） （目安時間：約40分）</p> <p>【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。 （目安時間：約30分）</p>
4	<p>【オンデマンド講義】向社会的行動と攻撃性 人間関係を進展させる援助的な行動のひとつである向社会的行動と、その対極的な行動である攻撃行動の形成メカニズムについて学ぶ。また、集団をまとめ導く健全な攻撃性の発露としてのリーダーシップについて、類型と機能、集団成熟度との関連について学ぶ。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向社会的行動について基礎となる共感性と抑制要因となる傍観者効果について理解し説明できる。 2. 攻撃行動についての理論的背景と促進要因について理解し説明できる。 3. リーダーシップの類型とその特徴および機能について理解し説明できる。 4. 集団成熟度とリーダーシップとの関連について理解し説明できる。 <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（第4章、第11章） （目安時間：約40分）</p> <p>【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。 （目安時間：約30分）</p>
5	<p>【オンデマンド講義】友人関係と恋愛関係 身近で関心の高い人間関係である友人関係と恋愛関係について心理学的な理論と知見の観点から考え理解する。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイダーのバランス理論からみた人間関係について理解し説明できる。 2. 友人選択の要因と葛藤について理解し説明できる。 3. 恋愛関係の進展と嫉妬について理解し説明できる。 <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（第8章、第6章第3節） （目安時間：約40分）</p> <p>【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。 （目安時間：約30分）</p>
6	<p>【オンデマンド講義】家族関係 人間関係の基礎となる家族関係について理解する。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 親子関係と子どもの性格について理解し説明できる。 2. 家族の機能と子育てストレスについて理解し説明できる。 3. 家族システム論からみた家族の人間関係について理解し説明できる。 <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む （第9章、第7章第3節、第5章第2節）（目安時間：約40分）</p> <p>【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。 （目安時間：約30分）</p>
7	<p>【オンデマンド講義】態度変容と説得的コミュニケーション 態度変容における受け手と送り手の要因について、説得的コミュニケーションの情報処理モデルについて、また説得的コミュニケーションの技法について学ぶ。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 態度変容における受け手と送り手の要因について理解し説明できる。 2. 説得的コミュニケーションの情報処理モデルについて理解し説明できる。 3. 説得的コミュニケーションの技法について理解し説明できる。 <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（第10章） （目安時間：約40分）</p> <p>【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。 （目安時間：約30分）</p>
8	<p>【オンデマンド講義】集団での人間関係 集団での心理について理解する。他者の存在が個人の行動に与える影響、集団のまとまりを示す凝集性、同調行動と同調圧力、集団での意思決定の特徴について学ぶ。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的促進と社会的手抜きについて理解し説明できる。 2. 集団凝集性と生産性の関連について理解し説明できる。 3. 同調行動と同調圧力について理解し説明できる。 4. 集団での意思決定の特徴について理解し説明できる。 <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（第12章） （目安時間：約40分）</p> <p>【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。 （目安時間：約30分）</p>

成績評価の方法

科目試験100%の割合で評価を行なう。

ただし各授業ごとの課題が一つでも未提出の場合は試験を受けられないので注意すること。

授業後の課題の小テストについて、解答と解説は、試験前に試験受験対象者からの課題が全て提出されたことが確認されてからMellyで公開する。

教科書

「ライブラリ 心の世界を学ぶ-6 はじめてふれる人間関係の心理学」榎本博明著 サイエンス社 2018

ISBN-10: 4781914160

ISBN-13: 978-4781914169

授業外学修（予習・復習）

【予習】 授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（テキストの該当箇所は授業計画に記載）
（目安時間：約40分）

【復習】 課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。
（目安時間：約30分）

その他

参考資料	授業中に指示する。
受講生への要望等	各授業ごとの課題（小テスト）は必ず期限内に提出すること。 1つでも未提出の場合は科目試験を受験できないので留意すること。
授業の質問対応、連絡先	授業内容に関する質問については、Mellyで行うこと。ただし、パソコンの操作等技術的な質問には対応できない。 試験の日時や教室については回答できないので、不明な場合の問い合わせ先は教務課で確認すること。

運動生理学

更新日：2024/08/28 12:16:11

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	102040	授業コード	10105
担当教員	清水 正輝						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10204	1◎ H2○	1◎ E2○	鍼灸師 スポーツトレーナー

授業概要

運動生理学では生理学や解剖学を基礎として、活動状態（運動時）における人体の働きについて、生理学的な機能あるいは構造学的変化について体系的に講義を行う。

運動時の筋・神経・呼吸・循環系の生理学的な機能及び働きあるいは構造学的変化について学ぶ。

運動にかかわるヒトの機能やスポーツ・運動による身体の変化について理解し、実学として、スポーツ活動や生活の中で役立てることができるようになることを目標とする。

到達目標

1	正しい運動方法と生理学的効果を理解できる。
---	-----------------------

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4	4		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0		

授業計画

1	【講義】運動生理学各論1 運動生理学に関連する問題を解きながら主に有酸素運動の知識を深める
2	【演習】1 運動を実践し、身体の適応を理解する
3	【講義】運動生理学各論2 運動生理学に関連する問題を解きながら主に無酸素運動の知識を深める
4	【演習】2 運動を実践し、身体の適応を理解する
5	【講義】運動生理学各論3 運動生理学に関連する問題を解きながら主に実践的な知識を深める
6	【演習】3 運動を実践し、身体の適応を理解する
7	【講義】運動生理学各論4 運動生理学に関連する問題を解きながら主に最新に知見について知識を深める
8	【演習】4 運動を実践し、身体の適応を理解する

成績評価の方法

筆記試験及び演習活動から総合的に評価する。

- ・科目試験50%
- ・演習活動50%

教科書

講義時に適宜、資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

授業前に骨格筋の名前や作用、生理学用語、運動方法について毎回60分予習すること。

授業で学習した内容について毎回60分間復習すること。

その他

参考資料	「運動生理学：生理学の基礎から疾病予防まで」 三共出版
------	-----------------------------

受講生への要望等	演習では、運動に適した服装と体育館シューズを持参すること。
授業の質問対応、連絡先	講義前後の時間 sanryoushi@yahoo.co.jp

物理学

更新日：2024/10/03 15:15:31

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	102050	授業コード	1S101
担当教員	辻林 徹						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	選択必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10205	1◎	1◎	

授業概要

物理学の中でも、将来、歯科医療に従事する上で必要な、力学、波動、電磁気学の基本的な内容を、オンラインで配信する動画とプリントで学修する。オンライン講義で質問があるときは、恐れずにチャット機能を利用して欲しい。高等学校での物理の履修の有無に関わらず、数学が得意であったなら、講義内容を充分、理解することができる。

到達目標

1	物体に働く力が物体の運動を決めることを理解できる。
2	音波の性質を説明できる。
3	医療機器における電磁波の使用例を列挙できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】力学（1）（オンデマンド配信） 物理学を学修するための数学的準備を行い、ニュートンの運動の法則について学ぶ。
2	【講義】力学（2）（オンデマンド配信） 古典力学の基本であるニュートンの運動方程式を学修し、力と加速度の関係を理解する。また、仕事と仕事率について学修する。
3	【講義】力学（3）（オンデマンド配信） 物理学では時間的に一定である物理量に着目すると見通しがよくなる。そこで、運動量の保存則とエネルギーの保存則について学修する。また、エネルギーの保存に寄与しない、散逸力である摩擦力について学修する。
4	【講義】力学（4）（オンデマンド配信） 【講義】これまでの3回のオンライン講義では質点の直線運動について扱ってきた。ここでは、単純な運動を拡張し、放物運動、等速円運動、コリオリの力について対面講義で解説する。 それまでの疑問点があれば、解決する場とし、問題演習も交えて行う予定である。
5	【講義】波動（1）（オンデマンド配信） 周期運動として、ばねの単振動と剛体の回転運動を学修する。
6	【講義】波動（2）（オンデマンド配信） 進行波の代表として音波を学修する。屈折やドップラー効果について学修する。音波の大きさについても学修する。
7	【講義】電磁気学（1）（オンデマンド配信） 【講義】電磁気学の基本として、電気力線、磁力線、電流と磁場、電磁誘導を学修する。医療機器との関わりについても学修する。
8	【講義】電磁気学（2）（オンデマンド配信） 【講義】医療関係の話題として、CT・MRI・PETのしくみについて電磁気学を応用しながら学修する。ただし、学修の進み具合によっては、力学と波動の復習を優先することがある。

成績評価の方法

科目試験 約40%（フィードバック方法：直後に問題の解説を行い、自己の誤りに気付かせる）
レポート 約60%（フィードバック方法：Melly上で多く見られた間違いを指摘し、確認させる）

教科書

クイズで学ぶ 大学の物理（鮑本一裕、講談社ブルーバックス 電子版 2016 ISBN：978-4-06-257328-3）

授業外学修（予習・復習）

【予習】前の回まで、どのようなことを学修したか、自分のノートを見返して下さい。自分の理解度を確認しながら、さらに深く、それまでの講義資料を見返して下さい（45分）。

【復習】学修した内容の要点を自分のノートにまとめて下さい（45分、下記「要望」参照）。

その他

--

参考資料	(1) 物理学の基礎 [1]力学、D. ハリディ 他 著、培風館 2002 ISBN : 4-563-02255-1 (2) 教養としての物理学入門、笠利彦弥・藤城武彦、講談社 2018 ISBN:978-4-06-512527-4 (3) 医歯系の物理学、赤野松太郎・鮎川武二・藤城敏幸・村田浩、東京教学社 2015 ISBN : 978-4-8082-2072-3
受講生への要望等	ノートと教科書を用意して下さい。ノートには、初めて接する物理学上の用語があれば、自分なりの解説を作して下さい。教科書は現在、電子書籍としてのみ刊行されています（以前は紙媒体で刊行されていました）。
授業の質問対応、連絡先	Mellyを利用して下さい。

化学

更新日：2024/08/21 09:04:01

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	102060	授業コード	1S102
担当教員	藤原 真一						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	選択必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10206	1◎	1◎	

授業概要

近年の歯科の治療技術あるいは材料の進歩は、化学の発達に伴っている。化学は物質の成り立ちと構造、性質および変化について原子や分子に着目して調べるとともに、物質を暮らしに安全かつ有意義に役立てることを目指す学問である。この科目では、人間が元素、原子、分子などの存在を知り、理論・法則を確立していくには、どのような観察・実験が行われたのか、その経緯を学ぶ。さらに、歯科医療人として必要な糖質・脂質・タンパク質等の生体関連物質の構造や機能などの基礎知識を学習する。

到達目標

1	原子の構造と電子配置を説明できる。
2	イオン結合と共有結合を説明できる。
3	固体・液体・気体の性質を説明できる。
4	防食法を列挙できる。
5	生体構成物質の構造と機能を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】物質の構造と原子の電子配置 ・原子の構造 ・原子の電子配置 ・物質質量
2	【講義】イオン結合と共有結合 ・イオン結合 ・共有結合 ・化学平衡 ・溶液の濃度
3	【講義】物質の三態 ・気体の法則 ・合金 ・相律と状態図
4	【講義】腐食と防食 ・腐食 ・防食法
5	【講義】有機化学の基本 ・官能基に基づく分類 ・有機反応の形式 ・化学反応式の作り方
6	【講義】糖質 ・糖質の構造と機能 ・解糖 ・食物繊維
7	【講義】脂質とタンパク質 ・脂質の構造、機能、代謝 ・タンパク質（アミノ酸）の構造と機能
8	【講義】酵素と核酸 ・アミノ酸の代謝 ・酵素 ・核酸の構造と機能

成績評価の方法

- ・確認テスト 30%
- ・科目試験 70%

毎回確認テストを実施する。

確認テストの解説は次回の講義の最初に行う。

教科書

テキストは使用せず、毎回資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

講義中に、次の講義までに行うべき予習・復習を指示する。

各回予習1時間、復習1時間を目安とします。

その他

参考資料	「最新歯科衛生士教本 化学」 医歯薬出版
受講生への要望等	講義開始時または初期の段階で高校の化学の教科書を読み返しておく講義が理解しやすくなります。
授業の質問対応、連絡先	メールアドレス：fujiwara@cc.osaka-dent.ac.jp また、「melly」でも質問等を受け付けます。

生物学

更新日：2024/09/27 21:54:10

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	102070	授業コード	1S103
担当教員	岡村 英幸						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10207	1◎	1◎	

授業概要

生命科学分野の専門性が高い専門基礎科目の学習がスムーズに行えるように、生物学・生命科学の基本知識を理解・習得することを目標とし、主に「細胞の構造と機能」、「人体の成り立ち」、「遺伝子の働き」などを中心に学習する。合わせて二週目の講義以降実施される小テストで理解度を確認する。

到達目標

1	生体を構成する高分子の構造と特徴を説明できる。
2	原核生物と真核細胞の違いを説明できる。
3	真核細胞を構成する構造の特徴と働きを説明できる。
4	細胞分裂の過程と仕組みを説明できる。
5	遺伝の規則性と遺伝子の働きを説明できる。
6	遺伝子発現の過程と遺伝性疾患の発症原理を説明できる。
7	多細胞動物の胚発生の過程とメカニズムを説明できる。
8	ヒトの恒常性の維持と免疫系の働きの基本を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】生体を構成する物質 1)タンパク質の基本構造と特徴 2)核酸の基本構造と特徴 3)リン脂質の基本構造と特徴
2	【講義】真核細胞の構造と機能 1 1)原核細胞と真核細胞、ウイルスの共通点・相違点 2)細胞膜の構造と機能
3	【講義】真核細胞の構造と機能 2 1)真核細胞の主要な細胞内小器官の特徴と機能 2)細胞内呼吸
4	【講義】細胞分裂と配偶子形成 1)真核細胞の体細胞分裂の過程 2)減数分裂の過程と配偶子形成の特徴 3)細胞周期
5	【講義】遺伝と遺伝子 1)遺伝子とはなにか 2)遺伝の法則と遺伝子
6	【講義】遺伝子の働き 1)セントラルドグマ 2)遺伝性疾患のメカニズム
7	【講義】脊椎動物の発生 1)両生類の胚発生過程 2)三胚葉と組織・器官 3)発生と再生医療
8	【講義】環境への応答と恒常性 1)恒常性とはなにかを概説 2)内分泌系 3)神経系 4)免疫系

成績評価の方法

- ・科目定期試験65%
- ・各講義回ごとの復習課題35%
- ・不合格者に対する再試験実施時には、科目再試験65%と別途課される提出課題35%で評価する。

- ・講義ごとの復習課題の解説は提出後、採点時に個別に行う。
- ・科目定期試験の解説は再試験受験者を対象とした補講時に行う。
- ・各講義回ごとの復習課題、ならびに再試験受験対象者へ課す提出課題は、正答率80%以上に達するまで返却と再提出を課す。

教科書

最新歯科衛生士教本「生物学」 医歯薬出版

授業外学修（予習・復習）

翌週実施される小テストへの準備も兼ねて講義毎の復習を30分～1時間程度行うこと。講義内容で理解できない部分は担当教員に質問をしてください。

その他

参考資料	サイエンスビュー生物総合資料 実教出版 他
受講生への要望等	復習により講義内容の理解を万全の物とすること。内容の理解に困難を覚える場合は休憩時間、放課後等に担当教員に質問し、定期試験までに解らない点を必ず解消すること。
授業の質問対応、連絡先	講義担当者メールアドレス：okamura@cc.osaka-dent.ac.jpへのメール、あるいは授業用SNS「melly」への投稿。 樟葉学舎1号館5階、生物学教室まで直接訪問も可（ただし上記メール・SNSにて事前にアポイントを取って下さい）

造形美術学概論

更新日：2024/08/18 09:29:24

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	102080	授業コード	1K101
担当教員	井上 よう子						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10208		1◎ E1○	画家・芸術修士

授業概要

歯科医療にとって、咀嚼、発音および嚥下などの口腔機能だけでなく審美性の改善は主要な目的の一つである。したがって、口腔内装置の製作には造形美術の概念が重要であり、製作技法の基本となる。この科目では、造形美術の概念、対象の把握、形状と色彩およびそれらを統合した把握と表現を学習して、美的感覚を養成する。また、主に顔貌と歯を対象とした観察学習を行う。そして、単純な基本形態のスケッチやカービングの演習を通じて歯科技工士になるための基盤となる技能を養成する。

到達目標

1	基本形態の描き方を理解し応用しながら歯型のデッサンができる。
2	3次元的に形を認識して立体を作り出し、色の基本知識を元に彩色ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	2	6		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0		

授業計画

1	基本形態の捉え方、鉛筆デッサンでの描き方を学び、実際に描き起こす。 1 (講義) すべての形の基本となる、立方体・円柱・球のとらえ方、鉛筆デッサンの仕方を学ぶ。 2 (演習) 実際に、基本形態を鉛筆デッサンで描き起こす。応用として、次回の歯型模型デッサンの描き方に繋がる手指のデッサンをする。
2	基本形態のとらえ方描き方を応用し、歯型模型2種をデッサンで描き出す。 1 (演習) 歯の形を、基本形態の組合さった物としてとらえ、観察し、描き起こす。 2 (演習) 色の三属性の「明度」を考察し、立体感を描き出す。
3	色の三属性（明度・色相・彩度）を学び認識した上で、顔（頭）を立体描写（カービング）する。 1 (講義) 色の三属性等基本知識を学び、それを生かす造形について考える。 2 (演習) 顔（頭）の立体描写をする。まず骨格を考えて形を3次元的に捉え、3方向からスケッチする。その上に施す色についても同時に考察しながら、スケッチを元に形を作り出す。
4	色の三属性の知識を生かして彩色し、立体造形を完成させる。 1 (演習) 明度・彩度・色相を考えて、作りたい色を作り出す。 2 (演習) 人体の色と形を観察しながら彩色。顔（頭）の立体描写を完成させる。

成績評価の方法

1回の授業ごとの提出物（2コマ×4回の授業）

- 基本形態のデッサンと手指のデッサン。（形の把握の仕方が理解できているか）
- 歯型模型のデッサン2種。（明度と細かい凹凸を考慮できたか）
- 顔の立体描写ーカービング（骨格と、全方向からの形を考えて作れたか）
- 顔の描写への着彩（色の三属性を理解し、作りたい色を作れたか）

それぞれを評価した上での総合評価とする。（4課題の割合は各25%）

※課題に対するフィードバック方法...

授業内での指導に対し、提出時にそれが課題に反映されているかを確認し評価する。学生はそこからの評価を確認する事で、学生自身それで良かったのか、さらにすべき事があるのかを認識。

教科書

なし。基本形態の描き方や、色彩の三属性の基本・ポイントなど、適宜プリント配布。

授業外学修（予習・復習）

授業時間内で完成できなかったデッサンは、授業外時間で完成させてくる。
完成できた場合も、うまく描けなかった場合などは、授業外で再度描いてくる。
基本形・顔・歯の観察を、日々の生活の中でも行う。（1日1時間以上）

その他

参考資料	「歯科技工士教本 造形美術概論」 医歯薬出版
受講生への要望等	*授業は2コマ×4回なので、時間の足りない分は補うようにして（課題以外にもデッサン・クロッキーを重ねるなど）習得した事を深め身に付ける努力を。 *準備物を忘れずに。スケッチブックは毎回必要。3回目、4回目は、鏡（顔が映る大きさ）と購入済みの紙粘土・ペーパーパレットも忘れずに持参して下さい。
授業の質問対応、連絡先	授業内に質問は対応するが、授業時間外に質問や連絡事項がある場合は、下記へメール。 blue.yoko.ocean@gmail.com

情報科学 I

更新日：2024/11/19 13:45:30

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	103010	授業コード	10106
担当教員	山本 景一, 柿本 和俊, 石塚 文晴, 岡本 雅子						
備考	ICTを活用した双方向型授業, アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10301	1○ 2◎ H1○	E1◎ E2○	

授業概要

コンピュータを利用したシステム構築の基礎を学修する科目である。コンピュータ、ソフトウェアの基礎理論、プログラミングやアルゴリズムの基礎、および表計算ソフトの演習を行う。テクノロジー系科目である。

到達目標

1	歯科医療従事者にとっての情報システムの重要性を説明できる。
2	情報科学に関する基礎理論を説明できる。
3	コンピュータシステムやITを理解し活用できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6	2	0	0
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0	0	0

授業計画

1	【対面講義】歯科医療における情報システムの重要性（柿本和俊） ・歯科医療のデジタル化 ・歯科医療における情報システムの活用 ・歯科衛生士/歯科技工士と医療DX"
2	【対面講義】コンピュータ基礎1（石塚文晴） <基礎理論> ・2進数・バイト・ビットの特徴 デジタル AI技術などの基本的な考え方
3	【対面講義】コンピュータ基礎2（石塚文晴） <コンピュータ・システムの構成> ・コンピュータの構成（メモリ、プロセッサ、記憶媒体、他） ・システムの構成（クライアント、サーバ、WEB、システム評価、他）
4	【対面講義】情報デザイン・情報メディア（石塚文晴） ・音声/静止画/動画（JPEG,MPEG,AR,VR）などの表現の基本的な仕組み ・GUI/メニュー/WEBなどのインターフェース設計 ・情報デザインの基本的な考え方
5	【対面講義】アルゴリズムとプログラミング（石塚文晴） ・アルゴリズムとデータ構造/流れ図 ・プログラミングの役割 ・HTMLやXML等のデータ記述言語の役割と使い方（演習）
6	【対面講義】ソフトウェア（石塚文晴） ・OS ・ファイル管理の考え方 ・オフィスツールなどのソフトウェアパッケージの基本的な機能と利用法 ・バックアップの基本的な考え方 ・オープンソースソフトウェア（OSS）の基本的な考え方
7	【対面演習】EXCEL演習1（岡本雅子） 表計算ソフトの基本的な使い方
8	【対面演習】EXCEL演習2（岡本雅子） データ可視化と基本的な分析

成績評価の方法

以下の通り評価する

- ・小レポート...40%
- ・定期試験.....60%

レポートは評価を付けて返却、試験は科目試験評価後に科目mellyのタイムラインに要点と講評を掲載する。

教科書

授業中の配布資料

授業外学修（予習・復習）

予習（1時間）：関連するキーワードについて調べ予備知識としてまとめておく。

復習（1時間）：復習問題に取り組み、授業内容に関する理解を深める。

その他

参考資料	「よくわかるマスター ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集」、富士通ラーニングメディア、FOM出版、ISBN：978-4-86775-070-4
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none">・毎授業、ノートPCを持参すること。・前日には充電と、タイミングによってはWindowsアップデートなどを済ませておくこと。・受講態度が著しく悪く、講師の注意にも改善がみられない場合、退室や受講不可など、必要に応じた厳正な対応を行います。上記受講態度には私語、携帯電話使用、授業に無関係なインターネット閲覧、他の受講生への迷惑行為などが含まれます。・課題作成のために自習が必要な場合があります。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」を利用。

情報科学 II

更新日：2024/11/19 13:45:52

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	103020	授業コード	10201
担当教員	山本 景一, 石塚 丈晴, 岡本 雅子						
備考	ICTを活用した双方向型授業, アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10302	1◎ 4○ H1○	E1◎ E2○	

授業概要

コンピュータを利用したシステム構築の基礎を学修する科目である。データベースの利用、ネットワークのセキュリティの基礎を修得する。テクノロジー系科目である。

到達目標

1	ネットワークの原理を説明できる。
2	情報セキュリティを説明できる。
3	コンピュータシステムやITを安全かつ効率的に利用・活用できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6	2		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【対面講義】データベース基礎（岡本雅子） ・データベース及びデータベース管理ソフト（DBMS）の意義・目的・考え方 ・データの分析・データベース設計・データモデルの考え方
2	【対面講義】データベース実装技術（岡本雅子） 同時実行制御・トランザクション処理・障害回復の基本的な考え方
3	【対面演習】データベース演習1（岡本雅子） Excelによるデータ操作演習1
4	【対面演習】データベース演習2（岡本雅子） Excelによるデータ操作演習2
5	【対面講義】ネットワークの種類と構成（石塚丈晴） ・インターネットの特徴と基本的な仕組み ・電子メールやインターネットサービスの特徴 ・通信プロトコルの必要性 ・ネットワークにおけるLANやWANの種類と構成
6	【対面講義】ネットワーク実装技術（石塚丈晴） ・インターネットやLANの接続装置の役割 ・IPアドレス（IPv6、V4）の考え方 ・移動体通信の規格 ・通信サービスの種類と特徴・課金・伝送速度、等
7	【対面講義】情報セキュリティの考え方（石塚丈晴） ・ネットワーク社会における安全な活動の観点から情報セキュリティの基本的な考え方（脅威と脆弱性） ・情報セキュリティポリシーの考え方
8	【対面講義】セキュリティ実装技術（石塚丈晴） ・マルウェア（コンピュータウイルス、スパイウェア、ランサムウェアなど） ・様々な攻撃手法（フィッシング、標的型攻撃、サイバー攻撃など） ・公開鍵基盤（PKI）などの暗号技術の仕組みと特徴、等

成績評価の方法

以下の通り評価する

- 小レポート...40%
- 定期試験.....60%

レポートは評価を付けて返却、試験は科目試験評価後に科目mellyのタイムラインに要点と講評を掲載する。

教科書

授業中の配布資料

授業外学修（予習・復習）

予習（1時間）：関連するキーワードについて調べ予備知識としてまとめておく。

復習（1時間）：復習問題に取り組み、授業内容に関する理解を深める。

その他

参考資料	「よくわかるマスター ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集」、富士通ラーニングメディア、FOM出版、ISBN：978-4-86775-070-4
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none">・毎授業、ノートPCを持参すること。・前日には充電と、タイミングによってはWindowsアップデートなどを済ませておくこと。・受講態度が著しく悪く、講師の注意にも改善がみられない場合、退室や受講不可など、必要に応じた厳正な対処を行います。上記受講態度には私語、携帯電話使用、授業に無関係なインターネット閲覧、他の受講生への迷惑行為などが含まれます。・課題作成のために自習が必要な場合があります。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」を利用。

情報マネジメント学

更新日：2024/12/04 11:28:10

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	103030	授業コード	1K204
担当教員	山本 景一, 中野田 紳一, 岡本 雅子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	—	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
103030		1◎ 2○	

授業概要

ITを利用したマネジメントを学修する科目である。ITプロジェクトをする際に必要な品質や予算、品質管理等を考慮したマネジメントを学修して、プロジェクトの管理やリスクの防止を実現し、信頼性と経済性を高める能力を養成する。マネジメント系科目である。

到達目標

1	歯科技工士が情報科学を学ぶ意義について理解する。
2	顧客のニーズに合致した適切なITサービスを提供するマネジメント活動について理解する。
3	ITサービスの用の維持管理ならびに継続的改善を行っていくための仕組みを理解する。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8	0	0	0
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0	0	0

授業計画

1	【対面講義】歯科技工士が情報科学を学ぶ意義について（中野田紳一） ・歯科技工士が情報科学を学ぶ意義
2	【対面講義】システム開発技術 1 ・システム開発技術 ・要件定義 ・システム設計
3	【対面講義】システム開発技術 2 ・プログラミング ・テストとソフトウェアの受け入れ ・運用プロセスと保守プロセス
4	【対面講義】ソフトウェア開発管理技術 ・ソフトウェアの開発モデル
5	【対面講義】ソフトウェア開発管理技術 ・ソフトウェアの開発モデル
6	【対面講義】プロジェクトマネジメント ・プロジェクトマネジメント ・人的マネジメント ・タイムマネジメント ・コミュニケーションマネジメント ・リスクマネジメント
7	【対面講義】サービスマネジメント ・サービスマネジメント ・サービスの設計/移行 ・サービスマネジメントプロセス ・サービスの運用 ・アシリティマネジメント
8	【対面講義】システム監査 ・システム監査 ・内部統制

成績評価の方法

- ・授業内課題（テスト・レポート）...50%
- ・定期試験.....50%

レポートは評価を付けて返却、試験は科目試験評価後にA-portalの科目のタイムラインに要点と講評を掲載する。

教科書

「よくわかるマスター ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集」富士通ラーニングメディア / FOM出版

ISBN：978-4-86775-070-4

その他必要に応じて、授業内で資料を配布。

授業外学修（予習・復習）

予習（約30分）シラバスを確認し該当箇所のテキストを確認しておくこと。

興味のあるワードをインターネットなどで検索して調べておくこと

復習（約30分）授業後は、授業内で教示した内容について復習を行うこと。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none">・毎授業、ノートPCを持参すること。・前日には充電と、タイミングによってはWindowsアップデートなどを済ませておくこと。・受講態度が著しく悪く、講師の注意にも改善がみられない場合、退室や受講不可など、必要に応じた厳正な対処を行います。・上記受講態度には私語、携帯電話使用、授業に無関係なインターネット閲覧、他の受講生への迷惑行為などが含まれます。・課題作成のために自習が必要な場合があります。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」で質問してください。

英語

更新日：2025/01/22 15:58:05

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	104010	授業コード	10301
担当教員	藤田 淳一, 岡 隼人						
備考	ICTを活用した双方向型授業, アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10401	1○ 5◎	1○ 5◎	

授業概要

身近なものについて「比較」、「順序」、「分類」など様々な表現方法を用いて英語でエッセイを書いたり、プレゼンテーションをする授業となっています。もう一方のテキストでは、歯科衛生士のよく遭遇する場面を想定して英語で数行のセリフを即座に言える練習をします。時にはスマートフォンで自分の歯科衛生士役としての会話を撮影して提出してもらいます。提出してもらった動画をこちらでチェックして各個別チャット欄にフィードバックを送ります。より会話の精度を上げてもらい、最終的に仕上げの対面授業として、チェアを用いた実習で外国人患者役と歯科衛生士役に分かれて、ロールプレイングでの練習を行います。

到達目標

1	英語でできる力を身に付ける。
2	外国人患者への対応に必要な英語を身につけることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	16			

授業計画

1	【遠隔講義】 Lesson 1 How Mr. Mutti Spends His Holidays
2	【遠隔講義】 Lesson 2 The Causes of Poor Health
3	【遠隔講義】 Lesson 3 ABC University Is Popular
4	【遠隔講義】 Lesson 4 The Effects of Poor Tooth Brushing
5	【遠隔講義】 Lesson 5 The Advantages and Disadvantages of Face Masks
6	【遠隔講義】 Lesson 6 The Advantages and Disadvantages of Ear Phones
7	【遠隔講義】 Lesson 7 The Advantages and Disadvantages of Backpack
8	【遠隔講義】 Lesson 8 Two Sisters
9	【遠隔講義】 Lesson 9 Tablets (E-books) and Paper Books
10	【遠隔講義】 Lesson10 Movie Theaters and Streaming Service
11	【遠隔講義】 Lesson 11 How to Make Instant Ramen
12	【遠隔講義】 Lesson 12 How to Go to Bishamon Books
13	【遠隔講義】 Lesson 13 How to Improve Your English
14	【遠隔講義】 Lesson 14 Ways to Cook Eggs
15	【遠隔講義】 Lesson 15 Types of Pasta Sauce
16	【遠隔講義】 Lesson 16 総まとめ

成績評価の方法

考査得点.....70%（口頭試問をする場合もある）
出席課題など...30%
任意課題を提出すればその質と量に応じて加点する。

Examination

（中間試験）

第8回目の講義完了後に、1回目から8回目までの内容の試験を実施

（期末試験）

第16回目の講義完了後に、9回目から16回目までの内容の試験を実施

フィードバックは文面でMellyを通じて送る。

補習が必要な場合は個別に対応する。

教科書

Talking About! / 藤田 淳一 他著 毘沙門書院

チェアサイドで身に付く歯科英語 / 岡 隼人 他著 毘沙門書院

授業外学修（予習・復習）

テキスト中の動画を見て予習と復習を行うこと。これを毎回30分程度行うこと。

その他

参考資料	
受講生への要望等	任意動画の積極的な提出を期待する。
授業の質問対応、連絡先	基本的にMellyに個別連絡を使うこと。 oka-h@cc.osaka-dent.ac.jp

英語コミュニケーション

更新日：2024/09/20 15:33:59

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	104030	授業コード	20101
担当教員	藤田 淳一, 岡 隼人						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10403	1○ 5◎	1○ 5◎	

授業概要

テキストを用いて英会話を構成するクエスチョン&アンサーを学びます。また様々な場面を想定して、それに沿って様々な会話のテーマを用意しています。時にはスマートフォンで自分の会話を撮影して提出してもらいます。その提出してもらった動画をこちらでチェックして各個別チャット欄にフィードバックを送ります。それでより会話の精度を上げてもらい、最終的に仕上げの対面授業として、クエスチョン&アンサーのインタビュー形式の試験を行います。また、外国人に日本のことを分かりやすく英語で説明する方法を身に付けます。

到達目標

1	英語で質問と受け答えができる。
2	物事を外国人に英語で分かりやすく簡潔に説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	8			

授業計画

1	【遠隔講義】 Lesson 1 Talking about Music What's "Jingisukan"!?
2	【遠隔講義】 Lesson 2 Talking about Sports What's Wanko Soba!?
3	【遠隔講義】 Lesson 3 Talking about Cafes What's Shinmai!?
4	【遠隔講義】 Lesson 4 Talking about Time What's Natto?
5	【遠隔講義】 Lesson 5 Talking about Ramen What's Tendon!?
6	【遠隔講義】 Lesson 6 Talking about Convenience Stores What's Shumai?
7	【遠隔講義】 Lesson 7 Talking about Your House and Neighborhood What's Wasabi!?
8	【遠隔講義】 Lesson 8 Talking about School What's "Morning"!?

成績評価の方法

考查得点70%（口頭試問を行う場合もある）
出席課題など30%
任意課題の質と量に応じて加点も行う。

第8回目の講義完了後に期末試験を実施する（1回目から8回目の内容）

フィードバックは文面でMellyを通じて送る。
補習が必要な場合は個別で対応する。

教科書

岡隼人、藤田 淳一 他 『Talking About! 英会話ネタ帳』（第3版） 毘沙門書院 2025

授業外学修（予習・復習）

テキストのQRコードで動画見て30分程度の予習及び復習をすること。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	任意課題をなるべく出すこと。
授業の質問対応、連絡先	出校日以外はメールかMellyの質問欄にて対応。 fujita-j@cc.osaka-dent.ac.jp oka-h@cc.osaka-dent.ac.jp

歯学英语

更新日：2024/09/20 15:35:26

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	104040	授業コード	20201
担当教員	藤田 淳一, 岡 隼人						
備考	ICTを活用した双方向型授業, アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10404	1◎ 5○	1◎ 5○	

授業概要

テキストを用いて基本的な歯科医学英語とフレーズをクイックレスポンスなどを通して「耳」で学びます。また一番重要と思われる「医療面接」を様々な状況を想定して実践的に学びます。時にはスマートフォンで自分の歯科衛生士役としての会話を撮影して提出してもらいます。提出してもらった動画をこちらでチェックして各個別チャット欄にフィードバックを送ります。より会話の精度を上げてもらい、最終的に仕上げの対面授業として、チェアを用いた実習で外国人患者役と歯科衛生士役に分かれて、ロールプレイングでの練習を行います。

到達目標

1	歯科医学英語について理解できる。
---	------------------

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【遠隔講義】 Lesson 1 Reception (受付)
2	【遠隔講義】 Lesson 2 Calling and Guiding (呼び出しと案内)
3	【遠隔講義】 Lesson 3 Medical Interview (医療面接—症状・治療に必要な情報編)
4	【遠隔講義】 Lesson 4 Oral Care Interview (医療面接—口腔ケア編)
5	【遠隔講義】 Lesson 5 Basic Procedures (基本動作)
6	【遠隔講義】 Lesson 6 Peridontal Probing (歯周病検査)
7	【遠隔講義】 Lesson 7 Scaling (歯石除去)
8	【遠隔講義】 Lesson 8 Brushing Instructions (歯磨き指導・染め出し)

成績評価の方法

期末試験70%、提出課題など30%（口頭試問をする可能性あり。）

任意課題の質と量に応じて加点を行う。

第8回目の講義完了後に期末試験を実施（1回目から8回目の内容）

フィードバックは文面でMellyを通じて送る。

補習が必要な場合は個別で対応する。

教科書

歯科衛生士英語ワークブック 山本 一世 他著 永未書店

授業外学修（予習・復習）

授業前と後に動画を視聴（約30分）

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	任意課題をなるべく提出すること。

授業の質問対応、連絡先

質問はMellyの質問欄で受け付けます。

解剖組織学

更新日：2024/08/30 11:15:18

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	205010	授業コード	10302
担当教員	戸田 伊紀, 上村 守, 吉川 雅明						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20501	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

人体解剖学は医学・歯学の基礎となる学問で、ヒトの身体の構造を学ぶ。解剖学には臨床現場と同じようなヒトの身体を対象とする「解剖学」と、より細かな構造を対象とする「組織学」とがある。歯科領域で重要な口腔を含む顎顔面部は、全身の一部であり、全身と深く関わりをもっている。歯科領域に現れる疾患の多くも同様に全身状態と関わっている。解剖組織学においては、解剖学と組織学の両者について学修し、顎顔面部を主体にヒトの「からだ」の構造について理解する。

到達目標

1	頭部の骨について説明できる。
2	頭頸部の筋について説明できる。
3	口腔の構造と機能が説明できる。
4	消化器および呼吸器について説明できる。
5	内臓について説明できる。
6	頭頸部の脈管について説明できる。
7	頭部の神経について説明できる。
8	四大組織について説明できる。
9	頭部の発生について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	16		2	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】人体解剖学総論・組織学 1 人体解剖学総論 1) 身体の位置用語と方向用語について説明する。 2 組織学 1) 四大組織について説明する。
2	【講義】人体発生学 1 人体発生学 1) 三胚葉について説明する。 2) 頭部の発生について説明する。
3	【講義】頭部の骨 1 骨の総論 1) 骨の分類、構造、連結について説明する。 2 頭部の骨 1) 頭蓋について説明する。
4	【講義】脳頭蓋 1 脳頭蓋 1) 脳頭蓋の構成について説明する。 2) 蝶形骨について説明する。 3) 側頭骨について説明する。
5	【講義】顔面頭蓋 1 顔面頭蓋 1) 顔面頭蓋の構成について説明する。 2) 上顎骨について説明する。 3) 下顎骨について説明する。
6	【講義】頭蓋底 1 頭蓋底 1) 内頭蓋底について説明する。 2) 外頭蓋底について説明する。

7	<p>【講義】頭頸部の筋（その1）</p> <p>1 筋の総論</p> <p>1) 筋の一般性状、分類について説明する。</p> <p>2 頭部の筋</p> <p>1) 表情筋について説明する。</p>
8	<p>【講義】頭頸部の筋（その2）</p> <p>1 頭頸部の筋</p> <p>1) 咀嚼筋について説明する。</p> <p>2) 前頭筋について説明する。</p>
9	<p>【講義】口腔（その1）</p> <p>1 口腔</p> <p>1) 口腔粘膜について説明する。</p> <p>2) 口唇、頬について説明する。</p> <p>3) 口蓋について説明する。</p> <p>4) 口底について説明する。</p> <p>5) 舌について説明する。</p>
10	<p>【講義】口腔（その2）・咽頭</p> <p>1 唾液腺</p> <p>1) 唾液腺について説明する。</p> <p>2 口峡</p> <p>1) 口峡について説明する。</p> <p>3 咽頭</p> <p>1) 咽頭について説明する。</p>
11	<p>【講義】消化器、呼吸器</p> <p>1 消化器</p> <p>1) 消化管について説明する。</p> <p>2) 肝臓、膵臓について説明する。</p> <p>2 呼吸器</p> <p>1) 気道について説明する。</p> <p>2) 肺について説明する。</p>
12	<p>【講義】内蔵</p> <p>1 泌尿・生殖器</p> <p>1) 泌尿器・生殖器について説明する。</p> <p>2 内分泌腺</p> <p>1) 内分泌腺について説明する。</p> <p>3 感覚器</p> <p>1) 感覚器について説明する。</p>
13	<p>【講義】脈管</p> <p>1 脈管の総論</p> <p>1) 動脈、静脈、リンパ系について説明する。</p> <p>2) 心臓について説明する。</p>
14	<p>【講義】頭頸部の脈管</p> <p>1 頭頸部の脈管</p> <p>1) 頭頸部の動脈について説明する。</p> <p>2) 頭頸部の静脈について説明する。</p> <p>3) 頭頸部のリンパ系について説明する。</p>
15	<p>【講義】神経</p> <p>1 神経の総論</p> <p>1) 神経について概説する。</p> <p>2) 中枢神経について説明する。</p> <p>3) 自律神経について説明する。</p>
16	<p>【講義】頭部の神経</p> <p>1 脳神経</p> <p>1) 脳神経について説明する。</p>
17	<p>【実習】骨学実習</p> <p>1 骨学実習 [楠葉学舎第1実習室で行う]</p> <p>1) 頭蓋標本を用いて頭蓋各部を観察し理解する。レポートを作成する。</p>
18	<p>【実習】骨学実習</p> <p>1 骨学実習 [楠葉学舎第1実習室で行う]</p> <p>1) 頭蓋標本を用いて頭蓋各部を観察し理解する。レポートを作成する。</p>

成績評価の方法

- ・小テスト.....10%
- ・科目試験.....70%
- ・骨学レポート...20%

授業中に数回小テストを実施する。
小テストの解説は随時講義で行う。
レポートについては返却時にコメントする。

教科書

学生のための解剖・組織・発生学 第3版 諏訪文彦他著 医歯薬出版 ISBN978-4-263-42310-3
ページを提示し、図表などを参照しながら講義を進める。

授業外学修（予習・復習）

【予習】授業計画のタイトルに関する教科書のページを読む。（目安時間：約20分）

【復習】授業ノートの読み返しを行う。（目安時間：約30分）

その他

参考資料	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版 最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学 医歯薬出版 分担解剖学：1、2、3巻 金原出版 解剖学カラーアトラス 医学書院
受講生への要望等	講義中の私語は慎むこと。 骨学実習は、楠葉学舎実習室にて実施しますが、スマートフォンや携帯電話などの持込を不可とします。
授業の質問対応、連絡先	授業内容に関する質問は、「melly」でお願いします。なお、講義終了時に対応します。

口腔組織・発生学

更新日：2024/10/06 12:36:10

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	205020	授業コード	10202
担当教員	中塚 美智子						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20502	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

正常な歯系組織の微細構造について理解するため、口腔組織・発生学を学ぶ。また、ヒトの歯や歯周組織の構造、発生過程などについても学修する。さらに、近年歯の再生、インプラントを中心として歯科界では様々な研究が進んでおり、治療の幅が拡大しつつあることから、これら最新の研究および治療にも対応することができる人材になることを目指す。

対面講義ですが、場合によってオンデマンド講義を実施します。

講義終了後毎回その講義内容を振り返ったもの、また質問などを入力して提出します(ICT;授業用SNS「Melly」活用)。

到達目標

1	口腔内の正常な歯系組織の微細構造について、組織像を用いて説明できる。
2	歯および歯周組織の発生について、組織像を用いて説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	12	2		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】歯の組織概説、エナメル質の性質 歯の組織について概説する。 エナメル質の性質について説明する。
2	【講義】エナメル質の構造、機能 エナメル質の組織構造および機能について説明する。
3	【講義】象牙質の構造および特徴、機能 象牙質の性質、機能、組織構造について説明する。
4	【講義】歯髄の構造および特徴、機能 歯髄の性質、機能、組織構造について説明する。
5	【講義】セメント質の構造および特徴、機能 セメント質の性質、機能、組織構造について説明する。
6	【講義】歯槽骨の構造および特徴、機能 歯槽骨の性質、機能、組織構造について説明する。
7	【講義】歯根膜の構造および特徴、機能 歯根膜の性質、機能、組織構造について説明する。
8	【講義】口腔粘膜の構造および特徴、機能 口腔粘膜の性質、機能、組織構造について説明する。
9	【講義】歯肉の構造および特徴、機能 歯肉の性質、機能、組織構造について説明する。
10	【講義】口腔軟組織の構造および特徴、機能 口腔軟組織の性質、機能、組織構造について説明する。
11	【講義】歯の発生 歯の発生について順序だてて説明する。
12	【講義】口腔内諸組織の発生 歯および口腔内諸組織の発生について順序だてて説明する。
13	【演習】顎関節の構造、歯の微細構造観察実習 顎関節の構造について説明する。 顎関節の発生について説明する。 歯周組織、口腔内諸組織の構造及び名称について、標本画像を用いて説明する。
14	【演習】歯系組織の微細構造観察実習 歯周組織、口腔内諸組織の構造及び名称について、標本画像を用いて説明する。

成績評価の方法

- ・科目試験.....70%
- ・振り返り（講義の復習）...20%
- ・課題（スケッチ）.....10%

上記で総合的に評価し、100点満点で60点以上を合格とします。

スケッチに関しては説明を行います。

小テストの解説は必要時に講義で行い、提出物については返却時に全体にコメントします。

なお、受講態度、提出物等本講義に関することについて合計3回注意を受けた場合は、原則評価を行いません。

教科書

（口腔保健学科）歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（医歯薬出版）2022年、ISBN978-4-263-42605-0
 （口腔工学科）最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学（医歯薬出版）2023年、ISBN978-4-263-43161-0 C3347

授業外学修（予習・復習）

【予習】シラバスで今回の講義の内容を確認し、教科書の該当箇所を読んで予習しておきましょう

（目安時間：約20分）。

【復習】毎講義後に、講義内容を忘れないよう各自定められた様式で振り返りを行い、指定のGoogle Formsにて提出してもらいます

（ICT、目安時間：約30分）。

・組織像に関するスケッチ課題を行い、提出してもらいます。

*上記について、1回でも期限内に提出できなかったものがあるときは、いかなる理由があっても課題未提出とします。

*提出、またその内容に疑義等がある場合、成績評価の方法に記載した通りの対応を行います。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	各自振り返りを通して、特に復習に力を入れてください。 講義の撮影および録音は厳禁です。 電子機器等の使用については教員の指示に従ってください。 わからないことがあればその講義終了直後に質問し、疑問点を解決しておきましょう。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は下記の通り行います。 ＜対面講義実施時＞ ・授業用SNS（Melly）で予約後、対面で実施 平日8:45-18:30にMellyで連絡し、日時を決定したうえで医療保健学部1号館1214研究室に入室、対面で実施 ＜オンデマンド講義実施時（対面講義が実施できない時）＞ ・振り返り（講義の復習）に記入 ・授業用SNS「Melly」で平日8:45-18:30に送信

口腔解剖学

更新日：2024/10/06 12:33:06

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	205030	授業コード	10107
担当教員	中塚 美智子						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20503	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

ヒトの乳歯・永久歯の解剖学的名称、一般的な形態ならびにその特徴、異常形態や咬合の基礎について理解するために、口腔解剖学を学ぶ。また患者さんの手術に伴う入院中の口腔ケアや、話したり飲み込んだりする機能を回復するために使用する装置の製作など、医療現場で歯科衛生士ならびに歯科技工士が重要な役割を果たす機会が多くなっていることから、歯列の発育・成長、加齢変化などについても学習する。

対面講義ですが、場合により対面講義およびオンデマンド講義を実施します。

講義終了後毎回その講義内容を振り返ったもの、また質問などを入力して提出します(ICT;授業用SNS「Melly」活用)。

到達目標

1	ヒトの乳歯・永久歯の解剖学的名称、一般的な形態ならびにその特徴について説明できる。
2	歯の鑑別について説明できる。
3	歯列弓形態について説明できる。
4	咬合の基礎について説明できる。
5	歯および歯列弓の異常形態について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接講義】歯の定義、歯式 歯の種類、数、機能などについて説明する。 歯の構造について説明する。 方向用語について説明する。 歯の記号について説明する。
2	【面接講義】歯の外形、方向用語 歯冠ならびに歯根、歯髄腔各部の名称について説明する。 各歯種の概略について説明する。 左右の鑑別に用いられる、歯に共通する特徴について説明する。
3	【面接講義】上顎切歯の形態 上顎中切歯、側切歯の形態的特徴について説明する。
4	【面接講義】下顎切歯の形態 下顎中切歯、側切歯の形態的特徴について説明する。
5	【面接講義】上下顎犬歯の形態 上下顎犬歯の形態的特徴について説明する。
6	【面接講義】上顎小白歯の形態 上顎小白歯の形態的特徴について説明する。
7	【面接講義】下顎小白歯の形態 下顎小白歯の形態的特徴について説明する。
8	【面接講義】上顎大白歯の形態 上顎大白歯の形態的特徴について説明する。 上顎大白歯の形態推移について説明する。
9	【面接講義】下顎大白歯の形態 下顎大白歯の形態的特徴について説明する。 下顎大白歯の形態推移について説明する。
10	【面接講義】乳歯と永久歯の形態の違い 乳歯と永久歯の形態的差異について説明する。
11	【面接講義】乳歯の形態的特徴 各乳歯の形態的特徴について説明する。

12	【面接講義】歯の異常、歯の加齢変化 歯の異常について説明する。 歯の加齢変化について説明する。
13	【面接講義】歯列弓の正常および異常形態 歯列弓の正常および異常形態について説明する。 歯列弓の発育および成長について説明する。
14	【面接講義】咬合 咬合の種類について説明する。 咬合、歯の萌出について説明する。
15	【面接講義】総まとめ 口腔解剖学で学んだ知識を用いて、歯の形態や機能について説明する。

成績評価の方法

科目試験70%、振り返り（講義の復習）20%、ならびに課題（スケッチ）10%で評価し、100点満点で60点以上を合格とします。
スケッチに関しては説明を行います。提出物については返却時に全体にコメントします。
なお、受講態度、提出物等本講義に関することについて合計3回注意を受けた場合は、原則評価を行いません。

教科書

（口腔保健学科）歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
（医歯薬出版）2022年、ISBN978-4-263-42605-0
（口腔工学科）最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学
（医歯薬出版）2023年、ISBN978-4-263-43161-0 C3347

授業外学修（予習・復習）

【予習】シラバスで次の講義の内容を確認し、教科書の該当箇所を読んで予習しておきましょう（目安時間：約20分）。
【復習】毎講義後に、講義内容を忘れないよう各自定められた様式で振り返りを行い、指定のGoogle Formsにて提出してもらいます（ICT、目安時間：約30分）。
・夏休みにスケッチ課題を行い、提出してもらいます。
*上記について、1回でも期限内に提出できなかったものがあるときは、いかなる理由があっても課題未提出とします。
*提出、またその内容に疑義等がある場合、成績評価の方法に記載した通りの対応を行います。

その他

参考資料	歯の解剖学 第22版（金原出版）1997年、ISBN4-307-45007-8
受講生への要望等	各自振り返りを通して、特に復習に力を入れてください。 講義の撮影および録音は厳禁です。 電子機器等の使用については教員の指示に従ってください。 わからないことがあればその講義終了直後に質問し、疑問点を解決しておきましょう。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は下記の通り行います。 <対面講義実施時> ・授業用SNS（Melly）で予約し、対面で実施 平日8:45-18:30に予約したい旨連絡、日時を決め医療保健学部1号館1215研究室に研究室に来室、対面で実施 <オンデマンド講義実施時（対面講義が実施できない時）> ・振り返り（講義の復習）に記入 ・授業用SNS「Melly」で平日8:45-18:30に送信

生理学

更新日：2024/11/28 10:04:44

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	205040	授業コード	10108
担当教員	寒川 延子, 合田 征司, 井上 博						
備考	ICTを活用した双方向型授業、アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20504	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

生命を維持するための機能（植物性機能）として、呼吸、消化、排泄、循環や、それらを調節する内分泌や自律神経系の機能がある。また、外界の変化に素早く反応する機能（動物性機能）には、情報を入力するための感覚機能、筋収縮による運動機能、思考や記憶を行なう中枢神経機能がある。これらの機能を行なう諸器官の正常な構造および機能を講義・実習を通して学ぶ。

本授業では、パワーポイントおよび板書を用いた教育を行う。

また、タブレット端末などICT技術を活用した双方向型授業も適宜行う。

実習においては、循環および皮膚感覚に関して相互実習を行い、事後にレポートを提出する。

到達目標

1	生体のホメオスタシス維持について説明できる。
2	体液の分類およびその産生と機能について説明できる。
3	循環器系の機能と制御機構について説明できる。
4	呼吸器系の機能と制御機構について説明できる。
5	消化器系の機能と制御機構について説明できる。
6	泌尿器系の機能と制御機構について説明できる。
7	内分泌系と生殖器系の作用機序と生体制御機構について説明できる。
8	神経系の機能と制御機構について説明できる。
9	感覚器系の機能と制御機構について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	12		3	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	<p>【面接講義】：生理学の意義・細胞・体液（教科書 p2～p18）</p> <p>1 生理学の意義</p> <p>1) 生理学を学ぶ意義と生命現象の特徴について概説する。</p> <p>2) ホメオスタシス（生体恒常性）について説明する。</p> <p>2 細胞</p> <p>1) 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能について説明する。</p> <p>2) 細胞の基本的な機能（受動輸送、能動輸送ならびに興奮および電気現象）について説明する。</p> <p>3 体液</p> <p>1) 体液の組成について概説する。</p> <p>2) 血液の組成について説明する。</p> <p>3) 血球の種類と機能について説明する。</p> <p>4) 血液凝固の機序について説明する。</p> <p>5) 血液型（ABO式、Rh式）の分類方法について説明する。</p> <p>6) リンパ液および脳脊髄液の機能について説明する。</p>
2	<p>【面接講義】：体液の循環（教科書 p20～p28）</p> <p>1 体液の循環</p> <p>1) 血液循環について説明する。</p> <p>2) 心筋の特性について説明する。</p> <p>3) 心拍数、心拍出量、脈波、心音について説明する。</p> <p>4) 心臓の電気現象（心室筋細胞の活動電位、心電図の基本波形）について説明する。</p> <p>5) 血圧について説明する。</p> <p>6) 血液循環の調節機構について説明する。</p> <p>7) リンパ系の機能および循環について概説する。</p>

3	<p>【面接講義】：呼吸（教科書 p30～p34）</p> <p>1 呼吸</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 外呼吸と内呼吸について概説する。 2) 肺気量の内訳について説明する。 3) 胸式呼吸と腹式呼吸について説明する。 4) ガス交換の仕組みについて説明する。 5) 血液の酸素解離曲線について説明する。 6) 呼吸運動の調節機構について説明する。
4	<p>【面接講義】：消化および吸収（教科書 p36～p42）</p> <p>1 消化および吸収</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 消化の意義について概説する。 2) 消化管各部での消化運動および消化酵素とその働きについて説明する。 3) 消化運動と消化液の分泌機構について説明する。 4) 各栄養素の吸収過程について説明する。 5) 肝臓の機能について概説する。
5	<p>【面接講義】：尿の生成および排出・代謝（教科書 p44～p52）</p> <p>1 尿の生成および排出</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 腎ネフロンの構造と機能について説明する。 2) 尿の一般性状について説明する。 3) 尿の生成機序について説明する。 4) 体液平衡の機能調節について概説する。 5) 排尿機構について概説する。 <p>2 代謝</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 栄養素のエネルギー量について概説する。
6	<p>【面接講義】：体温（教科書 p54～p59）</p> <p>1 体温</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 体温の変動とその原因について説明する。 2) 体温の産生機構と放散の機序について説明する。 3) 汗腺の種類と発汗の機序について説明する。 4) 体温の恒常性維持機構について説明する。
7	<p>【面接講義】：内分泌（その1）（教科書 p60～p66）</p> <p>1 内分泌（その1）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 内分泌器官の構造と機能について説明する。 2) 各種ホルモンの調節作用について説明する。 3) 各種ホルモンの作用および機能異常について説明する。
8	<p>【面接講義】：内分泌（その2）・生殖（教科書 p66～p75）</p> <p>1 内分泌（その2）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 内分泌器官の構造と機能について説明する。 2) 各種ホルモンの調節作用について説明する。 3) 各種ホルモンの作用および機能異常について説明する。 <p>2 生殖</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 女性の性周期の変化と性ホルモンの関係について説明する。 2) 妊娠・分娩と性ホルモンの関係について説明する。
9	<p>【面接講義】：筋（教科書 p76～p82）</p> <p>1 筋</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 筋の種類について概説する。 2) 骨格筋収縮の種類とその過程について説明する。 3) 骨格筋の収縮の機序について説明する。 4) 筋電図について概説する。 5) 神経筋単位について説明する。 6) 筋の種類とその特性について説明する。
10	<p>【面接講義】：神経（その1）（教科書 p84～p90）</p> <p>1 神経（その1）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 神経線維の基本構造と分類について説明する。 2) 興奮伝導の原則について説明する。 3) シナプスにおける興奮伝達について説明する。 4) 神経伝達物質について説明する。 5) 神経系の分類について概説する。 6) 自律神経機構について説明する。
11	<p>【面接講義】：神経（その2）（教科書 p91～p96）</p> <p>1 神経（その2）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 脊髄反射について説明する。 2) 脳幹（中脳、橋、延髄）の機能について説明する。 3) 視床下部の機能について説明する。 4) 大脳の構造と機能について概説する。 5) 大脳皮質の構造と機能について概説する。
12	<p>【面接講義】：感覚（教科書 p98～p111）</p> <p>1 感覚</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 感覚の分類および内容について説明する。 2) 感覚の一般的特性について説明する。 3) 特殊感覚（味覚以外）について説明する。

13	<p>【実習】：生理学実習（その1）（循環および皮膚感覚に関する実習）</p> <p>1 循環</p> <p>1) 脈拍数の測定について相互実習を行う。</p> <p>2) 血圧の測定（触診法、聴診法）について相互実習を行う。</p> <p>2 皮膚感覚</p> <p>1) 皮膚表面における2点弁別閾を、身体各部位と顔面領域で相互実習にて計測する。</p>
14	<p>【実習】：生理学実習（その2）（循環および皮膚感覚に関する実習）</p> <p>1 循環</p> <p>1) 脈拍数の測定について相互実習を行う。</p> <p>2) 血圧の測定（触診法、聴診法）について相互実習を行う。</p> <p>2 皮膚感覚</p> <p>1) 皮膚表面における2点弁別閾を、身体各部位と顔面領域で相互実習にて計測する。</p>
15	<p>【実習】：生理学実習（その3）（循環および皮膚感覚に関する実習）</p> <p>1 循環</p> <p>1) 脈拍数の測定について相互実習を行う。</p> <p>2) 血圧の測定（触診法、聴診法）について相互実習を行う。</p> <p>2 皮膚感覚</p> <p>1) 皮膚表面における2点弁別閾を、身体各部位と顔面領域で相互実習にて計測する。</p>

成績評価の方法

単位試験および実習レポートにより総合的に評価する。

- ・単位試験.....90%
- ・実習レポート...10%

実習レポートについては返却時にコメントする。

教科書

（両学科共通）歯科衛生士テキスト・生理学 学建書院
教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。
講義資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

予定された講義については教科書の該当項目を読んで予習すること。
受講当日に受講内容を教科書・参考図書と照らし合わせて復習することにより、知識の整理をすること。
（各回の総時間目安は予習と復習共に1時間程度）

その他

参考資料	（両学科共通）歯科衛生士教本 人体の構造と機能 医歯薬出版
受講生への要望等	事前学習により各回の気になる項目を列挙し、講義中や事後学習で整理するようにして下さい。 定期試験、今後の臨床科目講義や歯科衛生士国家試験のためにしっかりとノート作りをして下さい。
授業の質問対応、連絡先	質疑対応はメール（inoue-hi@cc.osaka-dent.ac.jp, sogawa-n@cc.osaka-dent.ac.jp）にて行います。 また実習の前後など入室時にも対応します。

口腔生理学

更新日：2024/09/04 16:46:16

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	205050	授業コード	10109
担当教員	寒川 延子, 合田 征司, 井上 博						
備考	ICTを活用した双方向型授業、アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20505	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

食べること（咬む、咀嚼）、しゃべること、味わうこと、顔貌を形成すること、表情をつくることなどの機能を口腔が担う。口腔は脳を含めて全身機能に影響を及ぼす極めて重要な器官であり、口腔が正常か異常かというのは全身疾患との関係からも無視できない。口腔生理学は医科生理学の一分野であるとともに、口腔は器官生理学または臓器生理学という分類領域における一部門でもある。歯科医学では口腔諸器官のことをとくに咀嚼系器官と呼び、いわゆる消化器系から独立した立場をとっている。この咀嚼系器官の正常な構造と機能を講義・実習を通して学ぶ。

本授業では、パワーポイントおよび板書を用いた教育を行う。

タブレット端末などICT技術を活用した双方向型授業を適宜行う。

実習においては、咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関して行い、事後にレポートを提出する。

到達目標

1	歯および歯周組織の機能について説明できる。
2	下顎位と下顎運動の制御機構について説明できる。
3	咀嚼機能と下顎反射の神経機能について説明できる。
4	嚥下と嘔吐の特徴と機序について説明できる。
5	唾液および唾液腺の機能について説明できる。
6	味覚を含む口腔諸器官の感覚について説明できる。
7	発声・構音および言語の機能について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	12		3	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【対面講義】：歯および歯の歯周組織の生理（その1）（教科書 p112～p118） 1 歯および歯周組織の生理 1) 歯の硬組織の構造と物理化学的な性状について説明する。 2) 歯髄の構造と機能について説明する。 3) 歯周組織の構造について説明する。
2	【対面講義】：歯および歯の歯周組織の生理（その2）（教科書 p112～p118） 1 歯および歯周組織の生理 1) 歯の硬組織の構造と物理化学的な性状について説明する。 2) 歯髄の構造と機能について説明する。 3) 歯周組織の構造について説明する。
3	【対面講義】：咬合および顎運動（その1）（教科書 p120～p126） 1 咬合および顎運動 1) 各種下顎位について説明する。 2) 矢状面における切歯点の運動について説明する。 3) 水平面における切歯点の運動について概説する。
4	【対面講義】：咬合および顎運動（その2）（教科書 p120～p126） 1 咬合および顎運動 1) 各種下顎位について説明する。 2) 矢状面における切歯点の運動について説明する。 3) 水平面における切歯点の運動について概説する。

5	<p>【対面講義】：咀嚼および吸啜（その1）（教科書 p128～p135）</p> <p>1 咀嚼</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 咀嚼の意義と目的について概説する。 2) 咀嚼周期について説明する。 3) 咀嚼能率について説明する。 4) 咀嚼筋の構造と機能について説明する。 5) 下顎反射について説明する。 6) 咬合力と咀嚼力について説明する。 7) 口唇、舌の働きについて概説する。 <p>2 吸啜</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 吸啜反射について説明する。
6	<p>【対面講義】：咀嚼および吸啜（その2）（教科書 p128～p135）</p> <p>1 咀嚼</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 咀嚼の意義と目的について概説する。 2) 咀嚼周期について説明する。 3) 咀嚼能率について説明する。 4) 咀嚼筋の構造と機能について説明する。 5) 下顎反射について説明する。 6) 咬合力と咀嚼力について説明する。 7) 口唇、舌の働きについて概説する。 <p>2 吸啜</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 吸啜反射について説明する。
7	<p>【対面講義】：嚥下および嘔吐（その1）（教科書 p136～p139）</p> <p>1 嚥下</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 咽頭・喉頭の構造について説明する。 2) 嚥下反射について説明する。 3) 無歯顎者における嚥下について概説する。 4) 異常嚥下について概説する。 <p>2 嘔吐</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 嘔吐反射について説明する。
8	<p>【対面講義】：嚥下および嘔吐（その2）（教科書 p136～p139）</p> <p>1 嚥下</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 咽頭・喉頭の構造について説明する。 2) 嚥下反射について説明する。 3) 無歯顎者における嚥下について概説する。 4) 異常嚥下について概説する。 <p>2 嘔吐</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 嘔吐反射について説明する。
9	<p>【対面講義】：唾液腺および唾液（その1）（教科書 p140～p148）</p> <p>1 唾液腺および唾液</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 唾液腺の構造について説明する。 2) 唾液の生成機構について説明する。 3) 唾液分泌の神経機構について説明する。 4) 唾液の性状と組成について説明する。 5) 唾液の働きについて説明する。 6) 唾液と歯科臨床の関連性について説明する。
10	<p>【対面講義】：唾液腺および唾液（その2）（教科書 p140～p148）</p> <p>1 唾液腺および唾液</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 唾液腺の構造について説明する。 2) 唾液の生成機構について説明する。 3) 唾液分泌の神経機構について説明する。 4) 唾液の性状と組成について説明する。 5) 唾液の働きについて説明する。 6) 唾液と歯科臨床の関連性について説明する。
11	<p>【対面講義】：口腔感覚（教科書 p150～p157）</p> <p>1 口腔感覚</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 口腔粘膜の感覚点と感覚受容について説明する。 2) 歯根膜の感覚について説明する。 3) 咬合・歯の部位感覚の意義について説明する。 4) 口腔の深部感覚について概説する。 5) 口腔の痛覚の意義と特徴について説明する。

12	<p>【対面講義】：味覚・発声および発音（教科書 p157～p170）</p> <p>1 味覚</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 味覚受容器の構造と機能について説明する。 2) 基本味の特性について説明する。 3) 味覚閾値について説明する。 4) 味盲について説明する。 5) 味覚の神経機構について説明する。 <p>2 発声および発音</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 発声器官の構造について説明する。 2) 発声の機構について概説する。 3) 音声の性状について説明する。 4) 音声の種類について概説する。 5) 言語音の形成について説明する。 6) 感覚性および運動性の言語中枢について概説する。 7) 歯科臨床と発音障害について説明する。
13	<p>【実習】：口腔生理学実習（その1）（咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関する実習）</p> <p>1 咀嚼能率</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Manly らの方法にて咀嚼能率の測定を行う。 <p>2 歯の位置感覚</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯の位置感覚について相互実習を行う。 <p>3 咬合力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) それぞれの歯種の最大咬合力について、オクルーザルフォースメーター GM10を用いて相互実習を行う。 <p>4 味盲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 味盲試験（PTC溶液に対する感受性を測定）を行う。
14	<p>【実習】：口腔生理学実習（その2）（咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関する実習）</p> <p>1 咀嚼能率</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Manly らの方法にて咀嚼能率の測定を行う。 <p>2 歯の位置感覚</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯の位置感覚について相互実習を行う。 <p>3 咬合力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) それぞれの歯種の最大咬合力について、オクルーザルフォースメーター GM10を用いて相互実習を行う。 <p>4 味盲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 味盲試験（PTC溶液に対する感受性を測定）を行う。
15	<p>【実習】：口腔生理学実習（その3）（咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関する実習）</p> <p>1 咀嚼能率</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Manly らの方法にて咀嚼能率の測定を行う。 <p>2 歯の位置感覚</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯の位置感覚について相互実習を行う。 <p>3 咬合力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) それぞれの歯種の最大咬合力について、オクルーザルフォースメーター GM10を用いて相互実習を行う。 <p>4 味盲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 味盲試験（PTC溶液に対する感受性を測定）を行う。

成績評価の方法

単位試験および実習レポートにより総合的に評価する。

単位試験：90%

実習レポート：10%

実習レポートについては返却時にコメントする。

教科書

（両学科共通）歯科衛生士テキスト・生理学 学建書院
教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。
講義資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

予定された講義については教科書の該当項目を読んで予習すること。
受講当日に受講内容を教科書・参考図書と照らし合わせて復習することにより、知識の整理をすること。
（各回の総時間目安は予習と復習共に1時間程度）

その他

参考資料	（両学科共通）歯科衛生士教本 歯と口腔の構造と機能 医歯薬出版
受講生への要望等	事前学習により各回の気になる項目を列举し、講義中や事後学習で整理するようにして下さい。 定期試験、今後の臨床科目講義や歯科衛生士国家試験のためにしっかりとノート作りをして下さい。
授業の質問対応、連絡先	質疑対応はメール（inoue-hi@cc.osaka-dent.ac.jp, sogawa-n@cc.osaka-dent.ac.jp）にて行います。 また実習の前後など入室時にも対応します。

薬理学

更新日：2024/12/02 10:14:17

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	205100	授業コード	10203
担当教員	福田 伊津子						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20510	1◎ H1○	1◎ E1○	

授業概要

薬理学は、薬物を生体に与えた場合に生体が現す反応を研究する科学である。薬理学の背景には解剖学、生理学、生化学、微生物学、病理学などがあり、これらの科目を包括した総合的な専門基礎科目であり、その習得は重要である。本授業では、薬物の作用、薬物動態、薬物の取り扱い等の薬理学の基本的知識を修得する。また、各論として、末梢神経系、中枢神経系、循環器系、腎臓、呼吸器系、消化器系、血液に作用する薬物を理解する。

google classroomを利用した双方向型授業。

到達目標

1	薬物の作用、薬物動態、薬物の適用方法について説明できる。
2	薬物の作用に影響を与える要因、薬物の副作用、薬物の取り扱い、薬物と法律・薬物と医薬品について説明できる。
3	末梢神経系、中枢神経系に作用する薬物を説明できる。
4	循環器系に作用する薬物を説明できる。
5	消化器系に作用する薬物を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】薬物の作用 薬物とは、薬理学とは 薬物療法の種類 薬理作用の様式、基本形式、分類 用量反応関係と薬用量 薬理作用の機序 (予習)教科書I編1章を読む。(目安時間：約20分) (復習)薬物の作用についてまとめる。(目安時間：約30分)
2	【講義】薬物動態、薬物の適用方法の種類と特徴 薬物動態 適用方法の種類 生物学的利用能 (予習)教科書I編2、3章を読む。(目安時間：約20分) (復習)薬物動態、薬物の適用方法の種類と特徴についてまとめる。(目安時間：約30分)
3	【講義】薬物の作用に影響を与える要因、薬物の副作用、有害作用、医薬品を適用する際の注意 薬効に影響する因子・生体の感受性 薬物の連用、併用、相互作用 薬物の副作用、有害作用 医薬品を適用する際の注意 (予習)教科書I編4、5、6章を読む。(目安時間：約20分) (復習)薬物の作用に影響を与える要因、薬物の副作用、有害作用、医薬品を適用する際の注意についてまとめる。(目安時間：約30分)
4	【講義】薬物の取り扱い、薬物と法律・薬物と医薬品 薬物の取り扱い 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 日本薬局方 薬物の表示と保存、取縮法 (予習)教科書I編7、8章を読む。(目安時間：約20分) (復習)薬物の取り扱い、薬物と法律・薬物と医薬品についてまとめる。(目安時間：約30分)

5	<p>【講義】末梢神経系に作用する薬物、中枢神経系に作用する薬物 自律神経作動薬、遮断薬 中枢神経に作用する薬物 全身麻酔薬 GABA受容体作動薬、遮断薬 中枢神経興奮薬 (予習)教科書II編2章、3章を読む。(目安時間：約30分) (復習)末梢神経系に作用する薬物、中枢神経系に作用する薬物についてまとめる。(目安時間：約30分)</p>
6	<p>【講義】循環器系に作用する薬物、腎臓に作用する薬物 循環器系に作用する薬物 腎臓の機能と生理 利尿薬 (予習)教科書II編4、5章を読む。(目安時間：約20分) (復習)循環器系に作用する薬物、腎臓に作用する薬物についてまとめる。(目安時間：約30分)</p>
7	<p>【講義】消化器系に作用する薬物、血液に作用する薬物 消化器系に作用する薬物 止血機構、血液に関連する薬物 (予習)教科書II編7、8章を読む。(目安時間：約20分) (復習)消化器系に作用する薬物、血液に作用する薬物についてまとめる。(目安時間：約30分)</p>
8	<p>【講義】ビタミンとホルモン、免疫と薬、悪性腫瘍と薬 ビタミン、ホルモン 免疫応答のメカニズム、免疫に関連する薬物 悪性腫瘍とは、抗悪性腫瘍薬 (予習)教科書II編1章、9章、10章を読む。(目安時間：約20分) (復習)ビタミンとホルモン、免疫と薬、悪性腫瘍と薬についてまとめる。(目安時間：約30分)</p>

成績評価の方法

科目試験(70%)および授業中に実施する小テスト(30%)を総合的に評価する。
やむを得ない理由で授業中に実施する小テストを提出できない者については、レポートを課す。
小テストの解説は、適宜講義で行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学
鈴木邦明ほか 医歯薬出版株式会社
ISBN 978-4-263-42611-1

授業外学修（予習・復習）

授業計画に記載の予習・復習を行う。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	なし
授業の質問対応、連絡先	神戸大学大学院農学研究科・福田伊津子 メールアドレス itsuko@silver.kobe-u.ac.jp

口腔解剖学実習

更新日：2024/09/14 17:52:05

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	205130	授業コード	1K201
担当教員	中塚 美智子, 藤田 暁, 方 思棋						
備考	ICTを活用した双方向型授業、アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	3	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20513		1o E1◎	歯科医師、歯科技工士

授業概要

口腔解剖学講義で学んだヒトの歯の形態を、実際に図や石膏ブロックにて表現する。永久歯の形態を把握し、それを立体的に表現するために、歯のスケッチを行い、歯種別の形態の差や、5面（唇・頬側、舌側、近・遠心、切縁または咬合面）から観察した際の形態的特徴について学ぶ。並行して石膏ブロックを製作し、歯の形態を立体的に表現するための手技を体得する。

ICTを活用した双方向型授業（動画による実習説明）や自主学习支援（自主的に練習した作品に対する助言）も行いつつ、配付資料、模型、スケッチブックを用いて実習を進め、手技を体得する。

対面での実習を実施予定であるが、場合によりオンデマンド実習も行う。

到達目標

1	永久歯の形態をスケッチにより表現できる。
2	永久歯の形態を彫刻を通して立体的に表現できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			45	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】実習全般についての説明、スケッチの仕方についての説明 本実習の目的と実習内容について説明する。 歯のスケッチの仕方について説明する。
2	【実習】ノギス使用法説明、ブロック製作 ノギスの使用法について説明する。 実習で使用する石膏ブロックの製法について説明する。
3	【実習】上顎中切歯彫刻(1)説明、ブロック調整 上顎中切歯の彫刻において注意すべきポイントを説明する。 上顎中切歯のブロック調整について説明する。
4	【実習】上顎中切歯彫刻(2)スケッチ、彫刻手順 上顎中切歯のスケッチの注意点について説明する。 上顎中切歯の彫刻の仕方について概説する。
5	【実習】上顎中切歯彫刻(3)第1段階（隣接面観） 上顎中切歯彫刻の第1段階（隣接面観）について説明する。
6	【実習】上顎中切歯彫刻(4)第2段階（唇面観） 上顎中切歯彫刻の第2段階（唇面観）について説明する。
7	【実習】上顎中切歯彫刻(5)第3段階（多面体カット） 上顎中切歯彫刻の第3段階（多面体カット）について説明する。
8	【実習】上顎中切歯彫刻(6)歯根形成 上顎中切歯彫刻の歯根形成について説明する。
9	【実習】上顎中切歯彫刻(7)舌面形態 上顎中切歯の舌面形態彫刻について説明する。
10	【実習】上顎中切歯彫刻(8)唇面形態、仕上げ 上顎中切歯の唇面形態彫刻について説明する。 上顎中切歯彫刻の仕上げについて説明する。
11	【実習】上下顎切歯彫刻(1)石膏棒による彫刻、スケッチ 石膏棒による彫刻法について説明する。 上下顎切歯のスケッチの注意点について説明する。
12	【実習】上下顎切歯彫刻(2)仕上げ 上下顎切歯彫刻の仕上げについて説明する。
13	【実習】上顎犬歯彫刻(1)概説、スケッチ 上顎犬歯のスケッチの注意点について説明する。 上顎犬歯の彫刻の仕方について概説する。

14	【実習】上顎犬歯彫刻(2)第1段階（隣接面観） 上顎犬歯彫刻の第1段階（隣接面観）について説明する。
15	【実習】上顎犬歯彫刻(3)第2段階（唇面観） 上顎犬歯彫刻の第2段階（唇面観）について説明する。
16	【実習】上顎犬歯彫刻(4)第3段階（多面体カット）、歯根形成 上顎犬歯彫刻の第3段階（多面体カット）について説明する。 上顎犬歯の歯根彫刻について説明する。
17	【実習】上下顎犬歯彫刻(1)唇舌面形態、石膏棒による彫刻 上顎犬歯の唇舌面形態彫刻について説明する。 下顎犬歯の石膏棒による彫刻法について説明する。
18	【実習】上下顎犬歯彫刻(2)仕上げ 上下顎犬歯彫刻の仕上げについて説明する。
19	【実習】上顎第一小臼歯彫刻(1)概説、スケッチ 上顎第一小臼歯のスケッチの注意点について説明する。 上顎第一小臼歯の彫刻の仕方について説明する。
20	【実習】上顎第一小臼歯彫刻(2)第1段階（隣接面観）、第2段階（頬面観） 上顎第一小臼歯彫刻の第1段階（隣接面観）、第2段階（頬面観）について説明する。
21	【実習】上顎第一小臼歯彫刻(3)第3段階（多面体カット）、歯根形成 上顎第一小臼歯彫刻の第3段階（多面体カット）について説明する。 上顎第一小臼歯の歯根彫刻について説明する。
22	【実習】上顎第一小臼歯彫刻(4)仕上げ 上顎第一小臼歯彫刻の仕上げについて説明する。
23	【実習】上顎第二小臼歯彫刻(1)頬舌面形態、石膏棒による彫刻 上顎第二小臼歯のスケッチの注意点について説明する。 上顎第二小臼歯の彫刻の仕方について説明する。
24	【実習】上顎第二小臼歯彫刻(2)仕上げ 上顎第二小臼歯彫刻の仕上げについて説明する。
25	【実習】下顎第一小臼歯彫刻(1)概説、スケッチ 下顎第一小臼歯のスケッチの注意点について説明する。 下顎第一小臼歯の彫刻の仕方について概説する。
26	【実習】下顎第一小臼歯彫刻(2)第1段階（隣接面観）、第2段階（頬面観） 下顎第一小臼歯彫刻の第1段階（隣接面観）、第2段階（頬面観）について説明する。
27	【実習】下顎第一小臼歯彫刻(3)第3段階（多面体カット）、歯根形成 下顎第一小臼歯彫刻の第3段階（多面体カット）について説明する。 下顎第一小臼歯の歯根彫刻について説明する。
28	【実習】下顎第一小臼歯彫刻(4)仕上げ 下顎第一小臼歯彫刻の仕上げについて説明する。
29	【実習】下顎第二小臼歯彫刻(1)頬舌面形態、石膏棒による彫刻 下顎第二小臼歯のスケッチの注意点について説明する。 下顎第二小臼歯の彫刻の仕方について説明する。
30	【実習】下顎第二小臼歯彫刻(2)仕上げ 下顎第二小臼歯彫刻の仕上げについて説明する。
31	【実習】上顎第一大臼歯彫刻(1)概説、上顎第一大臼歯スケッチ 上顎第一大臼歯のスケッチの注意点について説明する。 上顎第一大臼歯の彫刻の仕方について概説する。
32	【実習】上顎第一大臼歯彫刻(2)第1段階（隣接面観）、第2段階（頬面観） 上顎第一大臼歯彫刻の第1段階（隣接面観）、第2段階（頬面観）について説明する。
33	【実習】上顎第一大臼歯彫刻(3)第3段階（多面体カット）、歯根形成 上顎第一大臼歯彫刻の第3段階（多面体カット）について説明する。 上顎第一大臼歯の歯根彫刻について説明する。
34	【実習】上顎第一大臼歯彫刻(4)咬合面 上顎第一大臼歯の咬合面の彫刻について説明する。
35	【実習】上顎第一大臼歯彫刻(5)仕上げ 上顎第一大臼歯彫刻の仕上げについて説明する。
36	【実習】上顎第二大臼歯彫刻(1)頬舌面形態、石膏棒による彫刻 上顎第二大臼歯のスケッチの注意点について説明する。 上顎第二大臼歯の彫刻の仕方について説明する。
37	【実習】上顎第二大臼歯彫刻(2)仕上げ 上顎第二大臼歯彫刻の仕上げについて説明する。
38	【実習】下顎第一大臼歯彫刻(1)概説、下顎第一大臼歯スケッチ 下顎第一大臼歯のスケッチの注意点について説明する。 下顎第一大臼歯の彫刻の仕方について概説する。
39	【実習】下顎第一大臼歯彫刻(2)第1段階（隣接面観）、第2段階（頬面観） 下顎第一大臼歯彫刻の第1段階（隣接面観）、第2段階（頬面観）について説明する。

40	【実習】下顎第一大臼歯彫刻(3)第3段階（多面体カット）、歯根形成 下顎第一大臼歯彫刻の第3段階（多面体カット）について説明する。 下顎第一大臼歯の歯根彫刻について説明する。
41	【実習】下顎第一大臼歯彫刻(4)咬合面 下顎第一大臼歯の咬合面の彫刻について説明する。
42	【実習】下顎第一大臼歯彫刻(5)仕上げ 下顎第一大臼歯彫刻の仕上げについて説明する。
43	【実習】下顎第二大臼歯彫刻(1)頬舌面形態、石膏棒による彫刻 下顎第二大臼歯のスケッチの注意点について説明する。 下顎第二大臼歯の彫刻の仕方について説明する。
44	【実習】下顎第二大臼歯彫刻(2)仕上げ 下顎第二大臼歯彫刻の仕上げについて説明する。
45	【実習】実習作品仕上げ これまでの実習課題の修正点および注意点について説明する。

成績評価の方法

実習課題は下記の通りです。

- (1)上顎右側中切歯、上顎右側犬歯、上下顎右側第一小臼歯、上下顎右側第一大臼歯の彫刻（2倍大、石膏ブロック6本）
- (2)上顎右側側切歯、下顎右側中切歯、下顎右側側切歯、下顎犬歯、上下顎右側第二小臼歯、上下顎第二大臼歯の彫刻（1.5cm角、石膏棒8本）
- (3)歯の展開図スケッチ（第三大臼歯を除く右側永久歯14本）

このうち(1)を中心に実習で説明を行いつつ進めていきます。

実習課題 40%、実習試験 60%（歯型彫刻）により評価し、100点満点で60点以上を合格とします。

提出物については合格するまで随時コメントします。

*実習作品（彫刻、スケッチ、チェックリスト）について、提出期限に1つでも期限内に提出できなかったものがあるときは、いかなる理由があっても課題未提出とします。

*受講態度、提出物等本実習に関することについて合計3回注意を受けた場合は、原則評価を行いません。

*止むを得ずオンデマンド実習を実施する時は、毎実習後に作品の画像を撮影し、実習で行った内容を記録する予定です。

教科書

歯科技工学実習トレーニング 歯の解剖 歯のデッサンと歯型彫刻（医歯薬出版）2021年、ISBN978-4-263-43345-4

口腔解剖学実習帳（予定）

授業外学修（予習・復習）

【予習】

毎実習前に彫刻する歯の形態について予習し、自分でどのような点に気を付けて歯の彫刻を行うかについて自主的に記録します（約30分）。

【復習】

毎実習後に、実習前に気を付けようと思った点に対する自分なりの工夫や、今後の課題について振り返り、自主的に記録します。また、振り返った内容を実習作品に反映させます（約30分）。オンデマンド実習実施時は、毎実習後に作品の画像を撮影し、実習で行った内容を記録します。

*提出、また実習課題の内容に疑義等がある場合、成績評価の方法に記載した通りの対応を行います。

その他

参考資料	歯の解剖学 第22版（金原出版）1997年、ISBN4-307-45007-8
受講生への要望等	みなさんが将来携わる仕事は、歯が欠けたり抜けたりして食事ができず困っている人々や、歯の形や口元が気になって人前に出ることをためらう人々に元気や自信を取り戻してもらおうことができる素晴らしいものです。口腔解剖学実習はその仕事に携わるための最初の一步だという意識を持って臨みましょう。 また、ヒトの歯の形態、歯の彫刻は歯科技工士国家試験で必ず出題されます。実習中のみならず、空いている時間を使って自主的に歯の彫刻の練習をしましょう。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は下記の通り行います。 <対面実習実施時> ・授業用SNS（Melly）で予約後、対面で実施 平日8:45-18:30に予約し、日程を決めたうえでた上で医療保健学部3号館1階教室室に来室し、対面で実施 <オンデマンド実習実施時（対面実習が実施できない時）> ・授業用SNS「Melly」で平日8:45-18:30に質問内容を送信

顎口腔機能学

更新日：2024/11/28 10:39:13

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	205140	授業コード	1K202
担当教員	三宅 晃子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20514		1◎ E1○	歯科医師

授業概要

顎口腔系の機能は、咀嚼、嚥下、発音であり、歯、歯周組織、上下顎歯列による咬合、上顎骨、下顎骨、舌骨、顎関節とこれらに付着する筋、口唇、頬などの軟組織および神経系の機能によって営まれる。これらのいずれかに障害が生じれば顎口腔系に異常が発現する。顎口腔系に異常がある場合にはその形態、機能を回復させる必要がある。

この科目では、今後歯科技工士として歯科補綴装置を製作していく上で必要な顎口腔系の基礎と臨床の知識を習得する。

基本は面接授業であるが、世の中の情勢を鑑みながら必要に応じて遠隔授業とする。

到達目標

1	顎口腔系の形態について説明できる。
2	顎口腔系の機能について説明できる。
3	下顎位について説明できる。
4	下顎運動について説明できる。
5	歯の接触様式について説明できる。
6	咬合器について説明できる。
7	咬合器の使用方法について説明できる。
8	顎機能検査と口腔内装置について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】顎口腔系の形態 1) 歯列と咬合の関係を説明できる。 2) 顎口腔系の筋の名称と特徴を説明できる。 3) 顎関節の構造と機能を説明できる。 4) 顎口腔系の神経支配について説明できる。
2	【講義】顎口腔系の機能 1) 下顎運動の分析に必要な基準点と基準平面を説明できる。 2) 咬合に関する平面について説明できる。
3	【講義】下顎位 1) 咬頭嵌合位を説明できる。 2) 中心位を説明できる。 3) 下顎安静位を説明できる。 4) 偏心咬合位を説明できる。
4	【講義】下顎運動 1) 下顎の基本運動の種類と特徴を説明できる。 2) 下顎の機能運動の種類と特徴を説明できる。 3) 下顎の限界運動と下顎の機能運動を説明できる。
5	【講義】歯の接触様式 1) 機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を説明できる。 2) 咬頭嵌合位と偏心位における咬合接触の種類と特徴を説明できる。
6	【講義】咬合器の使用目的と分類 1) 咬合器の種類、機構を説明できる。 2) フェイスボウの使用方法について説明できる。
7	【講義】咬合器の使用方法 1) 上顎模型の咬合器装着について説明できる。 2) 下顎模型の咬合器装着について説明できる。 3) 咬合器の調節方法を説明できる。

8	<p>【講義】顎機能検査と口腔内装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 顎機能検査を説明できる。 2) 顎関節症に対する装置を説明できる。 3) ブラキシズムに対する装置を説明できる。 4) 睡眠時無呼吸症とそれに対する装置を説明できる。 5) スポーツマウスガードを説明できる。
---	--

成績評価の方法

成績は科目試験、小テスト等を行い、総合的に評価する。

- ・科目試験.....90%
- ・小テスト・受講態度...10%

前回の講義内容に関する小テストを行う。小テスト終了後に解説を行う。科目試験は補講時に解説を行う。

教科書

最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 第2版 医歯薬出版

授業外学修（予習・復習）

予習は授業計画に記載している内容に関する教科書部分を読む。（約20分）

復習は講義ノートと教科書の読み返しを行い、専門用語を暗記し、内容を理解する。（約1時間）また、歯科技工士国家試験の勉強に慣れるため、過去問を解く習慣を身に付けて下さい。

その他

参考資料	無歯顎補綴治療の基本 財団法人 口腔保健協会 スタンダード部分床義歯学補綴学 学建書院 新要点チェック 歯科技工士国家試験対策2 新出題基準準拠 歯・口腔の構造と機能 医歯薬出版株式会社
受講生への要望等	私語および携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用や途中入退室は慎むこと。
授業の質問対応、連絡先	質問は"melly"で連絡して下さい。

顎口腔機能学演習

更新日：2025/02/03 15:06:49

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	205150	授業コード	2K201
担当教員	三宅 晃子, 錦織 良, 方 思棋, 西崎 宏						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20515		1o E1◎	歯科医師

授業概要

顎口腔機能を十分に理解し、下顎運動における生体の動きと模型の動きを理解する科目である。タイプの異なる咬合器を用いて、フェイスボウトランスファーを行い、顎口腔の形態、機能、下顎位、下顎運動、歯の接触様式、顎路測定等を行う。歯科技工操作における顎口腔機能と形態の回復・修復に寄与させるための装置の製作に必要な技術と基本的な知識を習得する。また、咬合検査や咀嚼機能検査を行う基本的な知識と技術を習得する。各自の咀嚼機能データをもとに調節性咬合器を用いて補綴装置を製作する必要性についてグループ討論を行う。

到達目標

1	印象採得の手順が説明できる。
2	作業用模型を製作できる。
3	咬頭嵌合位と偏心位の咬合採得ができる。
4	フェイスボウトランスファーを説明できる。
5	フェイスボウを用いた咬合器装着ができる。
6	矢状顎路傾斜角、側方顎路角、切歯路角の測定方法が説明できる。
7	光重合レジンを用いたスプリントが製作できる。
8	スプリントの調整ができる。
9	各種咬合器の調節および使用方法が説明できる。
10	咀嚼機能の評価ができる。
11	調節性咬合器を用いて補綴装置を製作する必要性についてグループ討論ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		15		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【演習】プロアーチ咬合器の使用法の説明、上下顎の印象採得 ・半調節性咬合器（プロアーチ咬合器）の使用法の概略説明 ・アルジネート印象
2	【演習】上下顎の模型製作 ・硬石膏で模型製作
3	【演習】フェイスボウトランスファー、上顎模型の咬合器装着 ・フェイスボウの使用法 ・フェイスボウトランスファーを用いた上顎模型の咬合器装着
4	【演習】咬頭嵌合位、偏心位のチェックバイトの採得 ・咬頭嵌合位のチェックバイトの採得 ・偏心位のチェックバイトの採得
5	【演習】下顎模型の咬合器装着 ・下顎模型の咬合器装着
6	【演習】矢状顎路傾斜角、側方顎路角、切歯路角の調整 ・矢状顎路傾斜角調整 ・側方顎路角の調整 ・切歯路角の調整
7	【演習】オクルーザルスプリントの製作 ・光重合レジンでスプリントの製作
8	【演習】オクルーザルスプリントの調整 ・スプリントの咬合調整
9	【演習】デンタータス咬合器の使用法の説明 ・デンタータス咬合器の使用法の概略説明 ・上顎模型をスプリットキャストにする。

10	【演習】デンタータス用のフェイスボウトランスファー ・デンタータス用のフェイスボウの使用法 ・上顎模型の咬合器装着
11	【演習】下顎模型の咬合器装着 ・下顎模型の咬合器装着
12	【演習】矢状顎路傾斜角、側方顎路角、切歯路角の調整 ・矢状顎路傾斜角調整 ・側方顎路角の調整 ・切歯路角の調整
13	【演習】その他の咬合器を用いた演習 ・その他の咬合器の使用法
14	【演習】ゴシックアーチ描記法、咀嚼機能検査 ・ゴシックアーチ描記法を用いた咬合器の調整 ・グミを用いた咀嚼機能検査 ・各自の咀嚼機能についてのレポートを作成
15	【演習】調節性咬合器を用いて技工物を製作する必要性についてグループ討論 ・各自の咀嚼機能についてのレポートをもとに調節性咬合器を用いて補綴装置を製作する必要性についてグループ討論する。

成績評価の方法

実習作品、実習試験及びレポートとグループ討論の結果を総合的に評価する。

- ・実習作品.....40%
- ・実習試験.....40%
- ・レポートとグループ討論...20%

提出物については、返却時にコメントする。

教科書

最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 第2版 (全国歯科技工士教育協議会) (医歯薬出版) 2024年 ISBN978-4-263-43173-3

授業外学修 (予習・復習)

実習前は授業計画に記載されている内容に関して記載されている教科書部分を読んで、予習して下さい。(約20分)

実習後は行った実習内容について理解を深められるように、手順や器材の性質や使用方法について復習して下さい。(約30分)

その他

参考資料	「新編 咬合学事典」保母 須弥也ほか クインテッセンス出版 1998年 ISBN 9784874175804 「顎関節症治療のためのスプリントの作り方・使い方」鱈見進一ほか ヒョウロン 2011年 ISBN 9784864320009 「歯学生のバーチャルデンチャー」三谷春保ほか 医歯薬出版 2018年 ISBN 9784263458174 「クラウンブリッジテクニック」三浦宏之ほか 医歯薬出版 2018年 ISBN 9784263458167 「咬合器の臨床テクニック」榎本一彦ほか 日本歯科評論 2009年 ISBN 9784930881526
受講生への要望等	私語および携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用や途中入退室は慎むこと。実習の進捗状況により、授業計画は変更する可能性があります。
授業の質問対応、連絡先	質問がある場合には、mellyの"顎口腔機能学演習"に連絡して下さい。

歯科理工学Ⅰ

更新日：2024/10/25 11:54:25

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	205160	授業コード	1K301
担当教員	橋本 正則						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	4
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20516		1○ E1○ E3◎	歯科医師

授業概要

歯科補綴物、矯正装置、充填物などには、それぞれの特性を活かして適材適所に様々な材料が用いられ、また、それらの製作に当っても様々な材料が用いられる。これらの材料についての基本的知識は、材料を取り扱ううえでは必須のものである。本講義では、主として歯科技工において取り扱う材料についての重要な基本的知識の習得を目的とする。講義は、Power Point、テキストおよび板書などでの講義形式で行う。

到達目標

1	歯科材料、器具、器械の基本的知識を習得し、その性質や取り扱いなどを説明できる。
---	---

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	30			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】歯科理工学概論 歯科技工および歯科理工学について概説する。
2	【講義】各種材料の特徴と歯科材料の用途 歯科治療、特に歯科技工において取り扱う各種材料の特徴と用途について説明する。
3	【講義】歯科材料の一般的性質1（機械的性質と物理的性質） 歯科材料の機械的性質と物理的性質、それらの評価方法としての試験法について説明する。
4	【講義】歯科材料の一般的性質2（化学的性質と生物学的性質） 歯科材料の化学的性質と生物学的性質について説明する。
5	【講義】ハイドロコロイド印象材 ハイドロコロイド印象材の組成および特性について説明する。
6	【講義】ゴム質印象材 ゴム質印象材の分類、組成および特性について説明する。 印象材の弾性ひずみと永久ひずみについて説明する。
7	【講義】模型用材料（石膏・前半） 石膏の種類と特性について説明する。
8	【講義】模型用材料（石膏・後半） 石膏の一般的性質について説明する。
9	【講義】復習講義（第1回） 授業1～8回目までの内容について国家試験模擬問題を解答する形式にて復習する。
10	【講義】歯科用合金総論 歯科用合金の種類と臨床的用途について説明する。
11	【講義】歯科用合金（鑄造用合金） 歯科用鑄造用合金の所要性質について説明する。
12	【講義】歯科用合金（非鑄造用合金） 歯科用非鑄造用合金の所要性質について説明する。
13	【講義】歯科用合金における添加成分の役割 歯科用合金における添加成分の役割について説明する。
14	【講義】加工硬化と熱処理 金属の加工硬化と熱処理のメカニズムについて説明する。
15	【講義】復習講義（第2回） 授業10～14回目までの内容について国家試験模擬問題を解答する形式にて復習する。
16	【講義】ろう材、ろう付け ろう材の種類、組成および特性、ろう付け方法について説明する。
17	【講義】クリストバライト埋没材 クリストバライト埋没材の所要性質と種類、組成、特性について説明する。

18	【講義】リン酸塩系埋没材 埋没材（リン酸塩系、チタン専用）の所要性質と種類、組成、特性について説明する。
19	【講義】原型材料（ワックス） 鋳造などに用いるワックスの所要性質と種類、組成について説明する。
20	【講義】復習講義（第3回） 授業16～19回目までの内容について国家試験模擬問題を解答する形式にて復習する。
21	【講義】義歯床用レジン（前半） 義歯床用レジンの種類、常温、加熱重合型レジンの組成および特性について説明する。
22	【講義】義歯床用レジン（後半） 義歯床用レジンによる義歯作製法などについて説明する。
23	【講義】歯科用セラミックス 歯科用セラミックスの種類、組成および特性について説明する。
24	【講義】切削・研磨 研磨材の種類、組成および特性について説明する。切削・研磨器具について説明する。
25	【講義】復習講義（第4回） 授業21～24回目までの内容について国家試験模擬問題を解くことにより理解を深める。問題の解説を行う。
26	【講義】合着材・接着材 合着材・接着材の種類、組成および特性について説明する。
27	【講義】歯冠用コンポジットレジン 歯冠用コンポジットレジンの種類、組成および特性について説明する。
28	【講義】歯科材料の生体安全性 歯科材料（歯科補綴物および修復物など）の生体安全性について説明する。
29	【講義】新しい歯科材料・機械 新しい歯科材料、機械および装置などの最新技術について説明する。
30	【講義】復習講義（第5回） 歯科理工学Ⅰの全内容について自分で国家試験模擬問題を解くことにより理解を深める。問題の解説を行う。

成績評価の方法

前後期試験および受講態度から総合的に成績評価する。

復習講義では、その授業までの内容を国家試験類似問題を使用してフィードバックを行う。

- ・科目試験（前期・後期）...80%
- ・受講態度.....20%

教科書

最新歯科技工士教本「歯科理工学」（医歯薬出版）（2024 ISBN978-4-263-43172-6）

教科書に記載されている各章の到達目標を確認し、教科書の記載順に説明する。

教科書で不十分と思われる箇所は、補足的資料としてプリントを配布する。

授業外学修（予習・復習）

毎回復習をすること（約30分）。授業中に配布したプリントの内容を中心に暗記・理解する。わからない部分は教科書で調べる。予習（約30分）については、必要に応じてその都度指示します。

その他

参考資料	「スタンダード歯科理工学」（学建書院）（2024 ISBN978-4-7624-6614-4）
受講生への要望等	耳慣れない専門用語が多く出てくると思いますが、慣れることが第一です。できるだけ早く慣れるように心がけてください。そのためにも、日常から身の回りにある材料にも目を向けたり、インターネットなどを活用して、どこにどんな材料が使用されているのか探すなど、積極的に取り組んでください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、医療保健学部の教員室（1号館1階1121）に来てもらうか、授業用SNS（Melly）上で行う。

歯科理工学 II

更新日：2024/11/28 10:43:53

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	205170	授業コード	1K203
担当教員	橋本 正則						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20517		1 ○ E1 ○ E3 ◎	歯科医師

授業概要

歯科補綴装置、修復物、矯正装置などに用いられる材料や成形加工方法は多岐にわたる。本講義では、金属、レジンおよびセラミックスのそれぞれの成形加工方法について学習し、基本的知識や適切な操作方法などの習得を目的とする。講義は、Power Point、テキストおよび板書などを併用した形式で行う。

到達目標

1	金属、レジンおよびセラミックスについての取り扱い技術および成形法を理解・習得できる。
---	--

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】 歯科鑄造プロセス概要 歯科精密鑄造法と歯科用ワックスについて概説する。
2	【講義】 鑄造収縮1 歯科用合金（金銀パラジウム合金など）の鑄造収縮と埋没材の役割について説明する。
3	【講義】 鑄造収縮2 鑄造欠陥の発生原因と防止対策について説明する。 歯科用合金（コバルトクロム合金など）の鑄造収縮と埋没材の役割について説明する。
4	【講義】 鑄造欠陥1 鑄造欠陥（鑄損じ、入れ干し、ブローホール、引け巣など）の発生原因と防止対策について説明する。
5	【講義】 鑄造欠陥2 鑄造欠陥（なめられ、湯境い、背圧多孔、ホットスポット、突起、バリなど）の発生原因と防止対策について説明する。
6	【講義】 金属の接合（ろう付け） 歯科で用いられる金属接合法について説明する。
7	【講義】 義歯床用レジンの重合方法及び熱成形法 歯科用レジンの重合方法及び熱成形法について説明する。
8	【講義】 歯科用セラミックス冠の製作法および研磨法 陶材焼付用金属冠およびオールセラミックス冠の製作法について説明する。歯科領域で用いられる研磨法について説明する。

成績評価の方法

授業の受講態度および科目試験で総合的に成績評価を行う。

授業中に、それまでの授業についてフィードバックを行う。

- ・科目試験...70%
- ・受講態度...30%

教科書

最新歯科技工士教本「歯科理工学」（医歯薬出版）（2024 ISBN978-4-263-43172-6）

テキストに記載されている各章の到達目標を確認し、概ねテキストの記載順に説明する。

テキストで不十分と思われる箇所は、補足的資料としてプリントを配布する。

授業外学修（予習・復習）

歯科理工学 I で講義を受けた材料については復習しておき、講義に臨んでください。また、毎回復習（約1時間）をしておくこと。毎回、授業後には復習する事（約30分）、授業中に配布したプリントを中心に暗記。理解する。わからない箇所は教科書で調べる。

その他

参考資料	「スタンダード歯科理工学」（学建書院）（2024 ISBN978-4-7624-6614-4）
受講生への要望等	歯科技工における成形加工法は、インターネットなどで動画として作業を見ることもできますので、積極的に関連の情報を得るように努めてください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、医療保健学部の教員室（1号館1階1121）に来てもらうか、授業用SNS（Melly）上で行う。

歯科理工学演習

更新日：2024/10/31 10:12:59

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	205180	授業コード	2K101
担当教員	橋本 正則, 中塚 美智子, 藤田 暁, 黄 育清, 方 思棋						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20518		1○ E1○ E3◎	歯科技工士、歯科医師

授業概要

この教科では、各材料を用いた試料作製から物性値測定、データ整理までの一連の実習を通じて、教科書などのデータと比較評価することにより歯科理工学全般の理解を深める。さらに、基本的な歯科技工の操作を体験し理解する。全体的な進め方としては、全体を3班分けに、実験および実習を行う。

到達目標

1	印象材とワックスの基本的な取り扱いを説明できる。
2	石膏の硬化膨張および硬化時間について説明できる
3	義歯床用レジンの膨潤・溶解現象を説明できる。
4	レジン床義歯の模型との適合性について説明できる。
5	埋没材の硬化膨張について説明できる。
6	クラウンの鋳造操作を説明できる。
7	ろう付け操作を説明できる。
8	実験データ（石膏・埋没材）をまとめて表およびグラフの作成ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6		24	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】ガイダンス（2コマ）（橋本） 本演習の目的および実験方法の概略を説明し、実習の進め方ならびに注意点、レポートの書き方について概説する。
2	【実習】印象材とワックスの基本的取り扱い（1コマ）（橋本、方） 印象材とワックスの基本的な取り扱いを行う。
3	【実習】石膏の物性測定（4コマ）（中塚） 石膏の硬化時間および硬化膨張に及ぼす影響因子を調べる。
4	【実習】義歯床用レジン物性測定（3コマ）（橋本、方） 義歯床用レジンの餅状変化までの状態の変化の過程を調べる。
5	【実習】レジン床義歯の適合性（4コマ）（橋本、方） レジン床義歯を作製して、重合条件による適合性の違いを調べる。
6	【実習】埋没材の諸性質（4コマ）（中塚） 埋没材の硬化膨張などを調べる。
7	【実習】金属の成形加工（鋳造）（4コマ）（藤田、黄） クラウン鋳造体の作製を行い、支台歯模型との適合性を調べる。
8	【実習】金属の成形加工（ろう付け）（4コマ）（藤田、黄） ろう付け法により真鍮接合体を作製して、引張試験により接合強度を測定する。
9	【講義】実習の総括（4コマ）（橋本） 今まで行ってきた実習の総括を行う。歯科技工とチェアーサイドの臨床との接点について概説する。また、歯科材料の取り扱い方法と注意点などを説明する。全ての実習内容についてフィードバックする。

成績評価の方法

実験および実習への積極的参加態度を重視する。石膏・埋没材についてはレポートを作成する。さらに実習の内容に関する筆記試験を行う。実習の総括で、全ての実験方法やレポート内容などのフィードバックを行う。

- ・実習態度 30%
- ・レポート 20%
- ・科目試験（筆記） 50%

教科書

教科書は使用せずに実習テキストを配布

授業外学修（予習・復習）

1. 各課題の材料や成形加工技術について、1年次に習ったことをしっかり復習すること。
2. 実習内容をテキストで予習すること。（約1時間）
3. 実習終了後には、実験方法を含めデータの整理しておくこと。（約30分）

その他

参考資料	最新歯科技工士教本「歯科理工学」（医歯薬出版）（ISBN: 978-4-263-43172-6）
受講生への要望等	実験および実習は真剣な態度で行う事。「けが」などをしないよう安全第一を心がける。また、関連する文献や教科書を調査し、自分たちの実験で得られたデータとの比較や各材料の取り扱い時の注意事項などを理解する。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、医療保健学部の教員室に来てもらうか、授業用SNS（Melly）上で行う。 代表教員（橋本）の部屋は1号館1階1121です。

社会学

更新日：2024/10/11 19:30:37

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	206030	授業コード	20202
担当教員	伊東 香純						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20603	3◎ 5○ H2○	3◎ 5○ E2○	

授業概要

本講義では、社会学の基本的な概念や理論を学習し、社会的視点から世界を観察、分析する力を養う。家族や病院などの身近なテーマと、国際協力やグローバル化などの身近に感じにくいテーマ両方について、「常識」とされていることを批判的、相対的に検討していく。

到達目標

1	社会学の基本的な概念や理論を理解できる。
2	関心のあるテーマを見出し、社会学の基本的な概念や理論を用いて、批判的、相対的に考察できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、社会学の方法・視点 ◆授業の予定、成績評価の仕方 ◆社会学とは？社会とは？
2	【講義】社会福祉制度の歴史 ◆国家が貧困者を支援するという考え方の始まり、広まり ◆日本の社会福祉制度の仕組み——社会保険方式と公費負担方式、福祉六法
3	【講義】生活保護制度 ◆4つの原則、4つの原理 ◆不正受給は大きな問題なの？
4	【講義】少子高齢社会 ◆少子高齢化がたいへんだ、と騒ぐべきか ◆優生政策の歴史と主張
5	【講義】階級制度、教育制度 ◆格差はどうやって生じるのか ◆格差に教育はどう作用するのか
6	【講義】家族制度 ◆家族分析の基本概念と変化 ◆男が仕事、女が家庭、はどう批判されてきたか
7	【講義】障害の社会モデル ◆障害は個人にあるか、社会にあるか ◆府中療育センター闘争
8	【講義】介助の現場 ◆府中療育センター・その後 ◆重度訪問介護を使って地域で生きる
9	【講義】在日コリアン ◆なぜ「異文化理解」だけではうまくいかないか ◆在日コリアンの歴史
10	【講義】グローバル・エイズ ◆グローバルエイズの状況 ◆治療薬のアクセスを巡るグローバルな社会運動
11	【講義】開発原病・帝国医療 ◆文化と病気は結びついている！？ ◆植民地支配の道具としての医療
12	【講義】医療化 ◆病気、障害は作り出されたもの？ ◆医療化の例：ADHD、脱医療化の例：同性愛

13	【講義】ジェンダー ◆性をめぐるさまざまな現象の整理 ◆「性同一性障害」という診断の問題
14	【講義】リスク社会 ◆リスクを誰が引受けるかが重要な社会 ◆事例：新型インフルエンザのリスクを巡る社会現象
15	【講義】自己決定？ ◆自己決定の定義の難しさ ◆自己決定を状況に則して考えてみよう

成績評価の方法

- ・授業参加度...60%
- ・科目試験.....40%

授業参加度は、コミュニケーションペーパーの記述にもとづいて評価する。コミュニケーションペーパーは、次の回の講義でよく書いているものを紹介、解説してフィードバックをおこなう。この積み重ねを科目試験（最終レポート）に向けた練習と位置づけ、要旨をまとめたり自分の考えを書いたりすることに慣れる。

教科書

特に指定しない。資料を配布する予定。

授業外学修（予習・復習）

参考書、及び講義内で紹介した書籍の中で関心をもったものを読む。新聞や書籍、インターネットなどから世の中の動きについての情報を取得し関心をもつ。
 必要な時間：事前学修15分、事後学修60分ほど

その他

参考資料	長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志，2007，『社会学』有斐閣。 宇都宮京子（編），2009，『よくわかる社会学 [第2版]』ミネルヴァ書房。 中川輝彦・黒田浩一郎（編著），2010，『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房。 西原和久・杉本学（編），2021，『マイノリティ問題から考える社会学・入門——差別をこえるために』有斐閣。 木村至聖，2022，『歴史と理論からの社会学入門』ナカニシヤ出版。
受講生への要望等	講義内容については、進捗状況によって多少変更する場合がある。
授業の質問対応、連絡先	連絡先 email: itokasumi24@gmail.com

社会福祉論Ⅰ

更新日：2024/10/29 11:41:25

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	206040	授業コード	10110
担当教員	武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20604	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

本講義では、私たちの生活を支える社会福祉について、その根拠となる法や社会福祉の各分野について学ぶ。私たちに保障されている「健康で文化的な生活」をおくる権利が、何らかの理由で侵害されたときに生活を支える社会福祉の制度や政策について学ぶとともに、現代の社会問題を、講義を通して理解する。

到達目標

1	社会福祉の理念、社会福祉の制度・政策の全体的な体系を理解できる。
2	社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解できる。
3	福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解できる。
4	福祉サービスの供給と利用過程について理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】 貧困問題 ホームレス支援の現状について学び、社会問題としての貧困問題について理解を深める。
2	【講義】 「自己責任」と社会福祉 自己責任論が社会でどのように用いられるかを考察し、社会福祉の役割について学ぶ。
3	【講義】 健康で文化的な生活 憲法25条「生存権」および「国の生存権保障義務」について学び、健康で文化的な生活について学ぶ。
4	【講義】 社会福祉の法 社会福祉に関する法律と各種の政令、省令等について学ぶ。
5	【講義】 公的扶助① 生活保護制度の原理と原則について、また扶助の内容を学ぶ。
6	【講義】 ソーシャルワークとソーシャルワーカー ソーシャルワークの定義や役割と機能、ソーシャルワーカーと呼ばれる人々について学ぶ。
7	【講義】 公的扶助② 生活保護以外の公的扶助制度やそのほかの低所得者支援制度について学ぶ。
8	【講義】 こども家庭福祉① こども虐待問題と要保護児童への支援について学ぶ。
9	【講義】 こども家庭福祉② こどもの権利とこども家庭福祉制度について学ぶ。
10	【講義】 障害者福祉① 障がいの理解と差別解消へのあゆみについて学ぶ。
11	【講義】 障害者福祉② 障がいのある人を支える保健福祉制度について学ぶ。
12	【講義】 高齢者福祉① 老人福祉法の理念および高齢化の現状と高齢者の生活課題について学ぶ。 さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、高齢者福祉の実際を学ぶ。
13	【講義】 高齢者福祉② 高齢者の介護問題と介護保険制度について学ぶ。
14	【講義】 地域福祉 地域福祉および地域福祉推進の担い手について学ぶ。
15	【講義】 社会福祉論Ⅰのまとめ 人間の尊厳、社会正義、平和主義について学ぶ。

成績評価の方法

・小レポート	10点×2回=20点
・本試験	80点
合計	100点

- ・小レポートについて、授業内でコメントする。

教科書

石田慎二、山縣文治編著（2024）『新・プリマーズ 社会福祉 [第6版]』ミネルヴァ書房

授業外学修（予習・復習）

- ・健康と生活に関するニュースに注目し、自分なりの考えをまとめる（毎日10分程度）。
- ・授業後にはテキストとノートを見直し復習する（30分）。

その他

参考資料	與那嶺司、渡辺裕一、永野咲編著（2023）『基礎ゼミ 社会福祉学』世界思想社 この他、授業時に適宜紹介する。
受講生への要望等	講義形式の授業であるが、積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業時間中に対応するが、授業時間外の場合は、mellyおよび研究室で対応する。研究室での質問の場合は、mellyでアポイントをとること。

社会調査学

更新日：2024/11/20 17:50:59

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	206060	授業コード	20102
担当教員	竹田 達生						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20606	1〇 H2◎	1〇 E2◎	臨床心理士、公認心理師

授業概要

国民の実態を把握し、施策等に反映していくために社会調査は不可欠である。しかし、インターネットの普及により情報が氾濫している現在において、適切な調査方法・分析に基づく情報ばかりとは限らない。専門家自身が調査法に関する知識を熟知していない場合、患者や利用者に不利益な情報を与える可能性があるがゆえ、正しい知識の習得は専門家として不可欠である。

この科目では社会調査の目的や倫理、方法論などの基本事項を講義形式で習得するとともに、パソコン（主にEXCEL）を使用した演習形式によって調査用紙の作成やデータ整理の仕方、分析法について学習する。また研究や国家試験に必要な最低限の知識についても学習する。

事後学習として、melly上にて配布したデータ等を用いて課題を行い、期日までに提出する。

到達目標

1	社会調査を実施するための基本的事項を理解する
2	社会調査を実施する上での注意事項が説明できる
3	各調査方法の特徴の違いが説明できる
4	調査目的に応じた調査法を選ぶことができる
5	データに即した分析方法を選ぶことができる
6	EXCELで図表を作成することができる
7	EXCELでデータの分析を行うことができる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	社会調査とは 【講義】 ・社会調査とは ・社会調査の対象と目的 ・社会調査の種類 (予習) 身近な社会調査に資料等について調べる (60分) (復習) 講義内で出された課題を行う (60分)
2	社会調査における倫理と個人情報保護 【講義】 ・社会調査における倫理とは ・個人情報保護 ・社会調査の実施プロセス ・調査依頼の書き方 (予習) 個人情報を取り扱う責任について調べる (60分) (復習) 講義内で出された課題を行う (60分)
3	社会調査の方法とアンケート用紙の作成 1 【講義】 ・量的調査と質的調査 ・測定尺度の種類について ・回答法の種類について 【演習】 ・フェイスシートの作り方 (Word) (予習) データの種類について調べる (60分) (復習) 講義内で出された課題を行う (60分)

4	<p>社会調査の方法とアンケート用紙の作成2</p> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断的調査と縦断的調査 ・質問紙法 ・観察法 ・面接法 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析ツールの設定 (EXCEL) ・ピボットテーブルの使い方 (EXCEL) <p>(予習) アンケートによる調査方法について調べる (60分) (復習) 講義内で出された課題を行う (60分)</p>
5	<p>量的調査法と量的データの分析 (記述統計)</p> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表値と散布度 ・図表の活用方法の読み取り方 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本統計量の算出 (EXCEL) <p>(予習) 高等学校で習った統計学について復習しておく (60分) (復習) 講義内で出された課題を行う (60分)</p>
6	<p>量的データの分析 (相関)</p> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・因果関係と相関関係の違い ・相関係数の評価 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表の作成① (EXCEL) <p>(予習) 原因と結果の関係について調べる (60分) (復習) 講義内で出された課題を行う (60分)</p>
7	<p>量的データの分析 (差の検定)</p> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計的仮説検定の手順 ・測定尺度の種類と検定方法の選び方 ・パラメトリック検定とノンパラメトリック検定 ・t検定と分散分析 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析ツールを使った分析 (EXCEL) <p>(予習) 平均値を指標とした調査について調べる (60分) (復習) 講義内で出された課題を行う (60分)</p>
8	<p>質的調査法</p> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質的研究の特徴 ・質的研究法の紹介 (KJ法とグラウンデッドセオリー) <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KJ法の体験 ・データのまとめ方 (EXCEL) <p>(予習) 質的研究の長所と短所について調べる (60分) (復習) 講義内で出された課題を行う (60分)</p>
9	試験

成績評価の方法

- ・課題レポート...40%
- ・到達度テスト...60%

授業中に数回レポートを実施する
レポートの解説は随時講義で行う

教科書

各回、merryにて資料を配布する

授業外学修 (予習・復習)

【予習】 Word及びExcelの基本的な操作に慣れておくこと (目安時間：約60分)

【復習】 前回の講義内容が次回講義と関係することが多いため、復習として配布プリントを読み返すこと。加えて、merry上で配布したデータを用いてデータ解析を行うこと (目安時間：約60分)

その他

参考資料	社会福祉調査の基礎、杉本敏夫 (監修)、橋本有理子 (編集)、ミネルヴァ書房、2021 ISBN-10 : 4623091600
------	---

	ISBN-13 : 978-4623091607 ソーシャルワーカーのための社会調査の基礎、米川和、北大路書房、2013 ISBN-10 : 4762827991 ISBN-13 : 978-4762827990 Excelによるアンケート調査の第一歩、辻義人、ナカニシヤ出版、2014 ISBN-10 : 4779508207 ISBN-13 : 978-4779508202 社会福祉調査の基礎、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (編集)、中央法規出版、2021 ISBN-10 : 4762827991 ISBN-13 : 978-4762827990
受講生への要望等	注意事項としてノートパソコン(WordとExcel)とUSBメモリ等を用意しておいてください(必要な場合、適宜指示します)。携帯電話やスマートフォンの使用は指示がない限り使用禁止です。講義前に電源を切るかマナーモードにしてください。
授業の質問対応、連絡先	講義に関する質問があれば、授業用SNS (melly) にて受付します。回答は次回の講義中に行います。

医療制度 I

更新日：2024/08/13 12:24:10

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	206070	授業コード	20203
担当教員	神 光一郎						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20607	1◎ 3○ H1○	1◎ 3○ E1○	歯科医師

授業概要

本授業は、学生の皆さんが、先進国でも類を見ない国民皆医療保険制度ならびに社会保険制度の仕組みと特徴について、医療制度を取り巻く社会環境要因や生活環境の変化・動向を理解したうえで説明できるようになることを目的として行う。

本授業では、パワーポイント資料や最新のデータ、配付資料等を題材にディスカッションを多用し、学生が歯科医療に携わる医療人として医療制度の仕組み・概念等についての理解を深めることができるようにする。また、学生が将来的な当該制度への関わり方や考え方について考えることができる授業とする。

到達目標

1	わが国の社会保険制度を概説できる。
2	わが国の医療保険制度の仕組みについて説明できる。
3	医療制度を圧迫する要因について概説できる。
4	国民医療費および歯科医療費の現状について説明できる。
5	今後の医療制度の在り方について自身の考えを説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接授業・ディスカッション】わが国と世界の医療制度 1) 世界の主要国における医療制度の概要について 2) 国民皆医療保険制度とその意義について
2	【面接授業・ディスカッション】わが国の医療制度を取り巻く現状 1) 人口の減少 2) 少子高齢社会 3) 地域コミュニティの希薄化 4) その他医療制度に影響を及ぼす要因について
3	【面接授業・ディスカッション】社会保険の中の医療制度 1) 社会保険とは 2) 社会保険制度の種類・概要について
4	【面接授業・ディスカッション】わが国の医療制度の実際 1) 医療保険制度の概要（仕組み）について 2) 医療保険制度の種類と保険者、被保険者 3) 保険料の負担割合について
5	【面接授業・ディスカッション】医療機関の種類と役割 1) 医療機関の種類と役割 2) 本学附属病院における歯科診療の実際 3) 地域連携室の役割 4) 口腔診査における歯式 5) 診療録と歯科技工指示書について
6	【面接授業・ディスカッション】国民医療費と歯科医療費 1) 保険診療と自費診療 2) 歯科診療報酬制度 3) 国民医療費とは 4) 国民医療費の内訳 5) 歯科医療費とは
7	【面接授業・ディスカッション】わが国の医療制度の課題 1) 日本の医療政策について 2) 少子高齢社会の影響 3) 医療費の負担増加 4) 病院・診療所の本来の機能とは 5) 国の医療政策への対応

8	【面接授業・ディスカッション】 社会保障給付費について 1) 国の財政・予算の状況 2) 社会保障給付費とは 3) わが国と世界主要国の比較 4) 社会保障給付費で示される数値の意味とは
---	--

成績評価の方法

- ・本授業は、一方向性による「知識の伝達授業」だけではなく、学生とのディスカッションを行う。
- ・前回の授業内容について毎回小テストを実施する。その答えは採点の上返却し、次回授業において解説することにより学生にフィードバックする。
- ・授業に際しては、事前に予習課題を与え、その内容について授業中に口頭試問およびディスカッションを行い、その結果を授業の理解度として評価する。
- ・形成的評価は科目試験により行う。
- ・評価比率は以下とする。
 - 小テストおよびレポート...10%
 - 授業の理解度.....10%
 - 科目試験.....80%
- ・レポート評価はルーブリックにより行う。

教科書

教科書は特に指定しない。授業中に適宜資料を配付し、テキストとして使用する。

授業外学修（予習・復習）

当該科目では、授業終了時に、次回の授業履修までに準備学修（予習）しておく内容（目安時間：約10分）について資料配布する。その内容について口頭試問を行うので、事前に必ず自学自習しておくこと。

その他

参考資料	授業中に適宜資料を配付する。
受講生への要望等	一方通行の授業は可及的に行わず、皆さんの意見をもとにディスカッションを行い、わが国の医療制度についての考えを深めていきたいと考えています。授業中は、積極的にディスカッションに参加してください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実です。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

医療制度 II

更新日：2024/10/21 09:40:44

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	206080	授業コード	40201
担当教員	神 光一郎						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20608	1◎ 3○ H1○	1◎ 3○ E1○	歯科医師

授業概要

本科目では、学生が既に第2学年の「医療制度 I」で学んだ医療制度の知識に基づき、学生が臨床の現場や歯科技工所で行われている診療の実際について理解を深める。また、歯科医療と深く関わる介護保険制度や生活保護制度、児童虐待防止対策などの社会保障の概要についても理解する。併せて、本科目の実施時期が第4学年後期であることを踏まえ、学生が医療制度 I で学んだ内容について復習し、理解する。本授業では教員からの一方通行の知識習得のための授業ではなく、学生が各項目ごとに主体的に課題や問題に取り組む。

到達目標

1	わが国の医療制度を説明できる。
2	診療報酬の仕組みを説明できる。
3	歯科医療と関わる社会保障制度について概説できる。
4	歯科診療報酬点数について概説できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【双方向性・参加型面接授業】わが国の社会保険制度 1 1) 社会保険制度 2) 保険診療の流れ 3) わが国の医療保険の特徴 4) わが国の医療保険の種類
2	【双方向性・参加型面接授業】わが国の社会保険制度 2 1) 年金保険 2) 雇用保険 3) 労働者災害補償保険
3	【双方向性・参加型面接授業】介護保険制度について 1) 介護保険の保険者・被保険者 2) 介護保険制度の概要 3) 介護保険と口腔衛生関連サービス 4) 介護保険施設
4	【双方向性・参加型面接授業】生活保護制度、児童虐待 1) 公的扶助とは 2) 生活保護の現状 3) 児童虐待の現状 4) 児童虐待への対応、防止の取組み
5	【双方向性・参加型面接授業】医療の現況、国民医療費 1) 医療従事者数、医療施設数 2) 国民医療費 3) 歯科医療費
6	【双方向性・参加型面接授業】歯科医療管理 1) 臨床（診療）管理 2) 歯科医療とコンプライアンス 3) POSとは 4) 医療情報の取扱い 5) 歯科医療における安全管理
7	【面接授業・確認テスト】社会保障給付費と地域保健の新たな概念 1) 財政と予算 2) 社会保障給付費とは 3) 地域保健の新たな概念（ヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタル、ノーマライゼーション） 4) 確認テスト

8	【面接授業・確認テスト】 歯科診療報酬制度 1) 保険診療の概念 2) 歯科診療報酬について 3) 歯科点数表の特徴 4) 歯科診療報酬の算定単位 5) 確認テスト
---	--

成績評価の方法

毎授業の最初に、前回の授業に関する確認テスト（記述テスト、目安時間：20分）を行い、授業の理解度（復習度）を評価する。その後テスト内容の解説を行う（目安時間：40分）。解答は採点およびコメントを付与し返却し、学生に復習の材料としてフィードバックする。

評価比率は以下とし、別途科目試験は行わない。

- ・確認テスト：授業の理解度（復習度）...80%
- ・授業態度（ルーブリックに基づく）.....20%

教科書

本授業では、毎回課題を与え、その解説資料を適宜配付するため、特定の使用テキストはない。

授業外学修（予習・復習）

本授業では事前に予習課題を与えるので、本授業を受講する際には必ず予習（目安時間：約20分）して臨み、解答が間違った箇所・内容については復習（目安時間：約20分）を怠らず行うこと。

また、本科目の評価は、授業内で行うテスト等により行い科目試験は行わないので、授業をしっかりと聞くこと。

その他

参考資料	教科書は特に指定しない。授業中に適宜資料を配付する。
受講生への要望等	本授業は第4学年後期に実施されるので、卒業試験や国家試験を念頭に置いた双方向性・参加型形式とし、学生の皆さんをサポートできるような授業内容にしたいと考えています。指定された範囲・内容の予習と、課題問題の解答・解説後の復習を必ず行ってください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実です。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

社会保障論Ⅰ

更新日：2024/10/13 13:54:20

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	206090	授業コード	10111
担当教員	岸本 貴士						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20609	1○ 3◎ H2○	1○ 3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

社会保障とは、一人ひとりの人間が、健康で文化的な生活を送ることができるように、疾病、失業、死亡、老齢、障害、出産、多子など、人間がでくわすであろう問題について、個人や家族ではなく、社会の責任で解決するための制度である。社会保障（制度）の本質・概要・課題について具体的に理解するために、本授業では、社会保障の基本原則（生活問題の理解、社会保障の理念の変遷、人権と社会保障ほか）を整理したうえで、各種制度（公的医療保険、高齢者福祉と介護保険、労働、年金、生活保護、子ども家庭福祉、障がい者福祉など）を概観する。諸外国の社会保障や社会福祉専門職に資する個別課題（性的マイノリティ支援ほか）も紹介する。

到達目標

1	社会保障（制度）の本質・概要・課題について把握できる。
2	社会保障の諸課題を自らの日常生活の中に見出して理解できる。
3	社会保障の諸課題の解決に向けた方法等について具体的に考えることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	<p>【講義】オリエンテーション、社会保障とは何か（概念、源流と役割） 社会保障の概念、源流と役割について整理する。特に「人権と社会保障」への視座を検討し、諸外国での社会保障制度や昨今の社会保障をめぐる諸問題について認識を深める。</p> <p>1) 生活問題について 2) 諸外国の社会保障の源流 3) 社会保障の役割と機能 4) 基本的人権と社会保障 5) 社会保障理念の変遷</p> <p>（到達目標） ◎社会保障の概念、源流と役割を理解する ・生活問題について説明ができる ・社会保障の基本原則について説明できる ・「人権と社会保障」について理解できる・社会保障と生活問題の関係が理解できる</p>
2	<p>【講義】社会保障のあゆみ 前回に引き続き、社会保障の概念、源流と役割について整理する。特に「人権と社会保障」への視座を検討し、諸外国での社会保障制度や昨今の社会保障をめぐる諸問題について認識を深める。</p> <p>1) 前回のおさらい 2) 社会保障・社会福祉の歴史の概観 3) イギリス・ドイツの社会保障の歴史的特質 4) 第2次世界大戦後の社会保障の発展 5) 「人権」と「思いやり」について 6) 田中芳樹『銀河英雄伝説』から民主主義や人権を検討する①</p> <p>（到達目標） ◎社会保障の概念、源流と役割を理解する ・社会保障・社会福祉の歴史について理解できる ・「人権」と「思いやり」の違いを区別できる ・「人権と社会保障」について理解できる・社会保障と生活問題の関係が理解できる</p>

3	<p>【講義】 社会保障の制度体系 前回に引き続き、社会保障の概念、源流と役割について整理する。特に「人権と社会保障」への視座を検討し、諸外国での社会保障制度や昨今の社会保障をめぐる諸問題について認識を深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 社会保障の体系 2) 社会保険・社会扶助 3) 日本における社会保障体系 4) 社会保障に関する課題 5) 昨今の社会保障をめぐる情勢 6) 田中芳樹『銀河英雄伝説』から民主主義や人権を検討する② <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎社会保障の概念、源流と役割を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・社会保険と社会扶助について説明できる ・昨今の社会保障をめぐる情勢について理解できる ・「人権と社会保障」について理解できる・社会保障と生活問題の関係が理解できる
4	<p>【講義】 公的医療保険制度① 公的医療保険制度の概略を整理し、被用者保険や国民健康保険によって今日の国民皆保険体制に至る変遷について概観する。毎年膨大な医療費が必要となっている昨今の公的医療保険制度をめぐる諸問題についても検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 公的医療保険制度とは 2) 被用者保険と国民健康保険 <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎公的医療保険制度の種類を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・公的医療保険制度の概略を説明できる ・被用者保険と国民健康保険について説明できる ・後期高齢者医療制度について説明できる ・公的医療保険制度をめぐる諸問題（財政問題等）について理解できる
5	<p>【講義】 公的医療保険制度② 前回講義に引き続き、公的医療保険制度の概略を整理し、被用者保険や国民健康保険によって今日の国民皆保険体制に至る変遷について概観する。毎年膨大な医療費が必要となっている昨今の公的医療保険制度をめぐる諸問題についても検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 前回のおさらい 2) 後期高齢者保健制度 3) 公的医療保険制度をめぐる諸問題について <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎公的医療保険制度の種類を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・公的医療保険制度の概略を説明できる ・被用者保険と国民健康保険について説明できる ・後期高齢者医療制度について説明できる ・公的医療保険制度をめぐる諸問題（財政問題等）について理解できる
6	<p>【講義】 高齢者福祉と介護保険制度① 高齢者福祉の変遷等について考察する。「措置から契約へ」「介護の社会化」をめざした介護保険制度導入の背景やその後を概観しながら、社会福祉制度全体へのインパクトや高齢者福祉をめぐる諸問題について整理する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護保険制度の概略について 2) 介護保険制度導入の変遷について 3) 介護保険制度と他の制度との関連 4) 高齢者福祉と介護保険の諸課題について <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎高齢者をめぐる法制度を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の概略を説明できる ・介護保険制度導入の変遷について理解できる ・高齢者福祉と介護保険の諸問題について理解できる
7	<p>【講義】 高齢者福祉と介護保険制度② 前回講義に引き続き、介護保険制度導入からの変遷等について考察する。「措置から契約へ」「介護の社会化」をめざした介護保険制度導入の背景やその後を概観しながら、社会福祉制度全体へのインパクトや高齢者福祉をめぐる諸問題について整理する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 前回のおさらい 2) 介護保険制度と他の制度との関連 3) 高齢者福祉と介護保険の諸課題について <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎高齢者をめぐる法制度を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の概略を説明できる ・介護保険制度導入の変遷について理解できる ・高齢者福祉と介護保険の諸問題について理解できる

8	<p>【講義】生活困窮者支援制度と生活保護① 生活保護制度の概略について考察する。公的扶助の発展過程を考えながら、「健康で文化的な最低限度の生活」と「自立」をめぐる諸問題についても検討する。</p> <p>1) 生活保護制度とは 2) 公的扶助の発展過程 3) 生活保護の基本原則と基本原則 4) 生活保護をめぐる諸問題について</p> <p>(到達目標) ・生活保護制度について説明できる ・公的扶助の発展過程について理解できる ・生活保護の基本原則と基本原則を理解できる</p>
9	<p>【講義】生活困窮者支援制度と生活保護② 生活保護制度の概要を踏まえた上で、生活困窮者自立支援制度について考察する。生活困窮者自立支援制度の概要をおさえながら「健康で文化的な最低限度の生活」と「自立」をめぐる諸問題についても検討する。</p> <p>1) 前回のおさらい 2) 生活困窮者自立支援制度について 3) 「自立」をめぐる論点について 4) 生活保護をめぐる諸問題について</p> <p>(到達目標) ・生活保護制度について説明できる ・生活保護の基本原則と基本原則を理解できる ・生活困窮者自立支援制度について理解できる</p>
10	<p>【講義】労働問題と労災保険・雇用保険① 社会に出て「働く」と、さまざまな法制度で労働者は守られる。ここでは労働者を守る法制度とともに、労災保険、雇用保険の概略について考察する。昨今のワークライフバランスについても考えていく。</p> <p>1) 労働者を守る法制度について 2) 労災保険とは 3) 労働をめぐる諸問題について</p> <p>(到達目標) ◎労働問題と関連する法制度を理解する ・労災保険について説明できる ・労働者を守る法制度や労働・雇用をめぐる諸問題を理解できる</p>
11	<p>【講義】労働問題と労災保険・雇用保険② 社会に出て「働く」と、さまざまな法制度で労働者は守られる。ここでは労働者を守る法制度とともに、労災保険、雇用保険の概略について考察する。昨今のワークライフバランスについても考えていく。</p> <p>1) 前回のおさらい 2) 雇用保険とは 3) 労働や雇用をめぐる諸問題について</p> <p>(到達目標) ◎労働問題と関連する法制度を理解する ・雇用保険について説明できる ・労働者を守る法制度や労働・雇用をめぐる諸問題を理解できる</p>
12	<p>【講義】年金制度 年金制度の概略・変遷を考察する。昨今の老後破産や下流老人に代表される「老後生活と年金」めぐる諸問題を概観し高齢者の生活問題についての認識も深める。</p> <p>1) 「老後生活と年金」に関する諸問題について 2) 年金制度について 3) 高齢者の生活保障について</p> <p>(到達目標) ◎年金制度の体系を理解する ・年金制度の概略を説明できる ・高齢者の生活保障に向けた問題等について理解できる</p>

13	<p>【講義】障がい者福祉 障がい者福祉制度について考察する。障がい者福祉思想と法体系への理解とともに、障がい者の生活保障の視座から今日の障がい者福祉の諸問題について整理する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 障がい者福祉とは 2) 障がい者福祉の思想と法体系 3) 高齢者・障がい者の生活保障について <p>(到達目標)</p> <p>◎障がい者福祉の体系を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉の概略を説明できる ・高齢者・障がい者の生活保障に向けた問題等について理解できる
14	<p>【講義】子ども・家庭福祉① 子どもや家庭をめぐる諸制度について考察する。保育、社会的養護、子育て支援、就学援助等の諸制度の理解とともに、子どもの貧困問題は、「大人の貧困が根底にある」との視座について検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 子ども・家庭をめぐる状況について 2) 保育、児童相談所、社会的養護について 3) 子育て支援・就学援助について 4) 子どもの貧困と「大人の貧困」 <p>(到達目標)</p> <p>◎子ども福祉をめぐる法制度を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭をめぐる状況について理解できる ・子ども家庭福祉をめぐる諸制度について説明できる ・子どもの貧困について理解できる
15	<p>【講義】社会保障と医療・社会福祉専門職 これまでの社会保障諸制度についての振り返りを行いながら、医療・社会福祉専門職として生活問題をどうとらえどう問題解決に向けた動きができるのか検討する。また個別課題（性的マイノリティ支援等）を例にしながらソーシャルアクションについての認識を深めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 社会保障諸制度の振り返り 2) 生活問題の解決に向けた視座について 3) 「制度のはざま」問題について 4) ソーシャルアクションと人権・社会保障について <p>◎医療・社会福祉専門職として社会保障への視座を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活問題の解決への視座について理解できる ・人権への視座とソーシャルアクションの必要性について理解できる

成績評価の方法

- ・科目試験.....70%
- ・授業態度.....10%（毎回授業後にミニツツペーパーを提出、次回授業で教員コメントでフィードバック）
- ・課題レポート...20%（課題レポートについては課題提出後の授業にてコメントを行う）

教科書

村田隆史、曾我千春、長友薫輝編著（2024）『基礎から考える社会保障：私たちの生活を支える制度と仕組み』自治体研究社

授業外学修（予習・復習）

- ・レポートの書き方やノートの取り方について事前に理解しておくこと（解説書があるので読むなどで対応）
- ・該当する教科書の章をあらかじめ読み、授業後はノートを見直すこと（授業日に1時間）
- ・新聞やニュース等にある社会保障・社会福祉にかかわる記事等をまとめておくこと（毎日20分程度）
- ・授業中に、全授業にかかわるレポートのテーマを指定するので、指定された期日までに1200字程度でまとめること（目安：約60分）

その他

参考資料	伊藤周平（2018）『社会保障入門 シリーズケアを考える』ちくま新書 松沢裕作（2018）『生きづらい明治社会—不安と競争の時代』岩波ジュニア新書、ほか
受講生への要望等	社会保障は社会に生きるすべての人に関係するもの。また医療専門職に不可欠な知識です。自分のこととしてどう捉えられるか、ぜひ知的好奇心を持って授業にのぞんでほしい。
授業の質問対応、連絡先	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前後で対応 ・授業用SNS「melly」で対応

歯科技工管理学

更新日：2024/10/17 15:31:49

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	206100	授業コード	3K201
担当教員	樋口 鎮央						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20610		3o E1◎	歯科技工士

授業概要

学生の皆さんがが講義を通じて衛生行政の概要や歯科医療制度を理解する。
歯科技工士として必要な関係法規を理解し、歯科技工士免許の位置づけを学び、歯科医療の向上に貢献できる業務の遂行に生かす。

到達目標

1	衛生行政の概要について説明できる。
2	歯科技工士法について説明できる。
3	歯科技工士試験について説明できる。
4	歯科技工業務について説明できる。
5	歯科技工所開設について説明できる。
6	雑則、罰則、附則について説明できる。
7	歯科医療関係法規について説明できる。
8	その他の関係法規について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】衛生行政の概要について ・法 の概念と体系、組織および活動等について学ぶ。
2	【講義】歯科技工士法について ・法 の目的と定義、免許等について学ぶ。
3	【講義】歯科技工士試験について ・目的、試験科目、受験資格、試験手続き等について学ぶ。
4	【講義】歯科技工業務について ・禁止行為、歯科技工所指示書、指示書の保存義務、守秘義務等について学ぶ。
5	【講義】歯科技工所開設について ・届け出、管理者の義務、改善命令、広告の禁止等について学ぶ。
6	【講義】雑則、罰則、附則について ・歯科技工に関する違反行為と罰則等について学ぶ。
7	【講義】歯科医療関係法規について ・医療法、歯科医師法、歯科衛生士法、医療関係者法等について学ぶ。
8	【講義】その他の関係法規について ・保険関係法規、労働衛生法規、社会保障関係法規等について学ぶ。

成績評価の方法

・筆記試験.....80%
・授業態度及び小テストまたはレポート...20%
小テストの解説は随時講義にて行ない、レポートについてはコメント記入して返却する。

教科書

歯科技工管理学 全国歯科技工士教育協議会 編集 医歯薬出版 2023年
SBN978-4-263-43170-2
必要があれば、随時資料配布。

授業外学修（予習・復習）

各授業計画日の内容毎に該当部分を熟読し、講義に臨んでください。
授業最初に小テストを行うので各回予習30分以上、特に小テストで回答出来なかったところ、間違ったところについて復習30分以上を最低目安とします。

その他

参考資料	特になし。
受講生への要望等	講義の進捗によっては日程順序等の変更を行うことがある。 全回出席すること。 配布資料、小テストは必ずファイリングしておくこと。 国家試験科目なので予習、復習を十分行うこと。
授業の質問対応、連絡先	Mellyにて質疑応答。 もしくは直接、研究室へ

医療事務学Ⅰ

更新日：2024/10/24 09:02:26

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	207010	授業コード	3J101
担当教員	中原 かおる						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20701	3◎ H1○	3◎ E1○	医療事務講師、レセプト点検員、歯科医療事務管理士取得

授業概要

この科目では、健康保険法や療養担当規則に基づき、医療保険制度の仕組みや、医療機関の顔となる窓口業務の基礎知識について講義形式にて学習する。また歯科診療報酬点数表に基づき、初診料・再診料・検査・歯冠形成や歯冠修復などの診療報酬の算定方法を学ぶ。

到達目標

1	医療保険制度のしくみと医療現場での接遇マナーを修得できる。
2	点数算定の基本を理解でき、初診料、再診料、医学管理料のレセプト作成を修得できる。
3	点数算定の基本を理解でき、画像診断・麻酔・検査のレセプト作成を修得できる。
4	点数算定の基本を理解でき、歯冠修復のレセプト作成を習得できる。
5	点数算定の基本を理解でき、初期う蝕・歯髄炎のレセプト作成を修得できる。
6	感染根管の点数算定とカルテの内容が理解でき、レセプト作成を修得できる。
7	歯周疾患の点数算定を理解できる。
8	欠損補綴の点数算定とカルテの内容が理解でき、レセプト作成を修得できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】医療保険制度 ・医療保険制度の概要 ・窓口対応 ・療養担当規則 講義形式にて、上記を解説する。
2	【講義】初診料・再診料・医学管理料（点数算定） 講義形式にて、初診料・再診料・医学管理料の点数算定方法とルールを解説する。
3	【講義】画像診断・麻酔・検査（点数算定） 講義形式にて、画像診断・麻酔・検査の点数算定方法とルールを解説する。
4	【講義】歯冠修復（点数算定） 講義形式にて、歯冠修復の点数算定方法とルールを解説する。
5	【講義】初期う蝕・歯髄炎（点数算定） 講義形式にて、初期う蝕・歯髄炎の点数算定方法とルールを解説する。
6	【講義】感染根管（点数算定） 講義形式にて、感染根管の点数算定方法とルールを解説する。
7	【講義】歯周疾患（点数算定） 講義形式にて、歯周疾患の点数算定方法とルールを解説する。
8	【講義】欠損補綴（点数算定） 講義形式にて、欠損補綴の点数算定方法とルールを解説する。

成績評価の方法

「診療報酬の算定方法」「窓口業務の基本」の理解度をはかる課題レポートを行い、評価する。

評価は、課題レポート60点以上とする。レポートは、解説と点数を記入して返却する。

- ・小テスト20%
- ・レポート60%
- ・授業態度および提出物20%

教科書

(ニチイ学館歯科教材)

- ・医療保険制度のしくみ
- ・歯科 診療報酬の算定ルール
- ・歯科 レセプト点検
- ・歯科 スタディブック
- ・歯科診療報酬点数表
- ・歯科 しっかりわかる基礎ドリル（問題編）
- ・歯科 しっかりわかる基礎ドリル（解答編）

授業外学修（予習・復習）

医療保険制度に興味を持って取り組んでください。

毎回の講義前に診療報酬算定のルールに目を通す、講義後に前回の復習を行ってください。（目安時間：各30分）

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	十分な予習・復習を行ってください。必要なもの「電卓・インデックス」初回授業で伝えます。
授業の質問対応、連絡先	質問等については、講義終了後15分まで講義室にて講師が受け付けます。 授業用SNS「melly」の使用も可。

医療事務学Ⅱ

更新日：2024/10/24 09:02:11

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	207020	授業コード	3J201
担当教員	中原 かおる						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20702	3◎ H1○	3◎ E1○	医療事務講師、レセプト点検員、歯科医療事務管理士取得

授業概要

この科目では、まず診療の流れに沿って歯周病、ブリッジ・義歯等について、診療報酬の算定から診療報酬明細書（レセプト）の点検方法を講義形式にて学習する。次に今までの総まとめとして、「医療事務学Ⅰ」で学習した知識を活用し、コンピュータで作成された診療報酬明細書の点検問題に取り組む。これはカルテに記載された内容を基に、誤って入力されたレセプトの点検問題に取り組むものである。本講義は実際の「技能審査試験」の対策に役立つ講義内容であり、診療報酬請求業務や患者接遇等、医療現場のニーズを重視した内容でもあるため、資格取得も目指すことが可能である。

到達目標

1	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
2	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
3	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
4	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
5	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
6	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
7	医療事務技能審査試験の模擬問題（実技Ⅰ・学科）を実践し、診療報酬請求業務の仕事を理解できる。
8	医療事務技能審査試験の模擬問題（実技Ⅱ）を実践し、診療報酬請求業務の仕事を理解できる。
9	医療事務技能審査試験の模擬問題を実践し、診療報酬請求業務の仕事を理解できる。
10	医療事務技能審査試験の模擬問題を実践し、診療報酬請求業務の仕事を理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）① カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
2	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）② カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
3	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）③ カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
4	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）④ カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
5	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）⑤ カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
6	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）⑥ カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
7	【講義】医療保険制度と点数の知識（学科）・患者対応（実技Ⅰ）の試験対策 医療事務技能審査試験の受験対策として、模擬問題に取り組む。講義形式にて解説する。
8	【講義】レセプト作成と点検（実技Ⅱ）の試験対策 医療事務技能審査試験の受験対策として、模擬問題に取り組む。講義形式にて解説する。
9	【補講1・講義】医療保険制度と点数の知識（学科）の試験対策 医療事務技能審査試験の対策として、模擬問題に取り組む。講義形式にて解説する。
10	【補講2・講義】患者対応（実技Ⅰ）・レセプト作成と点検（実技Ⅱ）の試験対策 医療事務技能審査試験の対策として、模擬問題に取り組む。講義形式にて解説する。

成績評価の方法

「診療報酬の算定方法」「明細書点検問題」「明細書作成問題」の理解度をはかる課題レポートを行い、評価する。評価は、課題レポート60点以上とする。レポートは、解説と点数を記入して返却する。

- ・小テスト20%
- ・レポート60%
- ・授業態度および提出物20%

教科書

- (ニチイ学館歯科教材)
- ・医療保険制度のしくみ
 - ・歯科 診療報酬の算定ルール
 - ・歯科 レセプト点検
 - ・歯科 スタディブック
 - ・歯科診療報酬点数表
 - ・歯科 しっかりわかる基礎ドリル (問題編)
 - ・歯科 しっかりわかる基礎ドリル (解答編)

授業外学修 (予習・復習)

医療保険制度に興味を持って取り組んでください。

毎回の講義前に診療報酬算定のルールに目を通す、講義前に前回の復習を行ってください。(目安時間：各30分)

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	十分な予習・復習を行ってください。 必要なもの「電卓・インデックス」初回授業で伝えます。
授業の質問対応、連絡先	質問等に関しては、講義終了後15分まで講義室にて講師が受け付けます。 授業用SNS「melly」も使用可。

社会福祉論 II

更新日：2024/10/29 11:38:28

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208010	授業コード	1F201
担当教員	武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20801	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

現代社会における社会問題について、その内容や背景について学ぶ。また社会福祉の歴史や社会福祉の理論について概観し、さらに社会福祉施策と関連施策（教育政策、住宅政策、労働政策など）の関係について講義を通して理解する。

到達目標

1	社会福祉の原理をめぐる思想と哲学が理解できる。
2	福祉政策の動向と課題を踏まえ、関連施策や包括的支援について理解できる。
3	社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性が理解できる。
4	福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】社会福祉の原理 社会福祉の原理を学ぶ視点を理解する。
2	【講義】現代における社会問題 貧困、孤立、失業、要援護性、偏見と差別、社会的排除、依存症、自殺等の社会問題について学ぶ。
3	【講義】社会問題における構造的背景 低成長経済、グローバル化、少子高齢化、人口減少社会、格差、貧困、社会意識・価値観の変化について学ぶ。
4	【講義】社会福祉の歴史① 日本の社会福祉の歴史的展開（明治から戦後）を学ぶ。
5	【講義】社会福祉の歴史② 日本の社会福祉の歴史的展開（日本国憲法制定から現在）学ぶ。
6	【講義】社会福祉の歴史③ 世界の社会福祉の歴史的展開を学ぶ。
7	【講義】社会福祉の理論① 政策論、固有論について学ぶ。
8	【講義】社会福祉の理論② 運動論、システム論について学ぶ。
9	【講義】福祉政策の基本的な視点 福祉政策の概念と理念について学ぶ。
10	【講義】福祉政策の構成要素と過程 福祉政策の構成要素の役割と機能と福祉政策過程について学ぶ。
11	【講義】福祉政策におけるニーズと資源 種類と内容、把握方法、開発方法について学ぶ。
12	【講義】福祉政策と関連政策① 保健医療政策、教育政策、住宅政策について学ぶ。
13	【講義】福祉政策と関連政策② 労働政策、経済政策について学ぶ。
14	【講義】社会福祉の国際比較 「福祉後進国」と「福祉先進国」について学ぶ。 さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、日本における社会福祉の実際を学ぶ。
15	【講義】社会福祉論 II のまとめ 今後の社会福祉について展望する。

成績評価の方法

- ・中間レポート =40点
- ・本試験 =60点
- 合計 100点

・中間レポートについて、授業内でコメントする。

教科書

石田慎二、山縣文治編著（2024）『新・プリマーズ 社会福祉 [第6版]』ミネルヴァ書房

授業外学修（予習・復習）

- ・健康と生活に関するニュースに注目し、自分なりの考えをまとめる（毎日10分程度）。
- ・授業後にはテキストとノートを見直し復習する（30分）。

その他

参考資料	與那嶺司、渡辺裕一、永野咲編著（2023）『基礎ゼミ 社会福祉学』世界思想社 この他、授業で随時紹介する。
受講生への要望等	講義形式の授業であるが、積極的に参加してほしい。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業時間内で対応するが、授業時間外の場合はmellyおよび研究室で対応する。研究室での質問の場合は、事前にmellyでアポイントをとること。

社会保障論Ⅱ

更新日：2024/10/13 13:52:54

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208020	授業コード	4F102
担当教員	岸本 貴士						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
	1030 H2◎	1030 E2◎	社会福祉士

授業概要

社会保障論Ⅰを踏まえた上で、社会保障の基本原則（生活問題の理解、社会保障の理念の変遷、人権と社会保障ほか）を改めて整理したうえで、各種制度（公的医療保険、高齢者福祉と介護保険、労働、年金、生活保護、子ども家庭福祉、障がい福祉など）を概観する。また、教科書とする新書を読み、ディスカッションを通して社会保障の諸問題を整理する。また社会福祉士国家試験にも求められる知識や対応力を身につけていく。

到達目標

1	日本の社会保障制度が直面している諸課題を整理することができる。
2	社会保障の諸課題を自らの日常生活の中に見出して理解することができる。
3	社会保障の諸課題の解決に向けた方法等について具体的に考えることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	<p>【講義】社会保障の基本原則 社会保障論Ⅰで学んだことの振り返りを行いながら、改めて社会保障の基本原則について整理する。特に「人権と社会保障」への視座を検討し、諸外国での社会保障制度や昨今の社会保障をめぐる諸問題について認識を深める。</p> <p>1) 生活問題について 2) 社会保障の考え方の変遷 3) 人権と社会保障 4) 昨今の社会保障をめぐる情勢</p> <p>(到達目標) ◎社会保障の基本原則を理解する ・生活問題について説明ができる ・社会保障の基本原則について説明できる ・「人権と社会保障」について理解できる</p>
2	<p>【講義】公的医療保険制度① 公的医療保険制度の概略を整理し、被用者保険や国民健康保険によって今日の国民皆保険体制に至る変遷について概観する。毎年膨大な医療費が必要となっている昨今の公的医療保険制度をめぐる諸問題についても検討する。</p> <p>1) 公的医療保険制度とは 2) 被用者保険と国民健康保険</p> <p>(到達目標) ◎公的医療保険制度の種類を理解する ・公的医療保険制度の概略を説明できる ・被用者保険と国民健康保険について説明できる ・後期高齢者医療制度について説明できる ・公的医療保険制度をめぐる諸問題（財政問題等）について理解できる</p>

3	<p>【講義】 公的医療保険制度② 前回講義に引き続き、公的医療保険制度の概略を整理し、被用者保険や国民健康保険によって今日の国民皆保険体制に至る変遷について概観する。毎年膨大な医療費が必要となっている昨今の公的医療保険制度をめぐる諸問題についても検討する。</p> <p>1) 前回のおさらい 2) 後期高齢者保健制度 3) 公的医療保険制度をめぐる諸問題について</p> <p>(到達目標)</p> <p>◎公的医療保険制度の種類を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的医療保険制度の概略を説明できる ・被用者保険と国民健康保険について説明できる ・後期高齢者医療制度について説明できる ・公的医療保険制度をめぐる諸問題（財政問題等）について理解できる
4	<p>【講義】 高齢者福祉と介護保険制度① 高齢者福祉の変遷等について考察する。「措置から契約へ」「介護の社会化」をめざした介護保険制度導入の背景やその後を概観しながら、社会福祉制度全体へのインパクトや高齢者福祉をめぐる諸問題について整理する。</p> <p>1) 介護保険制度の概略について 2) 介護保険制度導入の変遷について 3) 介護保険制度と他の制度との関連 4) 高齢者福祉と介護保険の諸課題について</p> <p>(到達目標)</p> <p>◎高齢者をめぐる法制度を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の概略を説明できる ・介護保険制度導入の変遷について理解できる ・高齢者福祉と介護保険の諸問題について理解できる
5	<p>【講義】 高齢者福祉と介護保険制度② 前回講義に引き続き、介護保険制度導入からの変遷等について考察する。「措置から契約へ」「介護の社会化」をめざした介護保険制度導入の背景やその後を概観しながら、社会福祉制度全体へのインパクトや高齢者福祉をめぐる諸問題について整理する。</p> <p>1) 前回のおさらい 2) 介護保険制度と他の制度との関連 3) 高齢者福祉と介護保険の諸課題について</p> <p>(到達目標)</p> <p>◎高齢者をめぐる法制度を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の概略を説明できる ・介護保険制度導入の変遷について理解できる ・高齢者福祉と介護保険の諸問題について理解できる
6	<p>【講義】 生活困窮者支援制度と生活保護① 生活保護制度の概略について考察する。公的扶助の発展過程を考えながら、「健康で文化的な最低限度の生活」と「自立」をめぐる諸問題についても検討する。</p> <p>1) 生活保護制度とは 2) 公的扶助の発展過程 3) 生活保護の基本原則と基本原則 4) 生活保護をめぐる諸問題について</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度について説明できる ・公的扶助の発展過程について理解できる ・生活保護の基本原則と基本原則を理解できる
7	<p>【講義】 生活困窮者支援制度と生活保護① 生活保護制度の概要を踏まえた上で、生活困窮者自立支援制度について考察する。生活困窮者自立支援制度の概要をおさえながら「健康で文化的な最低限度の生活」と「自立」をめぐる諸問題についても検討する。</p> <p>1) 前回のおさらい 2) 生活困窮者自立支援制度について 3) 「自立」をめぐる論点について 4) 生活保護をめぐる諸問題について</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度について説明できる ・生活保護の基本原則と基本原則を理解できる ・生活困窮者自立支援制度について理解できる

8	<p>【講義】労働問題と労災保険・雇用保険① 社会に出て「働く」と、さまざまな法制度で労働者は守られる。ここでは労働者を守る法制度とともに、労災保険、雇用保険の概略について考察する。昨今のワークライフバランスについても考えていく。</p> <p>1) 労働者を守る法制度について 2) 労災保険とは 4) 労働をめぐる諸問題について</p> <p>(到達目標) ◎労働問題と関連する法制度を理解する ・労災保険について説明できる ・労働者を守る法制度や労働・雇用をめぐる諸問題を理解できる</p>
9	<p>【講義】労働問題と労災保険・雇用保険② 社会に出て「働く」と、さまざまな法制度で労働者は守られる。ここでは労働者を守る法制度とともに、労災保険、雇用保険の概略について考察する。昨今のワークライフバランスについても考えていく。</p> <p>1) 前回のおさらい 2) 雇用保険とは 4) 労働や雇用をめぐる諸問題について</p> <p>(到達目標) ◎労働問題と関連する法制度を理解する ・雇用保険について説明できる ・労働者を守る法制度や労働・雇用をめぐる諸問題を理解できる</p>
10	<p>【講義】年金制度 年金制度の概略・変遷を考察する。昨今の老後破産や下流老人に代表される「老後生活と年金」めぐる諸問題を概観し高齢者の生活問題についての認識も深める。</p> <p>1) 「老後生活と年金」に関する諸問題について 2) 年金制度について 3) 高齢者の生活保障について</p> <p>(到達目標) ◎年金制度の体系を理解する ・年金制度の概略を説明できる ・高齢者の生活保障に向けた問題等について理解できる</p>
11	<p>【講義】障がい者福祉 障がい者福祉制度について考察する。障がい者福祉思想と法体系への理解とともに、障がい者の生活保障の視座から今日の障がい者福祉の諸問題について整理する。</p> <p>1) 障がい者福祉とは 2) 障がい者福祉の思想と法体系 3) 高齢者・障がい者の生活保障について</p> <p>(到達目標) ◎障がい者福祉の体系を理解する ・障がい者福祉の概略を説明できる ・高齢者・障がい者の生活保障に向けた問題等について理解できる</p>
12	<p>【講義】子ども・家庭福祉① 子どもや家庭をめぐる諸制度について考察する。保育、社会的養護、子育て支援、就学援助等の諸制度の理解とともに、子どもの貧困問題は、「大人の貧困が根底にある」との視座について検討する。</p> <p>1) 子ども・家庭をめぐる状況について 2) 保育、児童相談所、社会的養護について</p> <p>(到達目標) ◎子ども福祉をめぐる法制度を理解する ・子ども家庭をめぐる状況について理解できる ・子ども家庭福祉をめぐる諸制度について説明できる ・子どもの貧困について理解できる</p>

13	<p>【講義】子ども・家庭福祉② 前回到引き続き、子どもや家庭をめぐる諸制度について考察する。保育、社会的養護、子育て支援、就学援助等の諸制度の理解とともに、子どもの貧困問題は、「大人の貧困が根底にある」との視座について検討する。</p> <p>1) 前回のおさらい 2) 子育て支援・就学援助について 3) 子どもの貧困と「大人の貧困」</p> <p>(到達目標) ◎子ども福祉をめぐる法制度を理解する ・子ども家庭をめぐる状況について理解できる ・子ども家庭福祉をめぐる諸制度について説明できる ・子どもの貧困について理解できる</p>
14	<p>【講義】社会保障と社会福祉専門職① これまでの社会保障諸制度についての振り返りを行いながら、社会福祉専門職として生活問題をどうとらえどう問題解決に向けた動きができるのか検討する。また個別課題（性的マイノリティ支援等）を例にしながらソーシャルアクションについての認識を深めていく。</p> <p>1) 社会保障諸制度の振り返り 2) 生活問題の解決に向けた視座について</p> <p>(到達目標) ◎社会福祉専門職として社会保障への視座を理解する ・社会保障諸制度について説明できる ・生活問題の解決への視座について理解できる</p>
15	<p>【講義】社会保障と社会福祉専門職① 前回講義に引き続き、社会福祉専門職の位置について検討する。社会保障諸制度には「制度のはざま」問題が生じること、さらに個別支援では対処しきれない諸課題も少なくない。人権の視点を持ったアプローチについて理解と実践について検討する。</p> <p>1) 前回のおさらい 2) 「制度のはざま」問題について 4) 人権とソーシャルアクションと社会保障について</p> <p>(到達目標) ◎社会福祉専門職として社会保障への視座を理解する ・生活問題の解決への視座について理解できる ・人権とソーシャルアクションの必要性について理解できる</p>

成績評価の方法

科目試験70%

授業態度10%（毎回授業後にミニツツペーパーを提出、次回授業で教員コメントでフィードバック）

課題レポート20%

課題レポートについては学生の授業発表時にコメントを行う。

教科書

- ・日本ソーシャルワーク教育連盟編（2021）『社会保障』中央法規出版
- ・松沢裕作（2018）『生きづらい明治社会—不安と競争の時代』岩波ジュニア新書
- ・毎回授業でプリント配布する。

授業外学修（予習・復習）

- ・レポートの書き方やノートの取り方について事前に理解しておくこと（解説書があるので読むなどで対応）
- ・該当する教科書の章をあらかじめ読み、授業後はノートを見直すこと（授業日に1時間）
- ・新聞やニュース等にある社会保障・社会福祉にかかわる記事等をまとめておくこと（毎日20分程度）
- ・教科書に指定した新書についてディスカッションをするので要約や「なぜこう思うのか」等の意見をまとめておく、など（授業日に30分程度）。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・村田隆史、曾我千春、長友薫輝編著（2024）『基礎から考える社会保障：私たちの生活を支える制度と仕組み』自治体研究社 ・日本医療総合研究所（2022）『コロナ禍で見えた保健・医療・介護の今後 新自由主義をこえて』新日本出版社 <p>その他、授業内で随時提示する。</p>
受講生への要望等	<p>社会保障は社会に生きるすべての人に関係するもの。「自分のこと」としてどう捉えられるか、ぜひ知的好奇心を持って授業にのぞんでほしい。</p>
授業の質問対応、連絡先	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前後で対応 ・授業用SNS「melly」で対応

社会福祉調査学

更新日：2024/10/07 11:37:22

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208030	授業コード	4F103
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20802	3〇 H2◎	3〇 E2◎	社会福祉士

授業概要

【授業目的】

社会福祉調査の目的や種類（量的調査及び質的調査の方法を含む）を具体的に学習することを通して、社会福祉調査の実施に必要な知識と倫理観について理解する。

【授業内容】

社会調査の量的調査方法を復習し、そのうえで質的調査方法の概要を学ぶ。また、社会調査を実施する際のリサーチマインド、倫理と個人情報保護について学ぶ。すべて講義形式で行うが、適宜、グループディスカッションを授業内に行う。

到達目標

1	社会福祉調査の目的と意義を理解できる。
2	社会福祉調査における量的調査の種類、方法とその意義を理解できる。
3	社会福祉調査における質的調査の種類、方法とその意義を理解できる。
4	調査時に不可欠な個人情報保護の内容と方法を理解することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】社会福祉調査の意義と目的 社会調査とは何か、意義と目的について概説する。また、調査をする際のリサーチマインドについて学ぶ。
2	【講義】社会調査の歴史と変遷 近代以前、近代以後の欧米と日本の社会福祉調査の変遷をもとに、社会調査の側面について概説する。
3	【講義】統計法、社会福祉調査における倫理と個人情報保護 統計法の意義、改正のポイント、基幹統計と一般統計について概説する。また、社会福祉調査を実施する際に必要となる倫理的配慮と個人情報の適切な取り扱いについて、事例をもとに理解を深める。
4	【講義】量的調査の意義と目的、質問紙の作成方法と留意点 量的調査の目的、種類と方法について、具体的な事例をもとに概説する。合わせて、質問紙作成時の注意事項、回答方法について演習を通して理解を深める。また、測定と尺度、尺度の信頼性と妥当性について概説する。
5	【講義】質問紙の配布と回収、集計と分析 質問紙の配布と回収後の作業について概説する。また量的調査の集計と分析について事例やディスカッションを通して理解を深める。
6	【講義】質的研究の意義と目的 質的研究の意義と目的、観察法と面接法について概説する。また、個人演習としてインタビューガイドを作成し、その目的について理解を深める。
7	【講義】質的調査のデータ整理と分析 事例研究法、KJ法、GTAといった質的研究のデータ整理と分析方法について概説する。
8	【講義】ソーシャルワークにおける評価、社会福祉調査におけるIT活用 ソーシャルワークにおける評価の対象・観点・方法について概説する。また、実査及びデータ作成・分析におけるIT活用について理解を深める。

成績評価の方法

科目試験.....70%

授業中に課す小レポート...30%

授業中で課す小レポートについては、随時講義でフィードバックする。

教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会 編「社会福祉調査の基礎」(2023)

ISBN10:4335612109

配布する資料の補足や個人ワークの題材として教科書を使用する。

授業外学修（予習・復習）

普段より新聞、インターネット等の福祉に関わるニュースを注視しておくこと。特に、調査が行われていた場合はその方法、内容、考察をよく読み、授業で学んだことと照らし合わせるようにすること（30分）。

学んだ調査方法が使われている論文を調べ、要点を把握すること(30分)。

その他

参考資料	授業中に随時紹介する。
受講生への要望等	私語はしないこと。双方向の授業を行うため、積極的に授業に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に教員室で受け付けます。

心理学Ⅱ

更新日：2024/09/22 19:23:52

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208040	授業コード	3F102
担当教員	梶原 佳子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20804	3〇 H2◎	3〇 E2◎	なし

授業概要

心理学理論については、福祉分野と関連の深い事項を学習し、心理的存在としての人間の理解を深める。また心理的支援については、心理検査や心理療法などの理論的背景と実施方法を学ぶ。

Google Classroom と Melly を利用した双方向型授業。

到達目標

1	福祉分野に関わる心理学の理論を理解し説明できる
2	福祉分野での心理的支援について理解し説明できる
3	福祉分野で用いられる心理検査について理解し説明できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	<p>【オンデマンド授業】性格の心理学 人間の行動を特徴づける性格について心理学的に理解し、性格検査と心理アセスメントの実施方法と評価について学ぶ。 ＜この授業の到達目標＞</p> <ol style="list-style-type: none">性格の理論について理解し説明できる。性格検査と心理的アセスメントについて理解し説明できる。心理検査の実施方法と評価について理解し説明できる。 <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（目安時間：約40分）（第2章第6節2、第5章第1節2） 【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。（目安時間：約30分）</p>
2	<p>【オンデマンド授業】感情の心理学 感情の心理学について発達の観点から理解する。また愛着の発達と理論、幼少期の愛着の質と内的作業モデルについて学び愛着の形成について理解する。 ＜この授業の到達目標＞</p> <ol style="list-style-type: none">感情の心理学について発達の観点から理解し説明できる。感情にかかわる問題についての対応や対策について理解し説明できる愛着の発達と理論や愛着の質について理解し説明できる <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（目安時間：約40分）（第2章第2節1～3、第3章第2節3） 【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。（目安時間：約30分）</p>
3	<p>【オンデマンド授業】欲求・動機づけと心理療法1 欲求と動機づけのメカニズムと欲求不満や葛藤、原因帰属のスタイルなどについて学習する。学習目標は以下のとおりである。また心理療法の目的とパーソンセンタード・カウンセリング、精神分析、遊戯療法の理論的背景と概要、実施法について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none">欲求と欲求不満、動機づけの理論について理解し説明できる。原因帰属のスタイルと自己効力感について理解し説明できる。防衛機制について理解し説明できる。心理療法（パーソンセンタード・カウンセリング、精神分析、遊戯療法）について理解し説明できる。 <p>【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（目安時間：約40分）（第2章第2節4、第1章第1節1～10、第5章第3節1、8） 【復習】課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。（目安時間：約30分）</p>

4	<p>【オンデマンド授業】 適応・ストレス ストレスについて心理学的な観点から学習し、問題となる状況について理解し、適切な対処法や支援について学ぶ。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ストレスに関する心理学的理論について理解し説明できる。 2. ストレス反応の個人差について理解し説明できる。 3. パーンアウトについて理解し説明できる。 4. ストレスコーピングについて理解し説明できる。 <p>【予習】 授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（目安時間：約40分）（第4章第5章第1節第4節） 【復習】 課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。（目安時間：約30分）</p>
5	<p>【オンデマンド授業】 記憶と学習のメカニズム 記憶と学習のメカニズムについてまなび、思考や行動の中枢である脳の機能について学ぶ。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 記憶のメカニズムについて理解し説明できる。 2. 学習のメカニズムについて理解し説明できる。 3. 思考や行動の中枢としての脳の機能について理解し説明できる。 <p>【予習】 授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（目安時間：約40分）（第2章第4節第5節2） 【復習】 課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。（目安時間：約30分）</p>
6	<p>【オンデマンド授業】 心理療法2 行動療法や認知行動療法、また各種心理療法について理解し学ぶ。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動療法の技法と対象となる問題について理解し説明できる。 2. 認知行動療法の技法と対象となる問題について理解し説明できる。 3. 福祉分野で用いられることが多い心理療法について技法と対象となる問題について理解し説明できる。 <p>【予習】 授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（目安時間：約40分）（第5章第3節2～7，第2節） 【復習】 課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。（目安時間：約30分）</p>
7	<p>【オンデマンド授業】 認知と社会の心理 認知のメカニズムについて理解し、社会的関係の心理、対人交流コミュニケーションについて学ぶ。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知のメカニズムについて理解し説明できる。 2. 対人認知と社会心理について理解し説明できる。 3. 集団の心理について理解し説明できる。 4. コミュニケーションの理論と特徴について理解し説明できる。 <p>【予習】 授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（目安時間：約40分）（第2章第3節、第5節1，3，第7節） 【復習】 課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。（目安時間：約30分）</p>
8	<p>【オンデマンド授業】 知能と発達の心理 知能の理論と知能検査について学び、発達の理論と人の生涯発達について心理学的に理解する。学習目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知能の理論について理解し説明できる。 2. 知能検査の種類と実践について理解し説明できる。 3. 発達段階と発達課題について理解し説明できる。 <p>【予習】 授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（目安時間：約40分）（第2章第6節6、第5章第1節2ー1、第3章） 【復習】 課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。（目安時間：約30分）</p>

成績評価の方法

科目試験...100%

ただし各授業ごとの課題が一つでも未提出の場合は試験を受けられないので注意すること。

授業後の課題の小テストについて、解答と解説は試験前に、試験受験対象者から全ての課題提出が確認されてから、Mellyで公開する。

教科書

最新 2 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 心理学理論と心理的支援 中央法規出版
 ISBN978-4-8058-8232-0

授業外学修（予習・復習）

【予習】 授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（目安時間：約40分）

テキストの該当箇所は授業計画に記載

【復習】 課題の小テストに回答して、学習内容の理解度を確認する。（目安時間：約30分）

その他

参考資料	授業中に適宜指示する。
受講生への要望等	各授業ごとの課題（小テスト）は必ず期限内に提出すること。 1つでも未提出の場合は科目試験を受験できないので留意すること。
授業の質問対応、連絡先	授業内容に関する質問については、Mellyで行うこと。ただし、パソコンの操作等については対応できない。 試験の日時や教室については回答できないので、不明な場合の問い合わせ先は教務課で確認すること。

地域福祉論Ⅰ

更新日：2024/12/19 15:45:42

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208080	授業コード	2F202
担当教員	川添 礼子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208080	4 ○ H2 ◎	4 ○ E2 ◎	社会福祉士、介護支援専門員

授業概要

地域福祉の概念と、歴史的展開を概説し、それが誕生した背景、意義を学ぶ。
地域福祉の理論と実践を学ぶ。

到達目標

1	地域福祉の概念と意義を理解し、説明できる。
2	地域福祉の歴史的展開を理解できる。
3	地域福祉の理論と実践を結び付けて理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、地域社会とコミュニティ1 地域社会をめぐる基本的な概念と理論について概説する。
2	【講義】地域社会とコミュニティ2 地域社会の変化による課題と対応策について概説する。
3	【講義】地域社会とコミュニティ3 多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズについて概説する。
4	【講義】地域社会とコミュニティ4 地域福祉の概念について理解し、社会的孤立とセルフネグレクト、社会的排除の概念について概説する。
5	【講義】地域共生社会1 地域包括ケアシステムとその展開過程について概説する。
6	【講義】地域共生社会2 生活困窮者自立支援制度の目的、基本理念、概要について概説する。
7	【講義】地域共生社会3 包括的支援体制とその展開方法について概説する。
8	【講義】地域共生社会4 地域共生社会の実現に向けた政策について概説する。
9	【講義】地域福祉ガバナンスと多機関協働1 地域福祉ガバナンスの概念について概説する。
10	【講義】地域福祉ガバナンスと多機関協働2 多機関が協働する意義と仕組みについて概説する。
11	【講義】地域福祉ガバナンスと多機関協働3 多職種連携の目的、福祉以外の分野との協議の目的と意義について概説する。
12	【講義】地域福祉1 地域福祉の概念と理論について概説する。
13	【講義】地域福祉2 地域福祉の歴史の変遷について概説する。
14	【講義】地域福祉3 地域福祉の推進にかかわる主体(組織)の役割について概説する。
15	【講義】まとめ これまで学んだことを踏まえ、地域福祉の課題と今後のあり方について議論する。

成績評価の方法

科目試験...80%

授業態度...10%

授業中に課す課題、感想文...10%

課題、感想文については随時講義にてコメントする。

教科書

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集『地域福祉と包括的支援体制』（最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座6）中央法規 2021
ISBN-10：4805882360

授業外学修（予習・復習）

【予習】教科書の、次回の授業内容に該当するページを読んでから受講することが望ましい（30分程度）。

【復習】前回までの授業内容に該当する部分を、教科書、配布資料で復習しましょう（30分程度）。

その他

参考資料	教科書で紹介されている引用文献、参考文献、おすすめ文献
受講生への要望等	知的好奇心、自主性、主体性を持って受講いただくことを望みます。
授業の質問対応、連絡先	「Melly」にて対応します。

地域福祉論Ⅱ

更新日：2025/04/21 09:24:24

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208090	授業コード	3F103
担当教員	川添 礼子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208090	4 ○ H2 ◎	4 ○ E2 ◎	社会福祉士、介護支援専門員

授業概要

地域を基盤としたソーシャルワークの概念と、災害時における法制度を概説し、地域福祉の展開方法を学ぶ。
地域福祉を推進するための、福祉行財政と福祉計画について概説し、社会福祉の実施体制について学ぶ。
なお、本授業は「地域福祉論Ⅰ」との連続性をもって行う。

到達目標

1	地域福祉の理論と実践を結び付けて理解できる。
2	地域生活課題を自ら見出し、今後のあり方について検討する力を養うことができる。
3	地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解できる。
4	福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、地域を基盤としたソーシャルワーク1 地域を基盤としたソーシャルワークの概念について概説する。
2	【講義】地域を基盤としたソーシャルワーク2 地域を基盤としたソーシャルワークの方法について概説する。
3	【講義】地域を基盤としたソーシャルワーク3 住民の主体形成を援助するソーシャルワークの視点と方法について概説する。
4	【講義】地域を基盤としたソーシャルワーク4 地域を基盤としてソーシャルワークの具体的展開について概説する。 ゲストスピーカー(コミュニティソーシャルワーカー)による活動実践報告を通じて地域を基盤としたソーシャルワークの展開過程について理解を深める。
5	【講義】災害ソーシャルワーク1 災害時における法制度である災害対策基本法、災害救助法等を概説する。
6	【講義】災害ソーシャルワーク2 災害時における総合的かつ包括的な支援について概説する。
7	【講義】福祉計画1 福祉計画の定義、歴史的展開について概説する。
8	【講義】福祉計画2 地域福祉計画（市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画）の歴史的展開について概説する。
9	【講義】福祉計画3 福祉計画の策定過程と方法について概説する。
10	【講義】福祉計画4 福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術について概説する。
11	【講義】福祉計画5 福祉計画における評価について概説する。
12	【講義】福祉行財政システム1 国・都道府県・市町村の福祉行政体制と役割について概説する。
13	【講義】福祉行財政システム2 福祉行政の組織及び専門職の役割について概説する。
14	【講義】福祉行財政システム3 福祉における財源について概説する。
15	【講義】まとめ これまで学んだことを踏まえ、地域福祉の課題と今後のあり方について議論する。

成績評価の方法

科目試験...80%

授業態度...10%

授業中に課す課題、感想文...10%

課題、感想文については随時講義にてコメントする。

教科書

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集『地域福祉と包括的支援体制』（最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座6）中央法規 2021
ISBN-10：4805882360

授業外学修（予習・復習）

【予習】教科書の、次回の授業内容に該当するページを読んでから受講することが望ましい（30分程度）。

【復習】前回までの授業内容に該当する部分を、教科書、配布資料で復習しましょう（30分程度）。

その他

参考資料	教科書で紹介されている引用文献、参考文献、おすすめ文献
受講生への要望等	知的好奇心、自主性、主体性を持って受講いただくことを望みます。
授業の質問対応、連絡先	「Melly」にて対応します。

福祉経営論

更新日：2024/11/08 20:20:31

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208110	授業コード	4F101
担当教員	馬淵 晃浩						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20811	3〇 H2〇	3〇 E2〇	社会福祉士、福祉事業所経営

授業概要

医療・福祉サービスは社会インフラであり、質を保ち（より向上させながら）継続的にサービス提供できることは医療・福祉事業のミッションである。ミッション達成には、限りある資源「ヒト・モノ・カネ」をいかにマネジメント（経営）するかを無視することはできない。本講座では、社会福祉士として「よりよいサービスを創造し、よりよい社会の実現（社会全体のwell-being）をいかに目指していくか。」を、組織・経営・運営の視点から学習していく。学習は教科書を利用し、国家試験を意識（過去問演習）しながら進めていく。また同時に、相互の学びと知識の定着、多様な意見を取り入れることこそが「組織運営」であることから、グループワークを積極的に取り入れる。

到達目標

1	業務上必要な組織や団体の歴史、現在の組織間連携について理解できる。
2	組織経営、集団力学、（組織内外での）リーダーシップの基礎理論について理解できる。
3	経営体制、コンプライアンス、ガバナンス、戦略やマーケティング、リスクマネジメント、品質マネジメント、情報管理、財務管理について理解できる。
4	福祉サービスに従事する労働者としての位置づけと、福祉サービスの人材マネジメントについて理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義、グループワーク】イントロダクション、生活と経営 1) 国家試験における過去問演習の必要性について 2) 資本主義社会に生きる私達について 3) お金とは何か、お金がどのように動いているのかを概説 4) 事業と投資（人的、ペーパー、不動産等）を概説 5) 当講座の説明 6) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習として、教科書の「刊行にあたって」「はじめに」「目次」を読んでくること（20分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
2	【講義、グループワーク】第1章 福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割（1） 1) 過去問演習 2) 福祉サービスを提供する組織 3) 福祉サービスの沿革と概況 4) 組織間連携と促進 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P1～P62を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
3	【講義、グループワーク】第1章 福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割（2） 1) 過去問演習 2) 福祉サービスを提供する組織 3) 福祉サービスの沿革と概況 4) 組織間連携と促進 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P1～P62を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
4	【講義、グループワーク】第2章 福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論（1） 1) 過去問演習 2) 組織運営に関する基礎理論 3) 集団の力学に関する基礎理論 4) リーダーシップに関する基礎理論 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P63～P95を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）

5	<p>【講義、グループワーク】第2章 福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論（2）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 組織運営に関する基礎理論 3) 集団の力学に関する基礎理論 4) リーダーシップに関する基礎理論 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習は教科書P63～P95を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
6	<p>【講義、グループワーク】第3章 福祉サービス提供組織の経営と実際（1）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 経営体制 3) 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス 4) 適切な福祉サービスの経営管理 5) 情報管理 6) 会計管理と財務管理 7) 本日のテーマに沿ったグループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習は教科書P97～P188を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
7	<p>【講義、グループワーク】第3章 福祉サービス提供組織の経営と実際（2）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 経営体制 3) 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス 4) 適切な福祉サービスの経営管理 5) 情報管理 6) 会計管理と財務管理 7) 本日のテーマに沿ったグループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習は教科書P97～P188を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
8	<p>【講義、グループワーク】第3章 福祉サービス提供組織の経営と実際（3）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 経営体制 3) 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス 4) 適切な福祉サービスの経営管理 5) 情報管理 6) 会計管理と財務管理 7) 本日のテーマに沿ったグループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習は教科書P97～P188を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
9	<p>【講義、グループワーク】第4章 福祉人材のマネジメント（1）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 福祉人材マネジメント 3) 福祉人材の育成 4) 働きやすい労働環境の整備 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習は教科書P189～P277を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
10	<p>【講義、グループワーク】第4章 福祉人材のマネジメント（2）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 福祉人材マネジメント 3) 福祉人材の育成 4) 働きやすい労働環境の整備 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習は教科書P189～P277を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
11	<p>【講義、演習】事業計画を作成する（1）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 演習内容の説明 3) 各個人で福祉事業を開設することを仮定し、事業計画を作成する。 4) 作成した計画を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、日本政策金融公庫の「創業支援」について確認しておくこと（30分） ・事後学習として、3) で作成したものを修正すること。
12	<p>【グループワーク】事業計画を作成する（2）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 演習内容の説明 3) 講義11で作成した事業計画からグループで1つを選択し、事業計画を作り込む。 4) 作成した計画を発表、質疑を受ける。 <p>※4) については、金融機関の融資担当や福祉事業経営者等を招待し評価をもらうこともある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、日本政策金融公庫の「創業支援」について確認しておくこと（30分） ・事後学習として、講義11-3) で作成したものを修正すること。

13	<p>【講義、演習】 資金計画を作成する（1）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 演習内容の説明 3) 第11回講義で作成した事業計画に基づき、各個人で資金計画を作成する 4) 作成した計画を発表し質疑を受ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、日本政策金融公庫の「創業支援」について確認しておくこと（30分） ・事後学習として、3) で作成したものを修正すること。
14	<p>【グループワーク】 資金計画を作成する（2）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 演習内容の説明 3) 第13回講義で作成した資金計画をグループで1つを選択し、事業計画を作り込む。 4) 作成した計画を発表し質疑を受ける。 <p>※4) については、金融機関の融資担当や福祉事業経営者等を招待し評価をもらうこともある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、日本政策金融公庫の「創業支援」について確認しておくこと（30分） ・事後学習として、講義13-3) で作成したものを修正すること。
15	<p>【講義、グループワーク】 総括</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去問演習 2) 今までの講義を振り返る。 3) グループで経営に大切なもの、大切にしたいことについてディスカッションを行う。 4) グループ発表

成績評価の方法

過去3年の国家試験を二者択一にて100問出題。
60%以上で合格とする。

教科書

「最新 社会福祉士養成講座 1 福祉サービスの組織と経営」2022年2月1日 初版第2刷発行 ISBN978-4-8058-8244-3
講義2回目～10回目で使用。

授業外学修（予習・復習）

各講義詳細に記載している。

その他

参考資料	<p>社会福祉士倫理綱領・行動規範 厚生労働省ホームページより「介護事業経営概況調査」 日本政策金融公庫ホームページ 経済産業省ホームページ</p>
受講生への要望等	<p>経営は実生活と直結することを感じてほしい。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>A-potaまたは、メール（eabx509@mkc.zaq.ne.jp）にて</p>

高齢者福祉論

更新日：2024/10/11 13:16:40

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208120	授業コード	1F203
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20812	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

【授業目的】

地域包括ケア、地域共生社会の実現を目指すための各高齢者福祉施策について、歴史・法律・サービスなど様々な視点から理解を深める。

【授業内容】

高齢社会の動向、高齢者の特性、生活実態と抱える生活問題について概説する。その上で高齢者福祉の歴史的展開、現在の高齢者の生活を保障する介護保険制度、老人福祉制度、その他関連する制度・政策、各種サービスを概説する。また、これらの制度・政策、サービスの実際を視聴覚教材等を通して学ぶ。基本的に講義形式で行うが、適宜、グループディスカッションを用いる。

到達目標

1	高齢者の抱える生活問題と社会福祉の必要性について理解できる。
2	高齢者福祉の歴史的展開とその意義、課題について理解できる。
3	介護保険制度の意義、目的、仕組みと内容、課題を理解できる。
4	高齢者福祉の課題について自ら考え、今後のあり方について検討する力を修得できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーションー社会福祉士と高齢者福祉ー 高齢者福祉での学び、高齢者支援における基本的な考え方（生態学・システム的な考え方、ストレングス等）について概説する。個人ワークやグループディスカッションを通して「高齢者」に対するイメージをまとめ、自分たちの有する高齢者像を整理する。
2	【講義】高齢者の特徴とその理解 高齢者の定義を踏まえ、データを示しながら、高齢者の身体的、心理的、社会的等の側面からその特性を把握し、そこから生じる生活問題について概説する。適宜、グループディスカッションを入れる。
3	【講義】高齢者の生活実態と社会環境 日本の高齢化の特徴と今後について、生活実態や地域特性について概説し、高齢者を取り巻く社会環境や問題について、高齢者虐待や老老介護といった具体的な事例をもとに考えを深める。
4	【講義】高齢者福祉とその歴史的変遷 老人福祉法や介護保険法における理念について確認し、高齢者福祉の考え方、高齢者観について概説する。また、日本の高齢者福祉制度について歴史的変遷について概説する。
5	【講義】介護保険制度 1 介護保険制度の目的、仕組み、サービスの種類と保険給付について概説する。また、要介護認定申請書の記入の個人演習を行い、必要となる情報について考え、理解を深める。
6	【講義】介護保険制度 2 地域支援事業、介護保険財政、国・都道府県・市町村の役割について概説する。また、自分の住んでいる市町村の地域支援事業について調べ、地域性について理解を深める。
7	【講義】高齢者の生活を支える制度 老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律、新オレンジプランと認知症施策推進大綱について概説する。また特別養護老人ホームと有料老人ホームについて事例を用いて比較し、住まいのあり方について理解を深める。
8	【講義】高齢者虐待防止法 高齢者虐待の現状、対応の流れについて概説し、虐待問題の背景について議論する。
9	【講義】成年後見制度と日常生活自立支援事業 成年後見制度と日常生活自立支援事業の制度について概説する。また、成年後見制度の具体的な事例を取り上げ、グループディスカッションを通して権利擁護や意思決定に関する理解を深める。
10	【講義】地域包括支援センターの業務と地域包括ケアシステム 地域包括支援センターの法的位置づけ、専門職の配置、目的と機能を概説し、視聴覚教材などでその実際を示す。また、地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みについて事例を取り上げて理解を深める。

11	【講義】バリアフリー新法と高齢者住まい法 バリアフリー新法と高齢者住まい法について概説する。またそれらの制度が高齢者の生活とどのように関連しているかについて概説する。
12	【講義】高齢者と家族の雇用を安定させる制度と施策 高齢者雇用や介護離職の実態についてデータを踏まえて概説する。それらを踏まえ、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法の目的、制度の内容について理解を深める。
13	【講義】高齢者の支援機関と支援を行う人たち 国、地方公共団体、市町村といった機関に加え、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士などの専門職とその役割について概説する。また、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
14	【講義】高齢者とその家族等に対する支援の実際 高齢者領域における社会福祉士の役割についてソーシャルワークの援助技術・知識・価値の視点、マイクロ・メゾ・マクロの領域から概説する。
15	【講義】高齢者福祉の課題 主な分野別将来予測からみた高齢者福祉の課題について取り上げ、グループディスカッションを通して今後の高齢者福祉の増進に必要な取り組みについて考え、理解を深める。

成績評価の方法

科目試験.....70%

授業中に課す小レポート...30%

授業中に課す小レポートについては、随時講義でフィードバックする。

教科書

大和三重・岡田進一・斉藤雅茂編『新・MINERVA社会福祉士養成テキストブック 10 高齢者福祉』ミネルヴァ書房（2020）

ISBN-10：4623090507

配布する資料の補足や個人ワークの題材として教科書を使用する。

授業外学修（予習・復習）

普段から高齢者福祉に関わる新聞記事、ニュースを確認すること（15分）。

また、高齢者と触れ合う機会をなるべく設け、授業で学んだ知識と結びつけて考察すること（15分）。

次回の授業で学ぶ教科書の章、節を読んでおくこと（30分）。

その他

参考資料	授業で随時紹介する。
受講生への要望等	私語は厳禁である。知的好奇心、自主性、主体性を持ってに授業に臨んでほしい。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に研究室で受け付けます。

障害者福祉論

更新日：2024/07/18 09:45:40

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208140	授業コード	2F102
担当教員	和泉 亮						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20814	3◎ H2○	3◎ E2○	精神保健福祉士

授業概要

障害者福祉の日本および世界の障害者福祉に関する、過去から現在までの歴史を知ることを通じて、今考えられる課題を議論する。
また障害の多様性を学ぶことを通じて未来への展望を広げ、障害者基本法における誰もが暮らしやすい共生社会を実現するというビジョンについて考察する。
あわせて、人が成長していく上で重要な点である、

- ①自分の頭で考えること
 - ②自己を知ること
 - ③自由に未来を描き行動していくこと
- を授業を通じて実践できる機会を提供する。

到達目標

1	障害者福祉の世界および日本の障害者福祉のこれまでの歴史と現状について理解し課題点について自分の意見を述べるができる。
2	自己覚知を深め、多様な障害者観に対する自分自身の意見を理解し考えをまとめることができる。
3	障害者福祉制度の現状と課題を理解した上で、共生社会実現に向けての未来への展望を考えることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション・「しょうがい」とは 本授業全体の流れを理解することを通して、学習到達目標を理解する。 「しょうがい」とはなにか、事例を通じて考え、自分自身の無意識下の障害者観を俯瞰する機会を持つ。
2	【講義】ICF・医療モデルと社会モデル ICIDHからICFへの世界の障害者観の変遷を理解する。 医療モデルと社会モデルの違いについて理解し、社会福祉専門職としての障害者観を理解するとともに、以降の講義内容理解のための基礎を学ぶ。
3	【講義】障害者と法律①・日本の障害者制度の歴史 戦後日本の障害者福祉に関連した法制度および関連する法制度の成り立ちや背景および現在までの変遷について理解する。 主に身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法に関連したトピックと相互の関連性を通じて現在までの法制度全体の変遷を俯瞰できるようになる。
4	【講義】障害者と法律②・障害者基本法 障害者基本法について学び、日本の障害者制度の基本理念や障害者の定義について理解する。 特に定義を考えることを通じて社会的障壁について理解を深め、医療モデルおよび社会モデルやICFについての再度の理解を深める。
5	【講義】障害者と法律③・虐待防止法・差別解消法 障害者差別解消法および障害者虐待防止法の成り立ちを学ぶことを通じて、障害者と人権について自分自身の考えを持てるようになる。 障害者施設設立に際しての地域住民による建設反対運動などの地域・施設コンフリクトについて動画等を通じて学び、支援職としてどのように向き合うのかを考える。
6	【講義】障害者制度の全体像・障害者総合支援法 日本の障害者制度の基本となる障害者総合支援法の歴史的な変遷を理解するとともに、現状について学ぶ。 総合支援法の理念を学び、総合支援法に規定されている各種サービス概要を理解する。
7	【講義】障害者制度の詳細・障害者総合支援法各論 障害者総合支援法に規定されている各種サービスの詳細について理解をする。 また主に介護給付の内容について具体的な事例等を動画を通じて学びその現状と課題を整理する。
8	【講義】障害児向けの福祉事業・児童福祉法 日本の障害者制度の基本となる障害者総合支援法に関連する形で児童福祉法についても学び、障害児サービスの概要を理解するとともに、相互の関連性についても学ぶ。 特に児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の具体的な事例等を動画を通じて学びその現状と課題を整理する。
9	【講義】多様性・ダイバーシティについて 法律上の定義としての障害者以外にも多くの生活上やさまざまな形で社会的障壁を感じている対象者についての理解を広げる。 具体的には、ゲストスピーカーに多様性を体現している当事者の方に登壇いただき、マイノリティであることの困難さとそれを乗り越える経験を通じて自分らしく生きることを選択肢てきたこれまでの人生経験についての体験談を聞き、多様性があることにより社会に生み出される価値について考える。

10	【講義】障害者と就労・現状と課題 主に障害者総合支援法に関連する形の障害者就労支援サービスの概要について理解する。 また障害者雇用促進法や現状の障害者雇用制度全体について俯瞰し、現状および課題について考える。
11	【講義】障害者と就労・未来への展望 障害者雇用に関連した課題について、制度を活用しつつ新しい企業連携を行っている実践について、複数の動画を視聴し障害者雇用が社会に生み出す可能性について思考を深める。
12	【講義】障害者ケースマネジメント・相談支援事業 障害者総合支援法における相談支援事業全般について学ぶ。 障害者ケースマネジメントの流れを理解し実際の相談支援専門員の業務内容などについて動画を視聴し学ぶ。 またあわせて主に精神障害者の長期入院者の退院促進支援をすすめる「地域移行支援・地域定着支援」の制度についての現状と課題について学ぶ。
13	【講義】ピアサポート・リカバリー 精神障害者当事者が当事者を支援する関係性のピアサポート等の現状を理解する。 またその実践を通じて生み出されるリカバリーの概念について、事例や動画を通じて学び理解を深める。
14	【講義】アディクションおよびセルフヘルプグループ アルコールや薬物等の依存症治療、依存症支援の現状を理解する。 具体的には、ゲストスピーカーとして、アルコール依存症の当事者グループAAのメンバーに登壇いただき、依存当事者の回復のために必須の活動とされているセルフヘルプグループの活動やAA（アルコール依存症者自助グループ）の実践について、また当事者のアルコール依存症の回復の物語を聞き、理解を深める。
15	【講義】全体のまとめ・障害のない社会をつくるには 授業全体を通じた学びの振り返りとその学びを通じて、自身の中で考えられる現状の障害者制度、施策の課題点について言語化する。 またその言語化された課題点に対してまずどのようなアプローチができるか、未来に社会福祉専門職としてもしくは一地域住民としてどのようなアクションが取れるかを具体的に検討し言語化する。

成績評価の方法

授業評価および課題

- ・ミニレポート（800文字程度・A4一枚）...50%
 - ・講義2回に1回程度・講義時間中に実施する記述式の課題.....50%
- テーマや締め切り等は講義内容と関連することから講義中に示す。
（レポートや課題のフィードバックとして講義中に解説をおこないます）

教科書

- ・なし
- 参考図書で示した1を講義中の説明で数回使用します。社会福祉士等の国家資格受験を考えられている方は購入をおすすめします（今後の進路で必要性が変わると思うので、各自で考えてください）。
- ・授業時に毎回レジュメを配布します。

授業外学修（予習・復習）

予習として、障害者も、もちろんわれわれと同じ一人の人であり、そのひとについて考えるうえで、社会についての理解を深め、また自分なりの意見を持つことは重要です。

幅広くニュースや世界の出来事に興味を持ち、情報収集をする姿勢を大切にしてください。障害者福祉に関係する事柄はもちろん、それ以外でもYouTubeやTwitterといったSNSメディアも積極的に活用し、主体的に世界と接点を持ち学ぶ姿勢と、その事象に対しての自分なりの意見を持つことを意識してください。

また復習として、教材のYou Tube動画も複数示しますので、授業時間外で視聴をするようにしてください。

予習復習目安時間：30分程度

その他

参考資料	1.新・社会福祉士養成講座14『障害者に対する支援と障害者自立支援制度（第6版）』中央法規出版 2.渡辺一史著『なぜ人と人は支え合うのか』ちくまプリマー新書 3.You Tubeチャンネル『フクシのみらいデザイン研究所』 https://www.youtube.com/channel/UC1wv95VAomGDr8axmxSZb1Q
受講生への要望等	毎回の授業の中で、自分自身がどのような考えをもち、どのような傾向のある人間かを内省し自己覚知するための個人ワークの時間をもちます。 自分自身の学びと成長のために、積極的な姿勢での参加を望みます。
授業の質問対応、連絡先	授業中に配布する資料に記載する質問フォーム（主にグーグルフォームを使用）に気軽に質問してください。授業中にも回答します。

児童・家庭福祉論

更新日：2024/11/28 11:40:29

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208150	授業コード	2F103
担当教員	武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20815	3〇 H2〇	3〇 E2〇	社会福祉士

授業概要

本講義ではこどもの権利、こども・家庭をとりまく状況、関連法規について学び、こどものみならず家族も含めて援助するために必要な知識・技能を習得する。こども・家庭（児童福祉）に関わるためには、まず、こどもを理解することが必要とされる。また、こどもの問題とされることの多くはこどもを取り巻く大人の問題でもあることから、こどもを理解する視点を養うとともに、こども・家庭が抱える問題に対し、どのように援助するのかを思考する力を身につける。

到達目標

1	こども・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要（子育て、ひとり親家庭、こども虐待およびドメスティック・バイオレンスの実態を含む）について理解できる。
2	こども家庭福祉制度の発展過程について理解できる。
3	こどもの権利について理解できる。
4	相談援助活動において必要となるこども家庭福祉制度やこども家庭福祉に係る他の法制度について理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション これからの進め方について理解する。こどもの命を大切するために、大人ができることについて学ぶ。
2	【講義】現代社会におけるこどもとこどもを理解する視点 今日、こどもがおかれている状況およびこどもを理解するための視点について学ぶ。
3	【講義】世界における児童福祉の歴史 イギリスおよびアメリカにおける児童福祉の歴史について学ぶ。
4	【講義】児童福祉の理念と権利保障 児童福祉法の理念、児童憲章の理念、子どもの権利条約採択までの経緯とその内容について学ぶ。
5	【講義】日本における児童福祉の歴史 日本における児童福祉の歴史を明治期から現在までの児童福祉の歴史について学ぶ。
6	【講義】児童福祉にかかわる法律 児童福祉法および児童福祉関係諸法の概要について学ぶ。
7	【講義】実施体制と財源 国・地方公共団体の役割、実施機関、関連組織、財源と費用負担について学ぶ。
8	【講義】子育て支援と健全育成 少子化対策および児童健全育成施策の変遷と現状について学ぶ。
9	【講義】母子保健サービス 母子保健・医療・福祉施策の変遷と現状について学ぶ。
10	【講義】保育サービス 保育の目的と制度、保育所の現状と課題、保育所以外の保育サービスについて学ぶ。
11	【講義】障害児の福祉 障害の概念、障害児福祉サービスの概要について学ぶ。
12	【講義】養育環境に問題がある子どもと家庭の福祉 こども虐待の実態および虐待を受けたこどもへの援助、そのほか養育環境に問題があるこどもへの援助について学ぶ。
13	【講義】心理的困難・非行問題のある子どもの福祉 心理的困難・非行問題の現状およびその背景にあるもの、それらを抱えるこどもへの福祉サービスについて学ぶ。
14	【講義】ひとり親家庭の福祉 ひとり親家庭の貧困問題、ひとり親家庭になる原因としてのDV、ひとり親家庭の支援に関する施策について学ぶ。
15	【講義】児童福祉サービスの担い手と援助の実態 こどもに関わる専門職がどのように援助しているかについて学ぶ。さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。

成績評価の方法

- ・中間レポート =40点
- ・科目試験 =60点
- 合計 100点

- ・中間レポートについて、講義内でコメントする。

教科書

千葉茂明編（2019）『新・エッセンシャル 子ども家庭福祉論』みらい
ミネルヴァ書房編集部（2025）『社会福祉小六法2025 [令和7年版]』ミネルヴァ書房

授業外学修（予習・復習）

- ・普段から子どもを取り巻く問題に関わる新聞記事、ニュースをよく読む。
- ・予習として、授業で行う教科書の範囲を読み、わからない言葉を調べておく（30分～1時間）。
- ・復習として、授業で行った教科書を読み返し、ノートを整理する（1時間～2時間）。

その他

参考資料	芦田麗子監修（2017）『シングルマザーをひとりぼっちにしないために』日本機関紙出版センター 杉山春（2013）『ルポ虐待』ちくま新書 森田ゆり（1999）『子どもと暴力』岩波書店
受講生への要望等	講義形式ではあるが、利用者に寄り添った支援ができるようになるための知識の習得を目指し、積極的に受講すること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業時間内で対応するが、授業時間外の場合は研究室で対応する。事前にmellyでアポイントをとること。

公的扶助論

更新日：2024/11/06 12:27:43

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208160	授業コード	1F102
担当教員	武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20816	3〇 H2〇	3〇 E2〇	社会福祉士

授業概要

本講義では貧困についてまず理解し、そのうえで、それに対応する公的扶助制度（特に生活保護制度）について学ぶ。日本でも、貧困状態におかれている人は少なくない。講義形式および演習形式の授業を通して、制度に関する知識の習得のみならず、この社会における公的扶助制度の意義と役割について考察する力を養う。

到達目標

1	貧困層・低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解できる。
2	相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解できる。
3	自立支援プログラムの意義とその実際について理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	14	1		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【演習】貧困とは何か、健康で文化的な生活とは何か グループで現代社会における貧困問題を取り上げ、そこから貧困と健康で文化的な生活とは何かを理解する。
2	【講義】貧困・低所得階層の生活実態と貧困 貧困・低所得者への生活保護制度を利用した事例をふまえ、ソーシャルワーカーの役割を自覚する。また、低所得者階層が生み出される背景、所得格差の問題、低所得者の生活実態、貧困の理論について講義する。
3	【講義】公的扶助制度の歴史（イギリス） 1600年ころからのイギリスの歴史を概観しながら、どのような公的扶助の制度が作られたかを学ぶ。また、ブースやラウンリーの貧困調査がどのような意味をもたらしたか、さらに戦後のイギリス社会の保障の政策体系の基礎となるベヴァリッジ報告について講義する。
4	【講義】公的扶助制度の歴史（日本） 明治時代からの歴史を概観しながら、どのような公的扶助の制度が作られたかを学ぶ。特に恤救規則と救護法の成立過程について、また戦後の旧生活保護法と新生活保護法の成立経緯について講義する。
5	【講義】社会保障制度と公的扶助 社会保障制度の範囲、仕組みについて講義したうえで、公的扶助の概念と範囲について講義する。また、社会手当や生活困窮者自立支援制度についても講義する。
6	【講義】貧困に対する支援の実施体制 生活保護など貧困に対する支援の実施体制における国と地方自治体の役割について講義したうえで、実施機関としての福祉事務所の創設、業務、役割について講義し、保護施設の種類や設置と運営についても講義する。
7	【講義】生活保護制度の原理 生活保護法における用語の定義について解説したうえで、基本原理について講義する。
8	【講義】生活保護の原則と生活保護基準 生活保護の原則について説明する。最低生活保障水準と保護基準の設定方式について講義する。
9	【講義】保護の種類と内容、要否判定。 8種類の保護の種類と内容について講義し、保護の要否判定と程度の決定について具体的な方法についても説明する。また就労自立給付金についても講義する。
10	【講義】生活保護の動向と財源 生活保護受給世帯数などの保護の動向、生活保護費の動向と財源について講義したうえで、時折、社会で「問題」とされる生活保護の不正受給についても説明し、ソーシャルワーカーとしての視点を養う。
11	【講義】生活保護における専門職の役割と相談援助活動 生活保護受給者と直接かかわる現業員や査察指導員の役割、支援過程と現業員の業務について講義する。また相談援助活動の内容や多職種との連携ネットワークについても講義する。 さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
12	【講義】自立支援プログラムによる相談援助と生活困窮者自立支援制度 自立支援プログラムおよび生活困窮者支援制度について、講義し、自立支援とは何か、またその課題について考察する。

13	【講義】 ホームレスの生活と相談援助 ホームレスの現状と生活、ホームレス対策の動向、ホームレス対策の概要、ホームレス支援の実際について講義し、ホームレス問題についての理解を深める。
14	【講義】 貧困層・低所得者への社会福祉・就労支援サービス 生活福祉資金貸付制度、無料低額診療制度や入院助産制度などの医療サービス、住宅サービについて講義する。 雇用・就労の動向と労働政策、就労支援サービスの実施体制、低所得者への就労支援制度について講義する。
15	【講義】 貧困に対するソーシャルワーク実践 保健・医療機関との連携、就労支援プログラムや生活困窮者自立支援制度を活用したソーシャルワーク実践について学び、公的扶助制度の意義と役割を考える。

成績評価の方法

- ・ 授業の課題提出 3点×15回=45点
- ・ 科目試験1回 =55点
- 合計 100点

- ・ 各授業の課題について、講義内でコメントする。

教科書

渋谷哲編（2021）『貧困に対する支援』みらい

授業外学修（予習・復習）

予習として事前に告知する教科書の該当ページを読み、わからない用語は調べておく（毎回1時間）。

復習としてやった範囲の教科書を読みなおし、ノートを整理する（毎回2時間）。

参考書にあげた本を参考に、貧困問題に関する本を読むこと。

その他

参考資料	芦田麗子監修（2017）『シングルマザーをひとりぼっちにしないために』日本機関紙出版センター 生田武志（2009）『貧困を考えよう』岩波ジュニア新書 生田武志ほか（2018）『当たり前生活ってなんやねん?!』日本機関紙出版センター 井上英夫ほか編（2016）『なぜ母親は娘に手をかけたのか』旬報社 小杉礼子ほか編（2015）『下層化する女性たち』勁草社 中塚久美子（2024）『子どもと女性のくらしと貧困』かもがわ出版 丸山里美（2021）『女性ホームレスとして生きる〔増補新装版〕—貧困と排除の社会学』世界思想社 丸山里美編（2018）『貧困問題の新地平』旬報社 水島宏明（1994）『母さんが死んだ』現代教養文庫 吉永純ほか編（2019）『無料低額診療事業のすべて』クリエイツかもがわ
受講生への要望等	予習復習を必ずしたうえで積極的に受講すること。
授業の質問対応、連絡先	授業中に生じた疑問はできるだけ授業中に質問すること。授業後、復習で出た質問等に関してはmellyにて受けつける。なお、直接質問したい場合は、事前にmellyにてアポイントをとること。

権利擁護と成年後見論

更新日：2024/10/07 11:35:16

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208180	授業コード	4F105
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20818	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

【授業目的】

人々の権利を守るために活用できる法制度やサービスの理解を深めるとともに「権利擁護」の視点を修得する。

【授業内容】

ソーシャルワークと法制度との関係、憲法・民法・行政法そして特に成年後見制度を中心としたクライアントの権利を守るための法律や諸制度について概説する。
また、支援の実際について具体的に理解するため、視聴覚教材や具体的事例などを用いて解説する。基本的に講義形式で行うが、適宜、個人演習等を用いて考える時間を設定する。

到達目標

1	権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解できる。
2	権利擁護の意義と支える仕組みについて理解できる。
3	権利が侵害されている者や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解できる。
4	ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度の知識を修得できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、ソーシャルワークと権利擁護 ソーシャルワーカーの倫理綱領を参照にしながら、権利擁護の必要性について解説し、「権利擁護の4つの諸相」について理解を深める。
2	【講義】ソーシャルワークの基盤にある人権、権利擁護の内容 社会福祉における権利について、朝日訴訟や堀木訴訟といった具体的な事案をもとに概説する。また、社会福祉士と権利擁護実践についてソーシャルワークの理論に触れながら解説する。
3	【講義】ソーシャルワーカーと法 法の内容、法の分類、裁判及び判決の種類などについて概説する。また、ソーシャルワーカーが法を学ぶ意義について、権利・人権侵害の事案に触れながら理解を深めていく。
4	【講義】日本国憲法の理解 日本国憲法の全体構造について説明し、特に自由権・社会権、受益権に関する事件や判例などを取り上げながら、基本的人権の保障について解説する。
5	【講義】民法① 総則、契約、不法行為 民法の総則を踏まえたうえで、契約に必要な権利主体、契約の成立要件や分類、などについて概説する。また不法行為について具体的な事件・判例をもとに解説する。
6	【講義】民法② 親族、相続 親族の範囲、婚姻・離婚の成立要件、親子や養子縁組などについて民法上の規定をもとに具体的な例を挙げながら解説する。また、相続や遺言に必要な各種手続きについても解説する。
7	【講義】行政法の理解① 国と地方公共団体の役割、介護認定や生活保護支給決定などの行政行為、行政救済法（行政不服審査法）について解説する。
8	【講義】行政法の理解② 行政救済法（行政事件訴訟法や国家賠償法）、情報公開制度について概説する。
9	【講義】権利擁護を支える仕組み 高齢者虐待防止法、児童虐待防止法、障害者虐待防止法、配偶者暴力防止法、障害者差別防止法などの権利擁護を支える法律について解説する。
10	【講義】権利擁護活動における法的諸問題 インフォームド・コンセントの概念と法的根拠、また専門職との関係について倫理綱領や社会福祉法などをもとに解説する。また、インフォームド・コンセントの成立要件と免除されるケースについて、具体的な事案をもとに理解を深める。
11	【講義】成年後見制度の理解① 制度の概要 金銭や契約について本人ができない状況について事例をもとに考える。それを踏まえ、成年後見制度の必要性と仕組みについて、法定後見・任意後見それぞれ解説する。また、実際に申立て書類の書式を見ながら、制度を利用する方法について理解を深める。

12	【講義】 成年後見制度の理解② 最新の動向 成年後見制度の利用状況について家庭裁判所の統計データなどを踏まえて概説する。また、成年後見制度利用支援事業、市町村長申立てや成年後見制度利用促進法について説明し、成年後見制度を取り巻く状況について理解を深める。
13	【講義】 日常生活自立支援事業 日常生活自立支援事業の創設背景、目的、利用対象者、サービス内容、利用方法や費用について概説する。また、成年後見制度との連携について触れ、それぞれの違いを明確にして理解を深める。
14	【講義】 権利擁護にかかわる組織、団体、専門職の役割と実際 権利擁護に関わる代表的な組織や専門職である家庭裁判所、市町村、地域包括支援センター、弁護士、司法書士等について概説し、それらを踏まえて社会福祉士がどのようにその組織等と連携を図っていくのか理解を深める。
15	【講義】 権利擁護活動の実際 認知症高齢者、消費者被害を受けたものへの具体的な支援のあり方について、これまでに学んできた法制度がどのように活用できるのか、具体的に解説する。

成績評価の方法

科目試験.....70%

授業中に課す感想文、小レポート...30%

授業中に課す感想文、小レポートについては、次の授業時にてフィードバックを行う。

教科書

山口光治編「権利擁護を支える法制度」みらい（2021）

ISBN10：4860155351

配布する資料の補足や個人ワークの題材として教科書を使用する。

授業外学修（予習・復習）

普段から虐待問題や認知症に関わる新聞記事、ニュースを確認すること（15分）。

授業で学んだ知識と自分の問題意識を結びつけて考察すること（15分）。

次回の授業で学ぶ教科書の章、節を読んでおくこと（30分）。

その他

参考資料	授業で随時紹介する。
受講生への要望等	私語は厳禁である。知的好奇心、自主性、主体性を持ってに授業に臨んでほしい。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に研究室で受け付けます。

更生保護論

更新日：2024/10/01 16:02:52

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208190	授業コード	4F201
担当教員	宮川 成雄						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20819	3〇 H2〇	3〇 E2〇	社会福祉士

授業概要

刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境の理解をすすめ、犯罪や非行をした者が再び犯罪や非行をしないよう更生する仕組みを学ぶ。またその支援や連携のあり方を学ぶことで社会福祉士の役割について考える。パワーポイントを使用した講義（パワーポイントの資料は当日配布する）とグループワークをしながら学びを深める。最終回到筆記試験を実施し、受講態度などを参考に評価をつける。

到達目標

1	刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境について理解できる
2	犯罪とは何か刑罰とは何かについて、刑事司法と少年司法について理解できる
3	更生保護制度の概要について理解できる。
4	更生保護に関わる組織、団体及び専門職及び福祉と医療の連携について理解できる。
5	更生保護対象者の現状についての理解を深める

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	13	2		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0		

授業計画

1	【講義】 刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境 社会福祉にかかわる者が刑事司法について何を学び何をしなければならぬかを、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
2	【講義】 社会と犯罪、刑罰 犯罪について、刑務所の現状について、刑罰とは何か、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
3	【講義】 刑事司法と少年司法 刑事手続きや、少年司法の動向について、矯正施設、社会復帰の一貫した流れについて、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
4	【講義】 施設内処遇 施設内処遇の歴史と現在の矯正処遇について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
5	【演習】 事例研究と振り返り グループワーク形式
6	【講義】 更生保護制度の概要 更生保護とは何か、福祉的支援を要する問題、更生を助ける社会内処遇の概要をパワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
7	【講義】 更生保護の実際① 保護観察とその目的、対象者とその処遇（指導監督と補導援護）について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
8	【講義】 更生保護の実際② 仮釈放、生活環境の調整、更生緊急保護、刑の一部執行猶予制度他について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
9	【講義】 更生保護の実際③ 保護観察官、保護司、更生保護施設、民間協力者について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
10	【講義】 関係機関・団体との連携 裁判所、検察庁、矯正施設、児童相談所、就労支援機関、民間団体との連携について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
11	【講義】 医療観察制度の概要 生活環境調査、生活環境調整、精神保健観察、関係機関等との連携、更生保護における近年の動向と課題について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
12	【講義】 多様なニーズを有する対象者① 司法と福祉の連携、高齢者・障がい者の犯罪の特徴とその支援について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
13	【講義】 多様なニーズを有する対象者② 依存症による犯罪とその回復のための取り組みと現状、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
14	【講義】 犯罪被害者支援と恩赦の制度 制度の概略、犯罪被害者の権利、社会福祉士の視点、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う

15	【演習】事例研究 グループワーク形式で、今までの講義の振り返りを行う
16	【演習・試験】振り返りと科目試験を実施 今までの講義の振り返った後、60分の科目試験を実施する。

成績評価の方法

科目試験を最終評価（70％）とするが、受講態度や課題への取り組みも評価（30％）にする。

教科書

最新社会福祉士養成講座 10 刑事司法と福祉 （編集）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規

授業外学修（予習・復習）

- （第1回）（第2回） 予習 テキスト第1～4章を読む。（目安時間：約60分）
（第3回）（第4回） 予習 テキスト第5～8章を読む。（目安時間：約60分）
（第5回）（第6回） 予習 テキスト第1～8章を復習する。（目安時間：約60分）
（第7回）（第8回） 予習 テキスト第9章を読む。（目安時間：約60分）
（第9回）（第10回） 予習 テキスト第10章・第15章を読む。（目安時間：約60分）
（第11回）（第12回） 予習 テキスト第11～12章を読む。（目安時間：約60分）
（第13回）（第14回） 予習 テキスト第13～14章を読む。（目安時間：約60分）
（第15回）（第16回） 予習 テキスト第1～15章を復習する。（目安時間：約60分）

その他

参考資料	令和6年版 犯罪白書 法務総合研究所
受講生への要望等	私語及び携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用や途中退室は慎むこと。 全回出席すること。 欠席する際は事前にMellyで申し出ること。（レポートを提出することで評価の際の判断に反映します）
授業の質問対応、連絡先	授業内容に関する質問については、指定された時間内にMellyで行うこと

ソーシャルワーク論Ⅰ

更新日：2024/08/29 10:25:19

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208260	授業コード	1F101
担当教員	米澤 美保子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
2208260	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

相談援助の専門職であるソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)の法的な位置づけ、ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程および、ソーシャルワークの価値規範と倫理について講義により理解する。

到達目標

1	社会福祉士・精神保健福祉士の法的な位置づけを習得できる
2	ソーシャルワークの基盤となる考え方、形成過程について習得できる
3	ソーシャルワークの倫理について習得できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ1 ・これからの講義の進め方の説明 ・社会福祉士の定義・義務について学ぶ
2	【講義】社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ2 社会福祉士及び介護福祉士法成立の背景、法制度見直しの背景について学ぶ
3	【講義】社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ3 精神保健福祉士法制度成立の背景、法制度見直しの背景
4	【講義】社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ4 社会福祉士・精神保健福祉士の専門性について学ぶ
5	【講義】社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ5 福祉専門職について学ぶ
6	【講義】現代社会 現代社会について学ぶ
7	【講義】ソーシャルワークの概念とソーシャルワークの基盤となる考え方1 ソーシャルワークの定義、グローバル定義、ソーシャルワークの構成要素について学ぶ
8	【講義】ソーシャルワークの概念とソーシャルワークの基盤となる考え方2 ソーシャルワークの理念について学ぶ
9	【講義】相談援助の形成過程1 ソーシャルワークの源流、慈善組織協会、セツルメントについて学ぶ
10	【講義】相談援助の形成過程2 ソーシャルワークの基礎確立期、発展期について学ぶ
11	【講義】相談援助の形成過程3 ソーシャルワークの展開期、生活モデル、ソーシャルワークの統合化について学ぶ
12	【講義】相談援助の形成過程4 日本のソーシャルワークの源流、基礎確立期について学ぶ
13	【講義】相談援助の形成過程5 日本のソーシャルワークの展開期について学ぶ
14	【講義】ソーシャルワークの倫理1 専門職倫理の概念と倫理綱領の意義と内容について学ぶ
15	【講義】ソーシャルワークの倫理2、前期のまとめ ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマについて学ぶ 前期のふりかえり

成績評価の方法

レポート50% 授業態度、課題などの平常点50%をもって総合的に評価する。
フィードバックについては、授業時にコメントする。

教科書

- ・指定なし
- ・適宜、配布資料、板書などにより授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

【予習】次回授業内容に関する情報・書籍・資料などを見ておくこと(目安：約20分)

【復習】授業でのノート、配布資料などで授業の内容をまとめ、授業の振り返りを行う(目安：約40分)

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none">・井手英策ほか,2019,『ソーシャルワーカー』筑摩書房.・宮本節子,2013,『ソーシャルワーカーという仕事』筑摩書房.・鶴幸一郎,2019,『福祉は誰のために』へるす出版.・日本社会福祉士会,2022,『三訂社会福祉士の倫理－倫理綱領実践ガイドブック』中央法規.
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none">・社会問題について日頃から関心を持ち、それに関する書籍・文献などの情報を見てほしい・積極的な姿勢での受講
授業の質問対応、連絡先	mellyあるいは直接教員室(1号館2階1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで連絡してください。

ソーシャルワーク論Ⅱ

更新日：2024/10/07 12:44:35

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208270	授業コード	1F202
担当教員	米澤 美保子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
2208270	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

社会福祉士の職域と求められる役割、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性、総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について、講義により習得する。基本的に講義形式で行うが、適宜グループディスカッションを用いる。

到達目標

1	社会福祉士の職域と求められる役割について理解できる
2	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解できる
3	ミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワークについて理解できる
4	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲1 相談援助職の役割について学ぶ
2	【講義】ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲2 相談援助職の概念と範囲、社会福祉士の職域について学ぶ
3	【講義】ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲3 福祉行政等における専門職、民間の施設・組織における専門職について学ぶ
4	【講義】ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲4 諸外国の動向について学ぶ
5	【講義】ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク1 ミクロ・メゾ・マクロの意味、ミクロ・メゾ・マクロの意味、対象について学ぶ
6	【講義】ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク2 ミクロ・メゾ・マクロレベルの介入、ミクロ・メゾ・マクロレベルの連関性、ミクロ・メゾ・マクロレベルの支援の実践について学ぶ
7	【講義】ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク3 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて事例を通して学ぶ
8	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容1 ジェネラリスト・ソーシャルワークにかかる基礎理論、特質について学ぶ
9	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容2 ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容について学ぶ
10	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容3 多機関による包括的支援体制、フォーマル・インフォーマルな社会資源との協働体制、ソーシャルサポートネットワークについて学ぶ
11	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容4 ソーシャルサポートネットワークについて学ぶ
12	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容5 機関・団体間の合意形成と相互関係について学ぶ
13	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容6 多職種連携及びチームアプローチについて事例を通して学ぶ(1)
14	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容7 多職種連携及びチームアプローチについて事例を通して学ぶ(2)
15	【講義】まとめ 後期学習のふりかえり

成績評価の方法

レポート50% 授業態度、課題などの平常点50%をもって総合的に評価する。
フィードバックについては、授業時にコメントする。

教科書

- ・指定なし
- ・適宜、配布資料、板書などにより授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

【予習】次回授業内容に関する情報・書籍・資料などを見ておくこと(目安：約20分)

【復習】授業でのノート、配布資料などで授業の内容をまとめ、授業の振り返りを行う(目安：約40分)

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none">・井手英策ほか,2019,『ソーシャルワーカー』筑摩書房.・宮本節子,2013,『ソーシャルワーカーという仕事』筑摩書房.・鶴幸一郎,2019,『福祉は誰のために』へるす出版.・バイスティック,2006,『ケースワークの原則』誠信書房.
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none">・社会問題について日頃から関心を持ち、それに関する書籍・文献などの情報を見てほしい・積極的な姿勢での受講
授業の質問対応、連絡先	mellyあるいは直接教員室(1号館2階1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで連絡してください。

ソーシャルワーク論Ⅲ

更新日：2024/09/06 13:47:16

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208280	授業コード	2F101
担当教員	米澤 美保子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208280	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

人と環境との交互作用に関する理論、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク、およびソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチ、そしてソーシャルワークの過程について講義により理解する。

到達目標

1	人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾマクロレベルのソーシャルワークについて習得できる
2	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチについて習得できる
3	ソーシャルワークの過程について習得できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク1 これからの進め方、グローバル定義(再確認)について学ぶ
2	【講義】人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク2 一般システム理論、サイバネティックスについて学ぶ
3	【講義】人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク3 生態学理論、ライフモデルについて学ぶ
4	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ1 バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて学ぶ
5	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ2 医学モデル、生活モデル、ストレングスモデルについて学ぶ
6	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ3 心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチについて学ぶ
7	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ4 課題中心アプローチ、危機介入アプローチ、行動変容アプローチについて学ぶ
8	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ5 エンパワーメントアプローチ、ナラティブアプローチ、解決志向アプローチについて学ぶ
9	【講義】ソーシャルワークの過程1 ケースの発見、インテークについて学ぶ
10	【講義】ソーシャルワークの過程2 アセスメントについて学ぶ1
11	【講義】ソーシャルワークの過程3 アセスメントについて学ぶ2
12	【講義】ソーシャルワークの過程4 プランニングについて学ぶ
13	【講義】ソーシャルワークの過程5 実施・モニタリングについて学ぶ
14	【講義】ソーシャルワークの過程6 終結とアフターケアについて学ぶ
15	【講義】まとめ 前期学習のふりかえり

成績評価の方法

レポート50% 授業態度、課題などの平常点50%をもって総合的に評価する。
フィードバックについては、授業時にコメントする。

教科書

- ・指定なし
- ・適宜、配布資料、板書などにより授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

【予習】次回授業内容に関する情報・書籍・資料などを見ておくこと(目安：約20分)

【復習】授業でのノート、配布資料などで授業の内容をまとめ、授業の振り返りを行う(目安:約40分)

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none">・岩間伸之,2008,『対人援助のための相談面接技術』中央法規.・渡部律子,2019,『福祉専門職のための統合的・多面的アセスメント』ミネルヴァ書房.
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none">・社会問題について日頃から関心を持ち、それに関する書籍・文献などの情報を見てほしい・積極的な姿勢での受講
授業の質問対応、連絡先	mellyあるいは直接研究室(1号館2階1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで予約を取ってください

ソーシャルワーク論Ⅳ

更新日：2024/10/07 12:45:21

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208290	授業コード	2F201
担当教員	米澤 美保子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208290	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

ソーシャルワーク実践において不可欠な記録、ケアマネジメント、グループワーク、コミュニティワーク、スーパービジョン、コンサルテーションについて講義により理解する。基本的に講義形式で行うが、適宜グループディスカッションを用いる。

到達目標

1	ソーシャルワークの記録について習得できる
2	ケアマネジメントについて習得できる
3	グループワークについて習得できる
4	コミュニティワークの意義・目的と展開過程を習得できる
5	スーパービジョン・コンサルテーションの意義、目的、方法について習得できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、ソーシャルワークの記録1 これからの進め方、ソーシャルワークの記録の意義と目的について学ぶ
2	【講義】ソーシャルワークの記録2 ソーシャルワークの記録の方法について学ぶ
3	【講義】ソーシャルワークの記録3 ソーシャルワークの記録の実際について学ぶ1
4	【講義】ソーシャルワークの記録4 ソーシャルワークの記録の実際について学ぶ2
5	【講義】ケアマネジメント1 ケアマネジメントの原則、意義と方法について学ぶ
6	【講義】ケアマネジメント2 ケアマネジメントの実際について学ぶ1
7	【講義】ケアマネジメント3 ケアマネジメントの実際について学ぶ2
8	【講義】グループワーク グループワークの意義と目的、原則、展開過程、セルフヘルプグループについて学ぶ
9	【講義】コミュニティワーク1 コミュニティワークの意義と目的、ソーシャルインクルージョン、住民参加について学ぶ
10	【講義】コミュニティワーク2 地域アセスメント、地域課題の発見・認識、実施計画とモニタリングについて学ぶ
11	【講義】コミュニティワーク3 地域アセスメントの実際について学ぶ1
12	【講義】コミュニティワーク4 地域アセスメントの実際について学ぶ2
13	【講義】コミュニティワーク5 組織化・社会資源開発、評価と実施計画の更新について学ぶ
14	【講義】スーパービジョン スーパービジョンの意義、目的、方法について学ぶ
15	【講義】コンサルテーションとまとめ コンサルテーションの意義、目的、方法について学ぶ、後期学習のふりかえり

成績評価の方法

レポート50% 授業態度、課題などの平常点50%をもって総合的に評価する。
フィードバックについては、授業時にコメントする。

教科書

- ・指定なし
- ・適宜、配布資料、板書などにより授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

【予習】次回授業内容に関する情報・書籍・資料などを見ておくこと(目安：約20分)

【復習】授業でのノート、配布資料などで授業の内容をまとめ、授業の振り返りを行う(目安:約40分)

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none">・福山和女,2005,『ソーシャルワークのスーパービジョン』ミネルヴァ書房.・福山和女他,2018,『保健・医療・福祉専門職のためのスーパービジョン』ミネルヴァ書房.・辻 哲夫,2018,『医療・介護・福祉の地域ネットワークづくり事例集』素朴社.
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none">・社会問題について日頃から関心を持ち、それに関する書籍・文献などの情報を見てほしい・積極的な姿勢での受講
授業の質問対応、連絡先	mellyや直接研究室(1号館2階1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで予約を取ってください

ソーシャルワーク論Ⅴ

更新日：2024/09/13 16:12:42

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208300	授業コード	3F101
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20830	3 ○ H2 ◎	3 ○ E2 ◎	社会福祉士

授業概要

【授業目的】

ソーシャルワークにおける援助関係の形成、社会資源の活用・調整・開発の方法に関する知識を修得する。

【授業内容】

援助関係の形成について具体的な事例を取り上げながら理解を深める。

また、社会資源の活用・調整・開発の方法について、ソーシャルワークの理論や実践を整理しながら概説する。

到達目標

1	ソーシャルワークにおける援助関係の形成について理解できる。
2	社会資源の活用・調整・開発の視点を理解できる。
3	ソーシャルアクション及び個別・地域アセスメントについて理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】相談援助における援助関係の形成 オリエンテーション（この講義を受けるにあたっての注意事項）及びラポール、援助関係について事例を取り上げながら概説する。
2	【講義】援助関係形成の意義と概念 ソーシャルワークの定義・構成要素と援助関係形成の関連について概説する。
3	【講義】ソーシャルワーカーとクライアントの関係づくり バイステックの7原則、来談者(クライアント)中心療法におけるセラピストの条件について取り上げ、ソーシャルワーカーのあるべき態度について概説する。
4	【講義】援助関係の形成方法と留意点① 倫理綱領、対人関係理論から 倫理綱領を踏まえ、援助関係の形成方法と留意点について概説する。また、エンパワメント、ストレングスなどの視点と援助関係形成の繋がりについて概説する。
5	【講義】援助関係の形成方法と留意点② ソーシャルワークの自己覚知と他者理解 対人援助の専門職と自己覚知の関連について、概説する。また自己覚知におけるスーパービジョンの重要性について説明する。
6	【講義】ソーシャルワークと社会資源の関係 社会資源の定義、種類、意義と目的などについて事例を踏まえながら概説する。
7	【講義】ソーシャルワークの実践理論と社会資源の活用 エコロジカル・アプローチ、ジェネラリスト・ソーシャルワーク・アプローチと社会資源の活用について概説する。
8	【講義】社会資源の調整 ケアマネジメントの実践、クライアントとの情報の非対称性からの留意点などから社会資源の調整について概説する。
9	【講義】社会資源の開発 ソーシャルワーカーが社会資源をどのように開発しているか、実践例を交えながら概説する。
10	【講義】社会資源の様々な開発方法 コミュニティワーク、ネットワークづくり、社会福祉計画、サービス改善などの視点から社会資源の解説方法を概説する。
11	【講義】ソーシャルアクションと社会開発 社会開発を目的としたソーシャルアクションの実践プロセスについて概説する。
12	【講義】社会資源の活用・調整・開発に必要な個別・地域アセスメント 個別・地域アセスメントで用いるマッピング技法、アセスメントシート及びその分析方法について概説する。
13	【講義】ソーシャルワークにおけるネットワーキング ネットワーク、ネットワーキングの定義や意義について確認し、社会福祉分野におけるネットワーキングの動向・事例について概説する。
14	【講義】ネットワークの性質 ネットワークの多様な性質について確認し、ネットワークの開放性やネットワーク構築のプロセスについて概説する。

15	【講義】 ソーシャルワーク論の総括 これまで学んだ援助関係の形成、社会資源の活用・調整・開発、ネットワーキングについて振り返るとともに現在の課題について概説する。
----	---

成績評価の方法

- ・授業内に課す課題...30%
- ・レポート.....70%

授業内で課す課題については、随時講義でフィードバックする。

教科書

大和三重 編「新版 ソーシャルワークの理論と方法II【専門編】」みらい(2021)
 ISBN10：486015553X

配布する資料の補足や授業内課題の題材として教科書を使用する。

授業外学修（予習・復習）

次の授業で学ぶ章・節を読んでおくこと（45分）。

また、他の講義、演習を受けている際には、この授業で学んだ理論と関連づけて考えるよう試みてほしい（15分）。

その他

参考資料	適宜授業内で示す。
受講生への要望等	私語は厳禁である。これまで福祉の講義、演習で学んだことと結び付けることを心掛け、課題等に積極的に参加してほしい。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に教員室で受け付けます。

ソーシャルワーク論VI

更新日：2024/10/07 11:39:22

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208310	授業コード	4F104
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20831	3 ○ H2 ◎	3 ○ E2 ◎	社会福祉士

授業概要

【授業目的】

ソーシャルワークの関連技法の理解を深め、これまでに学んできたソーシャルワーク理論を踏まえて相談援助場面で実際に必要となる支援内容に関する知識を修得する。

【授業内容】

ソーシャルワークの関連技法（ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーションなど）について総括する。また、複合的な生活課題について、メゾ・ミクロ・マクロの視点から具体的な事例研究・分析することを通して理解を深める。講義を基本とするが、適宜、個人や集団での演習を取り入れ、双方向での学びを図る。

到達目標

1	ソーシャルワークにおける意義を理解できる。
2	相談援助における人と環境との交互作用を理解し、その視点を身につけることができる。
3	事例研究・分析の方法を理解し、実施時の留意点を理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、コーディネーションの意義 コーディネーションの意義と目的について確認し、ミクロ・メゾ・マクロ領域におけるコーディネートを具体的な事例と踏まえながら概説する。
2	【講義】プレゼンテーションの意義 プレゼンテーションの意義と目的について確認し、具体的なプレゼンテーション場面を取り上げながら概説する。
3	【講義】ソーシャルワークの関連技法 ネゴシエーション、ファシリテーションについて概説し、福祉現場の事例や実習での経験を関連付けながら理解を深める。
4	【講義】相談援助における個人情報の保護 相談援助と個人情報保護、個人情報保護制度について概説し、相談援助において個人情報保護の課題にはどのようなことがあるか、具体的な事例を通して理解を深める。
5	【講義】相談援助における情報通信技術(ICT)の活用 福祉情報の定義、相談援助においてICTがどのように活用されているのか概説する。
6	【講義】カンファレンス 会議の種類、方法について確認し、実際の業務や実践における会議の運営について、福祉現場の事例や実習での経験を関連付けながら理解を深める。
7	【講義】事例研究、事例分析 事例分析の目的と意義、方法と留意点、特に事例を発表・報告するための環境設定について、概説する。
8	【講義】支援困難事例とスーパービジョン 「支援困難な事例」とは何かについて考え、それを踏まえてスーパービジョンの目的・意義・機能について概説する。
9	【講義】相談援助の実際 1 社会的排除に対するソーシャルワークのアクションについて事例を取り上げ、これまで学んだ援助技術に当てはめながら考え、ソーシャルアクションに必要な知識・技術について理解を深める。
10	【講義】相談援助の実際 2 児童虐待、DVが疑われた事例を取り上げ、これまで学んだ援助技術に当てはめながら考え、支援の優先順位の考え方、価値について理解を深める。
11	【講義】相談援助の実際 3 ホームレス、認知症高齢者の事例を取り上げ、これまで学んだ援助技術に当てはめながら考え、セルフネグレクト状態の人々の権利擁護、意思決定支援について理解を深める。
12	【講義】相談援助の実際 4 滞日外国人、外国にルーツがある人々の現状についてデータをもとに概説し、事例を取り上げ、多様性やニーズの捉え方について理解を深める。
13	【講義】相談援助の実際 5 災害時の取り組み、福祉的な課題について事例を取り上げ、災害時のソーシャルワークの役割、社会福祉士が果たす役割について理解を深める。

14	【講義】相談援助の実際6 発達障害のある生徒の教育福祉的課題について事例を取り上げ、ストレングス、コーディネーション、エンパワーメントなどの視点から、学校内で機能するソーシャルワークの専門性、スクールソーシャルワーカーの役割について理解を深める。
15	【講義】まとめ これまで学んだソーシャルワークの理論と方法について総括する。

成績評価の方法

- ・授業内に課す課題...30%
- ・レポート.....70%

授業内で課す課題については、随時講義でフィードバックする。

教科書

大和三重 編「新版 ソーシャルワークの理論と方法II【専門編】」みらい(2021)
ISBN10：486015553X

配布する資料の補足や授業内課題の題材として教科書を使用する。

授業外学修（予習・復習）

次の授業で学ぶ章・節を読んでおくこと（45分）。また、他の講義、演習を受けている際には、この授業で学んだ理論と関連づけて考えるよう試みてほしい（15分）。

その他

参考資料	適宜授業内で示す。
受講生への要望等	私語は厳禁である。これまで福祉の講義、演習で学んだことと結び付けることを心掛け、課題等に積極的に参加してほしい。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に研究室で受け付けます。

社会福祉演習Ⅰ

更新日：2024/10/29 11:05:54

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208320	授業コード	1F204
担当教員	武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20832	3〇 H2〇	3〇 E2〇	社会福祉士

授業概要

ソーシャルワーカーに求められる価値と倫理、自己覚知、コミュニケーション技術、面接技術、ソーシャルワークの展開過程、記録、グループダイナミクスの活用について演習形式で学ぶ。

到達目標

1	自己覚知できるようになり、人間の平等と尊厳について理解できる。
2	基本的なコミュニケーション技術および面接技術を身につけることができる。
3	ソーシャルワークの展開過程および記録について理解できる。
4	プレゼンテーション技術を身につけることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		15		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【演習】オリエンテーションおよび自己開示のプレゼンテーション 本授業の目的、進め方、プレゼンテーションの方法を説明し、各自で本授業における習得目標を設定する。自分についての客観的な説明を20書き出し、その中からまだ開示していない側面を選び、自己紹介とこの授業の目標をプレゼンテーションする。
2	【演習】自分の価値観と他者の価値観 事例を用いて、自分の価値観に向きあい、グループ内で発表する。グループの人の意見も聞き、他者理解も深め、自己覚知する。
3	【演習】コミュニケーションの難しさ 図形伝達や母音トークを通して、自分のコミュニケーション技術の現実およびコミュニケーションの難しさを理解する。
4	【演習】言語コミュニケーション技術 質問、促し、言い換え、感情の反映、繰り返し、要約等をペアで実践して、言語コミュニケーション技術を高める。
5	【演習】非言語コミュニケーション技術 表情、態度、身振り、位置取り等をペアで実践して、非言語的コミュニケーション技術を高める。
6	【演習】ソーシャルワークの展開過程① 事例を用いて、ケースの発見についてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
7	【演習】ソーシャルワークの展開過程② 事例を用いて、インテークについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
8	【演習】ソーシャルワークの展開過程③ 事例を用いて、アセスメントについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
9	【演習】ソーシャルワークの展開過程④ 事例を用いて、プランニングについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
10	【演習】ソーシャルワークの展開過程⑤ 事例を用いて、支援の実施とモニタリングについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
11	【演習】ソーシャルワークの展開過程⑥ 事例を用いて、支援の終結と事後評価についてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
12	【演習】ソーシャルワークの展開過程⑦ 事例を用いて、アフターケアについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
13	【演習】ソーシャルワークの記録方法 視聴覚教材を使用し、その内容を実際に記録する。
14	【演習】グループダイナミクスの活用 事例を用いて、グループワークの構成と展開過程を理解する。さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
15	【演習】演習Ⅰのまとめ 各自、第1回に立てた目標の達成度を考察し、その内容をプレゼンテーションする。

成績評価の方法

- ・授業への取組み意欲・態度・提出物...70%
- ・中間・期末レポート.....30%

・提出物について、講義内でコメントする。

教科書

適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

- ・社会福祉施設等でボランティアするなどして、支援を必要としている人の状況を理解する（合計10時間程度）。
- ・社会福祉や相談援助に関する書籍を読む（合計10時間程度）。
- ・毎回の授業で予習と復習の内容を指示する（毎回1時間程度）。

その他

参考資料	川村隆彦（2002）『価値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク演習』中央法規 川村隆彦（2006）『支援者が成長するための50の原則』中央法規 川村隆彦（2003）『事例と演習を通して学ぶソーシャルワーク』中央法規 尾崎新（2002）『「現場」のちから—社会福祉実践における現場とは何か』誠信書房 尾崎新（1997）『対人援助の技法—「曖昧さ」から「柔軟さ・自在さ」へ』誠信書房 尾崎新（1999）『「ゆらぐ」ことのできる力—ゆらぎと社会福祉実践』誠信書房 etc
受講生への要望等	演習形式であるため、特に積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で対応する。授業外ではmellyにて質問を受けつける。研究室での対応も可能であるが、事前にmellyでアポイントをとること。

社会福祉演習Ⅱ

更新日：2024/10/29 11:08:07

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208330	授業コード	2F104
担当教員	武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
220833	3〇 H2〇	3〇 E2〇	社会福祉士

授業概要

本授業において、①ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる能力を習得する。②社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。2つの目的を達成するため、事例検討、ロールプレイなどを中心とした演習形式で学ぶ。

到達目標

1	ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる。
2	社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を身につけることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0.5	14.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義+演習】オリエンテーションおよび自己開示のプレゼンテーション 本授業の目的、進め方を講義し、各自、演習Ⅱの目標達成度も踏まえた上で、本授業における習得目標を設定し、その目標をプレゼンテーションする。
2	【演習】人間の平等と尊厳について① 事例を用いて、ソーシャルワークの価値である「人間の平等と尊重」について個人で検討し、グループにおける議論でその内容を深める。
3	【演習】人間の平等と尊厳について② 前回の議論の内容をプレゼンテーションし、さらに内容を深め、個人で考察をまとめる。
4	【演習】ソーシャルワーカーによる援助 友人からの相談事例を通し、友人としての対応とソーシャルワーカーとしての援助がどのように異なるかを理解する。
5	【演習】障がいのある人へのソーシャルワークにおけるインテーク 事例を用い、中途障がいのある人に対するインテークについて個人で考察したものをグループで検討し、発表する。
6	【演習】障がいのある人へのソーシャルワークにおけるアセスメント 同じ事例を用い、中途障がいのある人の発言や行動から、個人で利用者理解を試み、グループでアセスメントを行う。
7	【演習】障がいのある人へのソーシャルワークにおけるプランニング 前回の授業で行ったアセスメントをもとにグループでプランニングを行い、発表する。 さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
8	【演習】認知症高齢者への虐待ケースへのソーシャルワークにおけるネットワークング 介護心中に関する事例を用い、心中にいたらないためには、どのような支援が必要だったかを考え、ネットワークングを用いての支援方法を考える。
9	【演習】子ども虐待ケースのソーシャルワークにおけるインテーク 事例を用い、父親からの虐待で緊急一時保護された子どもへのインテークについて検討し、発表する。
10	【演習】子ども虐待ケースのソーシャルワークにおけるアセスメント 第9回の事例について、本人および母親、父親の言葉や態度からアセスメントを行う。
11	【演習】子ども虐待ケースのソーシャルワークにおけるプランニング 第10回のアセスメントを用いてプランニングを行い、発表する。
12	【演習】子ども虐待ケースのソーシャルワークにおける支援の実施 支援の土壌に乗らない父親に対して、どのような支援が必要かを考え、発表する。
13	【演習】子ども虐待ケースのソーシャルワークにおける終結とアフターケア 終結とアフターケアについて、検討し、発表する。
14	【演習】子ども虐待ケースのソーシャルワークにおけるモニタリングと効果測定 モニタリングと効果測定の方法について、子ども虐待の事例をもとに検討し、発表する。
15	【演習】演習Ⅱのまとめ 各自、第11回に立てた目標の達成度を考察し、その内容をプレゼンテーションする。

成績評価の方法

- ・授業への取組み意欲・態度・提出物...70%
- ・中間・期末レポート.....30%

・提出物・中間レポートについて、講義内でコメントする。

教科書

適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

- ・社会福祉施設等でボランティアするなどして、支援を必要としている人の状況を理解する（合計10時間程度）。
- ・社会福祉や相談援助に関する書籍を読む（合計5時間程度）。
- ・毎回の授業で予習と復習の内容を指示する（毎回1時間程度）。

その他

参考資料	川村隆彦（2002）『価値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク演習』中央法規 川村隆彦（2006）『支援者が成長するための50の原則』中央法規 川村隆彦（2003）『事例と演習を通して学ぶソーシャルワーク』中央法規 尾崎新（2002）『「現場」のちから—社会福祉実践における現場とは何か』誠信書房 尾崎新（1997）『対人援助の技法—「曖昧さ」から「柔軟さ・自在さ」へ』誠信書房 尾崎新（1999）『「ゆらぐ」ことのできる力—ゆらぎと社会福祉実践』誠信書房 etc
受講生への要望等	演習であり、特に積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で対応するが、研究室での対応を希望する場合は、事前にmellyでアポイントをとること。

社会福祉演習Ⅲ

更新日：2024/10/07 11:41:29

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208340	授業コード	2F203
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20834	30 H2◎	30 E2◎	社会福祉士

授業概要

【授業目的】

事例検討、ロールプレイなどの実践的な演習を通してソーシャルワークの専門的知識・技術を修得する。

【授業内容】

ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる能力を習得するために、事例検討、ロールプレイなど演習方式で学ぶ。

到達目標

1	ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術を体系的に理解できる。
2	事例検討を重ね、クライアントのニーズを把握するように努め、その根拠を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0.5	14.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義+演習】オリエンテーションおよび自己開示のプレゼンテーション 本授業の目的、進め方を講義し、各自、演習Ⅲの目標達成度も踏まえた上で、本授業における習得目標を設定し、その目標をプレゼンテーションする。
2	【演習】高齢者虐待ケースへのソーシャルワーク① 高齢者虐待への方法について、個人で考えグループで議論し、発表する。
3	【演習】高齢者虐待ケースへのソーシャルワーク② 前回授業の内容をもとに、高齢者虐待防止や予防に必要な社会資源やネットワーキングについて議論し、発表する。
4	【演習】DVケースへのソーシャルワーク① DV被害者へのアウトリーチの方法について個人で考えグループで議論し、発表する。
5	【演習】DVケースへのソーシャルワーク② DV被害者支援におけるチームアプローチとネットワーキングについて議論し、発表する。
6	【演習】教育現場におけるソーシャルワーク ひきこもりの子どもに対して、学校とスクールソーシャルワーカーが協働して取り組んだ事例をもとにチームアプローチの理解を深める。
7	【演習】多問題家族におけるソーシャルワーク① 事例を用いて、多問題家族におけるネットワーキングとコーディネーションについて議論し、理解を深める。
8	【演習】多問題家族におけるソーシャルワーク② 事例を用いて、多問題家族におけるネゴシエーションとファシリテーションについて議論し、理解を深める。
9	【演習】がん患者とその家族への終末期ケア① 事例を用い、がん患者への支援について、医療機関におけるチームアプローチについて、議論し発表する
10	【演習】がん患者とその家族への終末期ケア② 事例を用い、がん患者の家族への支援について、医療機関におけるチームアプローチについて、議論し発表する
11	【演習】社会的排除の事例におけるソーシャルワーク① LGBTや路上生活者等の解説DVDを視聴し、LGBTや路上生活者等の人が抱える問題を書き出す。
12	【演習】社会的排除の事例におけるソーシャルワーク② 前回の授業をもとに、どのような社会になればLGBTや路上生活者等の人々が住みやすくなるか具体的なソーシャルアクションの方法を考え、議論し、発表する。
13	【演習】ひきこもり、8050問題におけるソーシャルワーク① ひきこもりの背景や8050問題の問題点について話し合い、発表する。
14	【演習】ひきこもり、8050問題におけるソーシャルワーク② 8050問題の事例を用いて、他問題家族への具体的な支援内容について議論し、発表する。
15	【演習】演習Ⅲのまとめ 各自、1回目立てた目標の達成度を考察し、その内容をプレゼンテーションする。

成績評価の方法

- ・ 授業への取組み意欲・態度・提出物...60%
- ・ 中間・期末レポート.....40%

授業内で課す提出物については、随時講義でフィードバックする。

教科書

資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

授業内で指示した内容を学修する（予習30分、復習30分程度）。

その他

参考資料	鈴木武幸他編(2015)『社会福祉士相談援助演習事例集』学文社
受講生への要望等	演習形式であるので積極的に授業に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で受け付ける。授業外の場合はメリーでアポをとり、教員室に来ること。

社会福祉演習Ⅳ

更新日：2024/10/07 12:40:01

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208350	授業コード	3F104
担当教員	米澤 美保子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
	3◎ H2○	3◎ H2○	社会福祉士

授業概要

ソーシャルワーカーに求められる相談援助の知識と技術について、地域福祉の基盤と開発に関する事例を活用し、個別指導、集団指導を通して、実技指導（ロールプレイング）を中心とする演習により、地域アセスメントや評価等の仕組み、およびマイクロ・メソ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて理解する。ソーシャルワーカーに求められる相談援助の知識と技術について、受講生個々の社会福祉実習(60時間)における体験をふりかえり理解する。

到達目標

1	地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握について理解できる
2	地域アセスメントについて理解できる
3	地域福祉の計画について、計画の意義、計画策定の過程について理解できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0.5	14.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義+演習】オリエンテーション/社会福祉実習における相談援助の学び、スーパービジョンの整理 これからの取り組み方を説明する。実習(60時間)においての学びを振り返り、相談援助技術や実習中に受けたスーパービジョン、専門職像について整理し共有する (予習) 実習日誌などを読む (20分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
2	【演習】社会福祉実習における個別体験による対人援助技術 実習(60時間)における利用者との関わり場面についてグループワークによりアセスメントを行い、対人援助技術について学ぶ (予習) 実習日誌などを読む (20分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
3	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(1)地域アセスメント 演習課題の取組により地域アセスメントについて学ぶ (予習) 地域アセスメントについてまとめる (60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
4	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(2)アウトリーチ 演習課題の取組により地域住民に対するアウトリーチについて学ぶ (予習) アウトリーチについてまとめる (60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
5	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(3)ネットワークング 演習課題の取組によりネットワークングおよび社会資源の活用・調整について学ぶ (予習) ネットワークング、社会資源についてまとめる (60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
6	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(4)ソーシャルアクション 演習課題の取組によりソーシャルアクションおよび地域ニーズについて学ぶ (予習) ソーシャルアクション、地域のニーズ把握についてまとめる (60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
7	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(5)社会資源の開発 演習課題の取組により社会資源の開発について学ぶ (予習) 社会資源の開発についてまとめる (60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
8	【演習】実践方法指導 (1) 地域ニーズの把握 (1) 地域の状況把握について大学周辺の地域状況を統計情報などから情報収集することを通して学ぶ (予習) 地域概況の項目や地域情報の収集手段、ニーズ把握についてまとめる。大学周辺の様子・状況を意識して観察する (60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)

9	【演習】実践方法指導(2) 地域ニーズの把握(2) 把握した地域状況から地域ニーズを抽出し検討することにより学ぶ (予習) 地域ニーズに関する書籍やこれまでの学びをふり返る(20分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分)
10	【演習】実践方法指導(3) 地域福祉の計画(1) 地域福祉の計画について抽出した地域ニーズを基に地域支援の計画作成を通じて学ぶ (予習) 地域アセスメントについてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分)
11	【演習】実践方法指導(4) 地域福祉の計画(2) 作成した計画を発表する。他者の計画と自分自身の計画との比較から地域ニーズの捉え方や地域アセスメントについての理解を深める (予習) 作成した地域支援の計画を読む(30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分)
12	【演習】実践方法指導(5) 地域福祉の計画(3) 作成した計画を基にふれあいいきいきサロンや子育てサロンなど地域支援の取り組みの実施計画を作成することにより、アウトリーチ、地域支援について理解を深める (予習) ふれあいいきいきサロン、子育てサロンなどについてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分)
13	【演習】実践方法指導(6) 地域福祉の計画(4) 地域支援の取り組みの実施計画を発表し、サービスの評価について学ぶ (予習) 計画の評価についてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分)
14	【演習】実践方法指導(7) 地域福祉実践 コミュニティソーシャルワーカーの実践、特に組織化、地域ニーズ、アウトリーチに着目して視聴覚教材により学び、地域福祉実践について考える (予習) コミュニティソーシャルワーカーについてまとめる(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する(60分)
15	【演習】演習のまとめ これまでの学びの整理とまとめを行う。 (予習) これまでのまとめを読む(30分) (復習) 本科目で学んだことを整理する(60分)

成績評価の方法

- ・授業への取り組み意欲・態度・提出物...60%
- ・レポート.....40%

フィードバックは授業時にコメントする。

教科書

適宜資料を作成し、配布する。

授業外学修(予習・復習)

上記「授業計画」に記載の通り、予習、復習を行うこと。
また、社会福祉や相談援助に関する書籍を読むこと。

その他

参考資料	「学びが深まるソーシャルワーク演習」演習委員会編,2023,『学びが深まるソーシャルワーク演習 実践編』ミネルバ書房。 「学びが深まるソーシャルワーク演習」演習委員会編,2021,『学びが深まるソーシャルワーク演習』ミネルバ書房。 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編,2021,『最新社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 13 ソーシャルワーク演習[共通科目]』中央法規。 ソーシャルワーク演習研究会,2018,『すぐに使える!学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習』ミネルヴァ書房。 川村隆彦,2007,『価値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク演習』中央法規出版。
受講生への要望等	演習形式であるので積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	mellyや直接教員室(1号館1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで予約を取ってください。

社会福祉演習 V

更新日：2024/10/07 12:40:40

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208360	授業コード	3F201
担当教員	米澤 美保子						
備考	グループワーク、プレゼンテーション						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
	3◎ H2○	3◎ H2○	社会福祉士

授業概要

ソーシャルワーカーに求められる相談援助の知識と技術について、受講生個々の社会福祉実習における体験を取り上げ、これを相談援助のための実践に必要な知識と技術の融合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化して体系立てていくことができる能力を習得する。具体的には、個別・集団指導を通して実技指導（スーパービジョン等）を中心とした演習により、受講生の実習現場での個別的な体験を一般化させるとともに、そこから実践的かつ学術的な知識と技術として習得する。

到達目標

1	社会福祉実習での体験からソーシャルワークに係る知識と技術を、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できる
---	---

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0.5	14.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義+演習】オリエンテーション/社会福祉実習における相談援助の学び、スーパービジョンの整理 これからの取り組み方を説明する。実習における学びを振り返り、相談援助技術や実習中に受けたスーパービジョン、専門職像について整理し共有する (予習) 実習日誌を読む (40分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
2	【演習】社会福祉実習における個別体験による対人援助技術 (1) 実習における利用者との関わり場面について整理し発表する (予習) 関わり場面のワークシートを読む (30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
3	【演習】社会福祉実習における個別体験による対人援助技術 (2) 実習における利用者との関わりで困った場面についてグループワークによりアセスメントを行い、対人援助技術について学ぶ (予習) 関わり場面のワークシートを読む。アセスメント、面接技術についてまとめる。(60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
4	【演習】社会福祉実習における個別体験による対人援助技術 (3) グループワークによるアセスメント結果をロールプレイにより発表し、他グループからのピアスーパービジョンをふりかえる。 (予習) ワークシートを読む (30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
5	【演習】事例検討の目的と方法 事例検討の取り組みについての説明と各自社会福祉実習における事例をワークシートに記入する (予習) 実習日誌を読む (30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
6	【演習】事例検討 (1) 事例発表 各自作成した事例を発表する (予習) 作成したワークシートを読む (30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
7	【演習】事例検討 (2) 事例①のアセスメント 実習における個別体験による事例①についてアセスメントを行い、個別支援計画を作成することにより、相談援助のプロセス、アセスメントの視点について学びを深める (予習) 相談援助のプロセスとアセスメントの視点についてまとめる (60分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)
8	【演習】事例検討 (3) 事例①の個別支援計画発表 事例①の個別支援計画を発表する (予習) 作成したワークシートと個別支援計画を読む (30分) (復習) 講義を通して学んだことを整理する (60分)

9	<p>【演習】事例検討（４）事例②のアセスメント 実習における個別体験による事例②についてアセスメントを行い、個別支援計画を作成することにより、個別支援計画のプロセス、アセスメントの視点について学びを深める （予習）相談援助のプロセスとアセスメントの視点についてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）</p>
10	<p>【演習】事例検討（５）事例②の個別支援計画発表 事例②の個別支援計画を発表する。実習中におけるスーパービジョンの内容をふりかえり、共有しスーパービジョンについての理解を深める （予習）作成したワークシートと個別支援計画を読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）</p>
11	<p>【演習】事例検討（６）事例③作成(コミュニティワーク) 各自社会福祉実習における事例をワークシートに記入する （予習）実習日誌を読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）</p>
12	<p>【演習】事例検討（７）事例③(コミュニティワーク)のアセスメント 個別・グループワークにより実習における事例③についてアセスメントを行い、相談援助のプロセス、アセスメントの視点について学びを深める （予習）相談援助のプロセスとアセスメントの視点についてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）</p>
13	<p>【演習】事例検討（８）事例③(コミュニティワーク)のアセスメントの発表 事例③のアセスメントを発表する。実習中におけるスーパービジョンの内容をふりかえり、共有しスーパービジョンについての理解を深める （予習）作成したワークシートを読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）</p>
14	<p>【演習】事例検討（８）事例③(コミュニティワーク)のロールプレイ グループワークによるアセスメント結果をロールプレイにより発表し、他グループからのピアスーパービジョンをふりかえる。 （予習）ワークシートを読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）</p>
15	<p>【演習】総括 ソーシャルワーク演習の振り返りを行う。 （予習）これまで取り組んだワークシートを読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）</p>

成績評価の方法

- ・授業への取組み意欲・態度・提出物...60%
- ・レポート.....40%

フィードバックは授業時にコメントする。

教科書

適宜資料を作成し、配布する。

授業外学修（予習・復習）

上記「授業計画」に記載の通り、予習、復習を行うこと。

また、社会福祉や相談援助に関する書籍を読むこと。

その他

参考資料	「学びが深まるソーシャルワーク演習」演習委員会編,2023,『学びが深まるソーシャルワーク演習 実践編』ミネルバ書房。 「学びが深まるソーシャルワーク演習」演習委員会編,2021,『学びが深まるソーシャルワーク演習』ミネルバ書房。 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編,2021,『最新社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 13 ソーシャルワーク演習[共通科目]』中央法規。
受講生への要望等	演習形式であるので積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	mellyや直接教員室(1号館1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで予約を取ってください。

社会福祉実習指導Ⅰ

更新日：2025/01/08 16:34:44

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208370	授業コード	2F204
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
220837	3〇 H2〇	3〇 E2〇	社会福祉士

授業概要

社会福祉実習Ⅰに向けての具体的な準備を行う。

到達目標

1	社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を身につけることができる。
2	ソーシャルワーク実習の意義について理解し、社会福祉実習Ⅰの実習計画書を作成できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6.5	8.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義① 実習を終えた学生から社会福祉実習の意義を学ぶ。
2	【演習】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義② ①実習に向けての基本的マナーおよびコミュニケーションについてロールプレイを行う。
3	【演習】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義③ ②実習に向けての基本的マナーおよびコミュニケーションについてロールプレイを行う。
4	【講義】実習先の理解① ゲストスピーカーによる講話を通して実習先について学ぶ。
5	【講義】実習先の理解② 社会福祉士、社会福祉施設の役割について講義する。
6	【演習】個人票作成 実習先へ提出する個人票の作成を行う。
7	【講義+演習】計画書作成 事前訪問を行い、実習生、実習担当教員との三者協議を踏まえた実習計画の作成
8	【演習】計画書作成③ 前回は踏まえ、実習計画書を完成させる。
9	【演習】実習先の理解③ 配属先の実習先について調べる。
10	【演習】実習先の理解④ 配属先の実習先について調べる。
11	【講義】実習記録について① 映像資料を見て、実際に実習日誌を記入し、添削を受ける。
12	【講義】実習記録について② 映像資料を見て、実際に実習日誌を記入し、添削を受ける。
13	【演習】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義④ ③実習に向けての基本的マナーおよびコミュニケーションについてロールプレイを行う。
14	【演習】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義⑤ ④実習に向けての基本的マナーおよびコミュニケーションについてロールプレイを行う。
15	【講義】実習直前諸注意 実習中の諸注意、個人のプライバシーと守秘義務について講義する。

成績評価の方法

- ・ロールプレイ.....70%
 - ・実習計画書・事前学習のレポート...20%
 - ・授業への取り組み意欲・態度.....10%
- フィードバックは適宜コメントする。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

社会福祉に関する書籍を読むこと（合計15時間）

その他

参考資料	鶴 幸一郎ほか『福祉は誰のために—ソーシャルワークの未来図』 木下大生ほか『知りたい！ソーシャルワーカーの仕事』 八木亜紀子『相談援助職の記録の書き方—短時間で適切な内容を表現するテクニック』 宮本節子『ソーシャルワーカーという仕事』など 副田あけみ・小嶋章吾『ソーシャルワーク記録[改訂版]:理論と技法』
受講生への要望等	実習は外部へ出て行うため、基本的マナーについても、厳しくチェックする。時間前行動を心掛けること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で対応するが、授業時間外の場合は研究室で質問に対応する。メリーでアポイントをとること。

社会福祉実習指導Ⅱ

更新日：2024/10/15 13:55:51

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208380	授業コード	3F105
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208380	3〇 H2〇	3〇 H2〇	社会福祉士

授業概要

社会福祉実習Ⅰの振り返りを行い、それを踏まえた上で社会福祉実習Ⅱに向けての具体的な準備を行う。

到達目標

1	実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる。
2	社会福祉実習Ⅱの計画書を作成できる。
3	ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解することができる。
4	ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	2	13		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【演習】社会福祉実習Ⅰの課題の整理と実習総括レポートの作成① 実習Ⅰのふりかえりを行い、総括レポートを作成する。 写真貼付し個人票を完成させる。
2	【演習】社会福祉実習Ⅰの課題の整理と実習総括レポートの作成② 実習Ⅰのふりかえりを行い、総括レポートを作成する。
3	【演習】社会福祉実習Ⅰの課題の整理とパワーポイントの作成 総括レポートをふまえて、パワーポイントを作成する。
4	【演習】実習Ⅰの総括のプレゼンテーション 総括レポートをふまえて作成したパワーポイントによりプレゼンテーションを行う。
5	【演習】計画書作成① これまでの授業内容を踏まえ、実習計画書の下書きを作成する。
6	【演習】計画書作成② 実習計画書の下書きを作成する。
7	【演習】計画書作成③ 実習計画書の下書きを作成する。
8	【演習】計画書作成④ 前回は踏まえ、実習計画書を完成させる。
9	【講義】事前訪問の説明 実習の手引きにより、事前訪問の説明を行う。 事前訪問に必要な書類を準備する。
10	【演習】実習先の理解① 実習先の概要、他の職種の特長性、業務や地域について調べる。
11	【演習】実習先の理解② 実習先について調べたことを発表する。
12	【演習】実習先の理解③ 前回の指摘事項をふまえて、実習先についてまとめる。
13	【講義】実習直前注意 実習中の諸注意、個人のプライバシーと守秘義務について講義する。
14	【演習】帰校日指導 実習計画書に照らして実習の進捗状況等を整理し、より学びのある実習にするためのスーパービジョンを行う
15	【演習】実習先への巡回指導 実習計画書に照らして実習の進捗状況等を整理し、より学びのある実習にするためのスーパービジョンを行う

成績評価の方法

- ・授業への取組み意欲・態度..... 20%
 - ・実習報告書..... 20%
 - ・事前学習のレポート..... 20%
 - ・実習計画書..... 20%
 - ・プレゼンテーション(パワーポイントと発表)...20%
- フィードバックは適宜コメントする。

教科書

なし。

授業外学修（予習・復習）

社会福祉に関する書籍を読むこと（合計15時間）

その他

参考資料	鶴 幸一郎ほか『福祉は誰のために—ソーシャルワークの未来図』 木下大生ほか『知りたい！ソーシャルワーカーの仕事』 八木亜紀子『相談援助職の記録の書き方—短時間で適切な内容を表現するテクニック』 宮本節子『ソーシャルワーカーという仕事』など 副田あけみ・小嶋章吾『ソーシャルワーク記録[改訂版]:理論と技法』
受講生への要望等	実習は外部へ出て行うため、基本的マナーについても、厳しくチェックする。時間前行動を心掛けること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で対応するが、授業時間外の場合は教員室で質問に対応する。mellyでアポイントをとること。

社会福祉実習指導Ⅲ

更新日：2025/03/25 13:20:22

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208390	授業コード	3F202
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208390	3〇 H2〇	3〇 H2〇	社会福祉士

授業概要

実習Ⅱを振り返り、実習Ⅰおよび実習Ⅱでの学びを概念化し、理論化し、体系立てて発表する。

到達目標

1	実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる。
2	ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解することができる。
3	ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		15		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【演習】 帰校日指導 実習計画に照らして実習の進捗状況等を整理し、より学びのある実習にするためのスーパービジョンを行う。
2	【演習】 帰校日指導 実習計画に照らして実習の進捗状況等を整理し、より学びのある実習にするためのスーパービジョンを行う。
3	【演習】 実習報告会のテーマ設定 実習で学んだこと、実習で見つけた自分の課題を踏まえて、実習報告会のテーマを設定する。
4	【演習】 実習報告会の発表内容準備① 設定したテーマにとって、発表内容を各自で準備する。
5	【演習】 実習報告会の発表内容準備② 準備した発表内容を基にパワーポイントで発表資料を作成する。
6	【演習】 実習報告会の発表内容準備③ パワーポイントによる発表資料を完成させる。
7	【演習】 実習報告会の発表内容準備④ 完成したパワーポイントを発表し、グループディスカッションを通して修正する。
8	【演習】 実習報告会の発表内容準備⑤ 修正後のパワーポイントで発表し、グループディスカッションを通して発表内容を精度の高いものにする。
9	【演習】 実習報告会の発表内容準備⑥ グループディスカッションの内容を反映したパワーポイントで発表し、リハーサルに向けて調整を行う。
10	【演習】 実習報告会リハーサル 本番と同様の練習を行い、プレゼンテーションスキルを高める。
11	【演習】 実習報告会に向けての最終調整 リハーサルの内容を踏まえ、最終調整を行う。
12	【演習】 実習報告会 実習での学びをプレゼンテーションする。
13	【演習】 実習総括レポートの作成① 教員の添削を踏まえレポートを作成する。
14	【演習】 実習総括レポートの作成② 教員の添削を踏まえレポートを作成する。
15	【演習】 実習総括レポートの作成③ 実習総括レポートを完成させる。

成績評価の方法

- ・ 授業への取組み意欲・態度.....30%
- ・ 実習報告書.....35%
- ・ プレゼンテーション(パワーポイント)..... 20%

・プレゼンテーション(発表)15%
フィードバックは適宜コメントする。

教科書

指定なし

授業外学修（予習・復習）

社会福祉に関する書籍を読むこと（合計15時間）

その他

参考資料	実習先のパンフレット等
受講生への要望等	実習での学びを整理し、継続的に学ぶためにも、可能であれば、実習終了後もボランティアなどでかかわれると良い。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で対応するが、授業時間外の場合は教員室で質問に対応する。mellyでアポイントをとること。

社会福祉実習Ⅰ

更新日：2025/01/08 15:10:53

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	208400	授業コード	2F205
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
220840	2◎ 3○ H2○	2◎ 3○ E2○	社会福祉士

授業概要

社会福祉施設・機関・団体における現場実習をとおして、社会福祉分野の相談援助職として必要な知識、技術、倫理について実践的に学び、理解を深めていく。具体的には、社会福祉施設・機関・団体の現状および社会福祉分野の相談援助職に必要な専門知識と技術、職業倫理について理解を深め、総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

到達目標

1	利用者やその関係者、実習施設職員等との基本的なコミュニケーションをはかることができる。
2	実習施設・機関が地域社会の中で果たす役割を理解することができる。
3	利用者や地域の状況を理解することができる。
4	当該施設・機関のサービスの実際を理解することができる。
5	社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任を理解することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			30	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	2年生春季休暇時に60時間以上行う。 実習担当教員は週1回の実習指導を通して、次に掲げる事項について学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中に十分な個別指導を行うものとする。 ①利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーション ②実習先が地域社会の中で果たす役割の理解 ③施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際 ④社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解
---	---

成績評価の方法

- ・実習先からの評価.....70%
- ・実習日誌.....30%

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

実習で生じた疑問について調べる（毎回1時間程度）。

その他

参考資料	実習先のパンフレット等（事前に集めておくこと）
受講生への要望等	学外での実習になるため、社会人としてのマナーを身につけた上で実習すること。
授業の質問対応、連絡先	万が一、実習を欠席する場合は、必ず実習先に電話で連絡を入れること。教員へは科目mellyで連絡すること。

社会福祉実習Ⅱ

更新日：2024/10/08 15:24:10

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	208410	授業コード	3F106
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	6
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208410	2◎ 3○ H2○	2◎ 3○ E2○	社会福祉士

授業概要

社会福祉施設・機関・団体における現場実習をとおして、社会福祉分野の相談援助職として必要な知識、技術、倫理について実践的に学び、理解を深めていく。具体的には、社会福祉施設・機関・団体の現状および社会福祉分野の相談援助職に必要な専門知識と技術、職業倫理について理解を深めていくとともに、これらの知識、技術、倫理を実際の援助場面で適切に活用すること、さらに総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

到達目標

1	利用者やその関係者、実習施設職員等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係を形成することができる
2	利用者やその関係者と援助関係を形成することができる
3	利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題を把握して、支援計画を作成、実施、評価することができる
4	多職種連携、チームアプローチを実践的に理解することができる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			90	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	<p>3年生夏季休暇時に180時間以上行う。 実習担当教員は週1回の指導(巡回指導・帰校日指導)を通して、次に掲げる事項について学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中に十分な個別指導を行うものとする。</p> <p>①利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成 ②利用者やその関係者との援助関係の形成 ③利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題の把握、支援計画の作成と実施及び評価 ④多職種連携及びチームアプローチの実践的理解 ⑤実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ ⑥地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解 ⑦施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際 ⑧社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解 ⑨ソーシャルワーク実践に求められる技術、アウトリーチ、ネットワークング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクションの実践的理解</p>
---	---

成績評価の方法

- ・実習先からの評価.....70%
- ・実習日誌.....30%

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

実習で生じた疑問について調べる（毎回1時間程度）

その他

参考資料	実習先のパンフレット等（事前に集めておくこと）
受講生への要望等	学外での実習になるため、社会人としてのマナーを身につけた上で実習すること。
授業の質問対応、連絡先	万が一、実習を欠席する場合は、必ず実習先に電話で連絡を入れること。教員へは科目mellyで連絡すること。

保存修復学

更新日：2025/04/10 11:36:04

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	309010	授業コード	20103
担当教員	山本 一世, 谷本 啓彰, 岩田 有弘, 保尾 謙三, 奥村 瑳恵子, 岩崎 和恵, 森川 裕仁, 杉村 留奈						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
30901	10 H1◎	10 E1◎	歯科医師

授業概要

う蝕その他の歯の硬組織疾患に対する保存修復処置（コンポジットレジン修復、ガラスアイオノマーセメント修復の直接修復とメタルインレー修復、コンポジットレジンインレー修復、セラミックインレー修復の間接修復、ラミネートベニア修復、象牙質知覚過敏症への対応、歯の漂白など）の内容と管理について、また処置の前準備（防湿法、歯間分離法、歯肉圧排法、隔壁法、除痛法）と器具・器材の取り扱い、および歯科診療時における補助（切削器具や治療に使用する器具などの準備、診療時の介助など）を行うための基本的な知識について学ぶ。

到達目標

1	う蝕その他の歯の硬組織疾患の保存修復処置と管理について説明できる。
2	う蝕その他の歯の硬組織疾患の保存修復処置を行うための基本的な診療補助について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】保存修復学の概要・口腔検査（谷本啓彰） <ul style="list-style-type: none">保存修復学の概要を説明できる。コミュニケーションの目的と技法を説明できる。医療面接の役割と手法を説明できる。歯の硬組織疾患の検査法の種類を説明できる。
2	【講義】硬組織疾患の種類（谷本啓彰） <ul style="list-style-type: none">歯の硬組織疾患の病因・病態を説明できる。う蝕の症状・診断とリスクファクターを説明できる。
3	【講義】歯質の切削、窩洞（杉村留奈） <ul style="list-style-type: none">切削器械の種類と用途を説明できる。切削器具の種類と用途を説明できる。その他の歯質切削器械の種類と用途を説明できる。Blackの分類を説明できる。窩洞の構成要素を説明できる。
4	【講義】修復の前準備、歯髄保護（杉村留奈） <ul style="list-style-type: none">防湿法を説明できる。歯間分離法を説明できる。歯肉圧排法を説明できる。隔壁法を説明できる。除痛法を説明できる。歯髄保護を説明できる。仮封の目的と種類を説明できる。
5	【講義】直接修復法-1（保尾謙三） <ul style="list-style-type: none">コンポジットレジン修復の長所と短所を説明できる。コンポジットレジン修復の臨床の手順を説明できる。コンポジットレジンと歯質との接着を説明できる。コンポジットレジン修復の使用器材を説明できる。
6	【講義】直接修復法-2、間接修復法-1（保尾謙三） <ul style="list-style-type: none">ガラスアイオノマーセメント修復の長所と短所を説明できる。ガラスアイオノマーセメント修復の臨床の手順を説明できる。アマルガム修復法の特徴を説明できる。メタルインレー修復の長所と短所を説明できる。メタルインレー修復の臨床の手順を説明できる。合着用セメントの種類と用途を説明できる。

7	【講義】間接修復法-2（岩田有弘） <ul style="list-style-type: none"> レジンインレー修復の長所と短所を説明できる。 レジンインレー修復の臨床の手順を説明できる。 セラミックインレー修復の長所と短所を説明できる。 セラミックインレー修復の種類を説明できる。
8	【講義】歯の漂白法、象牙質知覚過敏処置（奥村瑛恵子） <ul style="list-style-type: none"> 歯の漂白処置の概要を説明できる。 ラミネートベニア修復の臨床の手順を説明できる。 象牙質知覚過敏処置の種類を説明できる。 修復処置後のメンテナンスを説明できる。

成績評価の方法

MCQ形式および筆記形式の科目試験で評価する。

- 本試験を100%として評価する。
- 試験に対する質問等は随時メールもしくは附属病院医局にて受け付ける。
- 本試験不合格者には補講時に解説を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」（一社） 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版社

授業外学修（予習・復習）

授業外で行うべき学修：授業の前日までに教科書の該当部分、および関連する基礎科目（口腔解剖学、口腔組織学、口腔生化学、口腔病理学、口腔細菌学、歯科理工学）について予習をしておいて下さい。授業を受けた後は講義ノートと配布プリントを参考に復習し、ノートを完成させて下さい。予習、復習とも30分～1時間が目安です。

その他

参考資料	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」（一社） 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版社 歯科衛生学シリーズ「歯科機器」（一社） 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版社
受講生への要望等	配布資料はすべてファイリングすること。
授業の質問対応、連絡先	大阪歯科大学歯学部歯科保存学講座 （大 学） 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町8番1号 （附属病院） 〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目5-17 南館6階 歯科保存学講座医局 山本一世 (yamamoto@cc.osaka-dent.ac.jp) 岩田有弘 (iwata@cc.osaka-dent.ac.jp) 谷本敬彰 (tanimoto@cc.osaka-dent.ac.jp) 保尾謙三 (yasuo-k@cc.osaka-dent.ac.jp) 奥村瑛恵子 (okumura-s@cc.osaka-dent.ac.jp) 杉村留奈 (sugimura-r@cc.osaka-dent.ac.jp) 各教員にメールにて連絡すること。

歯内治療学

更新日：2024/10/18 12:58:29

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	309020	授業コード	20104
担当教員	辻 則正						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
30902	1○ H1◎	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

歯科衛生士は、歯内治療学を学び歯内治療を必要とする患者の診療補助を行う上で必要となる知識を修得する。また、歯内治療の各処置内容と術式を学び必要となる器材とその使用法について学習し、さらに歯科衛生士が行い得る業務範囲内の技術を習得する。

知識の修得と技術の習得によって、歯科衛生士は歯科医師と良好な連携をもって患者の満足が得られるFour Handed Dentistryに則った効率的な歯科診療補助が行えるようになる。

また、大部分の歯内治療を行った歯には歯科技工士によって製作された修復物・補綴物が装着される。歯科技工士は修復物・補綴物製作にあたり患歯にどのような歯科治療が行われているのかを理解し、歯科医学の中における歯内治療学の位置づけについて把握に努める。

本科目は、講義の形式で上記の知識を得る。

到達目標

1	硬組織疾患を説明できる。
2	歯髄疾患を説明できる。
3	根尖性歯周組織疾患を説明できる。
4	各疾患に対する処置法を説明できる。
5	各処置に用いる使用器具を説明できる。
6	各処置に用いる材料を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】総論、硬組織疾患 歯内治療学とは？ 硬組織疾患の種類（特に歯内治療学と関連性が強い硬組織疾患について）
2	【講義】歯髄疾患の種類と病態 歯髄疾患の種類 歯髄疾患の臨床症状 歯髄疾患の検査法
3	【講義】根尖性歯周組織疾患の種類と病態 根尖性歯周組織疾患の種類 根尖性歯周組織疾患の臨床症状 根尖性歯周組織疾患の検査法
4	【講義】歯髄保存療法 歯髄保存療法の種類 各種歯髄保存療法の術式
5	【講義】歯髄除去療法 歯髄除去療法の種類 各種歯髄除去療法の術式
6	【講義】根尖性歯周組織疾患の治療、根管治療と治療に用いる器具・機材 感染根管治療の術式 使用する器具と機材
7	【講義】根管充填、根未完成歯の処置 根管充填に用いる器具・材料 根管充填の術式 根未完成歯の処置

8	【講義】 外科的歯内治療、歯内治療における安全対策、他 外科的歯内治療の種類 各種外科的歯内治療の適応症 歯内治療における偶発症の種類、対応、予防 顕微鏡を用いた歯内治療 歯内歯周疾患
---	--

成績評価の方法

本試験 100%

授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。本試験は補講でフィードバックする。小テストは実施すれば採点後の初回講義内でフィードバックする。

教科書

新・歯科衛生士教育マニュアル「歯内治療」 クインテッセンス出版

ISBN978-4-7812-0238-9 2011年

授業中の配布資料

教科書を参照しながら黒板への板書を中心に授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

予習・復習

特に復習では授業内容（ノート）と教科書を照らし合わせ30分以上学修し理解を深める。

その他

参考資料	歯内治療学 第5版 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45823-5 2018年 最新歯科衛生士教本「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」 医歯薬出版 ISBN978-4-263-42820-7 2010年 歯科国試パーフェクトマスター 歯内治療学 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45877-8 2022年
受講生への要望等	歯内治療は日常的に遭遇しやすい処置ですので今から理解を心がけましょう。 歯科衛生士国家試験には関連問題が多数出題されています。
授業の質問対応、連絡先	普段は天満橋学舎にすることが多いです。天満橋学舎に直接質問に来てくださることは可能です。 連絡はmerryよりn-tsuji@cc.osaka-dent.ac.jpへのメールの方が確実です。 少量の質問ならメール連絡でも対応可能です。

歯周病学

更新日：2024/10/18 10:22:20

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	309030	授業コード	20105
担当教員	緒方 智壽子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
30903	1○ H1◎	1○ E1◎	歯科医師

授業概要

周知のように、歯周病学は口腔保健学科・口腔工学科学科学生にとっては極めて重要で、将来の臨床との関わりも強い学科学目である。平成15年6月に歯科医師国家試験制度改善委員会から出版された「歯科衛生士試験出題基準」をみた場合、歯周病学と基礎科目や口腔衛生学、歯科臨床大要、歯科予防処置、歯科診療補助ならびに保健指導等との科目と極めて関連が深いことを示している。また、歯科技工においても歯周組織の状態を把握し、プラークリテンションファクターや審美性はもとより、歯周組織の健康増進を踏まえた技工は大変に重要である。以上の事柄を勘案した場合、単に歯周病学領域に止まらず、関連性の高い他教科との併学を強調し、歯周病学の基礎と臨床ならびに将来の臨床実習を踏まえながら講義を進め、歯周病学の知識を修得する。

到達目標

1	正常な歯周組織を説明できる
2	歯周病の原因とリスクファクターを説明できる
3	診断に必要な検査を説明できる
4	歯周治療を説明できる
5	歯周治療に必要な器具を説明できる
6	歯周病の予防法を説明できる
7	歯周病のメンテナンス・サポータティブペリオドンタルセラピーを説明できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】歯周病学概論 ・歯周疾患の特徴を理解する。 ・歯周組織の解剖・組織を理解する。 ・歯周組織の生理・病理を理解する。
2	【講義】歯周疾患の病因・リスクファクター ・歯周疾患の初発因子を理解する。 ・歯周疾患の修飾因子を理解する。 ・リスクファクターの概念を理解する。
3	【講義】歯周疾患の分類、臨床的特徴およびその対応 ・歯周疾患の分類ができる。 ・歯周疾患の特徴を理解する。 ・歯周疾患の検査について理解する。
4	【講義】歯周疾患の症候・病態と歯周基本治療 ・歯周疾患の臨床症状を理解する。 ・歯周疾患の原因や病態について理解する。 ・歯周基本治療の意義、目的、内容を理解する。
5	【講義】歯周外科治療 ・歯周外科手術の種類と目的を理解する。 ・歯周外科手術の術式と使用器具を理解する。
6	【講義】根分岐部病変の処置 ・根分岐部病変の原因と特徴を理解する。 ・根分岐部病変に対する処置を理解する。 ・口腔機能回復治療について理解する。 ・薬物療法について理解する。
7	【講義】メンテナンス治療・チーム医療・高齢者の歯周疾患治療 ・メンテナンスの意義、目的を理解する。 ・歯周疾患治療におけるチーム医療を理解する。 ・高齢者に対応した歯周治療を理解する。

8	【講義】総括 ・歯周治療の理解度を確認する。
---	---------------------------

成績評価の方法

科目試験80%。授業態度や小テストおよび提出物20%。

講義終了後に理解の確認のための小テストを数回実施の予定。提出物については返却時にコメントする。

教科書

歯科衛生士講座 歯周病学第6版/梅田 誠 他/永末書店/2024発行

資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

授業の理解を深めるため、教科書や配布資料を照らし合わせ、自主的に予習・復習を最低30分行う。

その他

参考資料	歯周病学/一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会/医歯薬出版/2023.1.20発行/ISBN:978-4-263-42616-6 歯周病学用語集 第3版/医歯薬出版/2019/ISBN978-4-263-45835-8
受講生への要望等	歯周病患者さんは高齢化社会において罹患者も多く、特に衛生士業務と深い関わりもあります。また、歯周組織の健康増進を踏まえた技工には歯周組織を理解することが重要であるため、歯周病に関する理解を深め、基礎知識を修得してください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実です。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

有床義歯学

更新日：2024/11/29 09:10:49

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	310010	授業コード	20106
担当教員	島田 明子, 三宅 晃子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31001	1〇 H1〇	1〇 E1〇	歯科医師

授業概要

歯を多数失うと有床義歯による補綴治療を受けることが必要になってくる。有床義歯による補綴治療は、咀嚼・嚥下・発音などの口腔機能の低下を人工材料で補い、回復するばかりでなく、口腔機能障害の進行を予防し、全身の健康増進に寄与している。失われた歯の状態（歯が全部なくなった状態、部分的になくなった状態）により、全部床義歯（総義歯）や部分床義歯（局部床義歯）に分類される。それぞれについて、生理学的、力学的な面から有床義歯における治療や製作方法ならびに指導やケアについて修得する。

到達目標

1	有床義歯技工学の意義、目的について説明できる。
2	有床義歯に関連のある生体の基礎知識を説明できる。
3	全部床義歯の特性を説明できる。
4	全部床義歯の治療と製作手順を説明できる。
5	部分床義歯の構成要素と分類を説明できる。
6	部分床義歯の治療と製作手順を説明できる。
7	有床義歯の修理、リベースおよびリラインを説明できる。
8	金属床義歯を説明できる。
9	オーバーデンチャーを説明できる。
10	暫間義歯を説明できる。
11	即時義歯を説明できる。
12	治療義歯を説明できる。
13	有床義歯の患者指導を説明できる。
14	有床義歯のメンテナンスを説明できる。
15	ノンメタルクラスプデンチャーを説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】有床義歯学総論、有床義歯補綴治療に関連ある生体の基礎知識（三宅） 有床義歯の意義と目的を知る。 固定性補綴装置と有床義歯との相違を知る。 有床義歯の種類を知る。 有床義歯補綴治療に関連のある生体の基礎知識を知る。
2	【講義】全部床義歯の種類と特性および製作順序（島田） 全部床義歯の種類を知る。 全部床義歯の構成要素を知る。 全部床義歯の支持、維持、安定を知る。 全部床義歯の製作（診療）順序を知る。
3	【講義】全部床義歯の医療面接、検査、診療計画、前処置、印象採得および作業用模型（島田） 全部床義歯補綴治療のための医療面接、検査、診療計画を知る。 全部床義歯の前処置を知る。 全部床義歯の印象採得を知る。 全部床義歯の作業用模型製作法を知る。

4	<p>【講義】全部床義歯の咬合採得、咬合様式、人工歯排列、歯肉形成、重合、研磨および装着（島田）</p> <p>全部床義歯の咬合床について知る。</p> <p>全部床義歯の咬合採得の臨床ステップを知る。</p> <p>全部床義歯の咬合器装着を知る。</p> <p>ゴシックアーチの目的を知る。</p> <p>全部床義歯の人工歯排列を知る。</p> <p>全部床義歯の蝕義歯試適を知る。</p> <p>全部床義歯の歯肉形成を知る。</p> <p>全部床義歯の蝕義歯の埋没、重合を知る。</p> <p>全部床義歯の研磨を知る。</p> <p>全部床義歯の装着を知る。</p>
5	<p>【講義】部分床義歯の構成要素と分類、支持・維持・把持および設計（三宅）</p> <p>部分床義歯の構成要素を知る。</p> <p>部分床義歯の分類を知る。</p> <p>直接支台装置と間接支台装置の相違を知る。</p> <p>部分床義歯の支持・維持・把持を知る。</p> <p>各種クラスプの種類を知る。</p> <p>レストの種類と目的を知る。</p> <p>隣接面板の目的を知る。</p> <p>補助支台装置の種類と目的を知る。</p> <p>アタッチメントの種類を知る。</p> <p>オーバードンチャーを知る。</p> <p>大連結子と小連結子の種類と特徴を知る。</p> <p>部分床義歯の設計法を知る。</p>
6	<p>【講義】部分床義歯の製作順序、医療面接、検査、診療計画、前処置、印象採得、サベイング、咬合採得および咬合器装着（三宅）</p> <p>部分床義歯の製作（診療）順序を知る。</p> <p>部分床義歯補綴治療のための医療面接、検査、診療計画を知る。</p> <p>部分床義歯の前処置を知る。</p> <p>部分床義歯の印象採得を知る。</p> <p>部分床義歯の模型製作法を知る。</p> <p>サベイングの目的と方法を知る。</p> <p>部分床義歯の咬合採得を知る。</p> <p>部分床義歯の咬合器装着を知る。</p>
7	<p>【講義】クラスプ・バーの製作、人工歯排列、歯肉形成、重合、研磨、装着、有床義歯の患者指導（三宅）</p> <p>クラスプ、バーの構造と製作法を知る。</p> <p>部分床義歯の人工歯排列、歯肉形成について知る。</p> <p>部分床義歯の重合、再装着、削合および研磨について知る。</p> <p>部分床義歯の装着、調整について知る。</p> <p>有床義歯の患者指導を知る。</p> <p>有床義歯清掃の重要性について知る。</p>
8	<p>【講義】有床義歯治療に伴うトラブルとその対応（メンテナンス、義歯の修理、リベースおよびリライン）、金属床義歯およびノンメタルクラスプデンチャー（島田）</p> <p>有床義歯患者のメンテナンスを知る。</p> <p>有床義歯の修理を知る。</p> <p>リベースとリラインについて知る。</p> <p>金属床義歯を知る。</p> <p>ノンメタルクラスプデンチャーを知る。</p>

成績評価の方法

成績は科目試験、小テスト等を行い、総合的に評価する。

・科目試験.....90%

・小テスト・受講態度...10%

前回の講義内容に関する小テストを行う。小テストの解説は随時講義で行う。

教科書

（口腔工学科）「最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 第2版」全国歯科技工士教育協議会 医歯薬出版2024年 ISBN 978-4-263-43174-0

（口腔保健学科）「歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学」全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版2023年 ISBN 978-4-263-42615-9

授業外学修（予習・復習）

授業ごとに、講義ノートや教科書を用いて30分程度復習して、補綴治療について理解するように努めてください。

教科書を参考に約30分程度予習しておくと、授業が理解しやすいです。

その他

参考資料	<p>「無歯顎補綴治療学 第3版」市川哲雄, 大川周治, 平井敏博, 細井紀雄 医歯薬出版 2016 ISBN 978-4-263-45792-4</p> <p>「歯学生のパーシャルデンチャー第6版」赤川安正, 岡崎定司, 志賀博, 横山敦郎 医歯薬出版 2018 ISBN 978-4-263-45817-46</p> <p>「コンプリートデンチャーテクニック第6版」細井紀雄ほか 医歯薬出版 2011 ISBN 9784263456460</p> <p>「パーシャルデンチャーテクニック 第5版」五十嵐順正, 石上友彦, 大久保力廣, 岡崎定司, 馬場一美, 横山敦郎 医歯薬出版 2012 ISBN 978-4-263-45660-6</p>
受講生への要望等	私語および携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用や途中入退室は慎むこと。
授業の質問対応、連絡先	Mellyを用いて連絡して下さい。 オフィスアワーは次の通りです。

島田：月・火・木・金 12:15-13:15, 16:30-17:30
三宅：Mellyで連絡下さい。

クラウンブリッジ学

更新日：2024/10/18 09:30:09

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	310020	授業コード	20107
担当教員	藤井 孝政						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31002	1 ◎ H1 ○	1 ◎ E1 ○	歯科医師

授業概要

歯・歯列が本来有している外観と機能に生物学的にきわめて近似した状態へと回復し、維持する補綴歯科治療である。歯質の欠損、形態異常、色調不良、歯列の欠損を補綴装置で修復し、形態、審美と機能を回復し、さらに良好な状態を維持するために必要な理論を習得する。

到達目標

1	歯質欠損に対する修復の臨床的意義を説明できる。
2	歯質欠損に対する修復方法を説明できる。
3	歯列の一部欠損に対する修復の臨床的意義を説明できる。
4	歯列の一部欠損に対する修復方法を説明できる。
5	治療に必要な歯科材料についての種類と性質を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接授業】クラウンブリッジ治療の概要 1 クラウンブリッジ治療の目的と意義 2 クラウンブリッジ治療と健康科学 3 クラウンブリッジ治療の利点と欠点
2	【面接授業】クラウンの概要と種類 1 全部被覆冠 2 部分被覆冠 3 ポストクラウン
3	【面接授業】ブリッジの概要と種類 1 ブリッジとは 2 ブリッジの適応症 3 ブリッジの構成要素 4 ブリッジの種類
4	【面接授業】補綴前処置および支台歯形成 1 補綴前処置とは 2 支台歯形成に用いる器具 3 支台歯の形態
5	【面接授業】支台築造 1 臨床的意義 2 築造法の種類と選択基準 3 支台築造の手技
6	【面接授業】印象採得およびプロビジョナルレストレーション 1 印象材の種類 2 印象用器材 3 印象法の種類 4 印象採得後の処理 5 プロビジョナルレストレーションとは 6 プロビジョナルレストレーションの製作と装着
7	【面接授業】顎間関係の記録および患者情報の記録と伝達 1 咬合関係の記録 2 フェイスボウトランスファー 3 下顎運動の記録 4 患者情報の記録 5 患者情報の伝達

8	【面接授業】 クラウンブリッジの装着および術後管理
	1 口腔内への試適
	2 仮着
	3 合着と接着
	4 セメントの種類
	5 術後管理

成績評価の方法

本試験および授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。

成績は、本試験（90%）、授業態度・小テスト（10%）により総合的に評価する。

小テストは授業中に随時解説を行う。本試験不合格者には補講時に解説を行う。

教科書

- ・特定の教科書はない。
- ・知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。

授業外学修（予習・復習）

- ・各回の授業において、学生自身、学ぶべき事項を明示したシラバスをみて、予習（約30分）、復習（約30分）を行い、ノートにまとめ、整理しておく。
- ・自分なりに解説した授業ノートを作成する。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会 医歯薬出版 2017 ISBN 978-4-263-43166-5 ・最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴 第2版 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 2020 ISBN 978-4-263-42864-1
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に予習（約30分）、復習（約30分）を行うこと。
授業の質問対応、連絡先	<p>質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。</p> <p>授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。</p>

口腔インプラント学

更新日：2024/10/21 15:44:05

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	310030	授業コード	20204
担当教員	武田 吉裕						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31003	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

近年、インプラント治療は、サージカルガイドの普及により、予知性が高く、安全性の高い治療であるとの認識が浸透してきている。それに伴い、インプラント治療を導入している歯科医院は、増加している。

そのため、今後、歯科治療に関わっていく本学の学生が、義歯、ブリッジなどと同様にインプラントの基本的な知識を習得することが必須となってきている。また、歯科医師のインプラント関連の問題数の増加と同様に、衛生士および技工士の国家試験でもインプラント治療の問題が多数出題されるようになってきた。

国家試験に必要な知識だけでなく、スライド、手術動画などを駆使したより臨症的な講義を通じて、診療補助を行う上で必要な知識を習得する。

授業は講義を主体として行う。

到達目標

1	インプラントの基本構造を理解できる。
2	インプラント治療の流れを理解できる。
3	インプラント治療の印象方法を理解できる。
4	インプラント治療の上部構造について理解できる。
5	インプラント治療のメンテナンスについて理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】インプラントの歴史、顎骨・周囲組織の解剖およびインプラント基本構造を理解できる。器具の名前を理解できる。
2	【講義】インプラント材料、インプラント周囲組織、オステオインテグレーションを理解できる。インプラントの周囲組織について理解できる。
3	【講義】現代インプラントの成功の基準、インプラント治療の流れを理解できる。インプラント治療の流れを理解できる。
4	【講義】インプラント治療で問題となる全身疾患、適応症、禁忌症を理解できる。全身のおよび局所的な問題点を理解できる。
5	【講義】一次手術の術式、感染予防対策や器材の滅菌・消毒を理解できる。手術の術式を理解できる。一回法、二回法の違いを理解できる。
6	【講義】インプラント印象採得法を理解できる。オープントレー法、クローズドトレー法について理解できる。
7	【講義】アバットメントの種類と特徴、上部構造の固定法を理解できる。セメント固定、スクリュー固定について理解できる。
8	【講義】インプラントにおける偶発事故、メンテナンス時の検査・器具および術式、歯科衛生士・歯科技工士の役割、患者指導を理解できる。歯科衛生士・歯科技工士の役割、事故について理解できる。

成績評価の方法

科目試験を100%とする。

教科書

よくわかる口腔インプラント学 第4版 / 医歯薬出版

授業外学修（予習・復習）

授業前に、必ず教科書を読んで、予習をおこなって授業にのぞんでください。（最低30分程度）

授業後は、課題問題を各自解いて、復習してください。（最低30分程度）

その他

参考資料	口腔インプラント学実習書 第2版 (2014年7月) 978-4-8160-1274-7
受講生への要望等	各講義ごとに必ず予習、復習を行うこと
授業の質問対応、連絡先	4416takeda@gmail.com

オーラルプライアンス学

更新日：2024/10/18 09:40:49

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	310040	授業コード	20205
担当教員	藤井 孝政, 島田 明子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31004	1 ◎ H1 ○	1 ◎ E1 ○	歯科医師

授業概要

顎関節症、ブラキシズム、睡眠障害、腫瘍などを有する患者、およびスポーツ選手に対し、予防や治療のために装着するオーラルプライアンスを必要とする状況を理解し、それらの形態、特徴、具備条件、製作に必要な器具・器材を理解し、取り扱うことができるようにする。

到達目標

1	各種のオーラルプライアンスの形態を理解できる。
2	各種のオーラルプライアンスの特徴を理解できる。
3	各種のオーラルプライアンスの具備条件を理解できる。
4	各種のオーラルプライアンスの製作に必要な材料を理解できる。
5	各種のオーラルプライアンスの製作に必要な器具を理解できる。
6	各種のオーラルプライアンスにおける指導・管理ができる。
7	各種のオーラルプライアンスにおけるメンテナンスができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【面接授業】オーラルプライアンスを必要とする状況を説明できる。 1 顎関節症患者への可逆的治療法として装着するオクルーザルスプリントを知る。 2 ブラキシズム患者に装着するナイトガードを知る。 3 睡眠時無呼吸症候群患者に装着するスリープアプライアンスを知る。 4 スポーツ医歯学とスポーツ選手におけるスポーツマウスガードを知る。 5 その他のオーラルプライアンスを知る。
2	【面接授業】顎関節症の病態を理解し、患者への可逆的治療法として装着するオクルーザルスプリントを知る。 1 顎関節症とは 2 顎関節症の病因 3 顎関節症の病態分類
3	【面接授業】顎関節症の病態を理解し、患者への可逆的治療法として装着するオクルーザルスプリントを知る。 4 顎関節症の診断 5 顎関節症の治療
4	【面接授業】ブラキシズムの病態を理解し、患者に装着するナイトガードを知る。 1 ブラキシズムとは 2 ブラキシズムの原因 3 ブラキシズムの診断 4 ブラキシズムの治療
5	【面接授業】睡眠時無呼吸症候群の病態を理解し、治療のために装着するスリープスプリントを知る。 1 睡眠障害とは 2 睡眠時無呼吸症候群とは
6	【面接授業】睡眠時無呼吸症候群の病態を理解し、治療のために装着するスリープスプリントを知る。 3 閉塞型睡眠時無呼吸症候群とは 4 閉塞型睡眠時無呼吸の治療
7	【面接授業】スポーツ選手における顎口腔領域での外傷を知り、予防のために装着するマウスガードを知る。 1 スポーツ歯科医学とは 2 スポーツ外傷の安全対策と予防
8	【面接授業】スポーツ選手における顎口腔領域での外傷を知り、予防のために装着するマウスガードを知る。 3 マウスガードの定義・具備すべき条件 4 マウスガード装着の効果 5 マウスガードのメンテナンス

成績評価の方法

本試験および授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。

成績は、本試験（90%）、授業態度・小テスト（10%）により総合的に評価する。

小テストは授業中に随時解説を行う。本試験不合格者には補講時に解説を行う。

教科書

- ・特定の教科書はない。
- ・知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。

授業外学修（予習・復習）

- ・各回の授業において、学生自身、学ぶべき事項を明示したシラバスをみて、予習（約30分）、復習（約30分）を行い、ノートにまとめ、整理しておく。
- ・自分なりの解説をした授業ノートを作成する。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ歯科臨床マニュアル 日本スポーツ歯科臨床マニュアル 医学情報社 2007 978-4-903553-10-8・写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方 ヒョウロン・パブリシャーズ 2011 978-4-86432-000-9・臨床家のためのオーラルアプライアンス入門 医学情報社 2012 978-4-903553-43-6
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none">・自主的に予習（約30分）、復習（約30分）を行うこと。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

審美歯科学

更新日：2024/10/10 10:41:04

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	310050	授業コード	20206
担当教員	藤井 孝政						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31005	1〇 H1◎	1〇 E3◎	歯科医師

授業概要

本授業では、歯科治療における「審美治療の重要性」について認識する。そのためには、顔貌、口腔、歯との調和の基本、修復のための基本事項について理解し、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士がチーム歯科医療としてのそれぞれが専門的役割を実践できるように習得する。

到達目標

1	口腔の機能と心理を理解できる。
2	歯科審美に係る顔面・口腔の加齢と老化を理解できる。
3	歯科審美治療に関わる検査について説明できる。
4	口臭、PMTC、歯のホワイトニングを理解できる。
5	審美治療としての保存修復治療およびインプラント治療について説明できる。
6	審美治療としての歯冠修復および欠損修復治療について説明できる。
7	最新歯科治療としてデジタルデンティストリーを理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】 歯科医療における歯科審美の位置づけと顎顔面領域の形態について理解する。 1) 歯の正常・異常について説明する。 2) 歯肉の正常・異常について説明する。 3) 歯列の正常・異常について説明する。 4) 上下顎の位置の正常・異常について説明する。 5) 顔貌の正常を説明する。 6) 歯科医療の特異性と歯科審美の位置づけについて概説する。
2	【講義】 顎顔面に調和した色について理解する。 1) 色の基本について説明する。 2) 歯の色彩的構造について説明する。 3) 歯・歯肉の標準的および病的な色調について説明する。 4) 粘膜・舌の標準的および病的な色調について説明する。 5) 顔面の標準的および病的な色調について説明する。 6) 歯の色調採得法について説明する。
3	【講義】 顎口腔系の機能について理解する。 1) 咬合の正常・異常について説明する。 2) 咀嚼・嚥下の正常・異常について説明する。 3) 発音の正常・異常について説明する。 4) 表情に影響する項目について説明する。
4	【講義】 審美歯科に関わる加齢と老化に伴う変化について理解する。 1) 歯の形態と色調の変化について説明する。 2) 歯肉の退縮と歯頸線の変化について説明する。 3) 頬粘膜・口唇の緊張の喪失と滑舌の低下について説明する。 4) 皮膚・心身の機能低下と心理的变化について説明する。
5	【講義】 治療と管理① 1) 口臭の機序と治療について説明する。 2) ブリーチング法について説明する。 3) ラミネートベニア修復について説明する。
6	【講義】 治療と管理② 1) 審美的歯冠修復について説明する。 2) 有床義歯の審美について説明する。 3) インプラントの審美について説明する。

7	【講義】デジタルデンティストリー① 1) デジタルデンティストリーの概要を説明する。 2) CAD/CAMテクノロジーについて説明する。
8	【講義】デジタルデンティストリー② 1) CAD/CAMテクノロジーに用いる材料および修復物について説明する。

成績評価の方法

本試験 100%

授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。

小テストは授業中に随時解説を行う。

教科書

特定の教科書はない。

講義資料を中心に行う。

授業外学修（予習・復習）

- ・各回の授業において、学生自身、学ぶべき事項を明示したシラバスをみて、予習（約30分）、復習（約30分）を行い、ノートにまとめ、整理しておく。
- ・自分なりに解説した授業ノートを作成する。

その他

参考資料	歯科審美学（永末書店） 基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー（医歯薬出版） 歯科衛生士ベーシックスタンダード 審美歯科 歯科衛生士ベーシックスタンダード インプラント（医歯薬出版） シーシエの審美補綴（クインテッセンス出版） 最新デジタルデンティストリー（医歯薬出版） CAD/CAM活用による歯冠修復治療 メタルフリーの歴史と展望（医歯薬出版）
受講生への要望等	・自主的に予習（約30分）、復習（約30分）を行うこと。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

オーラルアプライアンス技工学

更新日：2024/10/10 11:00:30

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	310060	授業コード	2K202
担当教員	藤井 孝政, 小正 聡, 黄 育清						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31006		1○ E1◎	歯科医師

授業概要

顎関節症、ブラキシズム、睡眠障害、腫瘍などを有する患者、およびスポーツ選手に対し、予防や治療のために装着するオーラルアプライアンスを必要とする状況を理解し、それらの形態、特徴、具備条件、製作に必要な器具・器材を理解し、装置を製作し、取り扱うことができるようにする。

到達目標

1	各種のオーラルアプライアンスの特徴を理解できる。
2	各種のオーラルアプライアンスの形態を理解できる。
3	各種のオーラルアプライアンスの具備条件を理解できる。
4	製作に必要な材料を理解し、取り扱うことができる。
5	製作に必要な器具・機械を理解し、取り扱うことができる。
6	各種のオーラルアプライアンスを製作することができる。
7	種々な指導・管理ができる。
8	種々なメンテナンスができる。
9	種々な修理のサポートができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			15	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】 オーラルアプライアンス製作用の模型を製作する。 1～3コマ 1 オーラルアプライアンス製作のため学生相互、またはファントムに装着された模型の上下顎の印象採得を行う。 2 咬合採得を行う。 3 上下顎作業用模型を製作し、咬合器に装着する。
2	【実習】 加圧吸引法によるマウスガードを製作する。 4～5コマ 1 スポーツ選手の上顎歯列に装着するマウスガードを吸引加圧法によって製作する。 2 咬合器上で内面や外形の適合状態、辺縁の移行形態、咬合接触状態、咬合様式などを十分に確認し、調整、研磨を行う。 3 各自の口腔内に装着し、実感する。模型上と違うところを認識する。 4 必要に応じて、咬合器上と同様に内面や外形の適合状態、辺縁の移行形態、咬合接触状態、咬合様式などを確認し、調整、研磨を行う。
3	【実習】 ナイトガードを製作する。 6～7コマ 1 ブラキシズム患者に装着するナイトガードを吸引加圧法によって製作する。 2 咬合器上で内面や外形の適合状態、辺縁の移行形態、咬合接触状態、咬合様式などを十分に確認し、調整、研磨を行う。 3 各自の口腔内に装着し、実感する。模型上と違うところを認識する。 4 必要に応じて、咬合器上と同様に内面や外形の適合状態、辺縁の移行形態、咬合接触状態、咬合様式などを確認し、調整、研磨を行う。
4	【実習】 スリーブプリントを製作する。 8～10コマ 1 デモンストレーション 2 睡眠時無呼吸症候群の患者に装着するスリーブプリントを製作する。 3 上顎、下顎作業模型それぞれでスリーブプリントの設計を行う。 4 上下顎別々に吸引加圧法によって製作する。 5 上下顎別々に口腔内に試適し、着脱の容易さ、方向などを確認する。 6 所定の下顎位で上下顎のスプリントをレジンで固定する。 7 各自の口腔内に装着し、実感する。呼吸のしやすさ、しにくさなど、他のアプライアンスと違うところを認識する。

5	【実習】 オクルーザルスプリントを製作する。 11～15コマ
	1 顎関節症患者への可逆的治療法として装着するオクルーザルスプリントを製作する。
	2 咬合器上で、オクルーザルスプリントの設計を行う。
	3 ワックスアップを行う。 オクルーザルスプリントに必要な外形や厚み、辺縁の移行形態、咬合接触状態、咬合様式などを付与する。
	4 ワックスアップしたオクルーザルスプリントを咬合器からはずし、埋没、重合、研磨し、学生自身またはファントムの模型に装着する。
	5 学生自身の口腔内を印象採得して製作した場合には、各自の口腔内に装着し、実感する。
	6 必要に応じて、咬合器上と同様に内面や外形の適合状態、辺縁の移行形態、咬合接触状態、咬合様式などを確認し、調整、研磨を行う。

成績評価の方法

- ・実習課題の作品評価を行い、全試験成績の60%に割り当てる。
- ・実習課題に対しては、ステップごとに確認、指導を行い、完成時にレポートを含め解説と講評を行う。
- ・実習試験の作品評価を行い、全試験成績の40%に割り当てる。
- ・実習試験を実施後、担当教員による客観的評価を行い、解説と講評を行う。
- ・必要に応じて筆記試験、口頭試問を実施し、解説を行う。
- ・再試験：作品評価を行い、60点以上獲得した学生を合格とする。

教科書

- ・特定の教科書はない。
- ・知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。

授業外学修（予習・復習）

次回行うべき技工内容は毎回指示するので、それについて、内容のチェック、留意すべき事項、注意すべき事項などについて、雑誌や文献などで調べ、自分なりに理解し、ノートにまとめ、整理するなど、30分以上かけて予習を行うこと。

実習終了後は、実習中に得た知識や技能をノートに30分以上かけてまとめ復習を行うこと。不明な点は持ち越さず、次回に確認するようにすること。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ歯科臨床マニュアル 日本スポーツ歯科臨床マニュアル 医学情報社 2007 978-4-903553-10-8 ・写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方 ヒョウロン・パブリシャーズ 2011 978-4-86432-000-9 ・臨床家のためのオーラルアプライアンス入門 医学情報社 2012 978-4-903553-43-6
受講生への要望等	・予習（約30分）と復習（約30分）を必ず行うこと。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

口腔外科学

更新日：2024/08/25 19:16:27

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	311010	授業コード	20207
担当教員	吉田 博昭						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31101	1o H1◎	1o E1◎	歯科医師、口腔外科指導医

授業概要

顎口腔領域の疾患や手術について、視覚教材をパワーポイントで提示して臨床に即した実例を講義します。講義内容をフィードバックするため復習のプリント「知識の整理」を使用して演習を行います。演習では理解の確認を目的として顎口腔領域の疾患や手術について学びます。

到達目標

1	顎口腔領域に発生する疾患（先天異常、外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、嚢胞、炎症、唾液腺疾患、神経疾患、血液疾患等）の病状、診断および治療法について修得できる。
2	口腔外科手術の説明および注意点の説明を実践できる。
3	口腔外科手術（抜歯、腫瘍・嚢胞の手術、消炎観血手術等）の適切な介助法を実践できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】総論、先天異常・発育異常（教科書 p2～p26） 1) 顎口腔領域に発生する疾患について 2) 歯の発育異常について 3) 軟組織の先天異常、発育異常について 4) 口唇裂および口蓋裂について 5) 顎の先天異常、発育異常について
2	【演習】総論、先天異常・発育異常・【講義】損傷（教科書 p27～p44） 1) 総論・先天異常、発育異常について「知識の整理」での演習 2) 軟組織の損傷について 3) 歯および歯槽部の外傷について 4) 顎骨骨折について
3	【演習】損傷・【講義】口腔粘膜疾患（教科書 p50～p70、p76～p79） 1) 損傷について「知識の整理」での演習 2) 水疱形成疾患について 3) 紅斑・白斑形成疾患について 4) 潰瘍形成疾患について 5) 色素沈着疾患について 6) 口腔乾燥・粘膜の萎縮疾患について
4	【演習】口腔粘膜疾患・【講義】化膿性炎症疾患・嚢胞（教科書 p80～p97） 1) 口腔粘膜疾患について「知識の整理」での演習 2) 炎症について 3) 歯周組織・顎骨・顎骨周囲組織の炎症について 4) 嚢胞の病態、治療法について 5) 顎骨に発生する嚢胞（歯源性、非歯源性）について 6) 軟組織に発生する嚢胞（歯源性、非歯源性）について
5	【演習】化膿性炎症疾患、嚢胞・【講義】腫瘍（教科書 p98～p111） 1) 化膿性炎症疾患・嚢胞について「知識の整理」での演習 2) 良性腫瘍（歯源性・非歯源性）について 3) 腫瘍類似疾患について 4) 悪性腫瘍について

6	<p>【演習】腫瘍・【講義】唾液腺疾患、神経疾患（教科書 p112～p129）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 腫瘍について「知識の整理」での演習 2) 唾液腺の特徴と唾液腺疾患について 3) 唾液腺の炎症について 4) シェーグレン症候群について 5) 唾液腺腫瘍について 6) 三叉神経痛について 7) 三叉麻痺について 8) 顔面神経麻痺について
7	<p>【演習】唾液腺疾患、神経疾患・【講義】顎関節疾患、血液疾患（教科書 p45～p49、p70～p76、p163～168）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 唾液腺疾患、神経疾患について「知識の整理」での演習 2) 顎関節脱臼について 3) 顎関節症について 4) 口腔内に症状が発現する血液疾患について 5) 出血性素因について 6) 止血法について
8	<p>【演習】顎関節疾患、血液疾患・【講義】抜歯・小手術・【演習】抜歯・小手術（教科書 p130～p172、p223～p257）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 顎関節疾患、血液疾患について「知識の整理」での演習 2) 抜歯に必要な器具、術式および介助について 3) 消炎手術に必要な器具、術式および介助について 4) 嚢胞摘出術に必要な器具、術式および介助について 5) インプラント手術について 6) 縫合に必要な器具、術式について 7) 抜歯・小手術について「知識の整理」での演習

成績評価の方法

- ・科目試験 100%
- ・知識の整理は随時講義の時に解説説明する
- ・科目試験60点以上で合格とする

教科書

歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 医歯薬出版
ISBN978-4-263-42637-1

授業外学修（予習・復習）

- 【予習】講義内容を事前に教科書で目を通しておくこと（15分）
【復習】テキストを利用して復習すること（30分）

その他

参考資料	最新 口腔外科学 第5版 榎本昭二他著 医歯薬出版 2017年 ISBN978-4-263-45806-8
受講生への要望等	臨床実習にあたり重要な科目なので、広い範囲ですが理解できるよう努めて下さい。 補講がありますので、時間割に気を付けて下さい。 出席率が悪いと単位試験受験資格がありませんので気をつけること。
授業の質問対応、連絡先	講義日の授業前、休憩時間および講義後20分までに質問に来てください。

感染予防学

更新日：2024/08/25 19:15:40

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	311020	授業コード	20208
担当教員	吉田 博昭						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31102	1o H1◎	1o E1◎	歯科医師、口腔科学会指導医

授業概要

歯科診療や技工操作では、エアロゾルや体液に曝露する機会が多く、感染リスクも高い。そのため、学生が安全・安心に歯科診療・技工操作を行うために感染予防対策はとても重要である。感染予防学では、感染経路について理解し、感染予防の概念およびその具体的予防対策方法について学ぶ。授業では視覚教材で実例を示しながら解説を行う。フィードバックのため「知識の整理」を行う。

到達目標

1	標準予防策を説明できる。
2	手指衛生について説明できる。
3	機械器具の洗浄・消毒・滅菌について説明できる。
4	針刺し・切創の予防策を説明できる。
5	感染症の予防策について説明できる。
6	医療廃棄物の処理が実践できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】院内感染について（教科書 p3～p7、p88～p95） 1) 感染が起こる原因および感染経路について 2) 講義内容について「知識の整理」で演習
2	【講義】スタンダードプレコーション（標準予防策）（教科書 p7～p8、p27～p32） 1) 歯科医療および技工操作と感染リスクについて 2) スタンダードプレコーションの概念について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
3	【講義】手指衛生について（教科書 p8～p16） 1) 手指衛生の重要性について 2) 手洗いの種類、手順について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
4	【講義】个人防护具について（教科書 p16～p23） 1) 手袋の必要性および未滅菌、滅菌手袋の装着法について説明する。 2) 个人防护具（サージカルマスク、ゴーグル、プラスチックエプロン等）の目的および使用法について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
5	【講義】器具、器材の洗浄・消毒・滅菌について（教科書 p27～p87） 1) スポルディングの分類について 2) 器具、器材の洗浄から滅菌について 3) 消毒薬の適正使用について 4) 印象体の洗浄・消毒・石膏注入の過程について 5) 講義内容について「知識の整理」で演習
6	【講義】医療廃棄物について（教科書 p113～p115） 1) 感染性廃棄物、非感染性廃棄物について 2) バイオハザードマークについて 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
7	【講義】針刺し切創および粘膜曝露への対応（教科書 p99～p112） 1) 針刺し・切創および粘膜曝露防止対策について 2) 針刺し・切創および粘膜曝露発生時の対応について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習

8	<p>【講義】 歯科治療で注意すべき感染症について（教科書 p113～p121）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯科治療で注意すべき感染症（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、HBV、HCV、HIV等）について 2) ワクチン接種の重要性について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
---	--

成績評価の方法

- ・科目試験 100%
- ・知識の整理は随時講義の時に解説説明する。
- ・科目試験60点以上で合格とする。

教科書

歯科医療における国際標準感染予防対策テキスト滅菌・消毒・洗浄 医歯薬出版
ISBN 978-4-263-44646-1

授業外学修（予習・復習）

- 【予習】教科書の項目のページを目を通しておくこと。15分
- 【復習】講義の範囲を教科書を読み返すこと。30分

その他

参考資料	<p>シチュエーションに応じた消毒薬の選び方・使い方 尾家 重治著 じほう社 2014年 ISBN 978-4-8407-4561-1</p> <p>歯科訪問診療における感染予防対策の基本と実際 ICHG研究会 砂書房 2004年 ISBN-13 978-4901894197</p>
受講生への要望等	<p>日常歯科診療や技工操作に必要な基礎知識ですので、授業をよく理解するように努めてください。 補講がありますので、時間割に気を付けて下さい。 科目試験60点以上で合格とする。出席率が悪いと単位試験受験資格がありませんので気をつけること。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>授業内容についての質問は、講義日の講義前、休憩時間、講義後20分までに質問しに来て下さい。</p>

顎・生体技工学

更新日：2024/09/10 19:29:55

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	311050	授業コード	2K203
担当教員	山本 さつき, 小正 聡, 西崎 宏						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31105		1o E1◎	歯科医師

授業概要

1) 授業の概要

口腔顔面領域の疾患の治療において、歯科技工士は口腔内に装着する一般的な歯科補綴装置だけでなく、口腔内外に装着する装置を製作する機会もある。このような装置で患者の機能と形態を回復することは、患者のQOLの向上に大きく関与するため、歯科技工士として様々な装置の知識を得ることは必要である。

この科目で学生は身体の欠損した部位の形態と機能を人工物で補う顎補綴、顎顔面補綴、顔面補綴、装具、ソマトプロテーゼについて学習する。また、疾患が進行中または治療中に用いる口腔内治療装置についても学習する。

2) 授業の方法

講義では板書とパワーポイントを用いる。

授業後、講義内容に関するポートフォリオを作成し、提出する。

提出したポートフォリオは教員がチェックを行いフィードバックする。

実習では簡単なエビテーゼを製作する。

完成した作品に対してグループに分かれてディスカッション、ディベートを行う。

到達目標

1	学生が顎顔面欠損の病態を説明できる。
2	学生が顎義歯の製作方法を説明できる。
3	学生がエビテーゼを説明できる。
4	学生がエビテーゼの製作を実践できる。
5	学生が口腔内治療装置を説明できる。
6	学生がソマトプロテーゼを説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	5		3	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】顎顔面補綴装置について（山本さつき） ①顎顔面補綴の分類 1) 欠損補綴装置の定義について説明する。 2) 治療用補助装置の定義について説明する ②無歯顎の顎義歯 1) 無歯顎の顎義歯の維持と安定について説明する。 2) 顎義歯の栓塞子について説明する。 (復習) 授業内容に関する課題をレポート提出（15分）
2	【講義】顎顔面補綴装置について（山本さつき） ①無歯顎の顎義歯 1) 無歯顎の顎義歯の製作について説明する。 ②部分歯列欠損の顎義歯 1) 設計の特長について説明する。 2) 製作方法について説明する。 (復習) 授業内容に関する課題をレポート提出（15分）
3	【講義】口腔内装置について（その1）（山本さつき） ①口腔内に用いる治療装置の種類 1) 顎骨骨折固定装置について説明する。 2) 嚢胞開窓用栓塞子について説明する。 3) 外科用床副子、外科用栓塞子について説明する。 4) 放射線照射用補助装置について説明する。 5) 咬合滑面板について説明する。 (復習) 授業内容に関する課題をレポート提出（15分）

4	<p>【講義】口腔内の治療装置について（その2）（山本さつき）</p> <p>①口腔内に用いる治療装置の種類</p> <p>6) 軟口蓋欠損に対する口腔内装置について説明する。</p> <p>7) 舌接触補助床について説明する。</p> <p>8) 顎関節症に対するスプリントについて説明する。</p> <p>9) スピーチエイドについて説明する。</p> <p>10) 睡眠時無呼吸症候群治療用スプリントについて説明する。</p> <p>（復習）授業内容に関する課題をレポート提出（15分）</p>
5	<p>【講義】口腔外装置について（山本さつき）</p> <p>①エビテーゼとソマトプロテーゼ</p> <p>1) エビテーゼの定義について説明する。</p> <p>2) ソマトプロテーゼの定義について説明する。</p> <p>②義肢と装具</p> <p>1) 義肢について説明する。</p> <p>2) 装具について説明する。</p> <p>③エビテーゼの製作</p> <p>1) エビテーゼの製作に用いる材料について説明する。</p> <p>2) 歯科材料を用いたエビテーゼの製作を説明する。</p>
6	<p>【実習】エビテーゼの製作（その1）（山本さつき・小正・西崎）</p> <p>①アルジネート印象</p> <p>②蝟型製作</p> <p>ワックスアップに必要な器具を各自で用意して下さい。</p>
7	<p>【実習】エビテーゼの製作（その2）（山本さつき・小正・西崎）</p> <p>③埋没</p> <p>④流蝟</p> <p>⑤填入と重合</p>
8	<p>【実習】エビテーゼの製作（その3）（山本さつき・小正・西崎）</p> <p>⑥仕上げ</p> <p>完成した作品に対しての相互評価とディスカッションを行う。</p>

成績評価の方法

科目試験 80%、授業態度 5%、実習態度 5%、レポート10%
 実習は完了していること。

試験問題の類問を講義中に提示し、解説をします。
 レポートはチェック後返却し、次回講義時に解説を行います。

教科書

指定の教科書はありません。必要に応じて資料を配布します。

授業外学修（予習・復習）

講義終了後、講義内容のポイントを課題として提示します。
 自分なりにまとめたものを提出してください（約15分）。
 次回講義時にフィードバックするのでそれを参考に再考してください（約15分）。
 提示された課題以外の内容についてもまとめてください（約30分）。

その他

参考資料	「顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために」 大山喬史, 谷口尚編集 医学情報社 2006年 ISBN 9784903553009
受講生への要望等	実習に必要な器材は貸出、支給しますが、各自で準備が必要な器具もあります。実習前に通達するので準備してください。
授業の質問対応、連絡先	質問がある場合はこちらのメールアドレスに連絡をください。 satuki-y@cc.osaka-dent.ac.jp

小児歯科技工学

更新日：2024/08/17 18:41:44

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	312040	授業コード	2K204
担当教員	阿部 洋子, 今瀧 梨江, 青木 翔						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31204		1o 5o E1◎	歯科医師

授業概要

小児は身体的、精神的、機能的、社会的に成長・発達の途上にあり日々変化を続けている。小児歯科技工学はこの変化に富んだ小児期の口腔を対象とするため、口腔諸器官の形態的及び機能的な発育変化を熟知し、考慮した対応が求められる。講義では小児の発育変化と装置の特徴について基礎知識を学び、毎回レポート提出する。また、実習では2種類の保隙装置を製作し、基礎知識と技術を習得する。

到達目標

1	小児の口腔諸器官の発育変化について説明できる。
2	保隙装置が製作できる。
3	小児歯科技工学の特徴を理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	9		6	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】小児の全身発育と口腔機能の発達（阿部洋子） 1) 小児の全身発育について概要を説明できる。 1. 発育期の分類について説明できる。 2. 心身の発育について概要を説明できる。 2) スキャモンの臓器発育曲線についてレポートにまとめる。 3) 口腔機能の発達について概要を説明できる。
2	【講義】頭蓋顎顔面の発育と異常（阿部 洋子） 1) 頭蓋の発育について概要を説明できる。 2) 顎顔面の発育について説明できる。 3) 歯列の発育について説明できる。 4) 歯の萌出について説明できる。 5) 空隙の種類と歯の萌出順序についてレポートにまとめる。
3	【講義】歯の発育と異常・乳歯の形態（阿部 洋子） 1) 歯の発育と異常について概要を説明できる。 2) 乳歯の形態について説明できる。 3) 第一乳臼歯のスケッチを行う。
4	【講義】幼若永久歯の特徴と小児期の歯冠修復（阿部 洋子） 1) 幼若永久歯の形態について説明できる。 2) 乳歯・幼若永久歯の修復物の特徴について説明できる。 3) 既製金属冠の応用について説明できる。 4) 乳歯と幼若永久歯の特徴をレポートにまとめる。
5	【講義】保隙装置①と習癖除去装置の特徴（阿部 洋子） 1) リンガルアーチ型保隙装置の製作の要点について説明できる。 2) 習癖除去装置について説明できる。 3) 各装置の模式図と名称をレポートに書いてまとめる。
6	【講義】保隙装置②の特徴（阿部 洋子） 1) バンドループ・クラウンループの製作の要点について説明できる。 2) ディスタルシューの製作の要点について説明できる。 3) 保隙装置の模式図と名称をレポートに書いてまとめる。
7	【講義】保隙装置③の特徴（阿部 洋子） 1) 可撤保隙装置の適応症と製作の要点について説明できる。 2) 装置の模式図と各部の名称をレポートに書いてまとめる。
8	【実習】上顎可撤保隙装置の製作①（阿部 洋子、青木 翔） 1) 外形線の記入 2) 維持装置の屈曲 3) ワックスの圧接

9	【実習】上顎可撤保隙装置の製作②（阿部 洋子、青木 翔） 1) 人工歯排列 2) 歯肉形成
10	【実習】上下顎の可撤保隙装置の製作（阿部 洋子、青木 翔） 1) 上顎可撤保隙装置の仕上げと提出 2) 下顎可撤保隙装置の設計 3) シュワルツのクラスプの屈曲
11	【実習】クラウンループの製作①（阿部 洋子、今瀧 梨江） 1) 乳歯用既製金属冠の試適・装着 2) 作業用模型の製作
12	【実習】クラウンループの製作②（阿部 洋子、今瀧 梨江） 1) 外形線の記入 2) ループの屈曲
13	【実習】クラウンループの製作③（阿部 洋子、今瀧 梨江） 1) 鑑着 2) 研磨 3) 提出
14	【講義】スペースリゲーターの特徴（阿部 洋子） 1) スペースリゲーターの特徴と製作方法について説明できる。 2) スペースリゲーターの構成と模式図をレポートに書いてまとめる。
15	【講義】まとめ（阿部 洋子） 科目試験対策として練習問題の解説。 1～7回のレポートの返却

成績評価の方法

- ・科目試験 40%
- ・授業態度および提出物（授業中に記載し、提出するレポート） 35%
- ・実習態度および作品点 25%
- ・レポートは科目試験前にまとめて返却し、フィードバックを行う。

教科書

・最新歯科技工士教本 小児歯科技工学 第2版 全国歯科技工士教育協議会編 医歯薬出版株式会社 2024
ISBN978-4-263-43177-1

教科書は交代で読み、大切なところはアンダーラインを記入して使用します。

授業外学修（予習・復習）

【予習】教科書の該当部を音読後講義に臨んでください。（目安時間：20分）

【復習】配布プリントと教科書の内容を復習する。（目安時間：20分）

その他

参考資料	・講義で配布する資料（あくまで教科書の内容を補うものです） ・小児歯科学基礎・臨床実習 第3版 白川哲夫ほか編 医歯薬出版株式会社 2021 ISBN978-4-263-45857-0
受講生への要望等	講義には教科書・配布資料を必ず持参してください。 実習は忘れ物がないように前日までに準備し、十分予習して参加してください。
授業の質問対応、連絡先	質問は講義の後の休み時間に受け付けます。 それ以外の時間は abe-y@cc.osaka-dent.ac.jp までお問合せ下さい。

歯科矯正技工学

更新日：2025/04/23 10:22:06

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	312050	授業コード	2K205
担当教員	安井 憲一郎, 田井 詳子, 森川 千夏, 鶴田 康介, 岡森 大典						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	2
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31205		1o E1◎	矯正歯科・歯科医師

授業概要

歯科矯正技工学では、学生が、矯正治療の意義、不正咬合の原因、不正咬合の診断、治療内容の実際などを習得し、矯正装置について、その構造や製法と使用材料と器具、装置の使用目的について学修し、必要な知識、技能を習得し、矯正治療に携わる歯科技工士が柔軟に技工を行える素地を養うことを目的として学習する。また、歯科矯正学の立場からみた目的に留まらず、他の歯科専門領域と連携協力することにより、さまざまな口腔顎顔面領域の疾患に対してより良い総合的な歯科治療を患者に提供することを目的として学習する。

授業方法は、授業プリント・教科書・PCを用いた視覚教育を使用して授業を行い、矯正装置製作のために必要なデモンストレーションを行い、実際に矯正装置を製作する。

アクティブラーニングとしては、授業内容に沿った問題プリントを解き、ディスカッション、答え合わせを行うことで理解度を深める。

ICTは使用しない。

到達目標

1	矯正歯科治療の意義と目的が理解できる。
2	矯正歯科治療における矯正歯科技工の目的を理解できる。
3	正常咬合の条件と種類を説明できる。
4	不正咬合について説明できる。
5	矯正歯科治療のための検査について理解できる。
6	平行模型、予測模型の製作方法を理解できる。
7	歯の移動様式について説明できる。
8	自在鑑付けができる。
9	矯正装置の構造・使用目的・効果・製作方法を説明できる。
10	舌側弧線装置を製作できる。
11	矯正装置の固定の分類について説明できる。
12	矯正力について説明できる。
13	矯正用技工で用いるプライヤーについて理解できる。
14	床矯正装置が製作できる。
15	マルチブラケット法について説明できる。
16	保定について理解できる。
17	埋伏歯の治療について理解できる。
18	外科的矯正治療について理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	9		6	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	<p>【オンデマンド講義】 成長発育、正常咬合、不正咬合（安井・岡森）</p> <p>授業内容：</p> <ol style="list-style-type: none">矯正歯科治療の意義と目的矯正歯科治療における矯正歯科技工の目的正常咬合の条件と種類不正咬合について <p>授業形態：</p> <p>授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。</p>
---	---

2	<p>【オンデマンド講義】 検査、模型の作成、歯の移動様式（安井・岡森）</p> <p>授業内容： 1. 矯正歯科治療のための検査 2. 平行模型の製作方法 3. 予測模型の製作方法 4. 歯の移動様式について</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。</p>
3	<p>【面接講義】 自在鑑付け（岡森）</p> <p>授業内容： 1. 自在ろう着の一般的原則 2. 自在ろう着の手順 3. 自在ろう着の製作</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 自在ろう着を行う。</p>
4	<p>【面接講義】 矯正装置・舌側弧線装置・自在鑑付け（岡森）</p> <p>授業内容： 1. 矯正装置の構造・使用目的・効果・製作方法 2. 舌側弧線装置のバンド付き作業模型の製作</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 舌側弧線装置の作業模型を製作する。 自在ろう着を行う。</p>
5	<p>【面接講義】 矯正装置・舌側弧線装置（安井）</p> <p>授業内容： 1. 矯正装置の構造・使用目的・効果・製作方法 2. 舌側弧線装置の設計線 3. STロックの鑑付け 4. STロックの脚部の屈曲</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 舌側弧線装置を製作する。</p>
6	<p>【面接講義】 矯正装置の分類・舌側弧線装置（安井）</p> <p>授業内容： 1. 矯正装置の必要条件 2. 矯正装置の分類 3. 舌側弧線装置の主線の屈曲 4. 主線の鑑付け</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 舌側弧線装置の製作を行う。</p>
7	<p>【面接講義】 固定の分類・矯正力・舌側弧線装置（岡森）</p> <p>授業内容： 1. 矯正装置の固定の分類 2. 矯正力について 3. 補助弾線の鑑付け 4. 補助弾線の屈曲 5. 研磨</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 舌側弧線装置の製作を行う。</p>
8	<p>【面接講義】 プライヤー・舌側弧線装置・床矯正装置（岡森）</p> <p>授業内容： 1. 技工で用いるプライヤーについて 2. 床矯正装置で用いる作業模型の製作</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 舌側弧線装置の実習を行う。 床矯正装置で用いる作業模型を製作する。</p>
9	<p>【面接実習】 マルチブラケット装置・床矯正装置（安井）</p> <p>授業内容： 1. マルチブラケット法について 2. 床矯正装置の設計線 3. アダムスクラスプの屈曲</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 床矯正装置の実習を行う。</p>

10	<p>【面接実習】 保定・床矯正装置（安井）</p> <p>授業内容： 1. 保定について 2. 床矯正装置の唇側線の屈曲</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 床矯正装置の実習を行う。</p>
11	<p>【面接実習】 埋伏歯・床矯正装置（岡森）</p> <p>授業内容： 1. 埋伏歯の治療に用いる装置の製作について 2. 床矯正装置のレジン築造</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 床矯正装置の実習を行う。</p>
12	<p>【面接実習】 外科的矯正治療・床矯正装置（岡森）</p> <p>授業内容： 1. 外科的矯正治療について 2. 床矯正装置の研磨</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 床矯正装置の実習を行う。</p>
13	<p>【面接実習】 問題解説・床矯正装置（安井）</p> <p>授業内容： 1. 今までの講義内容に対する国家試験の問題プリントの解説</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 床矯正装置の実習を行う。</p>
14	<p>【面接実習】 問題解説・床矯正装置（安井）</p> <p>授業内容： 1. 今までの講義内容に対する国家試験の問題プリントの解説</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。 床矯正装置の実習を行う。</p>
15	<p>【面接講義】 総括（問題解説）（岡森）</p> <p>授業内容： 1. 今までの講義内容に対する国家試験の問題プリントの解説</p> <p>授業形態： 授業プリント・教科書・PCを用い、講義を行う。</p>

成績評価の方法

平常点は、講義内での口頭試問、科目試験、技工実習内容、授業・実習態度などで総合的に評価を行う。

単位試験では、授業範囲から出題し、広範囲の習熟度を判定する。

評価の比率は、単位試験60%、実習作品40%とする。

試験の成績が基準点に満たないものには補講を行う。

教科書

矯正歯科技工学 医歯薬出版 2024年 ISBN978-4-263-43176-4 を使用するので、必ず毎回の授業で持参してください。

授業外学修（予習・復習）

教科書の該当部分を予習し、授業に望んで下さい。

復習の際は、過去の国家試験問題集等の該当問題で学習し、画像写真とともに解説が出来るように学習をして下さい。

授業では国家試験の問題プリントを配布するので、30分から1時間ほどで各自解いて来て下さい。後半の授業で解説します。

その他

参考資料	<p>チェアサイド・ラボサイドの新矯正治療ビジュアルガイド 医歯薬出版 2015年 ISBN978-4-263-44457-3</p> <p>矯正歯科技工・小児歯科技工一歯科技工学実習トレーニング 医歯薬出版 2011年 ISBN978-4-263-43344-7</p> <p>歯科技工士のための実践 矯正装置製作法 クインテッセンス出版 2007年 ISBN978-4-87417-943-7</p> <p>第3版 歯科技工学実習帳 矯正歯科技工学 小児歯科技工学 医歯薬出版 1994年 ISBN4263409809</p> <p>矯正装置の製作ガイド ー基礎知識と技工ー 医歯薬出版 2005年 ISBN4-88700-040-05</p>
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強は時間をかけて行いましょう。 ・実習は丁寧に行いましょう。 ・講義には教科書を持参しましょう。 ・実習には、器具、材料を忘れないようにしましょう。
授業の質問対応、連絡先	<p>メールアドレス：yasui-k@cc.osaka-dent.ac.jp</p> <p>オフィスアワー：基本的に樟葉学舎、天満橋学舎で行います。約束をとってください。</p>

高齢者歯科学

更新日：2024/09/18 21:48:27

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	313010	授業コード	20108
担当教員	島田 明子, 柿本 和俊						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31301	2〇 3〇 H2◎	2〇 3〇 E2◎	歯科医師

授業概要

高齢者の口腔内は一般成人と異なった特徴を持っている。また、高齢者は全身的、心理的および社会的状態においても、一般成人と同列に扱うことはできない。社会の高齢化に伴い、歯科治療を受ける高齢者は急激に増加することが予想され、歯科医療従事者として高齢者の特徴を理解しておくことは必要不可欠である。

この科目では、講義によって高齢者の社会的、全身的、心理的及び口腔の特徴、さらに、高齢者に対する歯科治療、訪問歯科診療、口腔健康管理及び高齢者で使用されることが多い口腔内装置について学習する。

到達目標

1	老化と口腔の加齢変化について説明できる。
2	高齢者の全体像を説明できる。
3	要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。
4	高齢者歯科における医療安全について説明できる。
5	高齢者の口腔健康管理について説明できる。
6	歯科訪問診療を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】高齢者を取り巻く社会（柿本） ・高齢者歯科学の目的 ・高齢者歯科での歯科衛生士と歯科技工士の役割 ・社会環境 ・社会保障
2	【講義】加齢の科学（島田） ・加齢と老化 ・組織・器官の変化 ・身体機能の変化 ・精神・心理的機能の変化 ・口腔領域の変化 ・口腔機能の変化
3	【講義】高齢者における口腔領域の疾患（島田） ・う蝕 ・歯周疾患 ・口腔粘膜疾患 ・口腔乾燥 ・口臭 ・その他の疾患
4	【講義】全身状態の把握と対応（島田） ・医療情報 ・全身疾患の評価と対応 ・その他の配慮を必要とする患者への対応
5	【講義】高齢者歯科医療の場（島田） ・通院困難者とは ・外来診療 ・往診と訪問診療
6	【講義】口腔衛生管理（島田） ・高齢者の口腔内環境 ・口腔環境の評価法 ・口腔健康管理の実際

7	【講義】摂食嚥下障害とリハビリテーション（島田） ・摂食嚥下機能のメカニズム ・摂食嚥下機能の評価・診断 ・摂食嚥下機能の対応
8	【講義】介護予防と口腔ケア（柿本） ・介護予防 ・施設高齢者の口腔ケア ・在宅における口腔健康管理 ・栄養管理

成績評価の方法

レポート課題の評価と単位試験の成績で総合評価する。
 評価の比率は、科目試験 80%、レポート 20%とする。
 レポートは評価を付けて返却する。

教科書

「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」森戸光彦ほか、著永末書店、2017年、ISBN978-4-8160-1312-6
 授業中の配布資料、教科書に基づいて授業をします。教科書を必ず持参してください。

授業外学修（予習・復習）

「超高齢社会における歯科衛生士/歯科技工士としての役割」についてのレポートを提出してもらいます。授業内容を復習し、自身の考えをまとめてください。
 復習は毎回20分程度行うように心がけてください。

その他

参考資料	「新歯科衛生士教本 高齢者歯科」全国歯科衛生士教育協議会、医歯薬出版、2013年、ISBN978-4-263-42835-1 「老年歯科医学」森戸光彦ほか、医歯薬出版、2015年、ISBN978-4-263-45789-4 「新訂版 知りたいことがすぐわかる 高齢者歯科医療-歯科医療に繋がる医学知識-」小谷順一郎ほか、永末書店、2017年、ISBN978-4-8160-1323-2 「高齢者歯科診療ガイドブック」日本老年歯科医学会監修、口腔保健協会、2010年、ISBN978-4-89605-263-3 「老年歯科医学用語辞典」日本老年歯科医学会編、医歯薬出版、2016年、ISBN978-4-263-45793-1 「有病者歯科学」今井 裕ほか、永末書店、2018年、ISBN978-4-8160-1335-5
受講生への要望等	今後、歯科医療スタッフとして高齢者と接する機会は増加します。高齢者に対する態度が歯科医療スタッフとしての評価に大きく影響します。日常においても高齢者と接する機会を多く持つように心掛けてください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 オフィスアワーは次の通りです。 島田：月・火・木・金 12:15-13:15, 16:30-17:30

障害者歯科学

更新日：2024/12/02 11:40:09

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	313020	授業コード	30101
担当教員	小野 圭昭						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31302	2〇 3〇 H2◎	2〇 3〇 E1◎	歯科医師

授業概要

一般歯科医院においても障がい者の歯科治療の機会が多く、障害者歯科学の必要性は高い。しかし、障がい者の歯科治療や口腔ケアを行う際には、より専門的な配慮が必要となる。歯科衛生士や歯科技工士が歯科医師とともに障がい者の歯科治療を補助し、口腔の健康を維持・向上するためには、「障害」の概念を理解した上で、さまざまな障害を体系的に把握し、さらに、その詳細について理解して、障がい者に対して行う基本的な治療方法を知る必要がある。この科目では、講義によって歯科医療人として必要な障害者の知識を習得するとともに、医療現場において、障がい者に対し適切に対応して治療を行うための知識を身に付ける。

到達目標

1	障がい者歯科の基本理念を理解できる。
2	社会と健康、疾病と障害の関係や地域保健医療について理解できる。
3	さまざまな障害を理解できる。
4	障害のある人に対して必要な歯科医療を行うための知識を修得できる。
5	行動調整法ならびに歯科保健活動を行うための知識を修得できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】障がい者歯科総論Ⅰ（障害の概念と障がい者歯科総論） ・健康と疾病と障害の概念を概説する。 ・国際生活機能分類について概説する。 ・障害のある人について概説する。 ・リハビリテーションについて概説する。
2	【講義】障がい者歯科総論Ⅱ（障がい者の保健・医療・福祉の仕組み） ・障がい者の権利擁護について概説する。 ・障がいのある人への福祉について概説する。 ・地域における障がい者歯科について概説する。 ・障がい者歯科と福祉の連携について概説する。 ・チーム医療（他職種連携）について概説する。
3	【講義】障害の種類Ⅰ ・精神発達・心理的発達の障害について概説する。 ・神経・運動障害について概説する。
4	【講義】障害の種類Ⅱ ・感覚と感覚障害について概説する。 ・音声言語障害について概説する。 ・精神および行動の障害について概説する。 ・歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群について概説する。
5	【講義】障害のある人への行動調整Ⅰ ・行動調整の概要について概説する。 ・コミュニケーション法について概説する。 ・行動療法（不安軽減法）について概説する。
6	【講義】障害のある人への行動調整Ⅱ ・行動療法（行動形成法）について概説する。 ・薬物を用いた行動療法について概説する。 ・物理的な体動の調整法について概説する。
7	【講義】障害者の口腔衛生管理Ⅰ ・口腔健康管理と口腔ケアについて概説する。 ・障害者の口腔健康管理について概説する。 ・障害のある人の健康支援について概説する。

8	<p>【講義】障害者の口腔健康管理Ⅱ，障害者歯科における医療安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮が必要な人の口腔健康管理について概説する。 ・障がい者歯科における医療安全について概説する。 ・医療安全管理体制について概説する。 ・リスク評価と医療事故の予防について概説する。
---	---

成績評価の方法

単位試験を行い評価する。

教科書

- ・「歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学」全国歯科衛生士教育協議会，医歯薬出版，2023年，ISBN978-4-263-42626-5
- ・授業中の配布資料

教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。

授業外学修（予習・復習）

質問は「Melly」にてお願いします。

第8回の講義終了後に「障害者歯科における歯科衛生士と歯科技工士の役割」に関するレポートを提出してもらいます。自身の考えを、授業を聞いて十分に整理しておいてください。

各授業の後に、授業の内容について20分程度の復習をするようにしてください。

その他

参考資料	<p>「歯科衛生士講座 障害者歯科学」柿木保明ほか，永末書店，2022年，ISBN978-4-8160-1403-1</p> <p>「歯科衛生士のための障害者歯科」緒方克也ほか，医歯薬出版，2006年，ISBN978-4-263-42158-1</p>
受講生への要望等	障がい者の歯科治療では、一般の患者以上に配慮が必要となります。臨床実習でもしっかり対応できるように学修してください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。

口腔機能障害学

更新日：2024/07/18 09:45:41

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	314010	授業コード	30102
担当教員	糸田 昌隆						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31401	1〇 H1〇	1〇 E1〇	歯科医師

授業概要

口腔の担う機能（話す、食べる、呼吸など）は生活あるいは生命維持に必要な機能である。しかしながら、先天性あるいは後天性（中途障害）に口腔機能の低下や障害が認められることが多い。また成人・高齢者においては口腔機能の低下から始まる全身機能の低下が認められることもある。特に高齢社会では口腔機能障害への対応・指導可能な歯科衛生士を目指すことが必要である。今授業では口腔機能のみならず心身の「機能障害」と社会的背景や対応法について総合的に理解した後に、口腔機能障害とその対応法の基礎的考え方を学習する。講義の形式はスライドを用いて行い、実際の障害をもつ方々の口腔機能障害への対応法は動画等を用いて講義する。

到達目標

1	口腔の担う機能（口腔機能）を説明できる。
2	障害について全身、局所（特に口腔の各器官）の障害の原因について説明できる。
3	認知症を含めた高次脳機能障害をはじめとする機能的障害を説明できる。
4	嚥下障害のメカニズムを説明できる。
5	神経・心理学的障害の分類を説明できる。
6	発育段階で獲得する口腔機能と周辺事項を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	1		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】 ガイダンス、ICFにおける機能障害と生活機能の概念、脳（中枢）の構造と役割 糸田 ・ WHOの機能障害に関する考え方 ・ 大脳機能と日常生活 ・ 延髄の機能 ・ 小脳の役割 ・ その他中枢の役割
2	【講義】 運動と感覚と関節運動 糸田 ・ 錐体路と錐体外路 ・ 運動機能と感覚の関連性 ・ 関節運動 ・ 内転と外転 ・ 痙縮 ・ 固縮 ・ 萎縮
3	【講義】 運動障害と感覚障害 糸田 ・ 運動失調障害 ・ 運動可動域障害 ・ 協調運動障害 ・ 筋疾患 ・ 神経筋接合部の障害 ・ 下位運動ニューロン障害 ・ 上位運動ニューロン障害 ・ 麻痺によって起こる口腔障害 ・ 痙縮 ・ 固縮 ・ 萎縮

4	【講義】 高次脳機能障害と認知症と口腔機能障害 糸田 <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳障害とは ・広義の高次脳障害 ・狭義の高次脳障害 ・口腔の失行 ・口腔の失認 ・失語による口腔症状 ・高次脳機能障害と認知症（鑑別と分類）
5	【講義】 摂食・嚥下障害 糸田 <ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害とは ・摂食嚥下州外によって引き起こされる問題 ・嚥下障害のメカニズム（球麻痺・仮（偽）性球麻痺を中心に） ・摂食嚥下障害に診られる口腔機能障害 ・口腔機能と嚥下のかかわり
6	【講義】 神経・心理的障害と口腔機能 糸田 <ul style="list-style-type: none"> ・心理学的障害と口腔の症状 ・心理学的障害が先か口腔障害が先か？ ・心理的障害の口腔機能への影響 ・摂食障害の原因
7	【講義】 発育段階でおこる障害と口腔機能の関連 糸田 <ul style="list-style-type: none"> ・小児における口腔の障害とは ・発達段階での機能障害の分類 ・食べることの機能の成長障害 など
8	【演習】 まとめと演習 糸田 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔機能障害のまとめ

成績評価の方法

本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。

単位試験を実施し、学習態度により総合的に評価を行う。

- ・単位試験 85%
- ・学習態度 15%

教科書

適宜、資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

講義の復習をすること（15分）

その他

参考資料	「機能障害科学入門」沖田実 神陵文庫出版部 2010（ISBN 978-4915814280）
受講生への要望等	復習をすること（講義後15分程度でまとめておくこと）
授業の質問対応、連絡先	質問は随時受け付けます。1号館1階糸田自室、授業中、休み時間、メールなどにて。 E-mail：m.itoda89@gmail.com

口腔リハビリテーション技工学

更新日：2025/04/17 12:17:49

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	314040	授業コード	3K202
担当教員	柿本 和俊, 島田 明子, 方 思棋						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31404		E1◎ E2○	歯科医師

授業概要

口腔の機能は咀嚼だけではない。超高齢社会となって、咀嚼機能以外にも構音や摂食・嚥下機能障害に対しても歯科医療が期待されている。構音や摂食嚥下機能障害のリハビリテーションには口腔内装置が必要なことが多い。

この科目では、実習によって口腔機能のリハビリテーションに用いられる補綴的発音補助装置（スピーチエイド、軟口蓋挙上装置(PLP)）および舌接触補助床（PAP）の製作方法を取得するとともに、装置を自身で体験して使用方法を理解するとともに、修正方法についても学習する。

到達目標

1	口腔機能障害に対する装置の目的を理解して製作できる。
2	スピーチエイドの機能と使用方法を説明できる。
3	口蓋部形態と口腔機能の関係を説明できる。
4	舌接触補助床（PAP）の機能と使用方法を説明できる。
5	舌接触補助床（PAP）を製作できる。
6	軟口蓋挙上装置(PLP)の機能と使用方法を説明できる。
7	軟口蓋挙上装置(PLP)を製作できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4	1	10	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】口腔機能障害の症状（島田） ・構音障害 ・摂食嚥下機能 ・摂食嚥下障害
2	【講義】口腔機能障害の検査（島田） ・パラトグラム ・反復唾液嚥下テスト ・水飲みテスト(WST) ・改訂水飲みテスト(MMST) ・嚥下造影検査(VF) ・嚥下内視鏡検査(VE)
3	【講義】口腔機能障害の治療（柿本） ・リハビリテーション ・スピーチエイド ・舌接触補助床（PAP） ・軟口蓋挙上装置（PLP）
4	【講義】口腔乾燥症(ドライマウス)と味覚障害（柿本） ・口腔乾燥症の症状 ・口腔乾燥症の原因 ・口腔乾燥症の治療 ・味覚障害の症状 ・味覚障害の原因 ・味覚障害の治療
5	【実習】作業模型の製作と咬合器装着(1)（柿本、島田、方） ・アルジネート印象材による印象採得 ・作業模型と対合模型の製作 ・咬合器装着
6	【実習】作業模型の製作と咬合器装着(2)（柿本、島田、方） ・アルジネート印象材による印象採得 ・作業模型と対合模型の製作 ・咬合器装着

7	【実習】PAPの設計とろう型製作(1) （柿本、島田、方） <ul style="list-style-type: none"> ・外形線の設定 ・クラスプの設計 ・クラスプの製作 ・ろう型の製作 ・フラスコ下部埋没 ・フラスコ上部埋没
8	【実習】PAPの設計とろう型製作(2) （柿本、島田、方） <ul style="list-style-type: none"> ・外形線の設定 ・クラスプの設計 ・クラスプの製作 ・ろう型の製作 ・フラスコ下部埋没 ・フラスコ上部埋没
9	【実習】PAPの重合・完成とパラトグラム記録(1) （柿本、島田、方） <ul style="list-style-type: none"> ・重合 ・開輪 ・研磨 ・正常顎位でのパラトグラムの記録 ・咬合挙上位でのパラトグラムの記録 ・ソフトワックスによる口蓋部の修正
10	【実習】PAPの重合・完成とパラトグラム記録(2) （柿本、島田、方） <ul style="list-style-type: none"> ・重合 ・開輪 ・研磨 ・正常顎位でのパラトグラムの記録 ・咬合挙上位でのパラトグラムの記録 ・ソフトワックスによる口蓋部の修正
11	【実習】PAPの補正(1) （柿本、島田、方） <ul style="list-style-type: none"> ・重合 ・開輪 ・研磨 ・パラトグラムの記録 ・口蓋部の修正
12	【実習】PAPの補正(2) （柿本、島田、方） <ul style="list-style-type: none"> ・重合 ・開輪 ・研磨 ・パラトグラムの記録 ・口蓋部の修正
13	【実習】PLP挙上子の装着 （柿本、島田、方） <ul style="list-style-type: none"> ・挙上し装着のためのワイヤー屈曲 ・挙上子の装着 ・挙上子の調整
14	【演習】「PAPとPLPの役割」についてのレポート作成 （柿本、島田、方） <ul style="list-style-type: none"> ・PAPの役割 ・PLPの役割
15	【討議】口腔機能障害に対する歯科技工士の役割 （柿本、島田） <ul style="list-style-type: none"> ・口腔機能障害と歯科技工士 ・まとめ

成績評価の方法

実習作品と課題レポートで総合的に評価する。

評価の割合は、実習作品 40%、レポート 30% 討議 30%とする。

評価結果については、A-portalの科目のタイムラインに要点と講評を掲載する。

教科書

配布する「口腔リハビリテーション技工学実習帳」

授業外学修（予習・復習）

「高齢者歯科学」と「障害者歯科学」で学修した摂食嚥下障害と構音障害について、30分程度は復習しておいてください。

「口腔機能障害に対する歯科技工士の役割」についてレポートを作成します。

その他

参考資料	「摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床（PAP）の診療ガイドライン」一般社団法人・日本老年歯科医学会、社団法人・日本補綴歯科学会 編集、 http://www.gerodontology.jp/publishing/guideline.shtml , 2011年 「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」森戸光彦ほか、永末書店、2017年、ISBN978-4-8160-1312-6 「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科」全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版、2013年、ISBN978-4-263-42835-1 「最新歯科衛生士教本 障害者歯科」全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版、2013年、ISBN978-4-263-42836-8 「歯科衛生士のための障害者歯科」緒方克也監修、医歯薬出版、2006年、ISBN978-4-263-42158-1
------	---

受講生への要望等	附属病院の口腔リハビリテーション科や第4学年での「口腔工学訪問実習」では、口腔機能障害について臨床体験する予定です。口腔機能障害に対する歯科技工の役割を意識して学修してください。 参考書の「摂食・嚥下障害，構音障害に対する舌接触補助床（PAP）の診療ガイドライン」は、学会ホームページからダウンロードできます。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」をお願いします。 在室時にも対応可能です。

口腔デジタル基礎工学

更新日：2024/10/17 15:29:58

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	315010	授業コード	20109
担当教員	樋口 鎮央						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31501	4〇 H1◎	4〇 E3◎	歯科技工士

授業概要

学生の皆さんが講義を通じて従来法とデジタル法の違いを理解し、修復物を製作するための知識を養う。これまでの歯科技工は、修復物を製作する上において印象材、石膏、WAX、埋没材、金属、樹脂、セラミックスと絶えず膨張、収縮する不安定な材料を駆使しながら修復物を製作していた。しかし、昨今では、口腔内スキャナーや歯科用CAD/CAM・AM技術を使用することにより、それらに影響されることなく、精度的にも材料的にも安全・安心で安定した修復物の製作ができるようになってきている。本コースではCAD/CAMシステムの構造の理解、ソフトウェアとハードウェアについての理解、などの基礎的な理論と知識について習得する。

到達目標

1	デジタルデンティストリーの現状について説明できる。
2	これまでの修復物毎の製作工程の流れを説明できる。
3	CAD/CAMでの製造工程の流れについて説明できる。
4	歯科用CAD/CAMシステムのスキャナーの構造について説明できる。
5	CAD/CAM技術を応用した製法による使用材料について説明できる。
6	切削法による加工方法と使用可能な材料についての説明できる。
7	三次元積層造形法（アディティブ・マニファクチャリング）でのその製作方法を説明できる。
8	CTとCAD/CAMシステムを連携して製作した修復物を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】 デジタルデンティストリーの現状を説明 デジタルデンティストリーの現状を把握する。
2	【講義】 これまでの歯科技工製作工程の流れと特徴について これまでの修復物毎の製作工程の流れと特徴について知識の習得を行う。 クラウンブリッジ、フルデンチャー、パーシャルデンチャー等。
3	【講義】 CAD/CAMでの製造工程の流れと特徴について 新しい、CAD/CAM技術を応用した製法の製作工程の流れと特徴について知識の習得を行う。
4	【講義】 歯科用CAD/CAMシステムのスキャナーの構造と特性について 歯科用CAD/CAMシステムのスキャナーの構造と特性について知識の習得を行う。
5	【講義】 歯科用CAD/CAMシステムで使用する材料の特性について 新しい、CAD/CAM技術を応用した製法による使用材料の特性について知識の習得を行う。
6	【講義】 歯科用CAMによる加工方法と特徴（講義） 切削法による加工方法と使用可能な材料についての特徴について知識の習得を行う。
7	【講義】 歯科におけるアディティブ・マニファクチャリング（AM）技術の特徴 新しい製作方法である、三次元積層造形法（アディティブ・マニファクチャリング）では、現在使用されている樹脂、金属に加え、新たにセラミックスの造形もできるようになっているがその製作方法と使用材料についての特徴について知識の習得を行う。
8	【講義】 CTとCAD/CAMシステムで製作した装置の臨床応用 日常臨床の中でCTの違いとCAD/CAMシステムで製作した各種修復物の応用状況を把握。

成績評価の方法

レポート提出と授業中に数回、小テスト行う。状況によってはWeb授業とし、課題提出にて出欠評価をする。単位試験を行い、総合評価する。評価の比率は、単位試験80%、授業態度および小テスト20%とする。

小テストの解説は随時、講義で行い、提出物については返却時にコメント記入する。

教科書

- 教科書としては無いので下記を使用。
- 「基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー」 医歯薬出版 末瀬一彦 宮崎 隆 2017年8月 ISBN:978-4-263-43362-1

- ・授業中の配布資料を主に用いる。

授業外学修（予習・復習）

授業前に数回、前回の授業についての小テストを行うので、約30分は復習をしておいて下さい。

授業前の予習については約30分は行い、範囲については授業中に指示します。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「歯科用CAD/CAM ハンドブック ～CAD/CAM基礎知識から材料特製まで～」Ⅰ～Ⅴ 山本貴金属地金 2016年4月～2017年7月 ・Digital Dentistry YEARBOOK 2023 日本デジタル歯科学会 クインテッセンス出版 2023年 ISBN978-4-7812-0942-5 ・3Dプリンターの基礎と臨床 大久保力廣 木村健二 医歯薬出版 2022年 04264-11 ・「歯科用CAD/CAM ハンドブック ～CAD/CAM基礎知識から材料特製まで～」Ⅰ～Ⅴ 山本貴金属地金 2016年4月～2017年7月 ・「補綴臨床別冊 最新デジタルデンティストリー」 医歯薬出版社 末瀬一彦 宮崎 隆 2018年4月 08124-04
受講生への要望等	<p>日程の関係で講義内容の順序の変更を行なうことがある。</p> <p>配布資料は全てファイリングすること。</p> <p>デジタル加工技術に使用するシステムは急速に進歩している技術でもあり、そのメカニズムについて違いを理解しておく必要があり、各種学会、デンタルショーへの参加やインターネット等、常に向上心を持って学習するように心掛けおくこと。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>Mellyにて対応します。</p> <p>分かり難ければ直接、研究室まで。</p>

口腔デジタル技工学

更新日：2024/10/17 15:30:28

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	315020	授業コード	2K206
担当教員	樋口 鎮央						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31502		4o E3 ◎	歯科技工士

授業概要

学生の皆さんが講義を通じてデジタル機器を使用した修復物を製作する基本的な知識技術を養う。
歯科技工は昨今では口腔内スキャナーや歯科用CAD/CAM・AM技術を使用することによって、取り扱う材料に大きく影響されることなく、精度的にも材料的にも安全・安心で安定した修復物の製作ができるようになってきている。この科目ではデジタル技工の理論と知識を学習するとともに、システム専用ソフトの操作、取扱いについて習得し、グループ毎にプレゼンテーションすることによりその知識を深める。また、様々な材料を使用した修復物を製作する技術および、システムの応用や現状について習得する。

到達目標

1	歯科用CAD/CAMの歴史的背景について説明できる。
2	CAD/CAMで使用する材料（切削加工用）の分類について説明できる。
3	CAD/CAMで使用する材料（積層造形用）の分類について説明できる。
4	デジタル技工におけるCAD設計について説明できる。
5	歯科用CAMの目的について説明できる。
6	積層造形法（アディティブ・マニファクチャリング）の歯科で使用できる材料について説明できる。
7	各種歯科用CAD/CAMシステムと特性についてグループ毎に調べた内容についてプレゼンテーションとディスカッションをできる。
8	CTの違いとシミュレーションソフトの重要性について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】デジタルデンティストリーの背景 歯科用CAD/CAMの歴史的背景について（口腔内スキャナー・歯科医院用システム・技工所用システム・積層造形等。）知識の習得を深める。
2	【講義】CAD/CAMで使用する材料（切削加工用）について CAD/CAMで使用する材料（切削加工用）の分類と各材料の説明および、使用用途について知識の習得を深める。
3	【講義】CAD/CAMで使用する材料（積層造形用）について CAD/CAMで使用する材料（積層造形用）の分類と各材料の説明および、使用用途について知識の習得を深める。
4	【講義】デジタル技工におけるCAD設計および、支台歯形成の注意点 歯科用CADソフトを使用して各種修復物の設計を行なうがその種類と範囲を把握し、パラメーターの重要性および支台歯形成の注意点について知識の習得を深める。
5	【講義】歯科用CAMによる加工方法と特徴について 歯科用CAMの目的および切削加工法の種類と特徴について知識の習得を深める。
6	【講義】歯科におけるアディティブ・マニファクチャリング（AM）技術の応用 現在、最も注目されている三次元積層造形法（アディティブ・マニファクチャリング）であるが歯科における活用状況の把握と現在、使用できる材料について知識の習得を深める。
7	【講義】各種歯科用CAD/CAMシステムおよび口腔内装置の製作材料と特性についてプレゼンテーションとディスカッション 歯科用CAD/CAMシステムおよび口腔内装置の製作材料と特性についてグループ分けを行ない、調べた内容についてプレゼンテーションとディスカッションを行ない知識の習得を深める。
8	【講義】CTおよびシミュレーションソフトについて CTの違いとシミュレーションソフトの重要性と活用例について知識の習得を深める。

成績評価の方法

状況によってはWeb授業とし、課題提出にて出欠評価をする。
授業中に数回、小テスト行う。単位試験を行い、総合評価する。
評価の比率は、単位試験80%、授業態度および小テスト・プレゼンテーション20%とする。
小テストの解説は随時、講義で行い、提出物については返却時にコメント記入する。

教科書

- ・教科書としては無いので下記を使用。
- ・「基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー」末瀬一彦 宮崎 隆 医歯薬出版 2017年8月 ISBN:978-4-263-43362-1
- ・授業中の配布資料を主に用いる。

授業外学修（予習・復習）

授業前に前回の授業についての小テストを行うので、約30分は復習をしておいて下さい。

授業前の予習（プレゼンテーション）は約30分は行い、範囲については授業中に指示します。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「歯科用CAD/CAM ハンドブック ～CAD/CAM基礎知識から材料特製まで～」Ⅰ～Ⅴ 山本貴金属地金 2016年4月～2017年7月 ・Digital Dentistry YEARBOOK 2023 日本デジタル歯科学会 クインテッセンス出版 2023年 ISBN978-4-7812-0942-5 ・3Dプリンターの基礎と臨床 大久保力廣 木村健二 医歯薬出版 2022年 04264-11 ・「補綴臨床別冊 最新デジタルデンティストリー」末瀬一彦 宮崎 隆 医歯薬出版社 2018年04月 08124-04 ・汎用CADによるデンタルデザイン 中野田紳一 クインテッセンス出版 2016年12月 978-4-7812-0530-4 ・臨床技工材料の本 中込敏夫 伴清治 医歯薬出版 2012年12月 04264-12
受講生への要望等	<p>講義の進捗によっては日程順序等の変更を行なうことがある。 配布資料は全てファイリングしておくこと。 スマートフォンおよび携帯電話などの持ち込みを不可とする。 デジタル加工技術を応用した歯科技工技術は、今後さらに拡大していきます。また、急速に進歩している技術でもあり、各種学会、デンタルショーへの参加やインターネット等、常に向上心を持って学習するように心掛けてください。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>Mellyにて質疑応答 別途、必要であれば研究室まで。</p>

電磁波応用技工学

更新日：2024/07/18 09:45:28

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	315030	授業コード	2K207
担当教員	柿本 和俊, 小滝 真也						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31503		4○ E1◎ E3○	歯科医師

授業概要

歯科医療においては従来の放射線だけではなく光やレーザーといった電磁波の利用が進んでいる。歯科技工においても同様で、電磁波の利用が拡大しており、それぞれ電磁波の歯科技工での利用法や歯科医療の利用についての知識が重要である。

この科目では、放射線での鑄造欠陥の検査、光でのレジン重合、レーザーでの三次元形態計測や加工について、原理と歯科技工での応用を講義によって学習する。さらに、これらの電磁波の歯科治療における利用の概略を学習する。

到達目標

1	放射線の生物学的影響を理解し、放射線防護を概説できる。
2	エックス線画像の形成原理を概説できる。
3	口内法エックス線写真とパノラマエックス線写真のエックス線解剖の概要を説明できる。
4	基本的な病変像のエックス線所見を概説できる。
5	エックス線による技工装置の検査を説明できる。
6	抵抗スポット溶接を説明できる。
7	光重合法を説明できる。
8	レーザーの原理を説明できる。
9	三次元スキャナを説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】電磁波の分類、電磁波の単位、電磁波の発生、エックス線の性質と作用（小滝） <ul style="list-style-type: none">電磁波とは電磁波の分類電磁波の単位電磁波の発生エックス線の性質と作用
2	【講義】エックス線の人体への影響、エックス線防護、エックス線画像の形成原理（小滝） <ul style="list-style-type: none">エックス線の人体への影響エックス線防護エックス線画像の形成原理
3	【講義】口内法エックス線写真とパノラマエックス線写真の概要、エックス線の正常と異常所見（小滝） <ul style="list-style-type: none">口内法撮影の種類デンタルエックス線画像の正常像と異常像パノラマエックス線画像の正常像と異常像
4	【講義】CTとMRの基礎とエックス線による技工物の検査法（小滝） <ul style="list-style-type: none">CTの基礎と画像MRIの基礎と画像エックス線による技工物の検査法
5	【講義】抵抗スポット溶接の原理と応用、光重合法（柿本） <ul style="list-style-type: none">抵抗スポット溶接の原理抵抗スポット溶接の応用光重合法の原理光重合法の歯科技工への応用光重合法の歯科治療への応用

6	【講義】 レーザーの原理と利用（柿本） <ul style="list-style-type: none"> ・レーザーの発振原理 ・レーザーの性質 ・レーザーの利用 ・レーザーの医療での応用
7	【講義】 歯科治療でのレーザーの応用（柿本） <ul style="list-style-type: none"> ・レーザーによる歯の切削 ・レーザーによる軟組織の処置 ・レーザーの切開と電気メス ・レーザーによる検査法 ・レーザーの防護
8	【講義】 レーザー加工法（柿本） <ul style="list-style-type: none"> ・三次元スキャナ ・レーザー溶接法 ・レーザー積層造形 ・レーザーによるその他の加工法

成績評価の方法

科目試験によって評価する。

科目試験評価後に、A-portalの科目のタイムラインに要点と講評を掲載する。

教科書

講義中に適宜資料を配布します。

授業外学修（予習・復習）

授業後には20分程度資料を読んで復習するようにして下さい。

その他

参考資料	「歯科放射線学」岡崎友宏ほか、 医歯薬出版、2018年、ISBN978-4-263-45812-9 「歯科技工・補綴パラダイムシフト レーザー溶接入門」都賀谷紀宏、 医歯薬出版、2008年、ISBN978-4-263-46206-5 「CAD/CAMデンタルテクノロジー」日本歯科CAD/CAM学会・全国歯科技工士教育協議会監修、 医歯薬出版、2012年、ISBN978-4-263-43349-2 「基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー」日本デジタル歯科学会・全国歯科技工士教育協議会、 医歯薬出版、2017年、ISBN978-4-263-43362-1
受講生への要望等	放射線をを応用したCTやMRI、光、特にレーザーを用いた歯科治療や歯科技工などの発展は目覚ましいです。日常生活にもレーザーは広く利用されているので、一般的な応用についても目を向けてください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。

口腔デジタル技工学実習

更新日：2024/10/17 15:30:59

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	315040	授業コード	3K101
担当教員	樋口 鎮央, 中井 知己, 黄 育清						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31504		E1○ E3◎	歯科技工士

授業概要

学生の皆さんが実習を通じてCAD/CAM操作と設計能力を養うことにより、種々の修復物が製作できる知識、技術力を養う。近年、歯科用CAD/CAMシステムは自費のみならず保険修復物にも適用されるようになり、その使用頻度は今後、益々増加傾向である。本実習においては歯科用CAD/CAMシステムを理解し、設計能力の高い技工士として広く活躍できる人材を育成したい。本実習ではCAD/CAMシステムにおけるデジタル技術知識を習得し、生体適合性が高く、精度の高い高品質な修復物を設計製作出来る。

そして、切削加工機、積層造形機を扱え、各症例に適した精度の高い修復物製作をするために応用ができる人材を育成する。

到達目標

1	三次元計測装置の適切な取扱い操作ができる。
2	歯科用CADを用いてクラウンの設計ができる。
3	歯科用CADを用いてブリッジ&築盛用フレームの設計ができる。
4	歯科用CADを用いてパーシャルフレーム設計ができる。
5	歯科用主要CADを用いてインプラント上部構造の設計ができる。
6	ICTを活用した口腔内スキャナーデータから模型設計ができる。
7	ICTを活用した口腔内スキャナーデータから各種修復物の設計ができる。
8	切削加工機を用いて各種修復物に適した加工機の操作ができる。
9	積層造形機を用いて各種修復物の作製ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			30	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】1, 2コマ 歯科用主要CADを用いて取扱方法を説明。 CADによる各アイコンおよびマウスの操作方法を実習にて習得。（自由形状・第一大臼歯） スキャナーの操作方法の習得 CADソフトの内容把握 CADソフトの操作方法の習得
2	【実習】3, 4コマ 積層造形機を用いて各種個人トレーを作製する。 ※授業計画15 共通実習内容 積層造形機を用いて個人トレーの製作技術を習得。 積層造形機の操作方法を習得。 各種造形物の必要要件を把握し、造形。 造形、洗浄、重合、仕上げまでの一連の操作を習得。
3	【実習】5, 6コマ 歯科用主要CADを用いてクラウン（CAD/CAM冠～ジルコニア）単冠の設計。 ※授業計画14 共通実習内容 CAD操作による各種修復物設計および加工方法を実習にて習得。 スキャナーの操作方法の習得 CADソフトの内容把握 CADソフトの操作方法の習得 加工できる修復物の必要要件を把握し、設計。 各修復物の完成工程については審美修復およびインプラント実習の中で実施。
4	【実習】7, 8コマ 歯科用主要CADを用いてジルコニアクラウン築盛用フレームの単冠の設計。 ※授業計画14 共通実習内容 CADソフトを用いてブリッジ&築盛用フレームの設計技術を習得。 築盛用フレームの必要要件を把握。
5	【実習】9, 10コマ 歯科用主要CADを用いてアナトミカルブリッジの設計。 CADソフトを用いてアナトミカルブリッジの設計技術を習得。 アナトミカルブリッジの必要要件を把握。
6	【実習】11, 12コマ 歯科用主要CADを用いて築盛用ブリッジの設計。 CADソフトを用いて築盛用ブリッジの設計技術を習得。 築盛用ブリッジの必要要件を把握。

7	【実習】13, 14コマ 歯科用主要CADを用いてパーシャルフレーム設計（片側欠損）。 ※授業計画15 共通実習内容 CADソフトを用いてパーシャルフレーム設計技術を得得。 パーシャルフレームの必要要件を把握し操作方法を得得。 樹脂にて造形を行ない、模型上にて適合状態の確認。
8	【実習】15, 16コマ 歯科用主要CADを用いてパーシャルフレーム設計（両側欠損）。 ※授業計画15 共通実習内容 CADソフトを用いてパーシャルフレーム設計技術を得得。 パーシャルフレームの必要要件を把握し操作方法を得得。 樹脂にて造形を行ない、模型上にて適合状態の確認。
9	【実習】17, 18コマ 歯科用主要CADを用いてパーシャルフレーム設計（両側+前歯部欠損）。 ※授業計画15 共通実習内容 CADソフトを用いてパーシャルフレーム設計技術を得得。 パーシャルフレームの必要要件を把握し操作方法を得得。 樹脂にて造形を行ない、模型上にて適合状態の確認。
10	【実習】19, 20コマ 歯科用主要CADを用いてインプラント上部構造の設計。 CADソフトを用いてインプラント上部構造の設計技術を得得。 インプラント上部構造に必要な要件を把握。 インプラントカスタムアバットメントおよび、ジルコニアフレーム、モノリシックジルコニア
11	【実習】21コマ ICTを活用した口腔内スキャナーデータから模型設計。 ※授業計画15 共通実習内容 ICTを活用した口腔内スキャナーデータ～模型設計を行うまでの一連の設計方法の技術を得得。 口腔内スキャナーのデータの取り込み方法および、変換方法を得得。 積層造形機の方法を得得。 造形、洗浄、重合、仕上げ、までの操作方法を得得。 積層造形機を用いて樹脂模型の造形。
12	【実習】22コマ ICTを活用した口腔内スキャナーデータから各種修復物の設計。 ICTを活用した口腔内スキャナーデータ～修復物設計を行うまでの一連の設計方法の技術を得得。 CADソフトでの設計操作を得得。 各種修復物の必要要件を把握し、設計技術を得得。
13	【実習】23, 24コマ 歯科用主要CADを用いて付属設計機能説明、操作。 CAD操作による各種修復物設計実習をメインとするCAD技術を得得。 スキャナーの操作方法の習得 CADソフトの内容把握 CADソフトの操作方法の習得 加工できる修復物の必要要件を把握し、設計技術を得得。
14	【実習】※共通実習内容 切削加工機を用いて各種修復物に適した加工技術を得得。 切削加工機を用いて各種修復物の適した加工技術を得得。 切削加工機の取り扱い操作方法を得得。 各種修復物の必要要件を把握し、加工技術を得得。 CAM操作の習得および加工、取り出し、後処理、ジルコニアの場合は最終焼成までの一連の操作を得得。 テンポラリー用ディスク、CAD/CAM冠、ジルコニアフレーム、ジルコニアモノリシッククラウンなどを 各材料ブロックおよび、ディスクより加工。
15	【実習】※共通実習内容 積層造形機を用いて個人トレー、各種模型、各種修復物の鋳造用原型を作製。 積層造形機を用いて個人トレー、各種模型、各種修復物の鋳造用原型を作製。 積層造形機の方法を得得。 各種造形物の必要要件を把握し、造形。 造形、洗浄、重合、仕上げまでの一連の操作を得得。
16	【実習】25～28コマ 修復物の内面適合に影響するパラメータの把握および設定。 ※授業計画14 共通実習内容 臨床模型を使用し、支台歯の状態を把握し、その支台歯形状の違いによるパラメータ調整方法を得得。
17	【演習】29, 30コマ 修復物の内面適合に影響するパラメータの把握および設定に関する発表。 臨床模型を使用し、支台歯の状態を把握し、その支台歯形状の違いによるパラメータ調整方法を得得し、プレゼンテーションにて発表。

成績評価の方法

本試験にて作製したCADデータにて評価80% 評価後は期末にデータ削除。
授業態度およびパラメータ調整レポート（パワーポイント発表）の提出20%
評価後、不合格者には補講時にコメントし、CADデータは消去する。

教科書

「3Shape操作マニュアル」3Shape社
「はじめての歯科用CAD exocadを用いた操作・設計ガイド」古澤清己 医歯薬出版 2018年 ISBN:978-4-263-46141-9
・随時、配布資料

授業外学修（予習・復習）

各日程で行う予定の内容についてテキストのCADおよびCAM操作内容を3Shapeマニュアルより事前に10～15分は確認しておく事。（CAD用PC画面に張り付けている）各課題の終了後、臨床模型を使用して支台歯計測と内面適合に影響するパラメーター設定の理解度を深める目的での設定値について考察をPPにして最終の授業時に各自発表。（8～10分）

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー 日本デジタル歯科学会・全国歯科技工士教育協議会監修 末瀬一彦 宮崎 隆 医歯薬出版 2017年 ISBN978-263-1 C3047 ・最新デジタルデンティストリー 末瀬一彦 宮崎 隆 医歯薬出版 2018年 08124-04 ・Digital Dentistry YEARBOOK 2023 日本デジタル歯科学会 クインテッセンス出版 2023年 ISBN978-4-7812-0942-5 ・3Dプリンターの基礎と臨床 大久保力廣 木村健二 医歯薬出版 2022年 04264-11
------	--

	<ul style="list-style-type: none">・新一週間で分かるパーシャルデンチャー・新 川島 哲 医歯薬出版 2012年 ISBN978-4-263-43351-5・初めての歯科用CAD 古澤清己 医歯薬出版 2018年 ISBN978-4-263-46141-9
受講生への要望等	<p>実習の進捗によっては実習時間の延長もある。</p> <p>器材、日程により実習順序等の変更を行うことがある。</p> <p>スマートフォンおよび携帯電話なその持ち込みを不可とする。</p> <p>CAD操作および各設定値については症例毎により異なるため、作製したデータについては随時記録しておき、将来へのIT化への布石とする。</p> <p>デジタル機器については進捗が早いため、デンタルショーや歯科雑誌、インターネット等、各方面より情報収集を行う。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>Mellyにて質疑応答</p> <p>別途、必要あれば研究室まで。</p>

歯科技工学概論

更新日：2024/09/18 20:55:08

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	317010	授業コード	1K102
担当教員	首藤 崇裕						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31701		3 ○ E1 ◎	歯科技工士

授業概要

この授業では、歯科技工士として知っておくべき基本情報を得ることを目的とする。具体的には、まず歯科医療の目的や歯科技工の役割について概説し、口腔内で生じる疾患とそれらに対応する歯科技工物の種類、歯科技工作業で使用される材料や器械・器具を示す。また、歯科技工を行う上で認識が必要な作業環境や品質管理、感染予防、歯科技工法の内容を概説する。さらに日本における健康政策や在宅歯科医療についても概説する。

到達目標

1	歯科医療の目的・特殊性、歯科技工学の意義・目的や歯科技工士の役割を説明できる。
2	医療従事者としての心得を認識し説明できる。
3	口腔の構造および機能、代表的な歯科疾患について説明できる。
4	歯科臨床と歯科技工の関連、歯科技工物の種類について把握し説明できる。
5	歯科技工で使用される基本的な材料や器具・器械について把握し説明できる。
6	歯科技工業務に必要な運営・品質管理、感染予防、作業環境やその衛生について説明できる。
7	歯科技工士の健康管理と歯科技工所の運営について説明できる。
8	口腔と全身における健康の関連性、健康政策について説明できる。
9	在宅歯科医療における歯科技工士の役割を説明できる。
10	歯科技工法の成り立ち、目的、内容について把握し説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【講義】歯科技工士とは 本講義の位置付け、歯科技工士と歯科技工学、歯科技工士の現状について概説する。
2	【講義】歯科医療と歯科技工 医療と歯科医療、歯科医療の目的と特殊性、歯科医療関係職種、歯科技工士の業務・倫理について概説する。
3	【講義】顔および口腔組織の形態と機能、歯科疾患と周囲組織の変化 顔および口腔組織の形態と機能について概説する。また、歯の異常、歯列不正・咬合の異常、歯および硬組織疾患、歯髄の疾患、歯周組織の疾患、顎関節症、舌および口腔軟組織疾患、顎骨および顔面の疾患、歯の喪失に伴う周囲組織の変化、歯科疾患の現状について概説する。
4	【講義】歯科臨床と歯科技工 インレー、クラウン、ブリッジ、インプラント、義歯、矯正装置、顎顔面装置、スプリント、マウスガードなど一般的に歯科技工士が扱う補綴装置を紹介する。デジタルデンティストリーについても概説する。
5	【講義】歯科技工で扱う材料・器具・器械 金属・有機（高分子）・無機材料、歯科技工用器具・器械の基本情報およびそれらの基本的な取り扱いについて概説する。
6	【講義】歯科技工の管理と運営 歯科技工の作業環境、歯科技工業務の運営、歯科技工における感染予防や衛生管理について概説する。
7	【講義】口腔と全身の健康管理 口腔が全身の健康に及ぼす影響、日本における健康政策、在宅歯科医療について概説する。
8	【講義】歯科技工士関係法規 歯科技工法の成り立ちと目的、歯科技工の定義、歯科技工士免許・国家試験・業務、歯科技工所に関する法律、歯科技工に関する違反行為と罰則について概説する。

成績評価の方法

毎回の授業で前回分内容の小テストを実施する。小テストの解説はその都度講義で行う。また科目試験を行い、総合的に評価する。評価の比率は、科目試験70%、小テスト20%、授業態度10%とする。

教科書

「最新歯科技工士教本 歯科技工管理学」 全国歯科技工士教育協議会 編 医歯薬出版 2024年 ISBN:978-4-263-43170-2
主に配布資料をもとに授業を進めていくが、上記教科書についても適宜参照してもらう。

授業外学修（予習・復習）

【予習】 必要に応じて授業中に次の授業までに行うべき内容を指示する。

【復習】 毎授業後に必ず行うこと。教科書と配布資料の中身をしっかりと理解し、小テストと科目試験に備えること。
予習約20分、復習約30分を目安とする。

その他

参考資料	「最新歯科技工士教本」各種 全国歯科技工士教育協議会 編 医歯薬出版 「歯科技工学用語集」 日本歯科技工学会 編 医歯薬出版 2011年 ISBN:978-4-263-43348-5 「デンタルスペシャリスト 歯科技工士への道」 全国歯科技工士教育協議会 編 医歯薬出版 2007年 ISBN:978-4-263-43334-8 「歯科技工のおもしろさ」 日本歯科技工士会 編 口腔保健協会 2015年 ISBN:978-4-89605-314-2 「世界で活躍するサムライ歯科技工士」 日本歯科新聞社 編 日本歯科新聞社 2015年 ISBN:978-4-931-55036-0 「新・要点チェック 歯科技工士国家試験対策 歯科技工と歯科医療」 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編 医歯薬出版 2020年 ISBN:978-4-263-43081-1
受講生への要望等	教科書を持参してください。私語および携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用は慎むこと（出席登録時を除く）。 目指す職種についての理解を深める重要な科目です。自らの目標を定める第一歩です。自分の将来と重ねながら受講して、今後の学習意欲を高めてください。
授業の質問対応、連絡先	質問などある場合は、担当教員室を訪ねるか、大学メールアドレスshuto@cc.osaka-dent.ac.jpまたは授業用SNS「melly」にて連絡をお願いします。

保存修復技工学実習

更新日：2024/11/28 15:02:43

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	317020	授業コード	2K208
担当教員	錦織 良, 谷本 啓彰, 保尾 謙三, 方 思棋						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31702		1○ E1◎	歯科医師, 歯科技工士

授業概要

学生が保存修復物(装置)を製作するために必要な基礎知識と態度の修得をするために、模型実習による補綴装置(インレー)を製作します。本実習では実習前に、配付資料を基にPC等を用いて講義を行った後に実習を行う形式を基本とします。歯の解剖学的形態・機能の回復、硬組織及び歯周組織疾患の改善と疾患の予防、審美的回復、健康増進などにつながる技工操作を実習中心に学びます。これらに寄与するための保存修復物の製作にあたり、生物学的、力学的な知識による修復物の製作のための基本的な歯科技工技術を習得します。

到達目標

1	補綴装置が完成するまで使用に耐えられる作業用模型が製作できる。
2	作業用模型製作時の注意ポイントが説明できる。
3	マージンラインを正しく決定できる。
4	模型製作から補綴装置完成までの手順が説明できる。
5	インレー製作時の注意ポイントが説明できる。
6	インレー製作時の問題発生時での対策方法が説明できる。
7	決められた期日(納期)までに作品(補綴装置)が提出(納品)できる。
8	決められた期日(納期)までにレポートが提出できる。

授業形態(コマ数カウント)

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0	15	0
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0	0	0

授業計画

1	【実習】実習概要の説明 (実習) 基本的な用語の説明 実習の流れの説明
2	【実習】作業用模型の製作 (実習) 実習に必要な説明 上顎・下顎シリコーン型への石膏注入 枠から取り出し後の模型チェック
3	【実習】作業用模型の製作 (実習) 実習内容についての説明 実習上の注意事項の説明 実習の重要ポイントの説明
4	【実習】作業用模型の製作 (実習) 上顎・下顎シリコーン型への石膏注入 枠から取り出し後の模型チェック 模型のトリミング
5	【実習】作業用模型の製作のつづき (実習) 実習内容についての説明 実習上の注意事項の説明 実習の重要ポイントの説明

6	<p>【実習】 模型分割・咬合器装着 (実習)</p> <p>上顎模型の咬合器への装着 模型の分割 下顎模型の咬合器への装着</p>
7	<p>【実習】 マージンラインの決定とワックスアップ (実習)</p> <p>実習内容についての説明 実習上の注意事項の説明 実習の重要ポイントの説明</p>
8	<p>【実習】 模型の分割・マージンラインの決定 (実習)</p> <p>支台歯のトリミング マージンラインの決定とマージンライン印記 模型硬化処理 指定の窩洞へのワックスアップ 隣接面コンタクトポイント回復 咬合面コンタクトポイントの確認 顕微鏡でワックスアップ確認</p>
9	<p>【実習】 ワックスアップ・スプルーイング・埋没 (実習)</p> <p>実習内容についての説明 実習上の注意事項の説明 実習の重要ポイントの説明 ワックスアップ スプルー植立 埋没</p>
10	<p>【実習】 ワックスアップ・スプルーイング・埋没 (実習)</p> <p>実習内容についての説明 実習上の注意事項の説明 実習の重要ポイントの説明 ワックスアップ スプルー植立 埋没</p>
11	<p>【実習】 埋没・ワックス焼却・割り出しと研磨 (実習)</p> <p>実習内容についての説明 ワックスアップ スプルー植立 埋没</p>
12	<p>【実習】 埋没・ワックス焼却・割り出しと研磨 (実習)</p> <p>実習内容についての説明 ワックス焼却 鑄造 割り出し 超音波洗浄もしくはサンドブラスト処理 顕微鏡による内面確認・調整 模型への試適</p>
13	<p>【実習】 埋没・ワックス焼却・割り出しと研磨 (実習)</p> <p>鑄造 割り出し 超音波洗浄もしくはサンドブラスト処理 顕微鏡による内面確認・調整 模型への試適 研磨・調整</p>
14	<p>【実習】 鑄造・鑄型からの割り出し・研磨・完成まで (実習)</p> <p>顕微鏡による内面確認・調整 模型への試適 研磨・調整</p>
15	<p>【実習】 完成まで (実習)</p> <p>顕微鏡による内面確認・調整 模型への試適 研磨・調整 完成までを行い作品(模型と補綴装置)とステップ帳の提出</p>

- ・定期レポート提出20%、実習作品40%、試験30%、実習態度10%により総合的に評価します。
- ・実習態度の評価は、忘れ物・実習の準備・後片付け、等への参加度等を包括的に評価対象とします。
- ・定期レポートの課題内容はその都度指定します。基準に達していないレポートは簡単なフィードバックをした上で再提出をしてもらいます。
- ・全ての提出物は指定期限内に提出してください。

期限内の課題提出が科目成績評価の基本条件とします。故に、全ての提出物の期日内提出がない場合は、全体としての成績の評価を行いませんので、全ての提出物を期日内に提出してください。

----- 重要事項 -----

- ・本実習科目ではレポートの盗用を禁止します。
- 書籍やWebページなど他人の文章をレポートとして提出することを禁止します。また、後述する出典の明示など引用要件を満たさない限り、たとえ一部であっても提出することはできません。上記に該当するレポートの提出は、試験における不正行為（他の受験者の答案や試験会場への持ち込みが禁止されている資料をコピーすること）に相当すると見なし、不正行為と見なします。本科目のレポートの点数を0点とすることがあります。

引用要件

→レポートの作成において引用した文章・文献は全て引用元や改変した場合はその旨を示してレポートの中に入れてください。(参考図書のレポートや論文等の引用の書き方に準じますので、必ず読んで理解してください。)

- ・本実習科目では学生のCHAT GPT等の生成AIの利用の禁止します。
- 教員は学生から提出されたレポートで不自然と思われる箇所かつ、引用がない部分について生成AIに問い合わせることがあります。その結果「私(AI)が作りました」と表示された場合は、上記のレポートの盗用と見なすことがあります。その場合は、本科目のレポートの点数を0点とすることがあります。仮にAIが作っていないくてもそのように表示が出ることもあるかもしれませんので、「引用文や文献等を用いるときは必ず引用元を明示」(再記載)してください。

教科書

- ・歯冠修復技工学 第2版／最新歯科技工士教本／全国歯科技工士教育協議会／医歯薬出版株式会社／2024／ISBN 978-4-263-43175-5（実習に必要な知識・内容です）P115-124を事前によく読んで予習・復習をしましょう。
 - ・歯冠修復技工学／歯科技工学実習トレーニング／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会／医歯薬出版株式会社／2020／ISBN 978-4-263-43343-0（実習に必要な知識・内容です）P1-P31に加え実習に必要な箇所を事前によく読んでイメージだけでも頭に入れておきましょう。
 - ・歯科技工実習／最新歯科技工士教本／全国歯科技工士教育協議会／医歯薬出版株式会社／2017／ISBN 978-4-263-43171-9（実習に必要な知識・内容です）P1-P37
- テキストブックを十分に実習前に復習・確認してください。
- ・歯科理工学 第2版／最新歯科技工士教本／全国歯科技工士教育協議会／医歯薬出版株式会社／2024／ISBN 978-4-263-43172-6（実習に必要な知識・内容です）ワックスの性質、埋没材の組成、金属の組成と金属の鑄造収縮、研磨について、既に学修・知識習得している前提で実習が行われます。テキストブックを十分に実習前に復習・確認してください。

授業外学修（予習・復習）

- 【予習】毎回の実習前に実習テキストを5-30分程度の予習をしましょう。
- 【復習】毎回の実習が終わったら、5-30分程度で、その日実習したところをよく思い出しながら難しかった点や、実習中にやり直した点等を実習テキストに書き込んで整理しましょう。

その他

<p>参考資料</p>	<p>(参考図書)</p> <p>下記の書籍を参考に本実習のレポートを作成するとよりまとまったレポートの作成や引用方法を学ぶことができると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈改訂版〉大学生のための論文・レポートの論理的な書き方：日本語でアカデミック・ライティング／-/渡邊淳子著／研究社／2022／ISBN 978-4-327-38488-3 ・レポート・論文の書き方入門／河野哲也著／第4版／慶應義塾大学出版会／2018／ISBN 978-4-766-42527-7 ・コピペと言われないレポートの書き方教室：3つのステップ：コピペから正しい引用へ／山口裕之著／新曜社／2013／ISBN 978-4-788-51345-7 ・図解でわかる!理工系のためのよい文章の書き方：論文・レポートを自力で書けるようになる方法／福地健太郎，園山隆輔著／翔泳社／2019／ISBN 978-4-7981-5889-1 ・大学生のための「論文」執筆の手引き卒論・レポート・演習発表の乗り切り方／-/高崎 みどり／秀和システム／2010／ISBN 978-4-7980-2448-6 <p>本実習をより深く理解し、技術を習得するために下記の書籍を参考図書として推薦します。レポートの課題などにも活用できると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真で学ぶ 即！実践 臨床技工テクニカルヒント／-/鶴見大学歯学部歯科技工研修科／医歯薬出版株式会社／2014／ISBN 978-4-263-46417-5 ・生体と調和する歯周組織にやさしい歯冠修復物／-/遊亀 裕一／クインテッセンス出版／2014／ISBN 978-4-7812-0376-8 ・卒後5年までに身につけたいインレー・コア・クラウン技工のコツとツボ／The Basics／岡野京二／医歯薬出版株式会社／2008／ISBN 978-4-263-46203-4 ・誤差を埋めるクラウンブリッジの臨床・技工／月刊「歯科技工」別冊／-/医歯薬出版株式会社／JAN 4910042640736 ・Phillips' science of dental materials 13e／13th Edition／-/Saunders／2021／ISBN 978-0-3236-9755-2 ・保存修復クリニカルガイド 第2版／-/千田彰，寺下正道，田上順次，奈良陽一郎，宮崎真至，片山直／医歯薬出版株式会社／2009／ISBN 978-4-263-45633-0 ・作業模型の製作と咬合器への装着／歯科技工卒後研修講座／田村 勝美，妹尾 輝明，森 博史／医歯薬出版株式会社／1993／ISBN 978-4-263-43071-0
<p>受講生への要望等</p>	<p>----- 重要事項 -----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習は安全第一を念頭に取り組んでください。 ・体調不良で休んだり遅刻する可能性があるときはメリーに必ず連絡してください。 ・遅刻や欠席は極力しないようにしてください。 <p>→実習開始前にその日の重要事項についての講義をします。本実習での遅刻や欠席はその日にやるべき重要事項を聞き逃すこ</p>

となり、の実習で学習効果を著しく悪化させることが容易に想像が出来ます。
※実習の出欠は基本的に電子的な認証は行いません。実習にはスマートフォン等の通信機器を持ち込まないでください。

・【指定準備物】

三菱赤鉛筆770(MITUBISHI FINE VERMILION K770 770 [朱通し 六角]) JAN 4902778981191を実習までに購入してください。

(例:ヨドバシカメラで購入可能(2024年9月現在))

また、有床義歯で色鉛筆を用いることを前提にする場合は赤と青の2色(三菱鉛筆 MITSUBISHI PENCIL K772 772[朱藍 5 :5 六角])JAN 4902778981207での代用も可能です。

(例:ヨドバシカメラで購入可能(2024年9月現在))

例 <https://www.yodobashi.com/?word=MITSUBISHI+PENCIL+K772>

手動式の鉛筆削り等100円程度も合わせて購入しておくともよいと思います。

例 <https://www.yodobashi.com/product/100000001006045338/>

----- 科目内容や時間の変更 -----

- ・実習の進捗状況によっては開始日時を含む実習時間の延長や内容の変更があるかもしれません。
- ・実習の進捗状況によっては実習順序等の変更を行うことがあるかもしれません。

----- その他 -----

・実習に関しては最初のうちはスピードは重視しません。スピードはやっているうちについていくものと考えています。確実に一つ一つのステップをこなしていく技術を身につけましょう。

- ・日々努力する必要があるありますが、焦る必要はありません。

授業の質問対応、連絡先

授業後もしくは、melly 等を利用して質問、連絡をしてください。

総義歯学実習

更新日：2024/10/09 09:32:38

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	317030	授業コード	2K301
担当教員	柿本 和俊, 方 思棋, 中井 知己, 額田 和門, 北山 展弘						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	3
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31703		E1◎	歯科医師

授業概要

上下顎総義歯を製作する技能を高める科目である。上下顎無歯顎顎堤の研究模型上での個人トレーの製作、作業模型上で咬合床を製作して咬合器に装着し、人工歯排列、歯肉形成、Tenchのコア採得、重合・研磨、咬合器再装着、選択削合と自動削合によるフルバランスドオクルージョンを確立する咬合小面の形成およびスピルウェイの形成を行い、上下顎総義歯を完成させる。本実習によって総義歯製作技能の養成を行うとともに、有床義歯学の講義での総義歯理論の修得をより確実なものとする。

到達目標

1	総義歯の印象採得を説明できる。
2	総義歯の個人トレーを製作できる。
3	総義歯の咬合採得を説明できる。
4	総義歯の咬合床を製作できる。
5	総義歯の咬合様式を説明できる。
6	総義歯の人工歯排列ができる。
7	総義歯の重合と研磨ができる。
8	総義歯人工歯の削合ができる。
9	金属床総義歯の製作法を説明できる。
10	総義歯の修理ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6		39	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	第1回【講義】総義歯の印象採得 ・概形印象と最終印象 ・印象採得に用いる器材 ・個人トレーの設計と製作 ・筋形成 ・咬座印象
2	第2回【実習】考究模型の製作，個人トレー外形線，リリース，個人トレーの製作 ・概形印象に用いる器材 ・考究模型の製作手順 ・個人トレーの種類と要件 ・個人トレー外形線の設定 ・リリース部の記入と設置 ・個人トレー体部の製作
3	第3～4回【実習】個人トレーの製作 ・個人トレー体部の製作 ・個人個人トレーの柄とフィンガーレストの製作 ・仕上げ
4	第5回【講義】総義歯の咬合採得 ・ボクシングと作業模型の製作 ・垂直的顎間関係と水平的顎間関係 ・咬合採得に必要な器材 ・咬合床の要件 ・咬合採得の手順 ・標示線

5	<p>第6回【実習】作業模型製作、床外形線と歯槽頂線の記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業模型の製作 ・床外形線の記入 ・歯槽頂線の記入
6	<p>第7回【実習】基礎床の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎床の製作 ・基礎床の形態修正 ・仕上げ
7	<p>第8~13回【実習】咬合床の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワックスブロックの製作 ・基礎床のワックスブロックの圧接 ・咬合床の形態修正 ・標示線の記入
8	<p>第14回【実習】咬合器装着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咬合器装着の前準備 ・上顎作業模型の咬合器装着 ・下顎作業模型の咬合器装着
9	<p>第15回【講義】総義歯の咬合様式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平衡咬合 ・フルバランスド・オクルージョン ・リンガライズド・オクルージョン ・交叉咬合 ・モノプレーン・オクルージョン
10	<p>第16回【講義】総義歯の人工歯選択と人工歯排列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工歯の分類 ・Williamsの3基本形 ・SPA要素 ・形態・大きさとモールドガイド ・色調とシェードガイド ・人工歯の排列方法
11	<p>第17~18回【実習】上顎前歯部人工歯排列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上顎両側中切歯の排列 ・上顎両側側切歯の排列 ・上顎両側犬歯の排列
12	<p>第19~20回【実習】下顎前歯部人工歯排列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下顎両側中切歯の排列 ・下顎両側側切歯の排列 ・下顎両側犬歯の排列 ・垂直・水平被蓋の付与
13	<p>第21~22回【実習】上顎臼歯部人工歯排列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上顎左側小白歯排列 ・上顎左側大白歯排列 ・上顎右側小白歯排列 ・上顎右側大白歯排列
14	<p>第23~24回【実習】下顎臼歯部人工歯排列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下顎左側第一大臼歯排列 ・下顎右側第一大臼歯排列 ・下顎左側小白歯排列 ・下顎右側小白歯排列 ・下顎左側第二大臼歯排列 ・下顎右側第二大臼歯排列
15	<p>第25~28回【実習】歯肉形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯肉形成の前準備 ・前歯部の歯肉形成 ・臼歯部の歯肉形成 ・舌・口蓋側の歯肉形成 ・床縁の歯肉形成 ・仕上げ ・？義歯の完成
16	<p>第29回【実習】テンチのコア採得、埋没と重合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tenchのコア採得 ・埋没の前準備 ・フラスク埋没
17	<p>第30~32回【実習】埋没と重合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラスク埋没 ・流ろう ・レジン重合 ・開輪

18	第33~36回【実習】研磨 ・バリ・小突起の除去 ・石膏溶解液での洗浄 ・マイクロモーターでの研磨 ・レースでの研磨
19	第37回【実習】再装着用模型製作 ・アンダーカット部のブロックアウト ・ボクシング ・再装着用模型の製作
20	第38回【実習】咬合器再装着 ・上顎義歯の咬合器再装着 ・下顎義歯の咬合器再装着
21	第39~40回【実習】選択削合 ・咬頭嵌合位での選択削合 ・偏心位での選択削合(BULL の法則) ・咬合小面の形成
22	第41回【実習】自動削合、スピルウェイ付与、仕上げ ・自動削合 ・スピルウェイの形成 ・人工歯の研磨
23	第42回【講義】金属床義歯製作法 ・金属床義歯の特徴 ・金属床義歯の使用材料 ・金属床義歯の設計 ・金属床義歯の製作手順
24	第43回【講義】義歯の修理、リライニング ・義歯のトラブルの原因と症状 ・義歯床修理の方法 ・人工歯部の修理と咬合挙上 ・リライニングとリベース
25	第44回【実習】義歯修理用模型の製作 ・義歯の復位と仮着 ・義歯修理用模型の製作
26	第45回【実習】修理 ・加強線の屈曲 ・修理の前準備 ・即時重合レジンによる修理 ・研 磨

成績評価の方法

実習作品と課題レポートで総合的に評価する。
 評価の割合は、実習作品 80%、レポート 20%とする。
 実習作品返却時に講評を行う。

教科書

配布する「総義歯学実習帳」
 実習時には常に持参して参考にしてください。

授業外学修（予習・復習）

実習の最後に自分自身の作品の評価についてレポートを提出してもらいます。
 作品製作の進行が遅れている場合は、指導教員の指示に基づいて、自習して補ってください。
 毎回、実習した内容を参考書で20分程度振り返って下さい。

その他

参考資料	「コンプリートデンチャーテクニック」細井紀雄ほか、医歯薬出版、2011年、ISBN978-4-263-45646-0 「最新歯科技工士教本 有床義歯技工学」全国歯科技工士教育協議会編、医歯薬出版、2017年、ISBN978-4-263-43165-8
受講生への要望等	義歯の製作は歯科技工士の主要業務の1つであり、義歯の中でも総義歯の製作技能の習得は基本となるものです。しっかりとした技能を身に付けて、気持ちよく口に入れられるような、きれいな作品を製作してください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。

局部床義歯学実習Ⅰ

更新日：2025/02/03 15:05:38

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	317040	授業コード	2K302
担当教員	三宅 晃子, 錦織 良, 方 思棋						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	3	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31704		E1◎	歯科医師

授業概要

歯科技工士が局部床義歯（部分床義歯）を製作するときに必要な基礎知識と態度とを模型実習を主として体験、実践する科目である。歯列が一部欠損している顎に対して局部床義歯を用いることで、機能・形態および審美性を回復、改善し、全身の健康増進に寄与することができる。その局部床義歯の製作に必要な生理学的知識と力学的な知識や局部床義歯の設計、製作のための生物学的理論と理工学的理論の知識と技術を習得する。本実習では、上顎レジン床義歯の製作と下顎金属床義歯の作業用模型、耐火模型への金属フレーム設計までの実習を行う。製作時の問題点と改善法のレポートをもとにグループ討論を行う。

到達目標

1	局部床義歯の製作手順を説明できる。
2	局部床義歯の研究用模型を製作できる。
3	局部床義歯の個人トレーを製作できる。
4	局部床義歯の作業用模型を製作できる。
5	局部床義歯の咬合床を製作できる。
6	局部床義歯のサベイングができる。
7	局部床義歯の設計を模型に描記できる。
8	局部床義歯のクラスプを製作できる。
9	局部床義歯の人工歯排列ができる。
10	局部床義歯の歯肉形成ができる。
11	局部床義歯のレジン床の重合ができる。
12	局部床義歯の研磨ができる。
13	局部床義歯製作時の問題点を抽出できる。
14	金属床義歯の製作のための耐火模型を製作できる。
15	金属床義歯のフレームワークの設計を耐火模型にできる。
16	金属床義歯のフレームワーク製作時の問題点を抽出できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			45	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】局部床義歯製作実習のオリエンテーション講義 ・レジン床義歯製作実習の概略を説明
2	【実習】研究用模型の製作① ・上顎欠損模型のアルジネート印象 ・下顎模型のアルジネート印象
3	【実習】研究用模型の製作② ・上顎欠損模型のアルジネート印象と研究用模型の製作 ・下顎模型のアルジネート印象と研究用模型の製作
4	【実習】研究用模型の製作③ ・上顎欠損模型のアルジネート印象と研究用模型の製作 ・下顎模型のアルジネート印象と研究用模型の製作
5	【実習】研究用模型の製作④ ・上顎欠損模型のアルジネート印象と研究用模型の製作 ・下顎模型のアルジネート印象と研究用模型の製作

6	<p>【実習】個人トレーの製作①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレー外形線の記入 ・スパーサーの圧接 ・トレーレジンで製作 ・形態修正、研磨
7	<p>【実習】個人トレーの製作②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレー外形線の記入 ・スパーサーの圧接 ・トレーレジンで製作 ・形態修正、研磨
8	<p>【実習】作業用模型の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内前処置（ガイドブレン、レスト窩、リカンタリング）を研究用模型でシミュレーション ・精密印象とボクシングのデモ ・超硬石膏で作業用模型の製作
9	<p>【実習】咬合床の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咬合床の基礎床の製作 ・咬合床のろう堤部の製作
10	<p>【実習】咬合器装着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咬合採得 ・上顎模型の咬合器付着 ・咬合床を介在させて下顎模型を咬合器装着
11	<p>【実習】サベイングと設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業用模型のサベイング ・作業用模型への義歯設計線の記入
12	<p>【実習】ブロックアウト・リリース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接面部のブロックアウト ・鉤脚部のリリース
13	<p>【実習】クラスプのパターン製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビネーションクラスプの線鉤の屈曲 ・光重合レジンでパターン製作
14	<p>【実習】埋没</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パターンを鑄造リングに埋没
15	<p>【実習】鑄造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Kメタルで鑄造
16	<p>【実習】研磨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプルー切断 ・研磨
17	<p>【実習】人工歯排列①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬質レジン歯排列
18	<p>【実習】人工歯排列②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬質レジン歯排列
19	<p>【実習】歯肉形成①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床縁形態修正 ・歯肉形成
20	<p>【実習】歯肉形成②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床縁形態修正 ・歯肉形成
21	<p>【実習】フラスク埋没①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通石膏でフラスク埋没
22	<p>【実習】フラスク埋没②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通石膏でフラスク埋没 ・流蠟
23	<p>【実習】重合①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床用レジンを湿熱法で重合
24	<p>【実習】重合②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床用レジンを湿熱法で重合
25	<p>【実習】リマウント、咬合調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開輪 ・咬合器再装着 ・咬合調整
26	<p>【実習】研磨①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形態修正 ・レーズを使用して研磨
27	<p>【実習】研磨②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形態修正 ・レーズを使用して研磨

28	【実習】製作時の問題点についてのグループ討論（グループディスカッション） ・製作時の問題点と改善法のレポートをもとに討論
29	【実習】金属床義歯フレームワーク製作実習のオリエンテーション講義 ・金属床義歯フレームワーク製作実習の概略説明
30	【実習】研究用模型の製作 ・下顎欠損模型のアルジネート印象 ・上顎模型のアルジネート印象 ・硬石膏で研究用模型の製作
31	【実習】予備サベイング ・研究用模型で予備サベイング ・仮設計
32	【実習】個人トレーの製作① ・トレー外形線の記入 ・スペーサーの圧接 ・トレーレジンで製作 ・形態修正、研磨
33	【実習】個人トレーの製作② ・トレー外形線の記入 ・スペーサーの圧接 ・トレーレジンで製作 ・形態修正、研磨
34	【実習】マウスプレパレーション ・研究用模型上でガイドプレーンとレスト窩形成のシミュレーション ・精密印象とボクシングのデモ
35	【実習】作業用模型の製作 ・超硬石膏で作業用模型製作
36	【実習】咬合床の製作 ・咬合床の基礎床の製作 ・咬合床の咬合堤部の製作
37	【実習】咬合採得 ・咬合採得
38	【実習】咬合器装着 ・上下顎模型の咬合器装着
39	【実習】サベイング、設計 ・サベイング ・金属床義歯設計
40	【実習】ブロックアウト、リリース ・フレームワーク製作のためのブロックアウト、リリース
41	【実習】複印象 ・シリコーンゴム印象材による複印象
42	【実習】耐火模型の製作 ・フレームワーク製作用耐火模型の製作
43	【実習】耐火模型への金属フレームワークの設計 ・耐火模型への金属フレームワークの設計の転写
44	【実習】フレームワーク製作の問題点について小グループで討論を行う（グループディスカッション） ・フレームワーク製作時の問題点とその改善点についてのレポートをもとに討論
45	【実習】フレームワーク製作の問題点について小グループで討論後、全体討論を行う（グループディスカッション） ・フレームワーク製作時の問題点とその改善点についてのレポートをもとに討論

成績評価の方法

実習作品、実習試験及びグループ討論の結果を総合的に評価する。
 評価の比率は、実習作品40%、実習試験40%、グループ討論20%とする。
 実習作品については、コメントを付けて返却する。
 前期試験・後期試験については補講時に解説を行う。

教科書

教科書はなし。実習前、実習中に適宜、資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

実習前は、実習内容について20分程度、予習して必要な器材の性質や使用方法について理解しておいて下さい。診療室で歯科医師が行っている印象、咬合採得、設計、試適、装着について関連がある実習時には、20分程度復習して参考書で理解を深めてください。

その他

参考資料	「最新歯科技工士教本 有床義歯技工学」 医歯薬出版 全国歯科技工士教育協議会 2017年 ISBN 978-4-263-43165-8 「有床義歯技工 歯科技工学実習トレーニング」 医歯薬出版 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 2011年 ISBN 978-4-263-43342-3 「パーシャルデンチャーテクニック」 医歯薬出版 五十嵐順正ほか 2012年 ISBN 978-4-263-45660-6
------	---

	「歯学生のパーシャルデンチャー」 医歯薬出版 三谷春保 2018年 ISBN 978-4-263-45817-4 「パーシャルデンチャー活用力」 医歯薬出版 和田淳一郎ほか 2016年 ISBN9 978-4-263-44460-3
受講生への要望等	局部床義歯は、欠損様式、残存歯、顎堤粘膜、咬合状態などにより、形態や機能が異なり多様化しているため、歯科医師の指示と口腔内状態に応じた製作方法を生理学や力学的な知識を駆使して設計、製作しなければなりません。義歯を単に製作するだけでなく、それらのための十分な生物学的理論と工学的理論の知識と技術を習得してください。 進捗状況により、実習内容が変更する場合があります。 私語および携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用や途中入退室は慎むこと。
授業の質問対応、連絡先	"melly"を使って質問や連絡をして下さい。

局部床義歯学実習Ⅱ

更新日：2025/02/03 15:06:22

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	317050	授業コード	3K301
担当教員	三宅 晃子, 錦織 良, 西崎 宏, 岡田 香織						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	4	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31705		E1◎	歯科医師

授業概要

歯科技工士が局部床義歯（部分床義歯）を製作するときに必要な基礎知識と態度とを模型実習を主として体験、実践する科目である。歯列が一部欠損している顎に対して局部床義歯を用いることで、機能・形態および審美性を回復、改善し、全身の健康増進に寄与することができる。その局部床義歯の製作に必要な生理学的知識と力学的な知識や局部床義歯の設計、製作のための生物学的理論と理工学的理論の知識と技術を習得する。本実習では、下顎金属床の鑄造研磨を行い、そのフレームワークを用いて模型改造印象法の技工を習得したのち、流し込みレジンを用いて重合を行い義歯を完成させる。その後、パラタルプレートを用いた上顎金属床の製作も行う。金属床義歯製作時の問題点とその改善法についてグループディスカッションを行う。

到達目標

1	下顎金属床義歯のフレームワークのワックスパターンを製作できる。
2	下顎金属床義歯のフレームワークを鑄造研磨ができる。
3	下顎金属床義歯用の模型改造印象と咬合採得が理解できる。
4	下顎金属床義歯用の模型改造印象で作業用模型を改造できる。
5	下顎金属床義歯の人工歯排列ができる。
6	下顎金属床義歯の歯肉形成ができる。
7	下顎金属床義歯を流し込みレジンで重合できる。
8	下顎金属床義歯の研磨ができる。
9	下顎金属床義歯の製作時の問題点を抽出できる。
10	下顎局部床義歯の人工歯追補修理ができる。
11	上顎金属床義歯の個人トレーを製作できる。
12	上顎金属床義歯の予備サベイングができる。
13	上顎金属床義歯の設計を模型に描記できる。
14	上顎金属床義歯のマウスプレパレーションが理解できる。
15	上顎金属床義歯の作業用模型を製作できる。
16	上顎金属床義歯の咬合床を製作できる。
17	上顎金属床義歯の設計を模型に描記できる。
18	上顎金属床義歯のフレームワークを製作できる。
19	上顎金属床義歯の人工歯排列ができる。
20	上顎金属床義歯の歯肉形成ができる。
21	上顎金属床義歯のレジン床の重合ができる。
22	上顎金属床義歯の研磨ができる。
23	上顎金属床義歯製作時の問題点を抽出できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			60	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】下顎金属床義歯製作のオリエンテーション講義 ・下顎金属床義歯製作の概略説明
2	【実習】フレームワークのワックスパターン（支台装置）の製作 ・耐火模型にフレームワーク（支台装置）のワックスパターンの製作
3	【実習】フレームワークのワックスパターン（リングバーと維持格子）の製作 ・フレームワーク（リングバーと維持格子）のワックスパターンの製作
4	【実習】フレームワークのワックスパターンの埋没 ・フレームワークのワックスパターンの埋没

5	【実習】ワックスパターンの焼却 ・ワックスパターンの焼却
6	【実習】 鋳造 ・コバルトクロム合金で鋳造
7	【実習】 研磨① ・フレイムワークの研磨
8	【実習】 研磨② ・フレイムワークの研磨
9	【実習】 仕上げ研磨① ・フレイムワークの仕上げ研磨
10	【実習】 仕上げ研磨② ・フレイムワークの仕上げ研磨
11	【実習】 フレイムワークへの咬合床の製作 ・模型改造印象用の基礎床製作 ・咬合堤の製作
12	【実習】 模型改造印象、咬合採得 ・模型改造印象と咬合採得 ・作業用模型の改造
13	【実習】 咬合器装着 下顎模型を咬合器に再装着
14	【実習】 人工歯排列① ・硬質レジンで人工歯排列
15	【実習】 人工歯排列② ・硬質レジンで人工歯排列
16	【実習】 歯肉形成① ・床外形の修正 ・歯肉形成
17	【実習】 歯肉形成② ・床外形の修正 ・歯肉形成
18	【実習】 シリコーンコア採得 ・シリコーンゴム印象材でコア採得
19	【実習】 流蠟 ・流蠟
20	【実習】 流し込みレジン重合 ・流し込みレジンで重合
21	【実習】 研磨、咬合調整① ・レジン床の研磨 ・咬合調整
22	【実習】 研磨、咬合調整② ・レジン床の研磨 ・咬合調整
23	【実習】 人工歯追補修理① ・第二大臼歯人工歯の追加修理
24	【実習】 人工歯追補修理② ・第二大臼歯人工歯の追加修理
25	【実習】 製作時の問題点とその改善法についてグループ討論を行う（グループワーク） ・製作時の問題点とその改善法についてグループ討論
26	【実習】 製作時の問題点とその改善法についてグループ討論を行い、全体討論を行う（グループワーク） ・製作時の問題点とその改善法についてグループ討論を行った後、全体討論
27	【実習】 上顎金属床義歯製作の実習のオリエンテーション講義 ・上顎金属床義歯製作の概略説明
28	【実習】 研究用模型の製作① ・アルジネート印象 ・硬石膏で研究用模型の製作
29	【実習】 研究用模型の製作② ・アルジネート印象 ・硬石膏で研究用模型の製作
30	【実習】 研究用模型の製作③ ・アルジネート印象 ・硬石膏で研究用模型の製作
31	【実習】 予備サベイング ・研究用模型で予備サベイング

32	【実習】義歯の設計、マウスプレパレーション ・義歯の設計 ・研究用模型でマウスプレパレーションのシミュレーション
33	【実習】個人トレーの製作① ・上顎個人トレーの製作
34	【実習】個人トレーの製作② ・上顎個人トレーの製作
35	【実習】印象採得、ボクシング、作業用模型の製作 ・精密印象とボクシングのデモ ・超硬石膏で作業用模型の製作
36	【実習】咬合床の製作 ・上顎咬合床の製作
37	【実習】咬合採得、上顎模型の咬合器装着 ・咬合採得 ・上顎模型の咬合器装着
38	下顎模型の咬合器装着 ・下顎模型の咬合器装着
39	【実習】サベイング ・上顎模型のサベイング
40	【実習】義歯の設計 ・上顎義歯の設計
41	【実習】ブロックアウト、リリース ・作業用模型のブロックアウト、リリース
42	【実習】耐火模型の製作 ・シリコーンゴム印象材で複印象 ・耐火模型の製作
43	【実習】上顎フレームワークのワックスパターン製作① ・上顎フレームワークのワックスパターン製作
44	【実習】上顎フレームワークのワックスパターン製作② ・上顎フレームワークのワックスパターン製作
45	【実習】上顎フレームワークのワックスパターン製作③ ・上顎フレームワークのワックスパターン製作
46	【実習】上顎フレームワークのワックスパターン製作④ ・上顎フレームワークのワックスパターン製作
47	【実習】スプルーイング ・ワックスパターンへのスプルーの植立
48	【実習】埋没 ・耐火模型のリングへの埋没
49	【実習】鋳造 ・コバルトクロム合金で鋳造
50	【実習】研磨① ・フレームワークの研磨
51	【実習】研磨② ・フレームワークの研磨
52	【実習】人工歯排列① ・上顎硬質レジン歯の排列
53	【実習】人工歯排列② ・上顎硬質レジン歯の排列
54	【実習】歯肉形成① ・床縁形態の修正 ・歯肉形成
55	【実習】歯肉形成② ・床縁形態の修正 ・歯肉形成
56	【実習】上顎義歯の埋没 ・フラスクに石膏埋没
57	【実習】上顎義歯の重合 ・床用レジンに湿熱重合
58	【実習】研磨① ・義歯床を研磨
59	【実習】研磨② ・義歯床を研磨
60	【実習】製作時の問題点についてグループ討論（グループディスカッション） ・製作時の問題点についてレポートをもとにグループ討論後、全体討論

成績評価の方法

実習作品、実習試験及びグループ討論後に提出するレポートで総合的に評価する。レポート内容は、“作製した金属床義歯における改善点と対応策について”である。
 評価の比率は、実習作品40%、実習試験40%、グループ討論・レポート20%とする。レポートは授業中に解説と講評を行う。実習試験は試験終了後に解説を行う。

教科書

最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 第2版 全国歯科技工士教育協議会 医歯薬出版2024年 ISBN 978-4-263-43174-0
 実習前、実習中に適宜、実習の資料も配布する。

授業外学修（予習・復習）

毎実習前に、実習内容について20分程度、予習して必要な器材の性質や使用方法について理解しておいてください。診療室で歯科医師が行っている印象、咬合採得、設計、試適、装着について関連がある実習時には、20分程度復習して参考書で理解を深めて下さい。

その他

参考資料	<p>「歯科技工士教本 有床義歯技工学」 医歯薬出版 全国歯科技工士教育協議会 2017年 ISBN 978-4263432648 「有床義歯技工 歯科技工学実習トレーニング」 医歯薬出版 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 2011年 ISBN 978-4263456606 「パーシャルデンチャーテクニック」 医歯薬出版 五十嵐順正ほか 2012年 ISBN 978-4263456606 「歯学生のパーシャルデンチャー」 医歯薬出版 三谷春保 2018年 ISBN 978-4-263-45817-4 「パーシャルデンチャー活用力」 医歯薬出版 和田淳一郎ほか 2016年 978-4263444603</p>
受講生への要望等	<p>局部床義歯は、欠損様式、残存歯、顎堤粘膜、咬合状態などにより、形態や機能が異なり多様化しているため、歯科医師の指示と口腔内状態に応じた製作方法を生理学や力学的な知識を駆使して設計、製作しなければなりません。義歯を単に製作するだけでなく、それらのための十分な生物学的理論と理工学的理論の知識と技術を習得して下さい。 進捗状況により、実習内容を変更する場合があります。 私語および携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用や途中入退室は慎むこと。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>"melly"を利用して質問、連絡をしてください。</p>

局部床義歯学実習III

更新日：2024/09/21 10:49:48

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	317060	授業コード	4K101
担当教員	錦織 良, 三宅 晃子, 西崎 宏, 岡田 香織						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31706		E1◎	歯科医師, 歯科技工士

授業概要

歯科技工士が局部床義歯（部分床義歯）を製作するときに必要な基礎知識と態度とを模型実習を主として体験、実践する科目である。歯列が一部欠損している顎に対して局部床義歯を用いることで、機能・形態および審美性を回復、改善し、全身の健康増進に寄与することができる。その局部床義歯の製作に必要な生理学的知識と力学的な知識や局部床義歯の設計、製作のための生物学的理論と理工学的理論の知識と技術を習得する。本実習では、ノンメタルクラスプデンチャー、マグネットデンチャー、コーヌステレスコープデンチャーの製作実習を行い、製作した各義歯の特徴についてグループワークを行う。

到達目標

1	マグネットデンチャーの製作ができる。
2	コーヌステレスコープデンチャーの製作ができる。
3	ノンメタルクラスプデンチャーの製作ができる。
4	マグネットデンチャー、コーヌステレスコープデンチャー、ノンメタルクラスプデンチャーの特徴について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			30	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】 ノンメタルクラスプデンチャーの製作についてのオリエンテーション ・ノンメタルクラスプデンチャーの製作の概要の説明 ・ノンメタルクラスプデンチャーの原理と構造の理解 ・模型の製作
2	【実習】 マグネットアタッチメントを用いた義歯についてのオリエンテーション ・マグネットアタッチメントを用いた義歯の製作の概要の説明 ・マグネットデンチャーの原理と構造の理解 ・模型の製作
3	【実習】 コーヌステレスコープを用いた義歯についてのオリエンテーション ・コーヌステレスコープを用いた義歯の製作の概要の説明 ・コーヌステレスコープを用いた義歯の原理と構造の理解 ・模型の製作
4	【実習】 各実習課題に用いる模型作りと咬合器装着 ・模型の製作 ・咬合器装着
5	【実習】 ノンメタルクラスプデンチャーの製作① ・実習No. 5-16と実習No. 17-27とは2つのグループに分かれて交互に行う。 ・作業用模型の製作
6	【実習】 ノンメタルクラスプデンチャーの製作② ・サベイング
7	【実習】 ノンメタルクラスプデンチャーの製作③ ・設計とレストのパターン製作
8	【実習】 ノンメタルクラスプデンチャーの製作④ ・レストの鑄造研磨
9	【実習】 ノンメタルクラスプデンチャーの製作⑤ ・PEEKのフレームワークの調整 ・人工歯排列
10	【実習】 ノンメタルクラスプデンチャーの製作⑥ ・歯肉形成
11	【実習】 ノンメタルクラスプデンチャーの製作⑦ ・埋没
12	【実習】 ノンメタルクラスプデンチャーの製作⑧ ・重合

13	【実習】 ノンメタルクラスデンチャーの製作⑨ ・研磨
14	【実習】 ノンメタルクラスデンチャーの製作⑩ ・研磨
15	【実習】 マグネットデンチャーの製作① ・5-16と17-28とは、2つのグループに分かれて交互に行う。 ・作業用模型の製作 ・ワックスパターンへのキーパー取り付け ・埋没
16	【実習】 マグネットデンチャーの製作② ・根面板の鑄造、研磨
17	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作① ・5-16と17-28は2つのグループに分かれて交互に行う。 ・作業用模型の製作
18	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作② ・作業用模型の製作
19	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作③ ・咬合採得 ・咬合器装着
20	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作④ ・内冠ワックスパターンの製作
21	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作⑤ ・埋没
22	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作⑥ ・鑄造
23	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作⑦ ・内冠の仕上げ
24	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作⑧ ・外冠ワックスパターン製作
25	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作⑨ ・埋没
26	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作⑩ ・鑄造
27	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作⑪ ・研磨
28	【実習】 コーヌステレスコープデンチャーの製作⑫ ・硬質レジン前装
29	【GW】 マグネットデンチャー、コーヌステレスコープデンチャー、ノンメタルクラスデンチャーの特徴についてグループ討論（グループワーク） ・完成した各自の作品を参考に、マグネットデンチャー、コーヌステレスコープデンチャー、ノンメタルクラスデンチャーの特徴についてグループ討論を行う。
30	【GW】 マグネットデンチャー、コーヌステレスコープデンチャー、ノンメタルクラスデンチャーの特徴についてグループ討論（グループワーク） ・完成した各自の作品を参考に、マグネットデンチャー、コーヌステレスコープデンチャー、ノンメタルクラスデンチャーの特徴についてグループ討論を行う。

成績評価の方法

実習作品と実習発表を含むレポートで総合的に評価する。
レポートは全体コメントを行いフィードバックする。
評価の比率は、実習作品70%、発表を含むレポート30%とする。

教科書

・「最新歯科技士教本 有床義歯技工学」全国歯科技士教育協議会 (医歯薬出版) ISBN 978-4-263-43165-8
磁性アタッチメントの項目、コーヌステレスコープ義歯の項目、ノンメタルクラスデンチャーの項目は最低限勉強してください。特にノンメタルクラスデンチャーの材料はBIOTONEを使用する予定ですので、教科書以外の情報を各自で物性や研磨方法を下調べすることでより有意義な実習が期待できます。
・実習前、実習中に適宜、資料を配布します。

授業外学修（予習・復習）

グループ発表を行う予定です。
技工操作において注意すべき製作法の検討を事前に個々で調べ学習後、グループで意見を出し合ってまとめて発表してもらいます。

自宅学習等として、実習内容と必要な器材の性質や使用方法について事前に理解するよう少なくとも継続して20-120分程度予習(必要に応じて復習)してください。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 「ノンメタルクラスデンチャー 長く使える設計の原則からメンテナンスまで」 谷田部優 (クインテッセンス出版) 2015年 ISBN 9784781204376 「Q&Aでわかるノンメタルクラスデンチャー できること、できないこと」 大久保力廣 編著 (ヒョーロン) 2019年 ISBN 9784864320498
------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・「マグネットデンチャーの臨床術式」 水谷 紘、中尾 勝彦（クインテッセンス出版）2006年 ISBN 9784874179154 ・「磁性アタッチメントを用いた部分床義歯」 水谷 紘、石幡伸雄、中村和夫著（クインテッセンス出版）1994年 ISBN 9784874174548 ・「ケルバーのコーヌスクローネ」 カールハイツ・ケルバー、河野正司（医歯薬出版）1990年 ISBN 9784263403617 <p>・下記の書籍を参考に本実習のレポートを作成するとよりまとまったレポートが作成できると考えています。(再記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピーと言われないレポートの書き方教室：3つのステップ：コピーから正しい引用へ 山口裕之著。-- 新曜社, 2013.7. ・大学生のための「論文」執筆の手引き卒論・レポート・演習発表の乗り切り方/-/高崎 みどり/秀和システム/2010/978-4-7980-2448-6 ・図解でわかる!理工系のためのよい文章の書き方：論文・レポートを自力で書けるようになる方法 福地健太郎, 園山隆輔著。-- 翔泳社, 2019.2. <BB10016035> ・レポート・論文の書き方入門 河野哲也著。-- 第4版。-- 慶應義塾大学出版会, 2018.7. など
<p>受講生への要望等</p>	<p>【指定準備物】 赤と青の2色(三菱鉛筆 MITSUBISHI PENCIL K772 772[朱藍 5 :5 六角])JAN 4902778981207 (例:ヨドバシカメラで購入可能(2024年9月現在)) 例 https://www.yodobashi.com/?word=MITSUBISHI+PENCIL+K772 手動式の鉛筆削り等100円程度も合わせて購入しておくともよいと思います。(例:ヨドバシカメラで購入可能(2024年9月現在)) 例 https://www.yodobashi.com/product/100000001006045338/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本実習科目ではレポートの盗用を禁止します。 →書籍やWebページなど他人の文章をレポートとして提出することを禁止します。また、後述する出典の明示など引用要件を満たさない限り、たとえ一部であっても提出することはできません。上記に該当するレポートの提出は、試験における不正行為（他の受験者の答案や試験会場への持ち込みが禁止されている資料をコピーすること）に相当すると見なし、不正行為と見なします。本科目のレポートの点数を0点とすることがあります。 <p>引用要件(出典の明示) →レポートの作成において引用した文章・文献は全て引用元や改変した場合はその旨を示してレポートの中に入れてください。(参考図書のレポートや論文等の引用の書き方に準じる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本実習科目では学生のCHAT GPT等の生成AIの利用の禁止します。 →教員は学生から提出されたレポートで不自然と思われる箇所かつ、引用がない部分について生成AIに問い合わせることがあります。その結果「私(AI)が作りました」と表示された場合は、上記のレポートの盗用と見なすことがあります。その場合は、本科目のレポートの点数を0点とすることがあります。仮にAIが作っていてもそのように表示が出ることもあるかもしれないので、「引用文や文献等を用いるときは必ず引用元を明示」(再記載)してください。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の進捗状況によっては開始日時を含む実習時間の延長や内容の変更があるかもしれません。 ・実習の進捗状況によっては実習順序等の変更を行うことがあるかもしれません。
<p>授業の質問対応、連絡先</p>	<p>授業後もしくは、melly 等を利用して質問、連絡をしてください。</p>

クラウンブリッジ技工学実習Ⅰ

更新日：2024/11/28 14:29:25

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	317070	授業コード	2K303
担当教員	藤井 孝政, 藤田 暁, 首藤 崇裕						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	3
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31707		1○ E1◎	歯科医師

授業概要

クラウン・ブリッジを製作するにあたって、それらに必要な基本的な知識を獲得し、必要な歯科技工操作の手順を理解する。使用する器具・機械の名称や性質を理解したうえで、それらを扱うことができるようにする。各ステップの臨床とのつながり、実施目的や意義、使用材料、注意点などをふまえ、技術を習得する。

到達目標

1	歯冠修復装置の製作に必要な各種作業用模型を製作することができる。
2	咬合器へ適切に装着できる。
3	印象採得に必要な個歯トレーを製作できる。
4	印象採得に必要な個人トレーを製作できる。
5	プロビジョナルレストレーションを製作できる。
6	全部金属冠を製作できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			45	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】ガイダンス、前歯部個歯トレーの製作 【担当】藤井、首藤、藤田 1コマ ガイダンス 2～3コマ 1) 個歯トレーに関するミニレクチャー 2) 研究用模型の製作 4～6コマ 個歯トレーの製作
2	【実習】臼歯部個歯トレーの製作 【担当】藤井、首藤、藤田 7コマ 個歯トレーに関するミニレクチャー 8～9コマ 個歯トレーの製作 ミニマム：上顎歯の個歯トレーを製作する。 ミニマムはクリアし、余裕があれば、他の部位を製作する。
3	【実習】個人トレーの製作 【担当】藤井、首藤、藤田 10コマ 個人トレーに関するミニレクチャー 11～13コマ 個人トレーの製作 ミニマム：下顎用個人トレーを製作する。 ミニマムはクリアし、余裕があれば、上顎用の個人トレーを製作する。 14コマ 個歯トレー、個人トレーを用いた印象採得のデモンストレーション 咬合採得のデモンストレーション
4	【実習】中切歯プロビジョナルレストレーションの製作 【担当】藤井、首藤、藤田 15コマ プロビジョナルレストレーションに関するミニレクチャー 16～18コマ プロビジョナルレストレーションの製作

5	<p>【実習】大白歯プロビジョナルレストレーションの製作 【担当】藤井、首藤、藤田</p> <p>19コマ プロビジョナルレストレーションに関するミニレクチャー</p> <p>20～22コマ プロビジョナルレストレーションの製作</p> <p>ミニマム：上顎中切歯、上顎大白歯 ミニマムはクリアし、余裕があれば、上顎犬歯、下顎小臼歯、下顎大白歯、上顎両側中切歯連続冠を製作する。</p>
6	<p>【実習】大白歯全部金属冠の製作 【担当】藤井、首藤、藤田</p> <p>23コマ 全部金属冠に関するミニレクチャー</p> <p>24～27コマ 作業用模型の製作</p> <p>28～30コマ 咬合器装着、トリミング</p> <p>31～38コマ ワックスアップ</p> <p>39～40コマ 埋没、鋳造</p> <p>41～45コマ 1) 作業用模型での調整 2) 研磨、完成</p>

成績評価の方法

- ・実習課題の作品評価を行い、全試験成績の60%に割り当てる。
- ・実習課題に対しては、ステップごとに確認、指導を行い、完成時にレポートを含め解説と講評を行う。
- ・前期実習試験および後期実習試験の作品評価を行い、全試験成績の40%に割り当てる。
- ・前期実習試験を実施後、担当教員による客観的評価を行い、解説と講評を行う。
- ・必要に応じて筆記試験、口頭試問を実施し、解説を行う。
- ・再試験：作品評価を行い、60点以上獲得した学生を合格とする。

教科書

- ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 第2版 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2024 978-4-263-43175-7
- ・最新歯科技工士教本 歯科技工実習 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017 978-4-263-43171-9

授業外学修（予習・復習）

- ・クラウンブリッジ技工は歯科技工の根幹をなす科目で、学修すべき内容は広範囲にわたる。
- ・次回行うべき技工内容は毎回指示するので、それについて、内容のチェック、留意すべき事項、注意すべき事項などについて、教本、雑誌や文献などで調べ、自分なりに理解し、ノートにまとめ、整理するなど、30分以上かけて予習を行うこと。
- ・実習終了後は、実習中に得た知識や技能をノートに30分以上かけてまとめ復習を行うこと。不明な点は持ち越さず、次回に確認するようにすること。

その他

参考資料	知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。
受講生への要望等	器具・機械の名称、理工学性質、特徴、取扱い方法など、予習（約30分）と復習（約30分）を必ず行うこと。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

クラウンブリッジ技工学実習Ⅱ

更新日：2024/11/28 14:30:08

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	317080	授業コード	3K302
担当教員	藤井 孝政, 首藤 崇裕, 藤田 暁						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	4
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31708		1○ E1◎	歯科医師

授業概要

クラウン・ブリッジを製作するにあたって、それらに必要な基本的な知識を獲得し、必要な歯科技工操作の手順を理解する。使用する器具・機械の名称や性質を理解したうえで、それらを扱うことができるようにする。各ステップの臨床とのつながり、実施目的や意義、使用材料、注意点などをふまえ、技術を習得する。

本実習では、審美補綴を代表する基本的な補綴装置として、レジン前装冠、陶材焼付冠、ハイブリッドレジン冠、および支台歯を適切な形態に回復する各種支台築造体の製作を行う。

到達目標

1	レジン前装冠を製作できる。
2	陶材焼付冠を製作できる。
3	ハイブリッドレジン冠を製作できる。
4	間接法による各種支台築造体が製作できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			60	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】課題2 レジン前装冠（上顎右側中切歯、第一小白歯）の製作 【担当】藤井、首藤、藤田
	1コマ
	1) ガイダンス
	2) レジン前装冠に関するミニレクチャー
	2～3コマ
	作業用模型の製作
	4～5コマ
	咬合器の装着
	6～10コマ
	1) 前装冠のワックスアップに関するミニレクチャー
	2) ワックスアップ
	11～12コマ
	1) 窓開け
	2) 維持装置の付与
	13～15コマ
	1) 埋没・鋳造
	2) 調整・研磨
16～19コマ	
レジンの築盛と重合	
1) レジン築盛に関するミニレクチャー	
2) メタルコーピングの前処理	
3) オペーク色	
4) サービカル色	
5) デンティン色	
6) エナメル色	
20～21コマ	
1) 形態修正	
2) 研磨・試適	

2	<p>【実習】課題3 陶材焼付冠（上顎右側中切歯、第一小白歯）の製作 【担当】藤井、首藤、藤田</p> <p>22コマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) 陶材焼付冠に関するミニレクチャー 3) 作業用模型の製作、咬合器の装着 <p>23～27コマ</p> <p>ワックスアップ</p> <p>28～29コマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 窓開け 2) スプルー線の植立、ベントの付与 <p>30～32コマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 埋没・鋳造 2) 調整・研磨 <p>33～38コマ</p> <p>陶材の築盛</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 陶材築盛に関するミニレクチャー 2) メタルコーピングの前処理 3) オペーク色 4) サービカル色 5) デンティン色 6) エナメル色 <p>39～40コマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 形態修正 2) 研磨・試適
3	<p>【実習】ハイブリッドレジン冠（上顎右側第一小白歯）の製作 【担当】藤井、首藤、藤田</p> <p>41コマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) ミニレクチャー <p>42～43コマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 3) 作業用模型の製作 <p>44コマ</p> <p>咬合器の装着</p> <p>45～49コマ</p> <p>ハイブリッドレジン築盛</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ハイブリッドレジン築盛に関するミニレクチャー 2) 前処理 3) オペーク色 4) サービカル色 5) デンティン色 6) エナメル色 <p>50コマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 形態修正 2) 研磨 <p>51コマ</p> <p>ファントムへの試適、調整</p> <p>52コマ</p> <p>CAD/CAMとの比較、レポート</p>
4	<p>【実習】間接法による各種支台築造体の製作 【担当】藤井、首藤、藤田</p> <p>53コマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) 支台築造に関するミニレクチャー 3) 臼歯部における鋳造体による支台築造（分割築造） <p>54～56コマ</p> <p>前歯部における鋳造体による支台築造</p> <p>57～60コマ</p> <p>小白歯部におけるファイバーポストを用いたレジン支台築造</p>

成績評価の方法

- ・実習課題の作品評価を行い、全試験成績の60%に割り当てる。
- ・実習課題に対しては、ステップごとに確認、指導を行い、完成時にレポートを含め解説と講評を行う。
- ・前期実習試験および後期実習試験の作品評価を行い、全試験成績の40%に割り当てる。
- ・前期実習試験を実施後、担当教員による客観的評価を行い、解説と講評を行う。
- ・必要に応じて筆記試験、口頭試験を実施し、解説を行う。
- ・再試験：作品評価を行い、60点以上獲得した学生を合格とする。

教科書

- ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 第2版 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2024 978-4-263-43175-7
- ・最新歯科技工士教本 歯科技工実習 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017 978-4-263-43171-9

授業外学修（予習・復習）

- ・クラウンブリッジ技工は歯科技工の根幹をなす科目で、学修すべき内容は広範囲にわたる。材料やテクニックは、日進月歩なので、各種雑誌などを閲覧し、各自で情報の整理を行うこと。

- ・次回行うべき技工内容は毎回指示するので、それについて、内容のチェック、留意すべき事項、注意すべき事項などについて、教本、雑誌や文献などで調べ、

自分なりに理解し、ノートにまとめ、整理するなど、30分以上かけて予習を行うこと。

・実習終了後は、実習中に得た知識や技能をノートに30分以上かけてまとめ復習を行うこと。不明な点は持ち越さず、次回に確認するようにすること。

その他

参考資料	知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。
受講生への要望等	器具・機械の名称、理工学性質、特徴、取扱い方法など、予習（約30分）と復習（約30分）を必ず行うこと。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

クラウンブリッジ技工学実習Ⅲ

更新日：2024/10/07 10:17:07

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	317090	授業コード	4K102
担当教員	藤井 孝政, 錦織 良, 藤田 暁, 中井 知己						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31709		1○ E1◎	歯科医師

授業概要

クラウン・ブリッジを製作するにあたって、それらに必要な基本的な知識を獲得し、必要な歯科技工操作の手順を理解する。使用する器具・機械の名称や性質を理解したうえで、それらを扱うことができるようにする。各ステップの臨床とのつながり、実施目的や意義、使用材料、注意点などをふまえ、技術を習得する。

本実習では、少数歯欠損に対する基本的な補綴装置として、固定性ブリッジを製作する。ろう付け法を用いた固定性連結を行う。

到達目標

1	ブリッジの臨床意義が理解できる。
2	ブリッジの種類を説明できる。
3	ブリッジの構成要素について説明できる。
4	ブリッジの製作手順を説明できる。
5	ブリッジの連結方法と特徴を説明できる。
6	ブリッジ製作のための精密な作業模型が製作できる。
7	ブリッジのワックスアップ、鑄造、ろう付けができる。
8	ブリッジの模型上での調整、研磨ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			30	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】ガイダンス、ブリッジの作業用模型の製作 【担当】藤井、錦織、藤田 指定された部位の作業用模型を製作する。ブリッジの製作において、支台歯間の狂いは致命的になるので、慎重な歯型分割が必要である。 1 コマ 1) ガイダンス 2) ブリッジ作業用模型の製作 2 コマ ブリッジ作業用模型の製作
2	【実習】作業用模型の咬合器装着 【担当】藤井、錦織、藤田 中心咬合位（咬頭嵌合位）で、適切に咬合器に装着する。 3～4 コマ 作業用模型の咬合器装着
3	【実習】ブリッジ構成要素のワックスアップ 【担当】藤井、錦織、藤田 各支台装置の内面や歯頸部付近における適合性、形態的、機能的に留意した咬合面、隣接面形態を付与すること。 5～6 コマ 下顎右側第二小臼歯の支台装置のワックスアップ 7～8 コマ 下顎右側第二大臼歯の支台装置のワックスアップ 9～10 コマ 下顎右側第一大臼歯のポンティックのワックスアップ
4	【実習】スプルー線の植立、ベントの付与、埋没 【担当】藤井、錦織、藤田 ワックスの取り扱い方で、変形や三次元的位置関係の狂いを引き起こすので、細心の注意が必要である。溶融した金属が適切に流れるように適切なスプルー、ベントを付与する。 11～12 コマ スプルー線の植立、エアベントの付与、埋没
5	【実習】ブリッジ構成要素の鑄造、研磨、調整 【担当】藤井、錦織、藤田 慎重かつ適切な操作を心がける。 13～15 コマ 鑄造、研磨、調整

6	<p>【実習】ろう付けの準備とろう付け 【担当】藤井、錦織、藤田 内面、咬合面、隣接面の適合を検査し、調整、修正を行う。 ろう付け面の適切な形態、間隙を確保する。 ろう付け用の模型に関して、ろう付け操作を考慮して製作する。 16～17コマ ろう付けの準備 18～19コマ ろう付け</p>
7	<p>【実習】金属熱処理、研磨 【担当】藤井、錦織、藤田 ろう付けを行ったあと、熱処理を適切に行う。再度研磨、調整を行う。 20～21コマ 1) ろう付けのデモンストレーション 2) ろう付け操作 22～23コマ ろう付け後、金属熱処理、研磨</p>
8	<p>8 【実習】作業用模型上での調整 【担当】藤井、錦織、藤田 ろう付けが適切に行われれば、作業用模型に復位できるが、調整が必要なことも少なくない。咬合接触や欠損顎堤粘膜との接触状態、隣接面関係なども再度、確認し、必要に応じて修正を行う。 24～26コマ 作業用模型上での調整</p>
9	<p>【実習】ポンティック類側面の形態修正 【担当】藤井、錦織、藤田 ポンティック類側面をレジンで回復することもあるので、形態付与、修正を行う。 27～28コマ ポンティック類側面の形態修正</p>
10	<p>【実習】最終確認 【担当】藤井、錦織、藤田 各種チェック項目について、各自で確実にチェックを行う。 29～30コマ 最終確認</p>

成績評価の方法

- ・実習課題の作品評価を行い、全試験成績の60%に割り当てる。
- ・実習課題に対しては、ステップごとに確認、指導を行い完成時に、レポートを含め解説と講評を行う。
- ・実習試験の作品評価を行い、全試験成績の40%に割り当てる。
- ・実習試験を実施後、担当教員による客観的評価、フィードバックを行う。
- ・必要に応じて筆記試験、口頭試問を行う場合がある。
- ・再試験：作品評価を行い、60点以上獲得した学生を合格とする。

教科書

- ・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017 978-4-263-43166-5
- ・最新歯科技工士教本 歯科技工実習 全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版 2017 978-4-263-43171-9

授業外学修（予習・復習）

- ・ブリッジの製作技工は歯科技工の根幹をなす科目で、学修すべき内容は広範囲にわたる。材料やテクニックは、日進月歩なので、各種雑誌などを閲覧し、各自で情報の整理を行うこと。
- ・次回行うべき技工内容は毎回指示するので、それについて、内容のチェック、留意すべき事項、注意すべき事項などについて、教本、雑誌や文献などで調べ、自分なりに理解し、ノートにまとめ、整理するなど、30分以上かけて予習を行うこと。
- ・実習終了後は、実習中に得た知識や技能をノートに30分以上かけてまとめ復習を行うこと。不明な点は持ち越さず、次回に確認するようにすること。
- ・セミナーや研修会、デンタルショーなどに積極的に参加すること。

その他

参考資料	知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。
受講生への要望等	自主的な学修姿勢を心がけて下さい。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール (taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp) で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

口腔インプラント技工学実習

更新日：2024/11/28 14:52:28

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	317100	授業コード	3K303
担当教員	樋口 鎮央, 錦織 良, 首藤 崇裕, 黄 育清						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31710		E1◎	歯科技工士

授業概要

学生の皆さんが実習を通じて口腔インプラント修復物を製作するための各種アバットメントの形成と上部構造の設計製作を行なうことにより、インプラント治療の基礎および生体に調和した修復物を製作する基本的な知識と技術力を養う。また、種々の上部構造に対応するための各種アバットメントの特徴および使用目的と使用方法を理解する。

到達目標

1	原型模型を用いてオープントレー、クローズドトレイを製作し、それぞれの印象採得を行い精度の高い作業用模型を製作できる。
2	プロビジョナルクラウンを踏まえた厚みを確保した既成テンポラリーアバットメントの調整ができる。
3	清掃性を考慮した歯冠形態を製作できるようにガム模型の調整ができる。
4	精度の高い咬合器装着技術の習得およびプロビジョナルクラウンの製作ができる。
5	オールセラミックスクラウンの最終形態を踏まえた厚みを確保した既成チタンアバットメントの調整ができる。
6	最終修復物の具備条件を把握したe.maxクラウンの製作ができる。
7	e.maxクラウンのステイニング技術にて色調再現ができる。
8	天然歯のような形態修正と質感を表現し、清掃性を考慮した仕上げができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			30	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】インプラント用作業用模型製作 4コマ 原型模型を用いてオープントレー、クローズドトレイを製作し、それぞれの印象採得を行う。そこから、精度の高い作業用模型を製作するための注意点を把握し、それぞれの作業模型を製作する技術を習得。
2	【実習】テンポラリーアバットメント形成 2コマ プロビジョナルクラウンの最終形態を踏まえた咬合高径を確保した既成テンポラリーアバットメントの形成技術および知識を習得。
3	【実習】インプラント模型用ガム模型の調整 2コマ 清掃性を考慮した歯冠形態を製作できるようにガム模型の調整技術の習得。
4	【実習】咬合器装着・プロビジョナルクラウンを製作 8コマ 咬合高径を再現するための精度の高い咬合器装着技術の習得。 テンポラリーアバットメントを用いてプロビジョナルクラウンを製作する。 最終修復物の具備条件を把握してプロビジョナルクラウン用歯冠形態の作製技術を習得。
5	【実習】チタンアバットメント形成 2コマ オールセラミックスクラウン作製の最終形態を踏まえた咬合高径を確保した既成アバットメントの形成技術および知識を習得。
6	【実習】e.maxクラウン製作 8コマ 最終修復物の具備条件を把握したe.maxクラウンの製作知識と技術の習得。
7	【実習】ステイニング・グレース焼成 2コマ e.maxクラウンのステイニング技術の知識、技術の習得。 ステイニング技術の習得とポーセレンファーンエスの温度コントロール技術の習得。
8	【実習】形態修正・仕上げ 2コマ 天然歯のような形態修正と質感を表現するための仕上げを得るための技術を習得。 ポーセレンファーンエスの温度コントロール技術および質感と清掃性を考慮した研磨技術の習得。

成績評価の方法

実習による各製作作品90%、実習態度10%により総合的に評価を行う。

評価後、作品に関しては不合格者には補講時にコメントし、インプラントパーツ使用のため、原則大学にて保管。

教科書

- 最新歯科技工教本 歯冠修復技工学 第2版 全国歯科技工教育協議会 末瀬一彦ほか 医歯薬出版 2024年 ISBN978-4-263-43175-7
- 教科書 よくわかる口腔インプラント学 第4版 赤川安正ほか 医歯薬出版 2023年 ISBN978-4-263-45895-2

授業外学修（予習・復習）

実習予定表および実習帳を事前確認し、実習内容を十分把握しておくこと。
 事前の資料配布がある場合は20～30分は予習をしておくこと。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・CAD/CAMデンタルテクノロジー 日本歯科CAD/CAM学会、全国歯科技工士教育協議会 末瀬一彦 宮崎 隆 医歯薬出版 2012年 ISBN978-4-263-43349-2 C3047 ・歯科技工別冊「インプラントの技工」 市川哲雄 渡邊文彦 医歯薬出版 2004年 04264-05 ・若手歯科医師・技工士のための インプラント補綴・技工 超入門 十河厚志 クインテッセンス出版 2010年 ISBN-13：9784781201283 ・歯科衛生士ベーシックスタンダードインプラント 末瀬一彦ほか 医歯薬出版 2015年 ISBN978-4-263-42206-9 ・良くわかる口腔インプラント学 赤川安正ほか 医歯薬出版 2017年 ISBN978-4-263-45800-6 ・これなら安心インプラント治療 伊藤 輝夫 ゼニス出版 2004年 ISBN9784901360036
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の進捗状況によっては実習時間の延長がある。 ・器材、日程の関係で実習順序の変更を行うことがある。 ・配布資料は全てファイリングしておくこと。 ・インプラントは専門用語が多いのでそれぞれ、教科書を再確認して事前の予習をしておくこと。
授業の質問対応、連絡先	<p>Mellyにて質疑応答 別途、必要であれば研究室まで。</p>

審美歯科技工学実習

更新日：2024/11/28 14:50:41

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	317110	授業コード	3K203
担当教員	樋口 鎮央, 首藤 崇裕, 藤田 暁, 中井 知己						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31711		E1◎	歯科技工士

授業概要

学生の皆さんが実習を通じて審美歯科修復物に用いられるジルコニアモノリシッククラウンおよび、ジルコニアセラミックスフレームが具備すべき理工学的条件を理解し、フレームを製作する知識と技術力を養う。

そして、歯科用セラミックス材料の特性と築盛原理、色調再現、築盛理論を理解した上で歯冠用セラミックスを用いた築盛工程を実習し、天然歯の色調再現や形態再現、質感再現技術を習得する。

到達目標

1	審美修復における概要を説明できる。
2	高精度な修復物を作製するための精密な作業模型を製作できる。
3	サポートエリア・陶材築盛量を考慮したフレーム設計ができる。
4	理工学的欠陥のないモノリシックジルコニアクラウンおよびジルコニアフレームの製作ができる。
5	モノリシックジルコニアクラウンおよびジルコニアフレームを支歯歯に正確に適合できる。
6	測色器およびシェードガイドの仕組みを理解してシェードテイキング・口腔内写真撮影ができる。
7	モノリシックジルコニアクラウンの研磨法およびステイニングによる色調再現ができる。
8	形態修正と艶出しにより天然歯の持つ質感を再現できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			15	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習】作業用模型製作 2コマ 精度の高い作業模型を製作でき知識技術を習得。 精度の高い咬合器装着ができるように知識技術を習得。 石膏の膨張の状態を習得。
2	【実習】CADによるデザイン 1コマ 審美性の高い修復物を作るCADデザインを習得。 ポーセレンの特徴を理解したジルコニアフレーム作製と注意点を習得。
3	【実習】CAMによる切削加工 1コマ 適合性の高い加工物を製作するための注意点を習得。 CAD設計によるパラメーター設定の習得および、加工時のエラー防止のための注意点を習得。
4	【実習】ジルコニア焼成 2コマ 精度が高く、高品質な安定した加工物を得るための注意点を習得。 ジルコニア最終焼成ファーネスの使用法の習得を行う。
5	【実習】モノリシックジルコニアクラウンおよびジルコニアフレームの調整 4コマ モノリシックジルコニアクラウンの調整技術の習得。 ポーセレン築盛に必要なフレーム製作の注意点を習得。 ジルコニアフレーム製作の注意点を習得。 使用ポイント（研削材）の選択と注意点を習得。 ポーセレンファーネスの取扱方の把握とそれぞれの熱処理および焼成方法の違いを習得。
6	【実習】シェードテイキング、口腔内写真撮影 1コマ シェードガイドの構造とメーカー毎によるシェードガイドの違いと特徴を習得。 口腔内撮影用カメラの機能および取り扱い方を習得。 各自がシェードテイキングを行えるように選択の仕方を習得。 測色器の取り扱い方と目視との違いを把握。
7	【実習】ポーセレン築盛・焼成 1コマ 各種ポーセレンの特徴および、注意点を把握し、築盛方法を習得。 ポーセレンファーネスのコントロール方法を習得。
8	【実習】ジルコニアクラウンのステイニング調整 1コマ モノリシックジルコニアクラウン（フルジルコニア）の最終焼成前における、ステイニング知識、技術の習得。

9	<p>【実習】形態修正・艶出し仕上げ 2コマ</p> <p>臨在歯に調和の取れた審美的修復物の形態の特徴および最終色調再現知識と技術習得。</p> <p>臨在歯の質感に調和の取れた表面性状の付与と艶出し仕上げの知識、技術の習得。</p>
---	--

成績評価の方法

実習による各製作作品90%、実習態度10%により総合的に評価を行う。
評価後、作品に関しては不合格者には補講時にコメントし、原則大学にて保管。

教科書

最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 第2版 全国歯科技工士教育協議会編集
末瀬一彦ほか 医歯薬出版 2024年 ISBN978-4-263-43175-7

授業外学修（予習・復習）

実習予定表および実習帳を事前に30分は確認し、十分実習内容を把握しておく。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・CAD/CAMテクノロジー/日本歯科CAD/ CAM学会、全国歯科技工士教育協議会監修 末瀬一彦 宮崎 隆 医歯薬出版 2012年 ISBN978-4-263-43349-2 C3047 ・ネイチャーズ・モロフォロジー クインテッセンス出版 片岡繁夫 西村好美 ISBN978-4-87417-420-3 ・メタルセラミックス築盛の基礎 カラーアトラス 山本真 クインテッセンス出版 1989年 ISBN9784874172803 ・最新CAD/CAMレストレーション 補綴臨床別冊 三浦宏之 宮崎隆 医歯薬出版 2008年 08124-11 ・審美歯科技工の探求 小田中康裕 医歯薬出版 2017年 04264-08 ・上顎前歯部天然歯を光学的構造的に観察した珠玉の写真集 山本尚吾 医歯薬出版 2017年 ISBN978-4-263-46213-3
受講生への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の進捗によっては実習時間の延長もある。器材、日程により実習順序等の変更を行うことがある。 ・配布資料は全てファイリングしておくこと。 ・事前に資料配布等があった場合は十分内容を予習しておくこと。 ・製作物が多いので前回出席すること。
授業の質問対応、連絡先	<p>Mellyにて質疑応答 別途、必要であれば研究室まで。</p>

口腔工学

更新日：2024/09/21 15:41:10

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	317120	授業コード	4K103
担当教員	錦織 良						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31712		4◎ E3○	歯科技工士

授業概要

学生が歯科技工に関連する材料、機械工学、経営工学、安全管理・IT技術に関連するテーマに触れ、自らさらに学習をすることによって、顎口腔機能の修復のみならず、全身の健康増進に貢献するための専門的な知識を補完し、口腔工学に関連する問題解決能力を養うための学習を行う。

到達目標

1	歯科用金属材料に関する特性の説明ができる。
2	歯科用高分子材料に関する特性の説明ができる。
3	歯科用無機材料に関する特性の説明ができる。
4	生体材料に関して基本的な内容が説明できる。
5	積層造型法に関する概要が説明できる。
6	関連工学に関して概要説明ができる。
7	調べ学習を含む自己学習ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15	0	0	0
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0	0	0

授業計画

1	【面接授業】口腔工学概論・授業の進め方 ・科目の概要の説明について ・口腔工学の概論について
2	【面接授業】金属材料について ・金属材料の歴史・開発・現在の到達点について ・金属材料の全般と特性、成形・加工について ・金属組織について
3	【面接授業】チタンの歯科への応用について ・チタンの特性について ・チタンの歯科への応用について ・チタンの歯科への応用について論文紹介について
4	【面接授業】無機材料について ・無機材料全般と特性について ・歯科における無機材料の応用について
5	【面接授業】鋳造床用リン酸塩系埋没材について ・金属床用の急速加熱型埋没材について
6	【面接授業】高分子材料について ・高分子材料全般と特性について ・複合材料について
7	【面接授業】組織工学と再生医療材料について ・生体材料の種類と用途について ・生体安全性について ・材料の有害作用 ・生物学的試験法

8	<p>【面接授業】 CAD/CAMシステムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CAD/CAMシステムの現状 <ul style="list-style-type: none"> CAD/CAM 軸加工 様々な加工機 ・ 工業分野での状況 <ul style="list-style-type: none"> 工業分野における関連システム 国内において流通している歯科用CAD/CAMシステム ・ NC <ul style="list-style-type: none"> NC開発史 NC機械の構造と構成 NCデータ システム間のデータ交換 ・ 歯科用加工機 <ul style="list-style-type: none"> CAD/CAM用ミリングバー ミリングバーのコーティング CAD/CAMの管理と運用 ・ ライセンス管理の概要 <ul style="list-style-type: none"> ドングル認証とネットワーク認証
9	<p>【面接授業】 CAD/CAM 材料と特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CAD/CAM材料の分類 <ul style="list-style-type: none"> 高分子系系材料 (PMMA, Wax) 金属系材料 (Co-Cr, Ti) 無機系材料 (ジルコニア) ジルコニアディスクの製法 ・ ジルコニアの研磨 <ul style="list-style-type: none"> ジルコニアの性質 ジルコニア用研削材 対合歯の摩耗 ・ ジルコニアの焼成 <ul style="list-style-type: none"> 焼成工程と電気炉 焼成後の機械的特性 焼成前に付着した汚染物質の影響
10	<p>【面接授業】 スキャナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三次元計測法 <ul style="list-style-type: none"> スキャナーの構成 ・ 形状モデル <ul style="list-style-type: none"> ボクセルモデル 多面体モデル ・ スキャナーのデータ <ul style="list-style-type: none"> データ形式 データ送信 データ共有 ・ 歯科用CAD/CAMへの応用例 <ul style="list-style-type: none"> インプラント治療への応用 CTとの連携応用 矯正への応用
11	<p>【面接授業】 積層造形について 樹脂材料装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積層造形 <ul style="list-style-type: none"> 積層造形装置の種類と概要 積層造形装置の積層原理 ・ 光積層造形装置の構成と関連ソフト <ul style="list-style-type: none"> 光造形装置の構成と周辺装置 光造形装置専用のスライサーソフト ・ 造形エラー <ul style="list-style-type: none"> 造形装置の課題 造形エラーと要因
12	<p>【面接授業】 積層造形について 金属材料装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積層造形装置の種類と概要 <ul style="list-style-type: none"> 積層造形装置の積層原理 金属粉末の製造法 造形プロセス
13	<p>【面接授業】 ゲストスピーカーによる最近のトピックスの紹介。</p> <p>ゲスト講演 計画中</p> <p>ゲスト講演との日程や内容が調整できない場合は日程の変更もしくは内容の変更として積層造形もしくは経営工学関連の内容を行います。</p>

14	<p>【面接授業】 関連工学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営工学の概要 <ul style="list-style-type: none"> 経営工学とは 経営資源 雇用形態 労働基準法 人材教育 OJT / OFF-JT ・ テーラーの科学的管理法 ・ 経営資源の有効活用の概要 <ul style="list-style-type: none"> 組織運営、PDCAと品質管理 ・ 安全管理について <ul style="list-style-type: none"> ドイツのマイスターが実践するクリーンリネス
15	<p>【面接授業】 関連工学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラボ内での様々な安全管理・注意 <ul style="list-style-type: none"> 回転装置、高圧ガス、圧縮空気、 電気、電気炉、真空ポンプ、室内の気圧差 換気、粉塵 ・ 労働安全衛生法と安全管理の概要 <ul style="list-style-type: none"> 有機溶剤 特定化学物質 ・ 危険物の取り扱いの概要 <ul style="list-style-type: none"> 危険物の種類 ・ SDS ・ ISO <ul style="list-style-type: none"> 様々なISOとピクトグラム ・ ITの活用の概要の概要 <ul style="list-style-type: none"> IoTと個人情報 情報漏洩の防止

成績評価の方法

- ・ 定期レポート50%、試験50%により総合的に評価します。
 - ・ なお、基準に達していないレポートはこちらから簡単なフィードバックをした上で再提出をしてもらいます。
 - ・ 定期レポートの課題内容はその都度指定します。
 - ・ 全ての提出物の提出を行うことが成績評価を行うための基本条件とします。故に、提出物の期日内提出がない場合は科目の成績評価を行いません。
- <<< ※提出物の期日内提出を厳守してください。 >>>

----- 重要事項 -----

- ・ レポート盗用の禁止について。

他者のレポート盗用は厳禁です。詳細は局部床義歯学実習Ⅲの「受講生への要望等」の該当項目を再度熟読し、理解実行してください。

教科書

- ・ 図解金属3D積層造形のきそ / 京極秀樹, 池庄司敏孝著 / 東京: 日刊工業新聞社, 2017.10 / ISBN 978-4526077555
- AM技術に関すること、分類と概要、粉末特性や粉末の製造方法、造形プロセスなどについて予習しておいてください。
- ・ 歯科理工学 / 最新歯科技工士教本 / 全国歯科技工士教育協議会 / 医歯薬出版株式会社 / 2021 / ISBN 978-4-263-43162-7
- 過去に習ったこと全般を復習 / 確認しておいてください。
- 他には特に教科書は指定していませんが、参考図書も重要です。

授業外学修（予習・復習）

【予習】 日ごろから関連する項目の情報に3-120分触れてください。

例えば日本語のネーチャー誌、科学系の雑誌などを大学の図書館や図書館のネット経由で読む。

【復習】 毎回の講義が終わったら、3-120分程度その日の単元をよく思い出しながら難しかった点や、関心を持ったことに関して、個人で調べましょう。

- ・ レポートの書き方について参考資料を参照してください。

その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〈改訂版〉大学生のための論文・レポートの論理的な書き方: 日本語でアカデミック・ライティング / - / 渡邊淳子著 / 研究社 / 2022 / ISBN 978-4-327-38488-3 ・ レポート・論文の書き方入門 / 河野哲也著 / 第4版 / 慶應義塾大学出版会 / 2018 / ISBN 978-4-766-42527-7 ・ コピペと言われないレポートの書き方教室: 3つのステップ: コピペから正しい引用へ / 山口裕之著 / 新曜社 / 2013 / ISBN 978-4788-51345-7 ・ 基礎から学ぶ楽しい学会発表・論文執筆 第2版 / - / 中村好一 / 医学書院 / 2021 / ISBN 978-4-260-04651-0 ・ 続・あなたのプレゼン誰も聞いてませんよ! / - / 渡部欣忍 / 株式会社 南江堂 / 2017 / ISBN 978-4-524-25128-5 ・ 基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー / - / 日本デジタル歯科学会・全国歯科技工士教育協議会 / 医歯薬出版株式会社 / 2017 / ISBN 978-4-263-43362-1 ・ スタンダード歯科理工学 / 第7版 / 中島裕, 宮崎隆, 米山隆之 / 株式会社 南江堂 / 2019 / ISBN 978-4-7624-5614-5 ・ 最新デジタルデンティストリー / 補綴臨床 ホテツ リンショウ 別冊 / 医歯薬出版株式会社 / 2018 / - ・ CAD/CAM マテリアル完全ガイドブック / - / 伴 清治 / 医歯薬出版株式会社 / 2017 / ISBN 978-4-2634-6420-5 ・ 歯科鑄造の話 / - / 井田一夫 / クインテッセンス出版 / 1987 / ISBN 978-4-8741-7223-0 ・ 続 歯科鑄造の話 / - / 井田一夫 / クインテッセンス出版 / 1988 / ISBN 978-4-8741-7238-4 ・ 臨床でいきるデンタルマテリアルズ&テクノロジー / 月刊歯科技工別冊 / 大畑秀穂 / 医歯薬出版株式会社 / 2006 / - ・ マテリアル選択・操作のハテナに答える 臨床技工材料学の本 / 月刊「歯科技工」別冊 / 中込敏夫, 伴清治 / 医歯薬出版株式会社 / 2012 / - ・ Phillips' science of dental materials 13e / 13th Edition / - / Saunders / 2021 / ISBN 978-0-3236-9755-2
------	---

	<p>・デジタル化時代のAdditive Manufacturingの基礎と応用／一般社団法人スマートプロセス学会 (著), 中野貴由 (編集),／リブ口社; 初版 (2022/1/26)／ISBN 978-4-9156-9737-1</p>
受講生への要望等	<p>口腔工学は口腔工学科の集大成的な科目の一つです。材料の基礎的分野(金属・高分子・無機・有機)を網羅しつつ歯科技工からの視点でデジタルデンティストリーの為の最新技術に関する事柄をダイジェストで学びます。また、将来ラボラトリーの経営者なるために必要とされる資質の一部として経営工学の初歩的なキーワードとその裾野の範囲として安全管理等に関してダイジェストで学びます。</p> <p>----- 遠隔授業 -----</p> <ul style="list-style-type: none">・文部科学省からの通達により、感染症対策を行いながら極力対面授業を行います。・講義の提供方法の変更 <p>基本的には面接授業です。しかし、大学の指示により、オンデマンドなどの遠隔授業に変更することがあります。</p> <p>----- 科目内容や時間の変更 -----</p> <ul style="list-style-type: none">・講義の進捗状況、提供方法等によっては開始日時を含む講義時間の延長や内容の変更があります。・講義の進捗状況や講義効果を考慮して講義順序等の変更を行うことがあります。・ゲストスピーカーの日程はもうけてありますが現時点では仮日程となっているため中止、もしくは対面講義に変更になることがあります。
授業の質問対応、連絡先	授業後もしくは、melly 等を利用して質問、連絡をしてください。

口腔工学病院臨床実習Ⅰ

更新日：2024/10/07 09:58:28

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	317130	授業コード	3K304
担当教員	藤田 暁, 柿本 和俊, 中塚 美智子, 樋口 鎮央, 橋本 正則, 藤井 孝政, 三宅 晃子, 錦織 良, 首藤 崇裕, 方 思棋, 中井 知己, 黄 育清, 東 宗秀, 小滝 真也, 西浦 亜紀, 永久 景那						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	8	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験		
31713			5○ E1◎ E4○		歯科技工士		

授業概要

歯科技工学に関して、第1学年と第2学年で学修した知識・カービングと学習模型上で習得した技能を、実際の臨床例の多種多様な印象や模型での作業に応用できる技能を習得することが重要である。

この科目では、大阪歯科大学附属病院において複製した実際の臨床的模型を用いて、実習課題を完成させることによって、応用できる技能を向上させる。また、附属病院歯科技工士の作業の見学によって自身の技能の向上とアイデンティティーの育成を図る。さらに、技工装置を用いた診療室での診療の見学によって、臨床に必要な技工関連知識とコミュニケーション能力を向上させる。学修の始めに目標を立て、グループ討議としてアクティブ・ラーニングを実施する。前期試験では、カービング・スケッチを行い実力の効果を図る。後期では、よりスピードが上がるように多くの補綴装置にチャレンジし、更なる実力を得る。

到達目標

1	技工指示書に基づいた口腔内装置を製作できる。
2	適切な製作方法を選択できる。
3	症例に応じた口腔内装置を製作できる。
4	歯科技工製作物の管理・マネジメントができる。
5	製作期日を順守できる。
6	完成した口腔内装置を評価できる。
7	技工室と診療室での基本的な態度を習得できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4	6		170
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	第1～2回【講義】登院式とオリエンテーション ・登院式 ・附属病院見学 ・実習内容説明
2	第3～4回【演習】（グループ討議）病院臨床実習のグループ討議 ・個々の実習目標発表 ・実習態度についてのグループ討議 ・実習目標の設定
3	第5～56回【実習】臨床模型を用いての補綴装置製作 ・研究模型の製作 ・個歯・個人トレーの製作 ・暫間補綴装置の製作 ・咬合床の製作 ・歯冠形態の造形およびカービング ・附属病院技工士の作業見学 ・診療室での診療見学
4	第57～178回【実習】臨床模型を用いての補綴装置製作 ・研究模型の製作 ・個人トレーの製作 ・暫間補綴装置の製作 ・咬合床の製作 ・作業模型の製作 ・歯冠修復装置の製作 ・有床義歯の製作 ・スプリントの製作 ・歯冠形態の造形 ・附属病院技工士の作業見学 ・診療室での診療見学

5	第179~180回【演習】（グループ討議）後期実習成果のグループ討議 <ul style="list-style-type: none"> ・個々の実習成果の発表 ・実習での課題・問題点についてのグループ討議 ・4年生での実習の目標設定
---	---

成績評価の方法

実習課題の完成度・製作期間、製作レポート、見学レポート、前期、後期試験の成績及び実習態度を総合的に評価する。評価の割合は、実習課題と製作レポート 40%、見学レポート 10%、中間試験 20%、期末試験 20%、実習態度（夏季休暇課題も加味する）10%とする。中間試験不合格者は、夏季休暇を利用して勉学に励み中間試験課題が合格できるレベルになるようになる。また、期末試験に向けて新たな課題にチャレンジし時間内に完成できるようになる。課題に対しては、ステップごとに確認、指導を受け完成時に、レポートを含め解説と講評を行う。

教科書

教科書はなし。
口腔工学病院臨床実習 | 要綱を配布します。

授業外学修（予習・復習）

基本として、これまで基礎として行われていたカービング練習を怠らない事。また継続して45分程度を目安にしてください。そして与えられた実習課題について、製作に着手する前に必ず30分程度は予習をしておくこと。

実習課題の装置完成後と見学実習後は、休日を除いた2日後までに記載して提出すること。以後の提出は受け付けません。

その他

参考資料	「最新歯科技工士教本 歯科技工管理学」 全国歯科技工士教育協議会編、医歯薬出版、2017年、ISBN978-4-263-43170-2 「歯科技工士教本 有床義歯技工学」 全国歯科技工士教育協議会編、医歯薬出版、2017年、ISBN978-4-263-43165-8 「コンプリートデンチャーテクニック」 細井紀雄ほか、医歯薬出版、2011年、ISBN978-4-263-45646-0 「歯学生のパーソナルデンチャー」 赤川安正、医歯薬出版、2018年、ISBN978-4-263-45817-4 「最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学」 全国歯科技工士教育協議会編、医歯薬出版、2017年、ISBN978-4-263-43166-5 「保存修復クリニカルガイド」 千田 彰ほか、医歯薬出版、2009年、ISBN978-4-263-45633-0 「スポーツ歯科臨床マニュアル」 日本スポーツ歯科医学会編、医学情報、2007年、ISBN 13 : 9784903553108 「臨床家のためのオーラルアライアンス入門」 医学情報 「CAD/CAMデンタルテクノロジー」 日本歯科CAD/CAM学会ほか監修、医歯薬出版、2012年、ISBN978-4-263-43349-2 「顎顔面補綴の臨床:咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために」 大山喬史、医学情報、2006年、ISBN 13:9784903553009
受講生への要望等	前期試験は石膏カービング・スケッチ、後期試験はクラウンのワックスパタンの製作ですので十分に練習しておいてください。どの歯が出題されるかはわかりません。 実習期間中に矯正歯科技工室、中央画像検査室(歯科放射線科)及び口腔リハビリテーション科の見学実習を行います。特に意欲のある学生はあらかじめ申し出てください。見学実習日数を増やすことも可能です。 附属病院中央技工室では実際の患者さんの模型や装置を扱っています。不用意な行動で破損すると重大な結果になります。また、感染性のもも含まれます。しっかりと注意を聞き、安全、安心な実習としてください。細心の注意を払ってください。 診療室内での態度には特に気をつけてください。不適切な髪、服装、態度及び不用意な言動は大きなトラブルとなります。医療に携わる者として自覚を持って行動して下さい。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

口腔工学病院臨床実習Ⅱ

更新日：2024/09/24 17:20:35

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	317140	授業コード	4K104
担当教員	藤田 暁, 柿本 和俊, 樋口 鎮央, 藤井 孝政, 中塚 美智子, 橋本 正則, 三宅 晃子, 首藤 崇裕, 錦織 良, 方 思棋, 中井 知己, 黄 育清, 東 宗秀						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	4
	備考(配当)	必修科目				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31714			5〇 E1◎ E4〇		歯科技工士	

授業概要

歯科技工学に関して、第1学年と第2学年に加えて第3学年で学習した知識と習得した技能を、実際の臨床例の模型での作業に応用できる技能をさらに高め、卒業後すぐに適応できる実践能力を身に付けることを目的とする。また、基礎的な動作としてカービング・スケッチを行い、更なる技能・スピードを向上させる。

この科目では、大阪歯科大学附属病院で実習を行い、複製した実際の臨床的模型を用いて、実習課題を完成させることによって、さらに応用技能を向上させる。加えて、臨床現場において、口腔内装置が利用されている状態を見学し、技能向上に役立てる。

到達目標

1	技工指示書に基づいて効率かつ正確な口腔内装置を製作できる。
2	適切な製作方法を選択して実施できる。
3	歯科技工製作物の管理・マネジメントができる。
4	製作期日を遵守できる。
5	完成した口腔内装置を正しく評価できる。
6	口腔内装置と診療との関係を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		4		86
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	第1～2回【演習】（グループ討議）病院臨床実習のグループ討議（藤田、柿本、中塚、藤井、樋口、三宅、首藤、中井、方、黄） ・口腔工学病院臨床実習Ⅰでの反省点 ・口腔工学病院臨床実習Ⅰからの改善点 ・口腔工学病院臨床実習Ⅱでの目標
2	第3～88回【実習】臨床模型を用いての口腔内装置製作 ・歯冠修復装置の製作 ・有床義歯の製作 ・スプリントの製作 ・矯正装置の製作 ・CAD/CAM冠の製作 ・CAD/CAMを利用した有床義歯の設計 ・口腔リハビリテーション関連装置の製作
3	第89～90回【演習】（グループ討議）実習成果のグループ討議 ・個々の実習成果の発表 ・実習の課題と改善点についての討議 ・歯科技工士としての目標設定

成績評価の方法

実習課題の完成度・製作期間、製作レポート、見学レポート及び実習態度を総合的に評価する。評価の割合は、実習課題と製作レポート 60%、見学レポート 20%、実習態度 20%とする。課題に対しては、ステップごとに確認、指導を行い、完成時にレポートを含め解説と講評を行う。

教科書

口腔工学病院臨床実習要綱

授業外学修（予習・復習）

与えられた実習課題について、製作に着手する前に必ず予習をしておくこと。実習課題の装置完成後と見学実習後は、休日を除いた2日後までに記載して提出すること。以後の提出は受け付けません。口腔内装置を製作した後は、製作技法等について、20分程度はこれまでの学修を振り返るようにしてください。

その他

参考資料	<p>「最新歯科技工士教本 歯科技工管理学」 全国歯科技工士教育協議会編、医歯薬出版、2017年、ISBN978-4-263-43170-2</p> <p>「歯科技工士教本 有床義歯技工学」 全国歯科技工士教育協議会編、医歯薬出版、2017年、ISBN978-4-263-43165-8</p> <p>「コンプリートデンチャーテクニク」 細井紀雄ほか、医歯薬出版、2011年、ISBN978-4-263-45646-0</p> <p>「歯学生のパーソナルデンチャー」 赤川安正、医歯薬出版、2018年、ISBN978-4-263-45817-4</p> <p>「最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学」 全国歯科技工士教育協議会編、医歯薬出版、2017年、ISBN978-4-263-43166-5</p> <p>「保存修復クリニカルガイド」 千田 彰ほか、医歯薬出版、2009年、ISBN978-4-263-45633-0</p> <p>「スポーツ歯科臨床マニュアル」 日本スポーツ歯科医学会編、医学情報、2007年、ISBN 13 : 9784903553108</p> <p>「臨床家のためのオーラルアプライアンス入門」 医学情報</p> <p>「CAD/CAMデンタルテクノロジー」 日本歯科CAD/CAM学会ほか監修、医歯薬出版、2012年、ISBN978-4-263-43349-2</p> <p>「顎顔面補綴の臨床:咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために」 大山喬史、医学情報、2006年、ISBN 13:9784903553009</p>
受講生への要望等	<p>中央技工室では実際の患者さんの模型や装置を扱っています。不用意な行動で破損すると重大な結果になります。細心の注意を払ってください。また、歯科技工士さんの作業や所作など、しっかりと見学をしてこれからの技術向上に努めて下さい。診療室内での態度には特に気をつけてください。不適切な髪、服装、態度及び不用意な言動は大きなトラブルとなります。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。</p>

口腔工学訪問実習

更新日：2024/10/31 09:37:03

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	317150	授業コード	4K301
担当教員	柿本 和俊, 島田 明子, 藤井 孝政, 谷 亜希奈, 芦田 貴司, 小正 聡						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31715		E1○ E2◎ E4○	歯科医師

授業概要

要介護高齢者の増加に伴い、歯科医療においては歯科訪問診療の重要性が増している。歯科訪問診療において、最も治療頻度が高いのは義歯に関する治療である。なかでも義歯の修理やラインには、歯科技工士が歯科訪問診療に同行することは非常に有用と考えらる。したがって、近い将来には歯科技工士の業務となることが考えられる。

この科目では、歯科訪問診療の心得、機材の準備、使用用法、片付けについて学習したうえで、大阪歯科大学附属病院もしくは外部施設が実施している歯科訪問診療に同行し、歯科訪問診療を体験して、業務について学習する。さらに、口腔保健学科の学生とともに歯科訪問診療に関するディベートを実施し、学生相互にディスカッションを行い、知識を共有する。

到達目標

1	歯科訪問診療について概説できる。
2	歯科訪問診療の対象者と施設を説明できる。
3	在宅療養者に歯科訪問診療の説明ができる。
4	歯科訪問診療における歯科技工士の果たせる役割を説明できる。
5	歯科訪問診療での多職種との役割と連携を説明できる。
6	歯科訪問診療の情報収集ができる。
7	歯科訪問診療の準備を説明できる。
8	歯科訪問診療での歯科技工を説明できる。
9	歯科訪問診療の事後処置を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	6	2	8
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	第1回【講義】訪問歯科診療の概説（柿本・谷） ※ 口腔保健学科，口腔工学科合同講義 ・オリエンテーション ・訪問歯科診療の必要性 ・往診と訪問診療 ・訪問歯科診療での処置 ・訪問歯科診療でのマナー
2	第2回【講義】訪問歯科診療の対象（芦田） ※ 口腔保健学科，口腔工学科合同講義 ・訪問歯科診療の対象患者 ・訪問歯科診療の場所 ・訪問歯科診療の環境 ・往診と訪問診療 ・医療保健と介護保険
3	第3回【講義】訪問歯科診療の情報収集・準備（芦田） ※ 口腔保健学科，口腔工学科合同講義 ・患者の基本的事項 ・家庭や周囲の環境 ・口腔アセスメント ・交通手段と訪問車 ・訪問歯科診療に用いる器材 ・器材の準備 ・居宅・施設内での場所の設定 ・患者の準備

4	<p>第4回【講義】訪問歯科診療での処置（芦田）</p> <p>※ 口腔保健学科，口腔工学科合同講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問歯科診療の対象となる疾患 ・訪問歯科診療で実施できる処置 ・訪問歯科診療での特殊性 ・緊急時の対応
5	<p>第5回【講義】訪問歯科診療の診療補助と予防処置（芦田）</p> <p>※ 口腔保健学科，口腔工学科合同講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライティング ・治療の介助 ・印象採得 ・歯周検査 ・スケーリング ・その他の予防処置
6	<p>第6回【講義】訪問歯科診療での口腔健康管理（芦田）</p> <p>※ 口腔保健学科，口腔工学科合同講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問歯科診療での口腔衛生管理 ・訪問歯科診療での口腔機能管理 ・居宅療養管理指導 ・訪問歯科衛生指導 ・口腔機能維持管理 ・食支援
7	<p>第7回【講義】訪問歯科診療後の対応（芦田）</p> <p>※ 口腔保健学科，口腔工学科合同講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先での片付け・清掃 ・介護者への説明 ・診療記録 ・帰院の業務
8	<p>第8回【演習】外部実習と訪問歯科診療に関するディベートの説明（柿本、藤井、島田、小正、谷）</p> <p>※ 口腔保健学科，口腔工学科合同演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部実習先の説明 ・ディベートの説明 ・ディベートの班分け ・訪問歯科診療に関するテーマ選択 ・テーマの班内討議
9	<p>第9～10回【実習】歯科訪問診療器材の使い方（柿本、藤井、島田、小正、谷）</p> <p>※ 班別実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータブル歯科ユニットの設置 ・ポータブル歯科ユニットの使用 ・ポータブル歯科ユニットの片付け ・ポータブル歯科ユニットの移動
10	<p>第11～18回【実習】訪問歯科診療実習（柿本、藤井、島田、小正、谷）</p> <p>※ 小班別実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の情報収集 ・材料の準備 ・器材の運搬 ・器材の設置 ・診療見学 ・片付け
11	<p>第19回【演習】訪問歯科診療に関するディベートの準備（柿本、藤井、島田、小正、谷）</p> <p>※ 口腔保健学科，口腔工学科合同演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料収集 ・立論作成 ・予想質疑対応準備 ・役割分担
12	<p>第20～23回【演習】訪問歯科診療に関するディベート（柿本、藤井、島田、小正、谷）</p> <p>※ 口腔保健学科，口腔工学科合同討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立論 ・作戦タイム ・質疑 ・反駁 ・最終弁論

成績評価の方法

訪問歯科診療実習に関するレポート、ディベート（発表、質疑内容、結果及びレポート）を総合的に評価する。

評価の基準は

- ・レポート…………… 35%（外部実習でのレポート：30%、ディベートのレポート：5%）
- ・ディベート…………… 65%

訪問歯科診療実習のレポートはコメントを付けて返却する。

ディベートについてはディベートの終了後に授業時間内に講評する。

教科書

実習要綱

授業外学修（予習・復習）

外部施設での歯科訪問診療実習に行く前に、必ずそれまでの授業を十分に復習しておいてください。各授業回ごとに20分程度の復習が必要です。外部施設での歯科訪問診療実習は2日間を予定しています。実習で行ったことや見学したことに関するレポートを作成してください。提出期日は、1日目の実習のレポートは2日目の実習の朝、2日目の実習当日とします。2日目の実習でレポートの記載が時間内にできない場合は、3日以内に1号館のエントランスにある各実習施設の担当教員の郵便受けに入れて下さい。

ディベートでは、テーマについて班ごとによく調査して十分に準備して臨むようにしてください。

その他

参考資料	「歯科衛生士のための訪問歯科診療ガイドブック」 米山武義ほか，2018年，医歯薬出版，ISBN978-4-263-42257-1 「歯科訪問診療」前田実男，日本歯科新聞社，2018年，ISBN978-4-9315-5034-6 「在宅歯科医療 まるごとガイド」菅 武雄，永末書店，2013年，ISBN 978-4-8160-1256-3 「在宅療養者の口腔機能維持管理のための地域連携ガイドライン」 リーフレット・ガイドライン・ワーキング，大阪府，2013年
受講生への要望等	20分程度は復習をするようにして下さい。 学外実習では遅刻は厳禁です。決められた身だしなみを整え積極的に実習に取り組んで下さい。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。

医学一般Ⅰ

更新日：2024/09/20 23:08:38

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	318010	授業コード	30103
担当教員	大久保 直						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31801	H1 ◎ H2 ○	E1 ◎ E2 ○	医師

授業概要

医学とは、人間を病気から解放し健康に保つための学問である。遺伝子、細胞、器官レベルの解剖学・生理学・生化学の基礎の上に成り立ち、臨床医学と社会医学が含まれる。歯科医療専門職として仕事を行う上で、口腔内のみならず、全身の解剖学、生理学、生化学、更に各種疾患・病態の理解が必須になる。また医師や看護師などさまざまな他の医療専門職との円滑なコミュニケーションをとるうえで、医学的知識を共有することは必須となる。本講義では、基礎医学の理解の上に、病気の分類と各疾患の説明を行う。

到達目標

1	基礎医学について説明できる。
2	臨床医学の各論について説明できる。
3	多職種連携において主体的に関われる能力を身につける。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】医学の基本と歴史 医学の基本と歴史について解説する。古代ギリシャ⇒ルネッサンス⇒近代と時系列に沿って、西洋医学の発展について講義形式で解説する。
2	【講義】人体の構造と機能 人体の解剖学・生理学について解説する。すでに2年生までに学んでいる内容ではあるが、復習を兼ねて、講義形式で学習する。細胞、組織、器官レベルで人体の構造と機能を見直す。
3	【講義】環境・文化と人間の健康 環境・文化と人間の健康について講義形式で解説する。公害や環境破壊についても説明する。
4	【講義】病気の基本 病気の原因を発症原因別、障害別、発症部位別に分け講義形式で説明する。また症状学や病理学にも言及する。
5	【講義】病因・病態別の病気の分類 病因・病態別に病気を分類し、解説する。遺伝病、外傷、感染症、アレルギー、腫瘍、代謝障害、変性などに分けて講義形式で説明する。
6	【講義】器官別の病気各論(1) 器官別の病気各論を講義形式で説明する。(1)では、消化器、呼吸器、循環器に関する病気を取り扱う。
7	【講義】器官別の病気各論(2) 器官別の病気各論を講義形式で説明する。(2)では、腎臓・泌尿器、血液、神経、精神科に関する病気を取り扱う。
8	【講義】器官別の病気各論(3) 器官別の病気各論を講義形式で説明する。(3)では、皮膚、小児、高齢者、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科に関する病気を取り扱う。

成績評価の方法

科目試験100%

教科書

医学概論：医学のコンセプトと医療のエッセンス / 中島泉 南江堂 2015 ISBN:978-4-524-26751-4

授業外学修（予習・復習）

生理学、病理学、細菌学などの教科書を読みなおすこと。

予習・復習は、それぞれ30分程度行うこと。

その他

参考資料	生理学、解剖学、組織学などの2年次までの使用教科書
受講生への要望等	なし
授業の質問対応、連絡先	「melly」で対応します。

医学一般Ⅱ

更新日：2024/09/20 23:11:54

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	318020	授業コード	30201
担当教員	大久保 直						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31802	H1 ◎ H2 ○	E1 ◎ E2 ○	医師

授業概要

医学とは、人間を病気から解放し健康に保つための学問である。遺伝子、細胞、器官レベルの解剖学・生理学・生化学の基礎の上に成り立ち、臨床医学と社会医学が含まれる。歯科医療専門職として仕事を行う上で、口腔内のみならず、全身の解剖学、生理学、生化学、更に各種疾患・病態の理解が必須になる。また医師や看護師などさまざまな他の医療専門職との円滑なコミュニケーションをとるうえで、医学的知識を共有することは必須となる。本講義では、医学一般Ⅰに引き続き、病気の診断、治療と予防、医療の基本、医療の現場、公衆衛生学、医療法規などについて解説する。

到達目標

1	臨床診断学について説明できる。
2	医療関連の多職種連携に、主体的に関わることができる。
3	社会医学について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】病気の診断 臨床診断学について解説する。生化学検査、血液学検査、微生物検査、遺伝子検査、画像診断、病理検査などについて講義形式で説明する。
2	【講義】病気の治療と予防 治療学総論・各論と予防医学について講義形式で解説する。
3	【講義】医療の基本 医療に関わる関係職種およびチーム医療について講義形式で解説する。
4	【講義】主要な病因・病態に対する医療の枠組み 主要な病因・病態に対する医療の枠組みを、診断・治療・予防に分けて講義形式で説明する。
5	【講義】一般診療における医療 診療科ごとに医療現場のありかたを講義形式で解説する。救急医療や総合診療などの診療科横断的な科についても説明する。
6	【講義】公衆衛生学と予防医学 疫学や公衆衛生学、健康診断・予防接種について講義形式で解説する。特に感染症や予防医学との関連について解説する。
7	【講義】社会の医療情勢と医療体制 現在の医療情勢と医療体制について講義形式で解説する。医療教育についても解説する。
8	【講義】医療法規と医療行政 医療法規・社会保障制度・医療施策について講義形式で解説する。医療経済との関係も説明する。

成績評価の方法

科目試験100%

教科書

医学概論：医学のコンセプトと医療のエッセンス / 中島泉 南江堂 2015 ISBN:978-4-524-26751-4

授業外学修（予習・復習）

日本の医療制度・医療法制に関わる資料を読んでおく。
予習・復習はそれぞれ30分程度行うこと。

その他

参考資料	厚生労働省ホームページで現在の日本の医療に関する資料を読んでおくこと
受講生への要望等	なし
授業の質問対応、連絡先	「melly」で対応します。

医療コミュニケーション学

更新日：2024/10/08 18:57:50

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	318030	授業コード	20110
担当教員	前嶋 亜優子, 中塚 美智子, 藤井 孝政, 米澤 美保子, 亀井 直子, 宮坂 佳代						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31803	1○ 2◎	1○ 2○ E4◎	歯科医師・社会福祉士・歯科衛生士

授業概要

歯科医療従事者は、医療の現場において多くの患者に接し、対応する。そのためには患者の心理状態を知り、適切なコミュニケーションをできる能力が必要です。

本教科では、患者と遭遇する様々な歯科医療の現場において、適正かつ迅速に対処できるようコミュニケーションの特性を学び、また実践できる能力を得ることを目的とします。

授業は講義及び演習を主体に行います。

到達目標

1	医療者がもつべき倫理観・態度が説明できる。
2	コミュニケーションの基本的なスキルが説明できる。
3	状況に即したコミュニケーションができる。
4	共感力を高めるために行うことが説明できる。
5	医療面接の概要を説明できる。
6	歯科衛生実践への動機づけができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4	4		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0		

授業計画

1	【講義】医療者がもつべき倫理観・態度（1）（中塚） 医療コミュニケーションの土台となる医療者の倫理 医療プロフェッショナリズムの定義 ロジカルシンキングの定義
2	【講義】医療者がもつべき倫理観・態度（2）（中塚） プロフェッショナリズム・アイデンティティの定義 形成ロジカルシンキングの実践
3	【講義】コミュニケーションの基本的なスキル（1） 援助関係の形成
4	【講義】コミュニケーションの基本的なスキル（2） 面接技法
5	【演習】状況に即したコミュニケーション1（前嶋・中塚・米澤・亀井・宮坂・藤井） 医療面接演習① 動機づけ面接
6	【演習】状況に即したコミュニケーション2（前嶋・中塚・米澤・亀井・宮坂・藤井） 医療面接演習② 動機づけ面接
7	【演習】医療現場でのプレゼンテーション1（前嶋・中塚・米澤・亀井・宮坂・藤井） 専門職としてのプレゼンテーション①
8	【演習】医療現場でのプレゼンテーション2（前嶋・中塚・米澤・亀井・宮坂・藤井） 専門職としてのプレゼンテーション②

成績評価の方法

小テスト 40%、演習の参加度 40%、レポート課題 20%
ただしコロナの状況により、演習の比率が下がる可能性があります。
試験やレポート等は、授業時にフィードバックします。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

毎回復習をしてきてください。特に演習時に復習は必須です。復習に90分をあててください。

その他

参考資料	<p>以下は図書館で参照してください。</p> <p>中村 俊/ところが動く医療コミュニケーション読本 内山 靖ほか/コミュニケーション論・多職種連携論 中野信子ほか/正しい恨みの晴らし方 南山堂/メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論 マガジンハウス社/伝わるしくみ 医学書院/系統看護学講座 人間関係論 篠原出版/医療コミュニケーション 大修館/ヘルスコミュニケーション学入門 チーム医療/わかりやすい交流分析1 医療タイムス社/医療の接遇 大修館/行動変容のためのヘルスコミュニケーション 和田仁孝ほか/医療メデイエーション 医療タイムス社教育研修事業部/医療の接遇 廿日出庸治/患者に寄り添う医療コミュニケーション 國頭英夫/死にゆく患者（ひと）と、どう話すか Lloyd,M./事例で学ぶ医療コミュニケーション・スキル 水木さとみ/歯科医療コミュニケーション 小澤竹俊/死を前にした人にあなたは何かができますか？" 日本医療マネジメント学/臨床事例で学ぶコミュニケーションエラーの"心理学的"対処法 山本美保/医療現場の人間関係につまずき「ナース向いてないかも…」と思う前に試してみたいコミュニケーション術25 上谷 実礼/ナースのためのアドラー流勇気づけ医療コミュニケーション:メンタルヘルスの専門家・ミレイ先生が人間関係の悩みを解決！ 三瓶舞紀子/看護の現場ですぐに役立つ 患者接遇のキホン (ナースのためのスキルアップノート) 浅野 マリ子/笑顔の力 病院ボランティア経験でわかったコミュニケーションメソッド 園部浩司/ファシリテーション超技術 井上真一郎/「大人の発達障害」トリセツのつくりかた 島崎敢/心配学「本当の確率」となぜずれる？ 宮口幸治/ケーキの切れない非行少年たち 杉山登志郎/子ども虐待という第四の発達障害</p>
受講生への要望等	<p>机上で学ぶだけでなく実践することでコミュニケーションスキルは向上します。日頃からコミュニケーションを積極的に取るよう意識してください。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。</p>

臨床検査学

更新日：2024/11/28 15:39:29

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	318040	授業コード	30202
担当教員	志水 秀郎						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31804	H1 ◎ H2 ○	E1 ◎ E2 ○	医師

授業概要

歯科学領域では、主に口腔外科関係の診療科を受診する患者に対して、手術や麻酔の安全性を確認するために各種の臨床検査（血球計測、尿検査、血清生化学検査、止血凝固検査、呼吸機能検査、心電図、胸部レントゲン検査など）が行われる。また感染症の診断や院内感染防止の目的で細菌検査やウイルス検査も日常的に実施されている。さらに腫瘍性病変の診断には病理検査が欠かせない。これから歯科衛生士・歯科技工士を目指す学生諸君にとって、臨床検査学の概要を知っておくことは極めて重要である。本授業では、疾患別に臨床検査学の概要を学習する。

到達目標

1	臨床検査の概要が説明できる。
2	感染症検査・病理検査について検体処理方法が説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	<p>【講義】臨床検査学総論、循環器疾患の検査 臨床検査とはどういうものかを説明する。臨床検査の意義と誤差について総説する。血液検査、尿検査、超音波（血管、腹部、心臓など）、画像（CT、レントゲン、MRIなど）、細菌検査、病理検査、心電図、シンチグラムなどについて各論を概説する。</p> <p>次に循環器疾患とは、心臓、血管に関係する疾患である。最も基本的な検査は、心電図、心エコーであるが、さらに詳細に検査するには運動負荷心電図、心筋シンチ（安静時および運動負荷時）を実施する必要がある。血液検査からは、心筋逸脱酵素（WBC,GOT,LDH,H-FABP,Trop-T）などが参考になる。虚血性心疾患の鑑別には冠血管造影検査、心臓CTなどが用いられる。循環器疾患には感染症（感染性心内膜炎など）や膠原病（大動脈炎など）も含まれる。それらの説明も行う。また循環器疾患の治療法・予防法にも言及する。</p>
2	<p>【講義】呼吸器疾患の検査、消化管疾患の検査 呼吸器疾患とは肺・気管・気管支に関係する疾患である。最も基本的な検査は、胸部レントゲン、胸部CT、呼吸機能検査である。さらに詳細な検査として運動負荷心肺機能検査がある。気管支喘息などのアレルギー性疾患に対しては、IgE,IgE RAST抗体なども補足的に用いられる。細菌性肺炎に対しては、喀痰培養などの細菌学的検査が、肺がんなどの悪性腫瘍に対しては病理細胞診、病理組織診が有効である。また呼吸器疾患の治療法・予防法にも言及する。</p> <p>次に消化管とは、口腔―食道―胃―十二指腸潰瘍―小腸―大腸とつながる管腔臓器である。最も基本的な検査は、造影検査、立位腹部単純レントゲン、腹部CTなどの画像検査であるが、最近は消化管エコー検査も多用されてきている。より詳細な形態学検査として、上部・下部消化管内視鏡も用いられる。また細菌感染症のための便培養、悪性腫瘍のための病理細胞診なども用いられる。また消化管疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。</p>
3	<p>【講義】肝・胆・膵疾患の検査 消化器の中で消化管以外の実質臓器として肝・胆・膵があげられる。最も基本的な検査として、腹部CT、腹部エコーがあげられる。より詳細な検査としてERCPなどもある。生化学検査としての、肝酵素（AST,ALT）、胆道系酵素、消化酵素（アミラーゼなど）も重要である。悪性腫瘍のための病理組織診も用いられる。肝・胆・膵疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。</p>
4	<p>【講義】感染症の検査、血液・造血器疾患の検査 感染症は、起炎菌から細菌性、ウィルス性に大きく分けられる。当然ながら、塗抹・培養による細菌学的検査が主になるが、検体として、喀痰・尿・便・血液などから選択する必要がある、そのためには感染症を起こしている部位の特定が必須である。そのためには、胸腹部レントゲン、胸腹部CT、腹部エコーなどによる形態学的検査や生化学・末梢血検査・尿検査などによる感染の有無や場所の同定も重要である。感染症の治療法・予防法にも言及する。</p> <p>次に血液疾患は、大きく分けて赤血球疾患、白血球疾患、血小板疾患に大別される。診断に関わる臨床検査として、末梢血検査、マルク骨髄検査などがあげられる。血液疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。</p>
5	<p>【講義】内分泌疾患の検査、腎・泌尿器疾患の検査、体液・電解質・酸塩基平衡の検査 内分泌疾患とは、視床下部・甲状腺・副甲状腺・副腎・精巣・卵巣などの内分泌臓器における疾患の総称であり、大きく機能亢進症と機能低下症に分類される。内分泌疾患に関わる臨床検査としては、CT、MRIなどの形態学的画像検査、腹部エコーなどの超音波検査、生化学検査、ホルモン負荷試験などがあげられる。疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。</p> <p>腎臓・泌尿器疾患は、腎臓・尿管・膀胱・尿路に関係する疾患であり、診断に関わる検査として、生化学検査、尿検査、骨盤CT、エコー検査などに加え、尿培養、尿細胞診などがあげられる。詳細な検査として、膀胱鏡、腎生検なども挙げられる。</p>
6	<p>【講義】体液・電解質・酸塩基平衡の検査、神経・運動疾患の検査 電解質・酸塩基平衡に関しては、血液ガス検査などがあげられる。疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。</p> <p>神経・運動疾患とは、神経・筋肉・骨関節などに関係する疾患であり、臨床検査として、MRI・CT・超音波などの形態学的検査、脳波・筋電図などの機能検査、筋原性酵素などの生化学検査を含む。</p>

7	<p>【講義】 膠原病・免疫・アレルギー疾患の検査、代謝・栄養疾患の検査 膠原病・免疫・アレルギー疾患に関する臨床検査として、各種特異抗体、生化学検査などが含まれる。これらの疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。</p> <p>また代謝・栄養疾患とは、糖尿病・脂質異常症などの内分泌臓器異常あるいは標的臓器異常に起因する疾患である。CTなどの形態学的検査のみならず、生化学検査、ホルモン検査などが用いられる。</p>
8	<p>【講義】 感覚器疾患の検査、中毒の検査、遺伝子・染色体異常の検査、悪性腫瘍の検査 感覚器疾患とは、眼科・耳鼻科疾患を含み、CTなどの形態学検査や視力・視野・聴力検査などの機能検査を含む。これらの疾患の治療法・予防法にも言及する。</p> <p>遺伝子・染色体異常の検査には、遺伝子（DNA,RNA）および染色体の検査が含まれる。また悪性腫瘍検査には、各種検体からの細胞診、組織診および腫瘍マーカーなどが用いられる。これらの疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。</p>

成績評価の方法

科目試験100%

教科書

臨床検査医学総論 / 矢富裕 医学書院 2012 ISBN:978-4-260-01508-0

授業外学修（予習・復習）

テキストを熟読すること。画像アトラスやスライド（病理、微生物、病理など）を見ておくことも重要。

予習・復習にはそれぞれ、2時間程度行うこと。試験後のフィードバックは、補講や質疑応答で行う。

その他

参考資料	病気がみえる CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 第4版 1巻 頭部・頸部 単行本 感染症プラチナマニュアル
受講生への要望等	臨床検査学には、血液検査、尿検査、画像検査（レントゲン、CT、MRIなど）、超音波検査、病理検査、細菌検査など多くの内容を含みます。検査所見の解釈などに精通しておくことで、歯科衛生士や歯科技工士の業務に興味がわくことでしょう。
授業の質問対応、連絡先	志水秀郎 講義終了後

医科歯科連携学

更新日：2025/01/29 13:20:25

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	318050	授業コード	30104
担当教員	糸田 昌隆, 高井 裕二						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31805	H1 ○ H2 ◎	E1 ○ E2 ◎	歯科医師

授業概要

保健・医療・福祉・介護現場において歯科と医科が緊密な連携を行い、相互の情報を共有し、多職種によるそれぞれの専門的知識と対応による相乗効果によって、患者を中心とした質の高い医療と安心と満足度の高い医療の提供が可能となる。今授業では歯科衛生士、歯科技工士として多職種と協働する際に必要な知識とチーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る知識を学修する。多職種連携に関して、各医療職に分かれグループで職種についての役割りを協議し、症例についてグループ発表者による模擬カンファレンスを実施する。授業教材は適宜資料を配布する。

到達目標

1	保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科衛生士、歯科技工士として役割と介入効果を説明できる。
2	多職種の役割とその介入内容の概要を説明できる。
3	他の医療従事者に必要に応じて援助を求める基準を説明できる。
4	地域の保健、医療、福祉と介護活動とネットワークの状況を説明できる。
5	各種医療・介護評価法を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	5	3		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】 ガイダンス糸田 ・多職種連携の必要性と意義 ・多職種連携の種類 ・現在の医療政策、介護政策、福祉政策 ・医療保険・介護保険の概要
2	【講義】 チーム医療での歯科衛生士・歯科技工士の役割 糸田 ・多職種連携効果のエビデンス ・歯科技工士のが行う連携とは。 ・歯科衛生士が医療介護連携を行うエビデンス
3	【講義】 医療・介護・福祉コミュニケーション論基礎編Ⅰ 高井 ・各医療・介護・福祉関係職種 ・医療・介護保険・福祉政策における患者・利用者・対象者とのコミュニケーション法
4	【講義】 医療・介護・福祉コミュニケーション論基礎編Ⅱ 高井 ・各医療・介護・福祉関係職種の ・医療・介護保険・福祉政策における患者・利用者・対象者とのコミュニケーション法
5	【講義】 医療連携ツールと多職種が用いる代表的評価法と医療カンファレンス 糸田 ・地域連携クリティカルパスについて ・IT活用やデータ集積について ・FIM ・Bathel Index ・ハリスベネディクト ・MNA-SF ・歯科医療者を必要とするカンファレンス ・各カンファレンスの内容と意義 ・etc
6	【演習】 ケーススタディⅠグループワーク：各職種の役割りの協議（リハビリテーション対象症例提示・低栄養など） 糸田 ・模擬カンファレンス1 ・模擬カンファレンス2
7	【演習】 ケーススタディⅡグループワーク：各職種によるカンファレンス発言内容の協議（嚥下障害と脳卒中） 糸田 ・模擬カンファレンス3 ・口腔ケア・リハビリテーションの立案 各グループで作成したカンファレンスでの発表内容についてまとめを提出する。また模擬カンファレンス終了時に、症例の解説と発表内容の講評を行う。

8	<p>【演習】 ケーススタディーⅢ（終末期の栄養法と在宅への退院症例） 糸田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬カンファレンス 4 ・ 終末期患者の問題点について ・ 終末期口腔管理の口腔介入法の検討 <p>各自が考えた、終末期患者への対応や考え方をまとめ提出する。</p>
---	--

成績評価の方法

第1回から8回までの内容に関する提出物の採点50%、グループワークへの参加の評価を30%、プレゼンテーションの評価を20%で行う。提出物について、提出直後に解説する。

教科書

授業に際し適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

自身の生活の中で、周囲の医療・介護等々に関する情報や活動に興味を持ち、興味を持ったことについて調べておく。また授業内容で学んだことと、自身で調べた内容がどのように関連・連携しているかを考察すること。特に医科歯科連携実習に必要な知識について予習をしておくこと（予習・復習 各30～60分程度）。

その他

参考資料	「慢性期医療認定講座テキスト」日本慢性期医療協会慢性期医療認定委員会ほか 厚生科学研究所 2009 (ISBN978-4903368153)
受講生への要望等	身の回りの医療・介護・福祉分野にアンテナをはり、情報を収集すること。
授業の質問対応、連絡先	随時受け付ける。またはEM：m.itoda89@gmail.com まで質問要旨をまとめ送ってこと。

医科歯科連携学実習

更新日：2025/01/29 14:18:27

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	318060	授業コード	30301
担当教員	糸田 昌隆, 梶 貢三子, 緒方 智壽子, 小正 聡, 大森 あかね, 谷 亜希奈, 宮坂 佳代, 永久 景那, 今井 美季子, 貴島 真佐子						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31806	H2◎ H3○	E2◎ E3○	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、各職種実務経験10年以上

授業概要

円滑なチーム医療が行える歯科医療者を目指し、病院施設での多職種連携の中での歯科衛生士/歯科技工士の役割と、多職種の業務内容を理解することを目的とする。医科歯科連携学を第3学年、前期で学習した基本知識をもとに、実際の大阪歯科大学附属病院・その他施設での歯科の重要性や実施すべき歯科衛生士/歯科技工士の業務（口腔健康管理と口腔内装置の意義など）を中心に、多職種の連携（多職種でのカンファレンスなど）について考える。また社会福祉コース履修者においては社会福祉士の医療の中での役割を考える。

到達目標

1	医療現場における多職種連携医療を歯科医療従事者（歯科衛生士・歯科技工士）の視点で説明できる。
2	多職種の役割を説明できる。
3	各種連携会議、カンファレンスの意義を概説できる。
4	健康長寿に向けた地域施策を説明、実践できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4	2	10	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	オリエンテーション【講義】糸田昌隆 オリエンテーション【講義】 ・実習の概要 ・多職種連携とは ・臨床検査室の概要と注意事項 ・病棟の概要と注意事項 ・中央技工室の概要と注意事項（口腔保健学科） ・補綴咬合科の概要と注意事項（口腔工学科）
2	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割【講義】 貴島真佐子 ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の業務 ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が行うリハビリテーション ・歯科と各療法士との連携
3	医事課および地域連携室見学【実習】永久、今井 ・医事課および地域連携室の業務見学 ・地域連携室の附属病院での役割 ・社会福祉士の役割 ・情報提供書の入力補助
4	医事課および地域連携室見学2【実習】永久、今井 ・医事課および地域連携室の業務見学 ・地域連携室の附属病院での役割 ・社会福祉士の役割 ・情報提供書の入力補助
5	病棟見学・臨床検査室【ラウンド見学実習】糸田、緒方、小正、大森、宮坂 ・ラウンド前説明（看護師、臨床検査室、薬剤師、栄養士等による院内業務の説明） ・院内（薬局、臨床検査室など）の見学
6	病棟見学・臨床検査室【ラウンド見学実習】糸田、緒方、小正、大森、宮坂 ・病棟での看護師の役割りと業務内容の見学（歯科医師、医師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士等との連携見学）
7	株式会社YDM工場【見学実習】糸田、梶、緒方、小正 ・スケーラー等の製作工程の見学および金属研磨工程の見学 ・歯科技工用器具の製作工程見学。
8	株式会社YDM工場2【見学実習】糸田、梶、緒方、小正 ・質疑応答とレポート作成

9	中央技工室/診療室見学【実習】緒方，小正，大森，谷，宮坂，鶴木 診療室（補綴咬合科目）（口腔保健学科） ・印象採得見学 ・咬合採得見学 ・装着見学 中央技工室（口腔保健学科） ・プロビジョナルレストレーション製作 ・CAD/CAM見学 ・修理作業見学
10	中央技工室/診療室見学2【実習】緒方，小正，大森，谷，宮坂，鶴木 中央技工室（口腔工学科） ・プロビジョナルレストレーション製作 ・CAD/CAM見学 ・修理作業見学 診療室（補綴咬合科目）（口腔工学科） ・印象採得見学 ・咬合採得見学 ・装着見学
11	株式会社モリタ工場見学【見学実習】糸田、梶，緒方，小正 ・患者ロボットを使用したシミュレーション診療機材の見学 ・耳鼻科用診察室機材の製作工程見学 ・聴音検査機器等の製作工程見学
12	株式会社モリタ工場見学2【見学実習】糸田、梶，緒方，小正 ・質疑応答とレポート作成
13	看護師の役割【講義】糸田、貴島、鶴木 ・看護師の業務 ・看護師が行う連携 ・看護師と歯科の連携
14	管理栄養士の役割【講義】糸田、貴島、鶴木 ・管理栄養士の業務 ・管理栄養士と栄養士 ・食支援と口腔健康管理/口腔内装置
15	多職種によるカンファレンスと医科歯科連携演習1【演習】糸田、貴島、鶴木 ・新入院評価・モニタリング ・嚥下カンファレンス ・NSTカンファレンス・ラウンド ・褥瘡回診など
16	多職種によるカンファレンスと医科歯科連携演習2【演習】糸田、貴島、鶴木 歯科衛生士/歯科技工士と医科歯科連携 ・医科歯科連携における歯科衛生士の役割 ・医科歯科連携に求められる歯科衛生士の資質 ・医科歯科連携における歯科技工士の役割 ・医科歯科連携に求められる歯科技工士の資質

成績評価の方法

実習中の態度、日々の日誌およびレポートで評価する。提出のないものは失格とする。最終評価について、提出物80%、実習態度意欲など20%で評価を行う。医療現場であり、多職種協働の現場にであるため現場にそぐわない態度・意欲がみられた場合、実習中止・失格とする場合もある。これらを総合的に判断し評価を行う。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

なし。医科歯科連携学で配布した資料を都度確認すること。実習終了後に見学内容についてレポート（日誌）を作成し提出すること。予習1時間程度（医科歯科連携学講義の確認と、実習現場の専門職種の役割など）

その他

参考資料	「地域包括ケアを支える医科歯科連携実践マニュアル」日本リハビリテーション病院・施設協会 口腔リハビリテーション推進委員会 三輪書店 2014 (ISBN978-4895904940) 「慢性期医療認定講座テキスト」日本慢性期医療協会慢性期医療認定委員会ほか 厚生科学研究所 2009 (ISBN978-4903368153)
受講生への要望等	多職種との連携ツール、共通言語は何かを確認すること。
授業の質問対応、連絡先	学内等々で随時受けつける。 学内では糸田，貴島，梶，緒方，小正，大西，谷，大森，宮坂まで、質問事項をまとめメールまたは教員へ書面または口頭で質問して下さい。 e-mail：m.itoda89@gmail.com

臨床運動生理学

更新日：2024/07/18 09:45:42

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	318070	授業コード	30105
担当教員	糸田 昌隆						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31807	H1◎ H2○	E1◎ E2○	歯科医師

授業概要

運動生理学とは、運動を行うことによって身体にどのような変化・現象を生じるかを知る学問であり、臨床運動学とは疾患や、疾患によってもたらされる正常とは異なる変化・現象を知るものである。臨床運動生理学とは、超高齢社会の疾病構造に対応できる歯科衛生士が行う生活指導の基となる学問で、慢性期の疾患の予後を良好な状況に保つための運動処方と栄養処方などの基礎を学修する機会とする。講義の形式は、配信と対面授業を組み合わせ、スライドを用いて行う。資料はPDFデータで配布する。

到達目標

1	運動を説明できる
2	運動療法について説明できる
3	筋活動のメカニズムを説明できる
4	呼吸の役割を説明できる
5	呼吸と循環の関係を説明できる
6	慢性疾患と運動処方・栄養処方について説明できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	1		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】ガイダンス、臨床運動生理学と臨床上の疾患の関わり 糸田 ・生理学と臨床運動生理学 ・運動生理の原則（ルーの法則など） ・運動とは ・慢性疾患の日本での現状 ・慢性疾患とは ・運動と慢性疾患 ・運動の種類
2	【講義】運動と筋骨格系 糸田 ・細胞の構造と役割 ・筋の種類 ・骨格筋の構造 ・筋繊維の種類 ・筋活動とエネルギー供給様相 など ・筋の収縮様相と筋力 ・筋力、筋パワー、筋持久力
3	【講義】運動と中枢と神経系（感覚と運動の関係） 糸田 ・神経系の役割 ・求心性入力と遠心性出力 ・錐体路と錐体外路 ・末梢神経の分類と役割（再度求心性と遠心性の理解） ・運動調整の仕組み（再度錐体路、錐体外路の理解）
4	【講義】運動（生活活動）のための呼吸の理解 糸田 ・呼吸の役割 ・胸郭と呼吸筋と呼吸補助筋 ・換気メカニズム ・酸素解離曲線 ・血液循環との関係

5	<p>【講義】運動と循環の役割 糸田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環系の配列 ・心筋と血管系の構造 ・一回拍出量、心拍数、心拍出量 ・循環系の配列 ・心筋と血管系の構造 ・一回拍出量、心拍数、心拍出量 ・運動による血流の再分配 ・酸素摂取量に影響する要因と因子 など
6	<p>【講義】運動（活動＝代謝）と栄養 糸田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代謝と栄養とは ・食品の機能性と摂取基準と代謝 ・運動とストレスによるエネルギー消費（ハリスベネディクトの計算式） ・臨床栄養とは ・摂取食品のカロリー量 ・活動と消費カロリー・ ・必要カロリー など
7	<p>【講義】運動強度と疾患によるストレス 糸田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動強度とは ・臨床的ストレスとは ・運動処方考え方
8	<p>【演習】臨床運動生理学総合演習 糸田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症例検討 ・運動処方考え方 ・消費エネルギーの考え方 ・慢性疾患における有害事象 ・ディスカッション（まとめ）

成績評価の方法

本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。
単位試験を実施し、学習態度により総合的に評価を行う。

教科書

入門運動生理学 / 杏林書院

授業外学修（予習・復習）

解剖学、生理学、生化学の復習をして下さい。

その他

参考資料	<p>ニュー運動生理学Ⅰ 宮村実晴 真興交易医書出版部 2014 (ISBN978-4880038865) ニュー運動生理学Ⅱ 宮村実晴 真興交易医書出版部 2015 (ISBN978-4880038902)</p>
受講生への要望等	<p>この領域は国家試験において難問となることが多い。基礎からの理解をすすめるためにも、復習を行い、わからないことは質問すること。</p>
授業の質問対応、連絡先	<p>随時受け付ける。メールでも可能。 E-mail : m.itoda89@gmail.com</p>

歯科心身医学

更新日：2024/09/30 11:55:50

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	318100	授業コード	30203
担当教員	安彦 善裕						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31810	H1○ H2◎	E1○ E2◎	歯科医師、公認心理師

授業概要

講義は全8回。教科書は使用せず全講義でプリントを配布する。

歯科臨床において心身医学的対応を行うべき場面は多い。すなわち、日常的な患者対応から始まり、歯科治療に恐怖を抱いている患者、口腔内に原因不明の痛みや症状を訴えている患者、歯磨きをしてくれない患者などへの対応が挙げられる。本科目では、歯科における心身医療についてその概要を理解する。

到達目標

1	心身医療について説明できる。
2	歯科心身症とはどのようなものかについて説明できる。
3	歯科心身症と鑑別すべき精神疾患について説明できる。
4	歯科心身症に関わることのある精神疾患について説明できる。
5	舌痛症、非定型歯痛、咬合違和感症候群について説明できる。
6	身体醜形障害、口臭恐怖症、原因不明の口腔乾燥症、歯科恐怖症について説明できる。
7	歯科における心身医学的対応、主に臨床心理学的アプローチについて説明できる。
8	歯科心身医学全般について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4			

授業計画

1	【対面講義】歯科心身医療概論 心身医療とは何か？ 歯科臨床で行うべき心身医療にはどのようなものがあるかについて理解する。
2	【対面講義】歯科心身症概論 歯科心身症とはどのようなものかについて理解する。
3	【遠隔講義】歯科心身症と鑑別すべき精神疾患（1） 気分障害、不安障害、統合失調症など、口腔症状を訴えることのある精神疾患について理解する。
4	【遠隔講義】歯科心身症と鑑別すべき精神疾患（2） 気分障害、不安障害、統合失調症など、口腔症状を訴えることのある精神疾患について理解する。
5	【遠隔講義】歯科心身症各論（1） 歯科臨床で遭遇することが比較的多い、舌痛症、非定型歯痛、咬合違和感症候群、口腔セネストパチーについて理解する。歯科矯正治療、審美歯科に関わる歯科心身症について、口臭恐怖症、原因不明の口腔乾燥症、歯科恐怖症について理解する。
6	【遠隔講義】歯科心身症各論（2） 歯科臨床で遭遇することが比較的多い、舌痛症、非定型歯痛、咬合違和感症候群、口腔セネストパチーについて理解する。歯科矯正治療、審美歯科に関わる歯科心身症について、口臭恐怖症、原因不明の口腔乾燥症、歯科恐怖症について理解する。
7	【対面講義】歯科医療従事者による心身医療 歯科における心身医学的対応の実際について理解する。主に臨床心理学的アプローチにより、歯磨きをしてくれない患者や、痛みを抱えている患者、口臭恐怖症を訴えている患者への対応の実際について理解する。への対応の実際について理解する。
8	【対面講義】歯科心身医学のまとめ 講義内容の要点をまとめて、理解を深める。

成績評価の方法

本試験日に記述・選択形式の試験をおこなう。

試験解答の評価が50%、日ごろの受講態度が50%で評価する。

教科書

教科書は使用しない。各回の講義にプリント配布を行う。

授業外学修（予習・復習）

心理学、高齢者歯科学、医療コミュニケーション学などで学習したコミュニケーションに関わる内容を復習し、授業に臨むこと。目安は予習30分、復習30分。

その他

参考資料	「歯科衛生士のための口腔内科」医歯薬出版 歯科衛生士講座「高齢者歯科学」永末書店
受講生への要望等	歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背景を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる知識が身に付くことを望みます。
授業の質問対応、連絡先	安彦善裕へe-mailで。 yoshi-ab@hoku-iryo-u.ac.jp

口腔工学総論Ⅰ

更新日：2024/10/06 12:22:29

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	319030	授業コード	4K302
担当教員	藤井 孝政, 柿本 和俊, 中塚 美智子, 橋本 正則, 樋口 鎮央, 藤田 暁, 三宅 晃子, 錦織 良, 首藤 崇裕, 方 思棋, 中井 知己, 黄 育清, 荒井 昌海						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	3
	備考(配当)	必修科目				
科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31903			5〇 E3◎ E4〇		歯科医師	

授業概要

学士としても向上心を醸成する科目である。

デジタル加工技術を中心とした歯科技工製作技術に関する研究のあり方を学修し、歯科臨床における応用、さらに今後に予想される展開について根拠に基づいて自ら考える。

加えて、これまでに学修した知識と技能を踏まえて、自らテーマを決めて整理するとともに文献検索、必要に応じて実験や作品の製作によって自ら成果をまとめて発表する。

到達目標

1	先進の歯科医療を説明できる。
2	口腔工学への向上心を持つことができる。
3	研究の重要性を説明できる。
4	倫理に基づく研究ができる。
5	課題に必要な情報を収集して整理できる。
6	問題点を抽出して解決法を考えられる。
7	成果を適切に提示することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	12	20		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	第1回【講義】研究とは何か（中塚） ・オリエンテーション ・研究の目的 ・研究の必要性 ・研究の成果
2	第2回【講義】歯科医学の発展とエビデンス（中塚） ・研究の歴史 ・歯科医学の歴史 ・歯科技工の発展 ・エビデンス ・今後の歯科技工
3	第3回【講義】研究倫理（中塚） ・ヒトを対象にした研究倫理 ・動物を対象とした研究倫理 ・自然を対象とした研究倫理 ・不正行為
4	第4回【講義】研究計画の立案（中塚） ・研究目的 ・文献検索 ・予備実験 ・具現性の確立 ・成果の見込みと意義
5	第5回【講義】結果の分析（中塚） ・結果の収集・整理 ・追加研究の必要性 ・統計解析 ・データの信頼性

6	第6回【講義】考察（中塚） ・結果の分析 ・結果の解釈 ・研究目的と結果の関係 ・結論への誘導
7	第7回【講義】論文の構成（中塚） ・論文の基本的な構成 ・抄録 ・緒言 ・目的 ・結果 ・考察 ・謝辞 ・引用文献 ・図表
8	第8回【講義】査読と掲載（中塚） ・査読とは ・査読の内容 ・査読への返事 ・掲載
9	第9回【演習】情報収集（担当教員） ・担当教員の決定 ・文献検索 ・文献整理 ・その他の情報収集
10	第10～11回【演習】計画立案（担当教員） ・研究目的の設定 ・研究方法の策定 ・実施計画の立案
11	第12～18回【演習】研究実施（担当教員） ・データ収集 ・データ分析 ・作品の製作 ・作品の評価 ・プレゼンテーションの作成 ・発表原稿の完成
12	第19～20回【演習】歯科技工所、企業見学 ・歯科技工現場の理解 ・歯科関連企業の理解
13	第21～24回【演習】研究実施（担当教員） ・データ収集 ・データ分析 ・作品の製作 ・作品の評価 ・プレゼンテーションの作成 ・発表原稿の完成
14	第25～28回【討議】成果発表（担当教員） ・プレゼンテーション ・質問 ・応答
15	第29回【講義】デジタル・デンティストリーとは（荒井） ・デジタル・デンティストリーとは何か
16	第30回【講義】これからの歯科医療（荒井） ・これからの歯科業界に期待されることおよび課題は何か
17	第31回【講義】臨床の観点からのデジタル歯科技工（荒井） ・臨床の観点からのデジタル歯科技工とは何か
18	第32回【講義】これからの歯科技工士への期待（荒井） ・これからの歯科技工士に期待されることは何か

成績評価の方法

研究に関するプレゼンテーションと討議の内容、第29回～第32回の講義に関するレポート内容を総合的に評価する。各学生の討議後に講評を行うとともに総括した総評を授業の最後に行う。

評価の比率

- ・討議のプレゼンテーション.....70%
- ・質疑応答.....15%
- ・第29回～第32回の講義に関するレポート...15%

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

講義内容については20分程度は復習するようにしてください。

第12～25回の「情報収集」から「発表準備」までの実習は、自分自身が興味を持った内容について作品を製作したり研究したりする演習となります。口腔工学科の教員の指導を受けて実施しますので、指導を受けたい教員と第12回の授業が始まるまでに連絡を取るようにしてください。

また、第12～25回の「情報収集」から「発表準備」までの実習は、授業時間内だけでは十分な研究や作品の製作、プレゼンテーションの準備は難しいので、12回の補講を設けています。さらに補講が必要な場合は担当教員と相談して下さい。担当教員の指導のもとに良い成果を収めるようにしてください。

第29～32回については、事前に各自デジタルデンティストリーについて30分程度情報収集し、疑問点等を整理しておいてください。

その他

参考資料	作品の製作や研究、デジタルデンティストリーに関連する書籍や文献を参考にしてください。
受講生への要望等	自らの設定したテーマに基づいて、考え、実施する学士としての素養を身につける科目ですので、しっかりとした成果をあげて、自らの学識を広げて下さい。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。

口腔工学総論Ⅱ

更新日：2024/11/29 09:05:54

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	319040	授業コード	4K201
担当教員	藤井 孝政, 柿本 和俊, 中塚 美智子, 橋本 正則, 樋口 鎮央, 藤田 暁, 首藤 崇裕, 三宅 晃子, 錦織 良, 方 思棋, 中井 知己, 黄 育清						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31904				E1◎		歯科医師、歯科技工士	

授業概要

これまでの科目ごとに学習して習得した内容を整理し、各科目の要点を全体としての統一した観点から学習しなおして、知識と技能を確実なものとする科目である。

講義だけでは十分な理解を得るのが難しかった知識や技術を実習や臨床現場での体験後に再度学習する。この科目によって、技能の習得や学習が不十分であった内容を学生自身が認識して補填するとともに、科目ごとの理解だけではなく、全ての科目を繋げた理解を深める。

到達目標

1	歯科技工士として必要な知識を説明できる。
2	歯科技工と歯科医療との関係を説明できる。
3	歯と口腔の構造と機能とを説明できる。
4	歯科材料、歯科用技工機器および加工技術を説明できる。
5	有床義歯技工を説明できる。
6	歯冠修復技工を説明できる。
7	矯正歯科技工を説明できる。
8	小児歯科技工を説明できる。
9	基本的な歯科技工技能を活用できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15		24	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	第1～2回【実習】総義歯の作業用模型と咬合器装着（柿本、中井、方） ・作業用模型の製作 ・咬合床の作成 ・咬合器装着
2	第3～4回【実習】クラウンのワックスパターン製作（藤井、樋口、首藤、黄） ・作業用模型の製作 ・咬合器装着 ・ワックスパターン製作
3	第5～8回【実習】総義歯の人工歯排列と歯肉形成（柿本、錦織、三宅、中井、方） ・咬合床の作成 ・咬合器装着 ・人工歯排列 ・歯肉形成
4	第9～16回【実習】全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成（柿本、錦織、三宅、中井、方） ・作業用模型の製作 ・咬合床の作成 ・咬合器装着 ・人工歯排列 ・歯肉形成
5	第17～18回【実習】クラウンのワックスパターン製作（藤井、樋口、藤田、首藤、黄） ・作業用模型の製作 ・咬合器装着 ・ワックスパターン製作

6	<p>第19～20回【実習】全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成（柿本、錦織、三宅、中井、方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業用模型の製作 ・咬合床の作成 ・咬合器装着 ・人工歯排列 ・歯肉形成
7	<p>第21～22回【実習】クラウンのワックスパターン製作（藤井、樋口、藤田、頸藤、黄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業用模型の製作 ・咬合器装着 ・ワックスパターン製作
8	<p>第23～24回【実習】全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成（柿本、錦織、三宅、中井、方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業用模型の製作 ・咬合床の作成 ・咬合器装着 ・人工歯排列 ・歯肉形成
9	<p>第25回【講義】歯科技工と歯科医療 1 (首藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科技工士の役割 ・歯科技工士の倫理 ・衛生行政の意義 ・衛生行政の組織及び活動 ・歯科技工士法
10	<p>第26回【講義】歯科技工と歯科医療 2 (柿本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科技工環境管理 ・歯科技工品質管理 ・医療法 ・歯科医師法 ・歯科衛生士法 ・医薬品、医療機器等、有効性及び安全性の確保等に関する法律
11	<p>第27回【講義】歯・口腔の構造と機能 1 (中塚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の概説 ・永久歯の形態 ・歯の発生 ・歯と歯周組織 ・歯の異常
12	<p>第28回【講義】歯・口腔の構造と機能 2 (中塚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯列と咬合 ・頭蓋の骨 ・口腔周囲の筋 ・口腔 ・顎口腔系の形態
13	<p>第29回【講義】歯・口腔の構造と機能 3 (中塚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顎口腔系の機能 ・下顎位 ・下顎運動 ・歯の接触様式 ・咬合器
14	<p>第30回【講義】歯科材料・歯科技工機器と加工技術 1 (藤田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科材料の機械的性質 ・歯科材料の物理的性質 ・歯科材料の科学的性質 ・歯科材料の生物学的性質 ・印象材の分類 ・印象材の種類 ・印象材の性質 ・石膏の種類 ・石膏の性質
15	<p>第31回【講義】有床義歯技工学 1 (柿本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有床義歯技工に関する基礎知識 ・全部床義歯の特性 ・全部床義歯の印象採得に伴う技工操作 ・全部床義歯の咬合採得に伴う技工操作
16	<p>第32回【講義】有床義歯技工学 2 (柿本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 ・全部床義歯のろう義歯の埋没と重合 ・全部床義歯の咬合器再装着および削合、研磨 ・部分床義歯の特性 ・支台装置 ・連結子

17	<p>第33回【講義】歯科材料・歯科技工機器と加工技術 2 (藤田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワックスの種類と用途 ・ワックスの組成 ・ワックスの性質 ・義歯床用レジン ・加熱重合レジン ・常温重合レジン ・その他の義歯床用レジン ・レジン成形法 ・歯冠用硬質レジン ・CAD/CAM用コンポジットレジン ・その他のレジン ・歯冠用セラミックス ・歯冠用陶材 ・金属焼付用陶材 ・加熱重合型セラミックス ・ジルコニア
18	<p>第34回【講義】歯科材料・歯科技工機器と加工技術 3 (藤田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科用合金 ・金合金、銀合金、コバルトクロム合金、チタンおよびチタン合金 ・鑄造収縮と補正 ・鑄造操作 ・鑄造欠陥 ・金属の加工 ・金属の接合 ・合金の熱処理 ・切削・研削・研磨 ・新しい加工技術
19	<p>第35回【講義】有床義歯技工学 3 (柿本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯の印象採得に伴う技工操作 ・部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作 ・部分床義歯の人工歯排列と歯肉形成 ・部分床義歯のろう義歯の埋没とレジン重合 ・義歯装着後の変化と対応 ・その他の義歯
20	<p>第36回【講義】歯冠修復技工学 1 (藤井)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯冠修復技工学の概要 ・クラウンの概要と種類 ・ブリッジの概要と種類 ・クラウンとブリッジの具備条件 ・クラウンとブリッジの製作
21	<p>第37回【講義】歯冠修復技工学 2 (藤井)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯冠修復物と部分被覆冠 ・全部被覆冠 ・ブリッジ ・インプラント ・CAD/CAMシステム
22	<p>第38回【講義】矯正歯科技工学 (藤田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矯正歯科治療の概説 ・矯正歯科技工用器械・器具・材料 ・矯正歯科技工の基本的実技 ・矯正用模型の製作 ・矯正装置の必要条件と分類 ・矯正装置の種類と製作
23	<p>第39回【講義】小児歯科技工学 (藤田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科治療の概説 ・小児の歯冠修復 ・保隙装置 ・スペースリゲーター ・口腔習癖除去装置 ・咬合誘導装置に用いる維持装置

成績評価の方法

全部床義歯の人工歯排列・歯肉形成とクラウンのワックスパターンの製作に関する中間試験と各講義の最初と最後に実施する小テストの結果を総合して評価する。中間試験については、A-portalの科目のタイムラインに講評を掲載する。小テストについては授業時間内に解答と必要に応じて解説を行う。評価の割合は、中間試験、小テストの総合成績を各50%とする。

教科書

「新・要点チェック 歯科技工士国家試験対策 1 歯科技工と歯科医療 歯科技工管理学」

関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編，医歯薬出版，2020年，ISBN978-4-263-43081-1

「新・要点チェック 歯科技工士国家試験対策 2 歯・口腔の構造と機能口腔・顎顔面解剖学，顎口腔機能学」

関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編，医歯薬出版，2020年，ISBN978-4-263-43082-8

- 「新・要点チェック 歯科技工士国家試験対策 3 歯科材料・歯科技工機器と加工技術 歯科理工学」
 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編，医歯薬出版，2020年，ISBN978-4-263-43083-5
- 「新・要点チェック 歯科技工士国家試験対策 4 有床義歯技工学」
 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編，医歯薬出版，2020年，ISBN978-4-263-43084-2
- 「新・要点チェック 歯科技工士国家試験対策 5 歯冠修復技工学」
 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編，医歯薬出版，2020年，ISBN978-4-263-43085-9
- 「新・要点チェック 歯科技工士国家試験対策 6 矯正歯科技工学・小児歯科技工学」
 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会編，医歯薬出版，2020年，ISBN978-4-263-43086-6
- 「歯科技工士国家試験問題集 2025年版」
 全国歯科技工士教育協議会編，医歯薬出版，2024年10月出版予定，

授業外学修（予習・復習）

全部床義歯の人工歯排列・歯肉形成とクラウンのワックスパターンの製作については、全国歯科技工士教育協議会模擬試験も受験しますので、十分な技能の習得に努めて下さい。

各講義の最初と最後に小テストを行いますので、授業の予習と復習をそれぞれ20分程度の自己学習をするように心がけてください。

また、授業内容に関係するこれまでの歯科技工士国家試験問題には必ず目を通して、授業までには解答できるようになっておいてください。

その他

参考資料	「歯科技工士国家試験問題集 2024年版」 医歯薬出版 / 2023年 / ISBN 978-4-263-43241-9 ※ 2026年版が出版された場合はそちらを参考にしてください。 他に4年間の知識を整理する科目ですので、1年生からこれまでの授業で使用した教科書を参考にするようにしてください。
受講生への要望等	歯科技工学として最低限知っておかなければならない内容の科目です。 必ず、授業内容を漏れなく理解するようにしてください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。